

札幌市造園工事標準図

令和6年度版

※令和6年5月1日以降施行起案日より適用

札幌市建設局みどりの推進部

目 次

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
1 - 1 公園用資材一覧	公園用基礎ブロット	規格図	1 - 1 - 1
	〃	配筋図	1 - 1 - 2
1 - 2 造園工事塗装等特記	鉄部塗装特記仕様		1 - 2 - 1
	木製品特記仕様		1 - 2 - 2
1 - 3 造園工事木製品材積	木製品材積表		1 - 3 - 1
2 - 3 植 栽 工	樹木植栽仕様一覧表	植穴規格, 客土, 改良剤(参考資料)	2 - 3 - 1
	〃	植穴, 支柱適用する規格表	2 - 3 - 2
	二脚鳥居型支柱	添木付	2 - 3 - 3
	〃	A・B	2 - 3 - 4
	三脚鳥居型支柱		2 - 3 - 5
	十字鳥居型支柱	A・B	2 - 3 - 6
	二脚鳥居合せ支柱	A・B	2 - 3 - 7
	八ツ掛支柱	A・B・C	2 - 3 - 8
	八ツ掛(竹)支柱	A・B・C・D	2 - 3 - 9
	添柱形(一本形)支柱	A・B・C	2 - 3 - 10
	布掛(竹)支柱	A・B	2 - 3 - 11
	生垣	四ツ目垣A	2 - 3 - 12
	〃	四ツ目垣B	2 - 3 - 13
	〃	四ツ目垣C	2 - 3 - 14
	〃	四ツ目垣D	2 - 3 - 15
	〃	四ツ目垣E	2 - 3 - 16

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
2 - 4 移 植 工	根 回 し 工 仕 様		2 - 4 - 1
3 - 3 給 水 設 備 工	水 道 メ ー タ 設 置 標 準 図 " 止 水 栓 き ょ う " 伸 縮 散 水 栓 設 置 標 準 図 給 水 管 埋 設 断 面 図	水道メータきょうIV型(改) 大型水道メータきょう A-800 φ13mm~25mm B型及びBC型 φ13mm~50mm	3 - 3 - 1 3 - 3 - 2 3 - 3 - 3 3 - 3 - 4 3 - 3 - 5 3 - 3 - 6
3 - 4 雨 水 排 水 設 備 工	皿 型 側 溝 ・ 皿 型 用 集 水 枘 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 埋 設 断 面 塩 ビ 製 マ ン ホ ー ル ・ 塩 ビ 管 用 塩 ビ 製 マ ン ホ ー ル ・ リ ブ 付 塩 ビ 用 浸 透 枘 標 準 断 面 図 浸 透 ト レ ン チ 管 埋 設 断 面 図	札幌市規格D型 B-1、B-2 φ150, φ200, φ250用 " EM-J型、I型(A) φ150	3 - 4 - 1 3 - 4 - 2 3 - 4 - 3 3 - 4 - 4 3 - 4 - 5 3 - 4 - 6

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
3 - 6 電 気 設 備 工	LED 照 明 灯 特 記 仕 様 1		3 - 6 - 1 - 1
	LED 照 明 灯 特 記 仕 様 2		3 - 6 - 1 - 2
	LED 照 明 灯 姿 図		3 - 6 - 2
	照 明 灯 基 礎 拡 大 図		3 - 6 - 3
	照 明 灯 ポ ー ル 詳 細 図		3 - 6 - 4
	引 込 柱 姿 図	分電盤あり	3 - 6 - 5
	" "	分電盤なし	3 - 6 - 6
	引 込 柱 ポ ー ル 詳 細 図		3 - 6 - 7
	照 明 用 分 電 盤	1系統1分岐調光用	3 - 6 - 8
	" "	1系統2分岐調光用	3 - 6 - 9
	照 明 灯 そ の 他 引 込 分 電 盤	2系統1分岐調光用	3 - 6 - 10
	" "	2系統2分岐調光用	3 - 6 - 11
3 - 7 園 路 広 場 整 備 工	ケーブル埋設断面及び防蝕テープ詳細図		3 - 6 - 12
	園 路 路 盤 構 造 図		3 - 7 - 1
	石 張 路 盤 構 造 図		3 - 7 - 2
	インターロッキングブロック路盤構造図		3 - 7 - 3
	コ ン ク リ ー ト 仕 切 石	I ・ II	3 - 7 - 4
	レ ン ガ 仕 切	I ・ II ・ III	3 - 7 - 5
	面 取 り レ ン ガ 仕 切	I ・ II	3 - 7 - 6
	丸 太 階 段	W=3.0 W=2.0 W=1.5	3 - 7 - 7
	軽 量 プ ラ 擬 木 階 段	W=1.5	3 - 7 - 8
	視 覚 障 害 者 誘 導 用 ブ ロ ッ ク		3 - 7 - 9
	プラ擬木階段(天端太鼓おとし W=1500)		3 - 7 - 10
プラ擬木階段(天端太鼓おとし W=2000)		3 - 7 - 11	

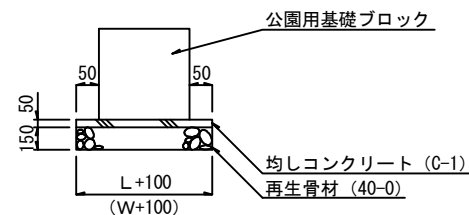
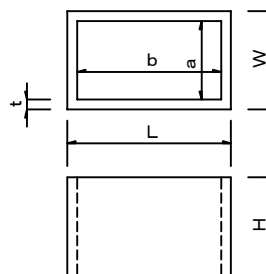
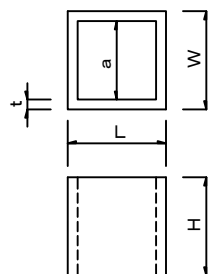
工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
3 - 9			
遊 戯 施 設 整 備 工	大 型 2 人 用 ブ ラ ン コ		3 - 9 - 1 - 1
	大 型 2 人 用 ブ ラ ン コ 境 界 柵		3 - 9 - 1 - 2
	小 型 2 人 用 ブ ラ ン コ		3 - 9 - 2 - 1
	小 型 2 人 用 ブ ラ ン コ 境 界 柵		3 - 9 - 2 - 2
	三 間 低 鉄 棒 ・ 三 間 中 鉄 棒		3 - 9 - 3
	四 間 鉄 棒		3 - 9 - 4
	太 鼓 梯 子		3 - 9 - 5
	山 型 雲 梯		3 - 9 - 6
	大 一 流 滑 台 A (プ ラ ス チ ッ ク)		3 - 9 - 7
	大 一 流 滑 台 B (F R P)		3 - 9 - 8
	大 一 流 滑 台 C (ス テ ン レ ス)		3 - 9 - 9
	中 型 滑 台 A (プ ラ ス チ ッ ク)		3 - 9 - 10
	中 型 滑 台 B (F R P)		3 - 9 - 11
	中 型 滑 台 C (ス テ ン レ ス)		3 - 9 - 12
	放 射 型 滑 台 A (プ ラ ス チ ッ ク)		3 - 9 - 13
	放 射 型 滑 台 B (F R P)		3 - 9 - 14
	放 射 型 滑 台 C (ス テ ン レ ス)		3 - 9 - 15
	シ ー ソ ー A		3 - 9 - 16
	シ ー ソ ー C		3 - 9 - 17
	ゴ ム チ ッ プ 製 マ ッ ト	1,000□ 500□	3 - 9 - 18
	敷 床 板		3 - 9 - 19

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
3 - 10 サービス施設整備工	水 飲 台 設 置 標 準 図 水 飲 台 A 水 飲 台 C 縁 台 C 背 付 ベ ン チ S 背 無 ベ ン チ (肘 掛 付 き) S 背 無 ベ ン チ (肘 掛 な し) S		3 - 10 - 1 3 - 10 - 2 3 - 10 - 3 3 - 10 - 4 3 - 10 - 5 3 - 10 - 6 3 - 10 - 7
3 - 11 管理施設整備工	ネットフェンス基礎工詳細図 ステンレス手摺 (片面型) ステンレス手摺 (両面型) 樹脂被覆手摺 (片面型) 樹脂被覆手摺 (両面型) 手摺用点字案内シート 車 止 〃 〃 園 名 板 A 園 名 板 B 園 名 板 B (ベースプレート固定) 園 名 板 コンクリートブロック	基礎ブロック アンカー式, 埋込式 アンカー式, 埋込式 アルミ製、アンカー式, 埋込式 アルミ製、アンカー式, 埋込式 パンダ ゾウ 人造石角型	3 - 11 - 1 3 - 11 - 2 3 - 11 - 3 3 - 11 - 4 3 - 11 - 5 3 - 11 - 6 3 - 11 - 7 3 - 11 - 8 3 - 11 - 9 3 - 11 - 10 3 - 11 - 11 3 - 11 - 12 3 - 11 - 13

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
3 - 12			
建築施設組立設置工	四	阿 3.6×3.6 丸柱 ベンチ有	3 - 12 - 1 - 1
		"	3 - 12 - 1 - 2
		3.6×3.6 丸柱 ベンチなし	3 - 12 - 2 - 1
		"	3 - 12 - 2 - 2
		3.6×3.6 角柱 ベンチ有	3 - 12 - 3 - 1
		"	3 - 12 - 3 - 2
		3.6×3.6 角柱 ベンチなし	3 - 12 - 4 - 1
		"	3 - 12 - 4 - 2
		3.0×3.0 丸柱 ベンチ有	3 - 12 - 5 - 1
		"	3 - 12 - 5 - 2
		3.0×3.0 角柱 ベンチ有	3 - 12 - 6 - 1
		"	3 - 12 - 6 - 2
		3.0×3.0 角柱 ベンチなし	3 - 12 - 7 - 1
		"	3 - 12 - 7 - 2
		2.3×2.3 角柱 ベンチ有	3 - 12 - 8 - 1
		"	3 - 12 - 8 - 2
	丸 柱 脚 金 物 詳 細 図		3 - 12 - 9
	角 柱 脚 金 物 詳 細 図 1		3 - 12 - 10 - 1
	角 柱 脚 金 物 詳 細 図 2		3 - 12 - 10 - 2
	藤 棚 詳 細 図		3 - 12 - 11
	シ エ ル タ 一 A		3 - 12 - 12
	シ エ ル タ 一 B		3 - 12 - 13
	シ エ ル タ 一 C		3 - 12 - 14
	シ エ ル タ 一 D		3 - 12 - 15

工 種	図 面 名 称	規 格 ・ 寸 法	番 号
4 - 5 グラウンド・コート 施設整備工	ネ ッ ト ポ ス ト 門 扉 (く ぐ り 戸 型 、 両 開 き) 門 扉 (く ぐ り 戸 型 、 片 開 き) テ ニ ス コ ー ト ラ イ ン 規 格 高 尺 ネ ッ ト フ ェ ン ス 基 礎 詳 細 図	H3,000×W2,000 H3,000×W1,000 H=4M~10M	4 - 5 - 1 4 - 5 - 2 4 - 5 - 3 4 - 5 - 4 4 - 5 - 5
10 そ の 他	身 障 者 用 駐 車 場 標 準 図 身 障 者 用 駐 車 場 表 示 板 (片 面 ・ 両 面) 駐 車 場 身 障 者 ス ペ ー ス ポ ー ル サ イ ン A 駐 車 場 身 障 者 ス ペ ー ス ポ ー ル サ イ ン B 駐 車 場 身 障 者 ス ペ ー ス ポ ー ル サ イ ン C 二 脚 鳥 居 型 支 柱 添 木 付 (街 路 樹 用) 二 脚 鳥 居 型 支 柱 (街 路 樹 用) 工 事 名 標 示 板		10 - 1 10 - 2 10 - 3 10 - 4 10 - 5 10 - 6 10 - 7 10 - 8

1-1 公園用資材一覽



NO	呼び名	寸法 (mm)				重量 (kg)	(mm) t	NO	呼び名	寸法 (mm)				重量 (kg)	(mm) t	
		W	L	H	a					W	L	H	a			b
0	300×300×250	300	300	250	150	40	75	18	300×500×350	300	500	350	180	380	67	60
1	300×300×300	300	300	300	150	47	75	19	300×600×250	300	600	250	180	480	55	60
2	300×300×550	300	300	550	150	87	75	20	300×700×350	300	700	350	180	580	90	60
3	400×400×300	400	400	300	280	58	60	21	300×400×500	300	400	500	180	280	82	60
4	400×400×350	400	400	350	280	67	60	22	300×500×500	300	500	500	180	380	96	60
5	400×400×450	400	400	450	280	87	60	23	300×500×550	300	500	550	180	380	106	60
6	400×400×550	400	400	550	280	106	60	24	400×600×550	400	600	550	280	480	137	60
7	400×400×650	400	400	650	280	125	60	25	400×900×650	400	900	650	240	740	279	80
8	500×500×300	500	500	300	380	75	60	26	500×1,000×500	500	1,000	500	340	840	252	80
9	500×500×500	500	500	500	380	125	60	27	500×700×550	500	700	550	340	540	215	80
10	500×500×550	500	500	550	380	137	60	28	500×800×550	500	800	550	340	640	237	80
11	600×600×550	600	600	550	440	215	80	29	600×800×550	600	800	550	440	640	259	80
12	600×600×650	600	600	650	440	255	80	30	600×900×550	600	900	550	440	740	253	80
13	600×600×700	600	600	700	440	280	80	31	250×650×250	250	650	250	130	530	53	60
14	650×650×550	650	650	550	490	236	80	32	150×1,300×150	150	1,300	150	—	—	67	—
15	700×700×650	700	700	650	540	310	80	33	500×700×250	500	700	250	340	540	97	80
16	750×750×550	750	750	550	590	274	80									
17	800×800×750	800	800	750	640	405	80									

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。

図面名称
公園用基礎ブロック (規格図)

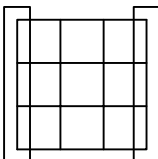
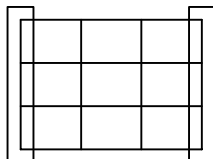
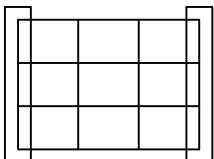
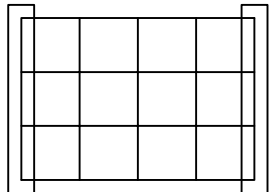
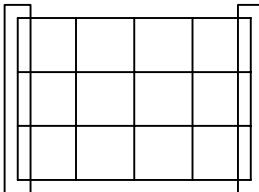
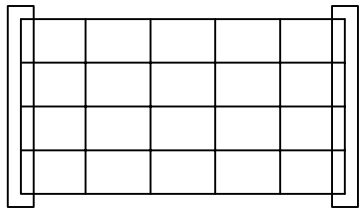
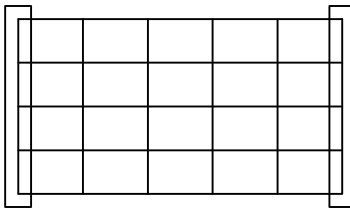
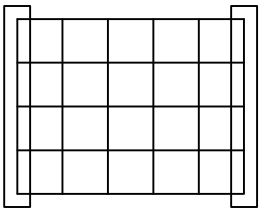
縮尺

—

番号

1-1-1

配筋図 (タテ・ヨコ 鉄線2.6mm)

W	L	H
<p>250~400</p> 	<p>300~400</p> 	<p>250~400</p> 
<p>500~650</p> 	<p>500~650</p> 	
<p>700~800</p> 	<p>700~1,000</p> 	<p>650~750</p> 

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
公園用基礎ブロック (配筋図)

縮尺

—

番号

1-1-2

1-2 造園工事塗装等特記

区 分	規格・塗装標準	膜 厚	その他留意事項
めっき 処 理	① 溶融亜鉛めっき（JIS H8641）2種同等以上又は電気亜鉛めっき（JIS H 8610）2種3級同等以上とする。 ② めっき処理後に加工（溶接、切断等）し、めっき皮膜が剥離した箇所は亜鉛、鉛、クロム等有害物質が入っていない錆止め剤や防錆効果のある下塗り剤を塗布すること。 ③ ボルト・ナット・ワッシャー等の接合部品は、ステンレスを除き電気亜鉛めっき、溶融亜鉛めっき処理したものを使用すること。	溶融めっき 49 μ 以上 電気めっき 8 μ 以上	1) 本「塗装標準」は設計図書などで特に指定のある場合を除き、標準使用するものとする。なお現場条件などによりこれにより難しい場合は、監督員と協議すること。 2) 柵、フェンス、車止等で土木工事標準図にあるもの、照明灯、同器具類はこの塗装標準の対象外とする。
鉄 部 塗 装	1) 現場塗装・工場スプレイ塗装 ①塗装剤：下塗り・・・エポキシ樹脂系塗料同等のもの 中塗り・上塗り・・・ポリウレタン樹脂塗料同等のもの ②塗装厚：（下塗り+中塗り+上塗り）の膜厚は50 μ 以上とする。 ※現場塗装を行う場合に、中塗りまで工場塗装できるものとする。 2) 焼付塗装 ①塗装剤：下塗り・・・エポキシ樹脂系下塗り塗料同等以上 上塗り・・・熱硬化型アクリル樹脂塗料同等以上 ②塗装厚：（下塗り+上塗り）の膜厚は35 μ 以上とする。 3) 静電粉体塗装 ①塗装剤：上塗り・・・ポリエステル系粉体塗料、アクリル系粉体塗料同等以上とする。 ②塗装厚：（上塗り）の膜厚は15 μ 以上とする。 4) 上記1) 2) 3) の規格に適合しない塗装が施されていた場合 ①適切な下地処理を行い、「現場塗装及び工場スプレイ塗装」と同等の塗装厚を確保すること。	総厚（めっき+塗装） ・溶融めっきの場合 99 μ 以上 ・電気めっきの場合 58 μ 以上 総厚（めっき+塗装） ・溶融めっきの場合 84 μ 以上 ・電気めっきの場合 43 μ 以上 総厚（めっき+塗装） ・溶融めっきの場合 64 μ 以上 ・電気めっきの場合 23 μ 以上	3) アルミ、ステンレス材の塗装については、別途特記仕様によるものとする。 4) 2種混合のタイプの塗料は、次の日に持ち越して使用してはならない。 5) 塗り重ね乾燥時間は、16時間以上とし、7日以内に次の塗装を行うこと。 6) 塗装終了後、請負者において塗膜厚検査を行い、塗膜厚測定記録を作成し提出すること。 7) 気温が0度以下又は、湿度85%以上の状況で現場塗装を行わないこと。 8) 塗料は、鉛・クロムフリーのものを使用すること。 9) その他、土木工事共通仕様書第5編道路編4-5-3「現場塗装工」によること。
札幌市造園工事 標 準 図 札幌市建設局みどりの推進部	特 記 仕 様	図面名称 鉄部塗装特記仕様 縮 尺 番 号 — 1 - 2 - 1	

	特記のないものは国土交通省大臣官房官庁営繕部『公共建築工事標準仕様書』による。	屋根仕上材	ガルバリウム鋼板
木材の材質・樹種	丸太類—米楯1級以上とする。 ひき割・ひき角類—米楯1級以上とする。 板 類—杉1級以上とする。	塗装	見え掛り面全て素地ごしらえのうえ、木材保護着色塗料（油性）2回塗りとする。 なお、木材保護着色塗料については、耐候性、撥水性、防腐性にすぐれているものを使用すること。
表面仕上	丸太類—見え掛り面は、旋盤削り加工とする。 ひき割・ひき角類—『公共建築工事標準仕様書』による。 板 類—『公共建築工事標準仕様書』による。 なお、座板は面取りをすること。	諸金物	ボルト・ナット・ワッシャー等は、ステンレス製を除き、電気亜鉛メッキまたは溶融亜鉛メッキ処理のうえ、焼付塗装したものをを使用すること。（ブラウン色）
防腐処理	JIS A 9002 木質材料の加圧式保存処理方法 JIS K 1571 木材防腐剤の性能基準及び試験方法 JIS K 1570 木材防腐剤 上記によること。 なお、注入処理前に平均含水率を30%以下に調整した木材を使用すること。		

札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特記仕様	図面名称 木製品特記仕様	
		縮尺 —	番号 1-2-2

1-3 造園工事木製品材積

木製品材積表

図面番号	図面名称	材積(m3)	図面番号	図面名称	材積(m3)
2-3-3	二脚鳥居型支柱(添木付)	0.019	3-12-1-1	四 阿	3.1311
2-3-4	二脚鳥居型支柱A	0.014	2		
2-3-4	二脚鳥居型支柱B	0.020	3-12-2-1	四 阿	3.0580
2-3-5	三脚鳥居型支柱	0.023	2		
2-3-6	十字鳥居型支柱A	0.042	3-12-3-1	四 阿	3.1736
2-3-6	十字鳥居型支柱B	0.044	2		
2-3-7	二脚鳥居合せ支柱A	0.056	3-12-4-1	四 阿	3.0738
2-3-7	二脚鳥居合せ支柱B	0.060	2		
2-3-8	八ッ掛支柱A	0.021	3-12-5-1	四 阿	2.7831
2-3-8	八ッ掛支柱B	0.027	2		
2-3-8	八ッ掛支柱C	0.036	3-12-6-1	四 阿	2.6459
3-7-7	丸太階段 L=1.5m	0.0340	2		
3-7-7	〃 L=2.0m	0.0420	3-12-7-1	四 阿	2.4478
3-7-7	〃 L=3.0m	0.0630	2		
参考図	縁 台(米梅)	0.2970	3-12-8-1	四 阿	2.1718
参考図	縁 台(ラワン)	0.0742	2		
			3-12-11	藤 棚	0.3160
			3-12-12	シェルターA	0.298
			3-12-13, 14, 15	シェルターB, C, D	0.231
			参考図	シェルターE, N	0.231

2-3 植 栽 工

植栽特記仕様書（参考資料）

形 状	幹周 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢容量 (m3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	客土量 (m3)	土壤改良剤 (kg)
高 木	10未満	33	25	0.017	69	37	0.073	1.46
	10以上15"	38	28	0.028	75	40	0.112	2.24
	15" 20"	47	33	0.061	87	46	0.209	4.18
	20" 25"	57	39	0.11	99	53	0.330	6.60
	25" 30"	66	45	0.17	111	59	0.480	9.60
	30" 35"	71	48	0.21	117	62	0.550	11.00
	35" 45"	90	59	0.40	141	75	0.940	18.80
	45" 60"	113	74	0.74	171	90	1.540	30.80
	60" 75"	141	91	1.32	207	109	2.380	47.60
	75" 90"	170	108	2.08	243	128	3.370	67.40

形 状	樹高 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢容量 (m3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	客土量 (m3)	土壤改良剤 (kg)
中 低 木	30未満	15	8	0.001	29	23	0.014	0.28
	30以上50"	17	10	0.002	33	26	0.020	0.40
	50" 80"	20	12	0.004	37	28	0.026	0.52
	80" 100"	22	13	0.005	41	31	0.035	0.70
	100" 150"	26	16	0.008	46	35	0.049	0.98
	150" 200"	30	19	0.013	54	40	0.077	1.54
	200" 250"	35	23	0.022	61	46	0.111	2.22
	250" 300"	40	26	0.032	69	51	0.156	3.12

札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特 記 仕 様	図面名称 樹木植栽仕様一覧表	
		縮 尺 —	番 号 2-3-1

特定樹木の植穴

株立物

規格寸法	適用する規格
H=2.0以下	下木あつかい
H=2.5 W=1.0~1.5	C=0.12
H=3.0 W=1.2~1.5	C=0.15
H=3.5 W=1.8	C=0.18
H=4.0 W=1.5~2.0	C=0.20
H=4.5 W=2.5	C=0.25

ハイバクシン

規格寸法	適用する規格
W=0.3	H=0.3
W=0.6	H=0.6
W=0.9	H=1.0

仕立物

規格寸法	適用する規格
H=1.2	C=0.18
H=1.5	C=0.20
H=1.8	C=0.25
H=2.0	C=0.3
W=0.3	H=0.8
W=0.4~0.5	H=1.0
W=0.6	H=2.0
W=0.8~0.9	C=0.18

注) 仕立物の下枝は、地際より10~15cm程度のところまでなければならぬ。

幹周表示のない松類

規格寸法	適用する規格
H=2.0以下	下木あつかい
H=2.5	C=0.12
H=3.0	C=0.15
H=3.5	C=0.2
H=4.0	C=0.25

モンタナマツ

規格寸法	適用する規格
W=0.3	H=0.3
W=0.4	H=0.5
W=0.6, 0.7	H=0.8
W=0.9	H=1.0

※ 幹周表示のない松類以外の高木について $2.0 \leq H < 3.0$ は、 $C < 0.1$ の規格とする。

○ 支柱

規格 (m)	支柱名	
	(ア)	(イ)
樹高 1.5~2.5	添柱形 (1本形)	———
〃 1.5~3.5	八ツ掛 (竹)	八 ツ 掛
幹周 0.09, 0.12, 0.15, 0.18, 0.20, 0.25	二脚鳥居	二脚鳥居 (添木付)
〃 0.30, 0.35, 0.45	三脚鳥居	十字鳥居
〃 0.45, 0.60, 0.75, 0.90	二脚鳥居合せ支柱	八 ツ 掛
〃 0.20, 0.25 (株物・松類含む)	八 ツ 掛	———

注) 支柱 (ア) を標準とする。ただし、樹種・植栽場所の条件などによっては、この限りでなく設計図書熟知の事。

- 土壌改良剤は客土1m³ 当り植樹用で20kg使用を標準とする。(芝生用は別途考慮のこと)
- 樹木の周りを芝付する時は、下表により芝を控除する。

1) 高木

幹周	控除寸法 (直径)
9cm以上~15cm未満	φ0.8 m
15cm以上~20cm未満	φ0.9 m
20cm以上~25cm未満	φ1.0 m

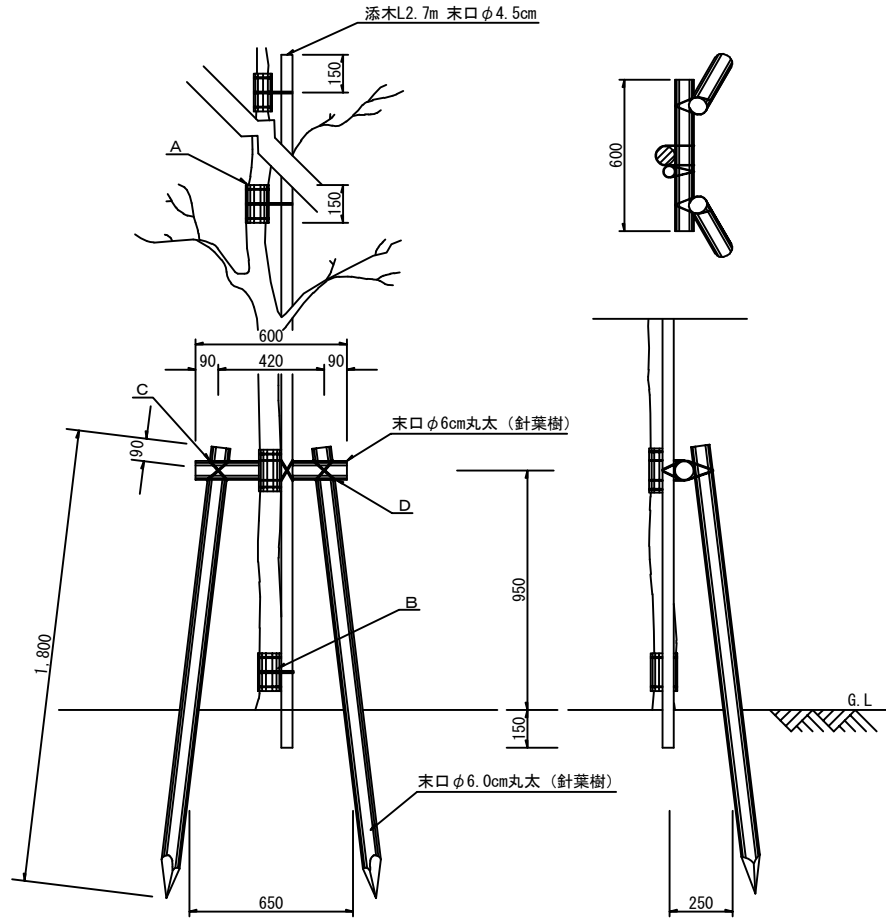
※ 幹周が25cm以上及びこれによりがたい場合は、監督員の指示によること。

2) 低木

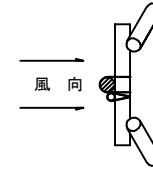
控除寸法 (直径)
φ0.8 m

※ 寄せ植は、監督員の指示によること。

二脚鳥居型支柱(添木) 幹周0.09m・0.12m・0.15m・0.18m・0.20m・0.25m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削りとのこと。(添木部分は除く)
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 支柱の方向は原則として夏期の常風に対して横木が直角になるよう設置すること。



※なお、列植等の場合は監督員の指示によること。

4. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
5. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 10~30cm	
B 棕梠縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 垂鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

※風等で幹折の可能性のある樹木に適用。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
二脚鳥居型支柱(添木付)

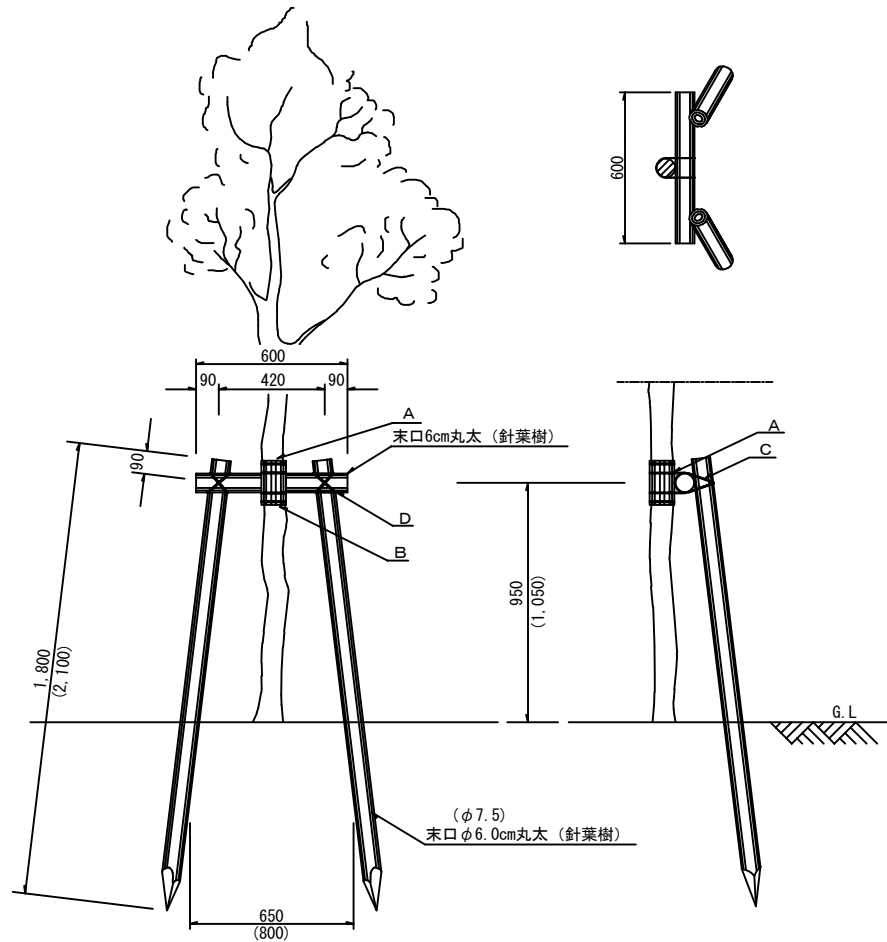
縮尺

1/30

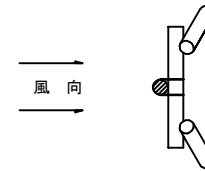
番号

2-3-3

二脚鳥居型支柱 幹周0.09m・0.12m・0.15m・0.18m・0.20m・0.25m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 支柱の方向は原則として夏期の常風に対して横木が直角になるよう設置すること。



※なお、列植等の場合は監督員の指示によること。

4. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
5. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 20~40cm	
B 棕呂縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	# 16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

() 内寸法 → B型 (泥炭等の軟弱地盤に使用)

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

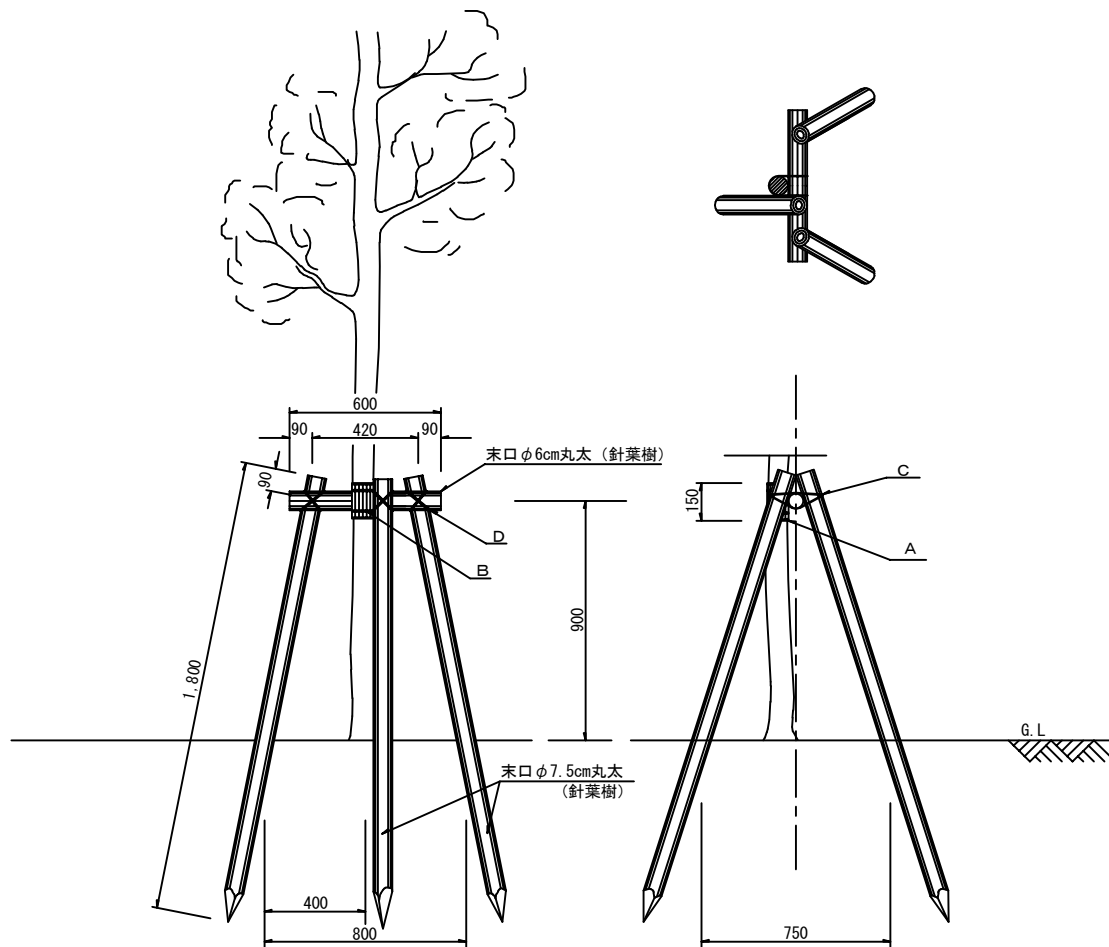
特記仕様

図面名称
二脚鳥居型支柱 (A・B)

縮尺	1/30	番号	2-3-4
----	------	----	-------

三脚鳥居型支柱

幹周0.30m・0.35m・0.45m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

支柱取付仕様

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 30~50cm	
B 棕招縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

三脚鳥居型支柱

縮尺

1/30

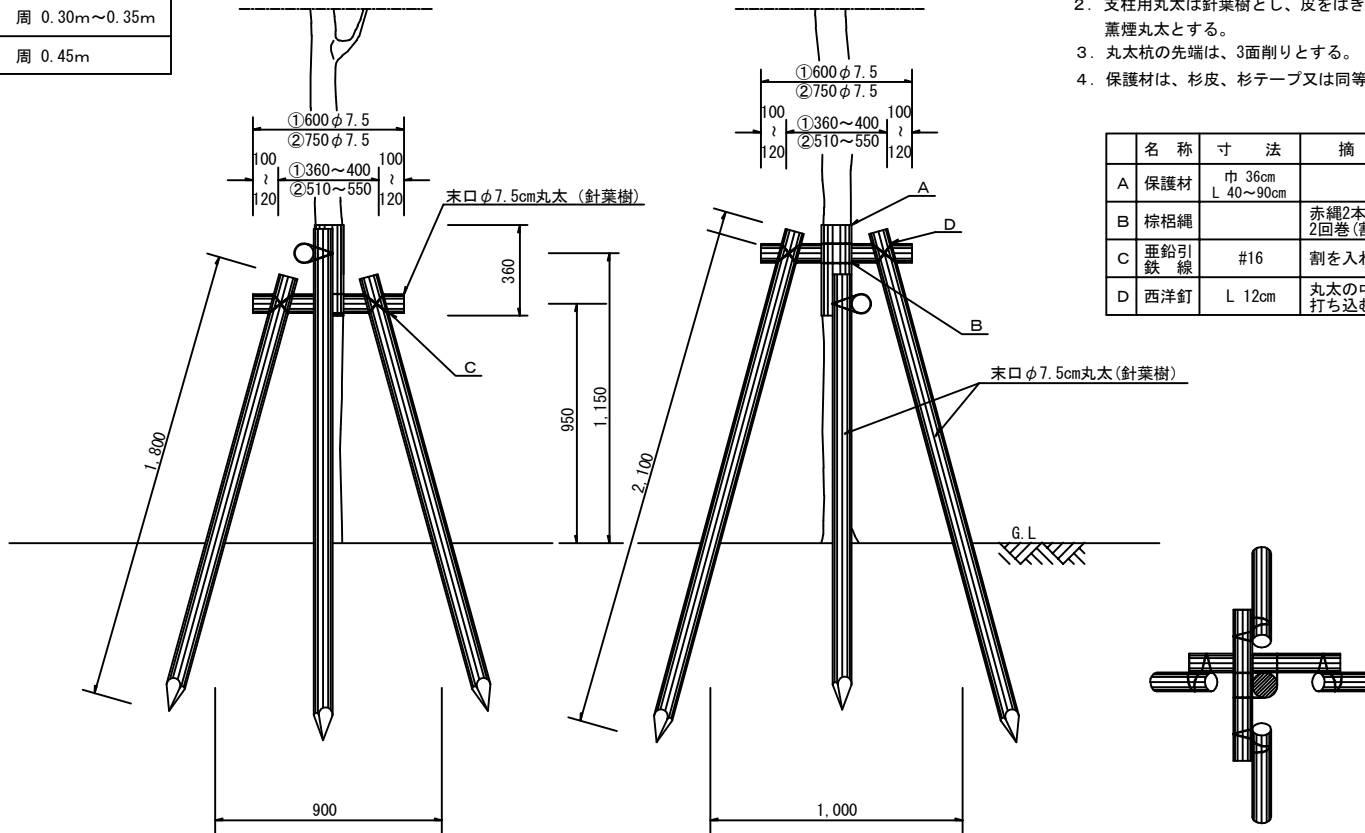
番号

2-3-5

十字鳥居型支柱

幹周0.30m・0.35m・0.45m

記号	規格
①	幹周 0.30m~0.35m
②	幹周 0.45m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A	保護材 巾 36cm L 40~90cm	
B	棕梠縄	赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C	垂鉛引鉄線 #16	割を入れる
D	西洋釘 L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

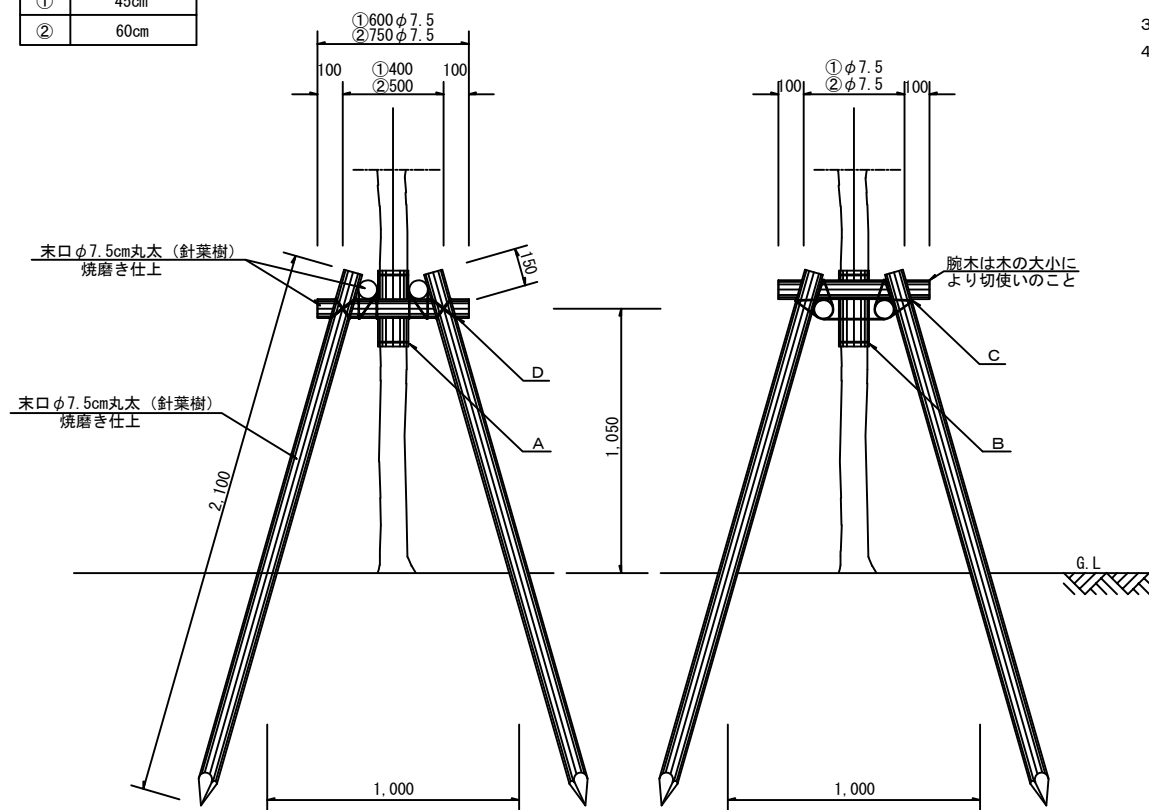
図面名称
十字鳥居型支柱 (A・B)

縮尺	1/30	番号	2-3-6
----	------	----	-------

二脚鳥居合せ支柱

幹周0.45m・0.60m・0.75m・0.90m

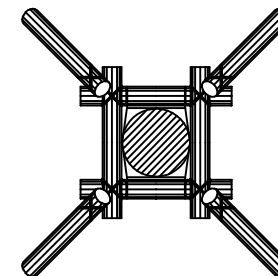
記号	規 格
①	45cm
②	60cm



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

支柱取付仕様

名 称	寸 法	摘 要
A 保護材	巾 30cm L 50~90cm	
B 棕枙縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
二脚鳥居合せ支柱 (A・B)

縮尺

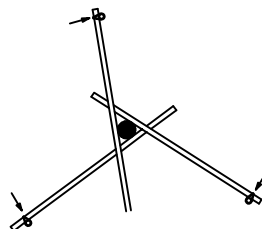
1/30

番号

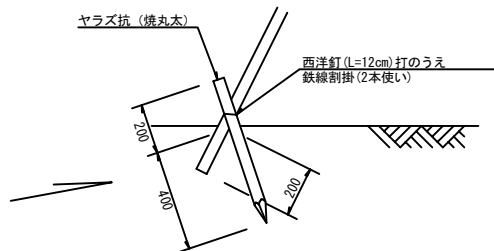
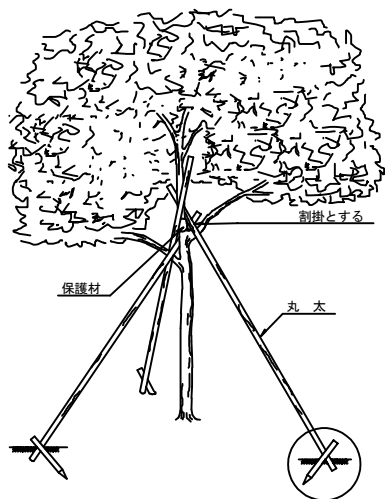
2-3-7

八ツ掛支柱

記号	規 格
A	H=3.5~4.5 松類、株立物舎
B	H=5.0~6.0 "
C	H=7.0~9.0 "



1. 樹木と支柱の結束高は樹高の2/3とする。
2. 丸太相互の結束部は亜鉛引鉄線#16で結束する。
3. 樹木と丸太の結合部は樹木に保護材を当て、棕梠縄（赤）で結束する。
4. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
5. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
6. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。



型	焼丸太 (3本)	ヤラス杭 (3本)
A	末口φ4.5cm L 2.7m	末口φ6.0cm L 0.6m
B	末口φ4.5cm L 3.6m	末口φ6.0cm L 0.6m
C	末口φ3.0cm L 6.3m	末口φ6.0cm L 0.6m

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
八ツ掛支柱(A・B・C)

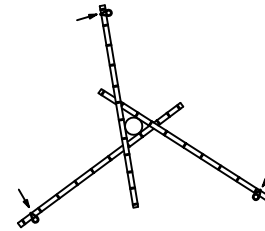
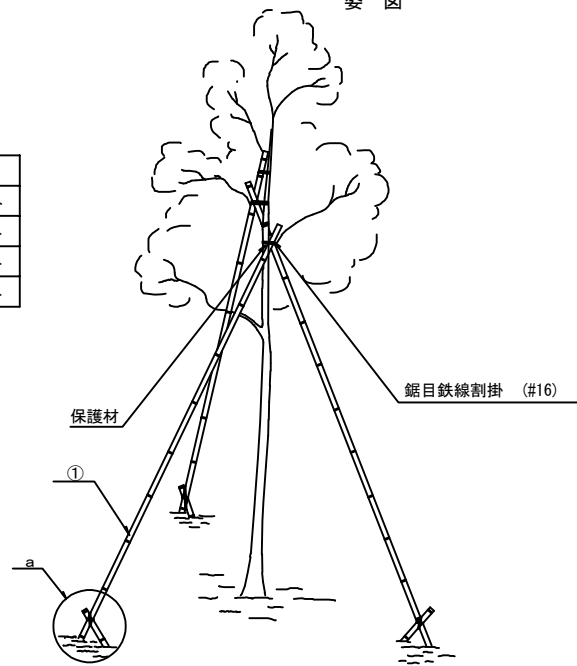
縮尺	1/30	番号	2-3-8
----	------	----	-------

ハツ掛（竹）支柱

(晒竹三本支柱)

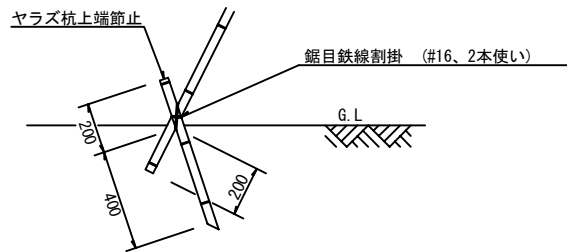
記号	内容	規格
A	株物・松類	H=1.5m内外
B	"	2.0m内外
C	"	2.5m内外
D	単幹を含む	3.5m内外

姿図



1. 樹木と支柱の結束高は樹高の2/3とする。
2. 支柱、ヤラズ杭の上端は節止めとする。
3. 必ず結束部分にノコ目を入れる。
4. 晒竹の直径寸法は、三節上とする。
5. 樹木と晒竹の接合部は、樹木に保護材を当て棕櫚縄（赤）にて結束のこと。（割掛とする）
6. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

a部詳細図



①

記号	直径 (cm)	長さ (m/本)	樹木100本相当竹使用量 (本/100本)
A	3.0	1.3	150
B	3.0	1.6	175
C	3.0	1.8	200
D	3.0	2.5	300

※竹3.9m/本

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称

ハツ掛（竹）支柱

縮尺

1/30

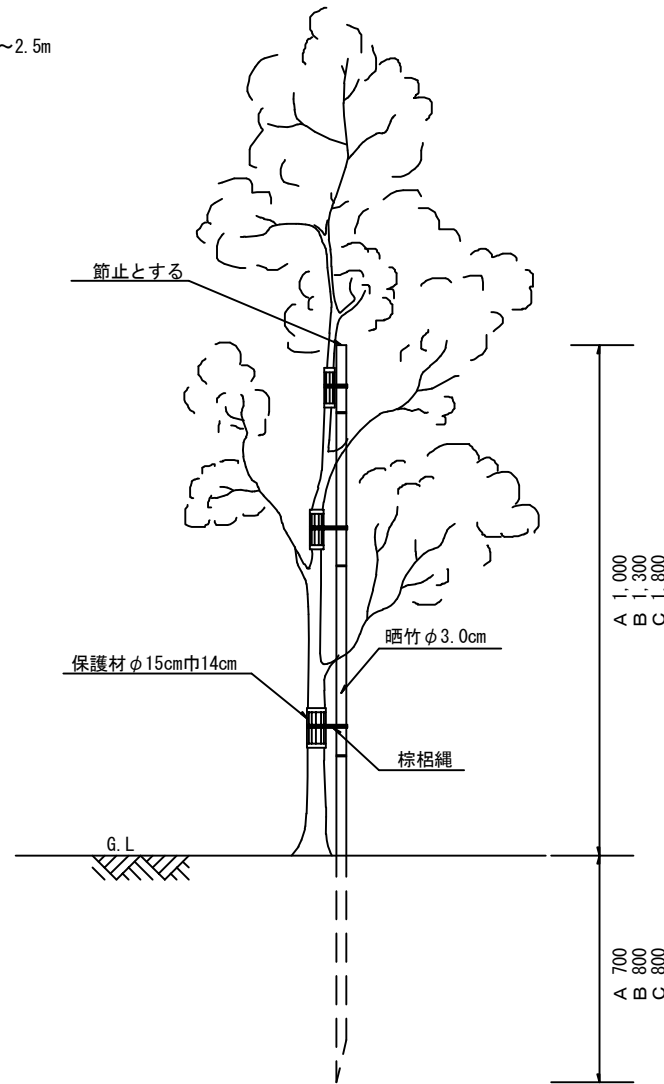
番号

2-3-9

添柱形（一本形）支柱

（晒竹1本支柱） 樹高1.5m～2.5m

記号	規 格
A	樹高1.5m内外
B	“ 2.0m ”
C	“ 2.5m ”



1. 棕梠縄は赤縄2本使用2回巻（割を入れる）
2. 晒竹の直径寸法は、三節上とする。
3. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称

添柱形（一本形）支柱

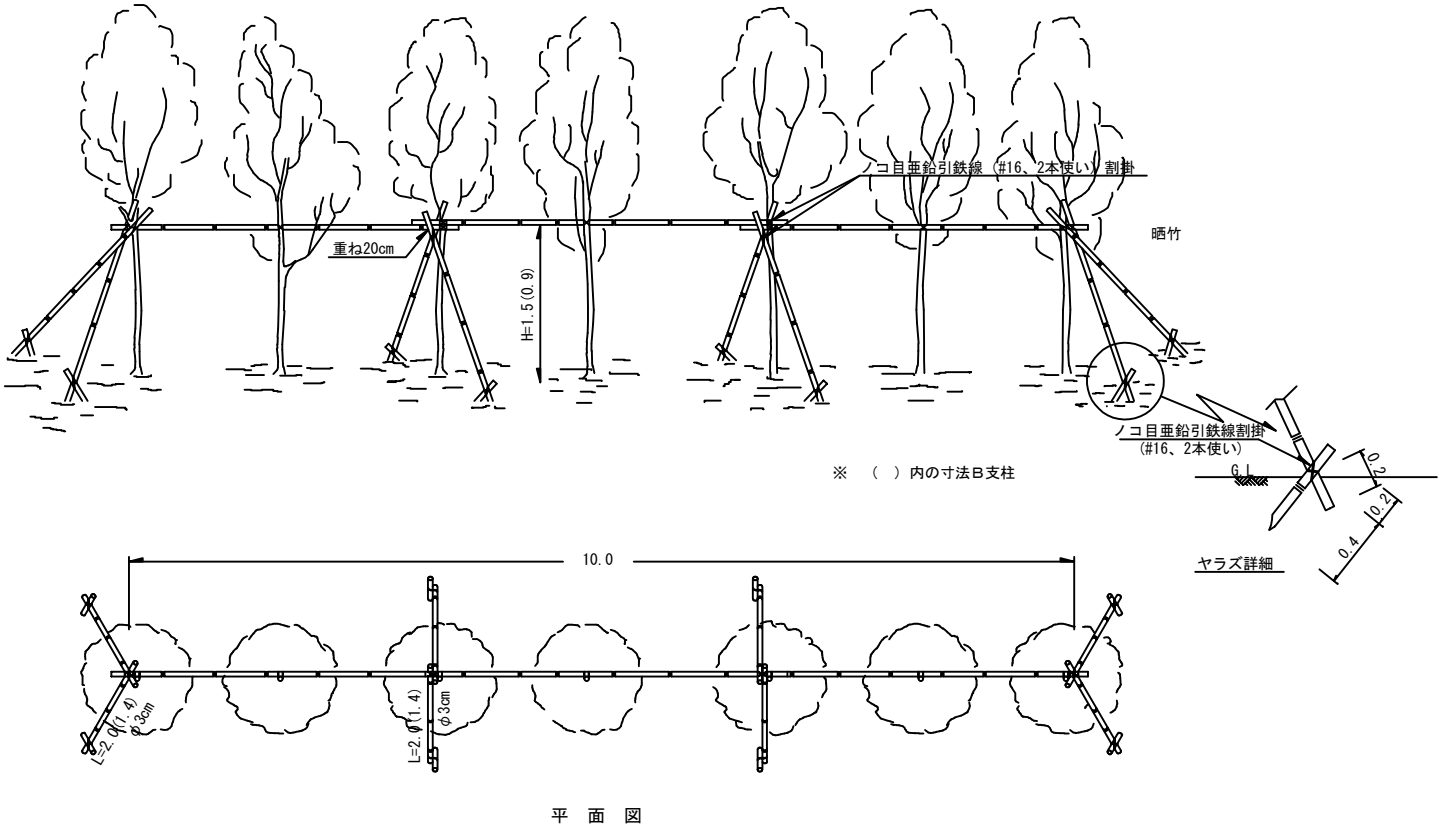
縮尺

—

番号

2-3-10

摘 要	
布掛(竹)支柱A	支柱10m当りH2.0m~2.5m内外の上木5~8本/10m (樹間<2.0m)に使用
布掛(竹)支柱B	支柱10m当りH1.5m内外の針葉樹10~15本/10m (樹間<1.0m)に使用



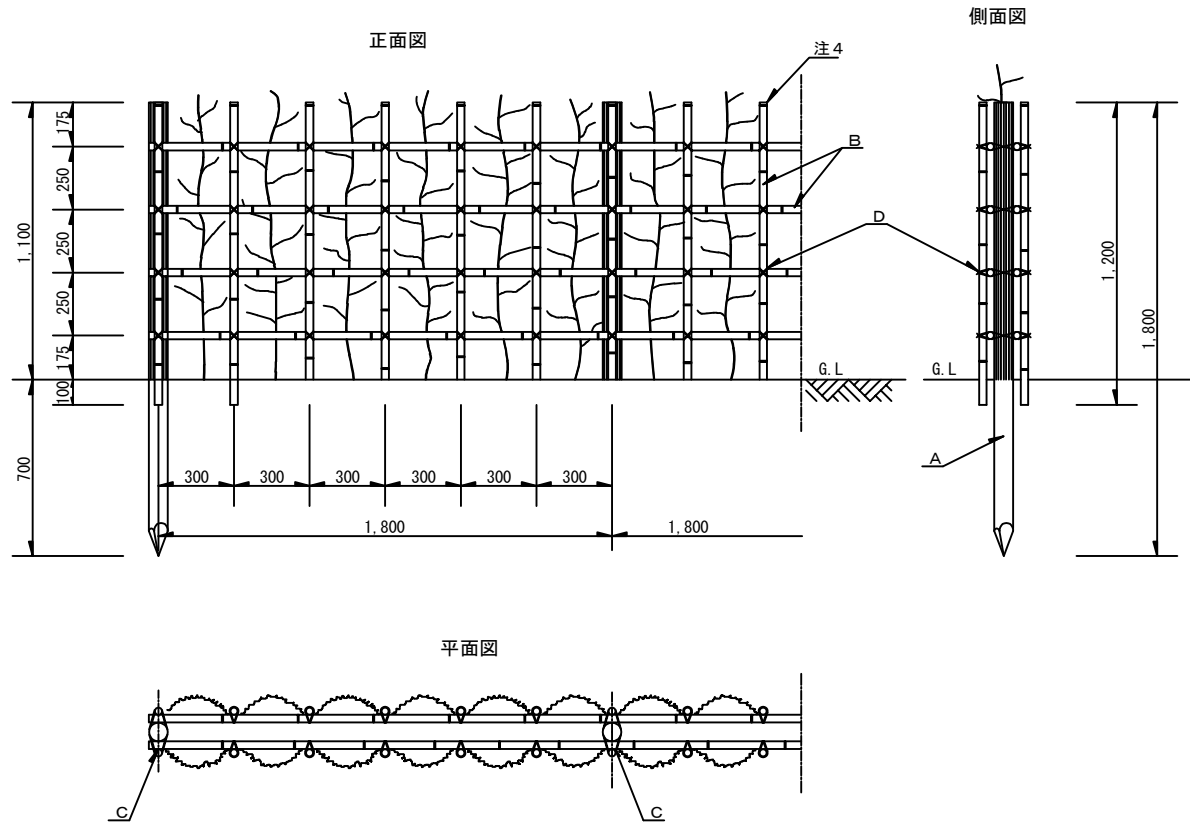
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
- 支柱・ヤラス杭の上端は節止とする。
 - 結束部には必ずノコ目をいれる。
 - 晒竹の直径寸法は3節上とする。
 - 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称		布掛(竹)支柱	
縮尺	—	番号	2-3-11

生垣 (H=1.1m)

凡 例



記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.8m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薰煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	-	1.88

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は原則としてH=1.2m以上とする。
- 樹木は四ツ目垣に棕梠縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記
仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣A)

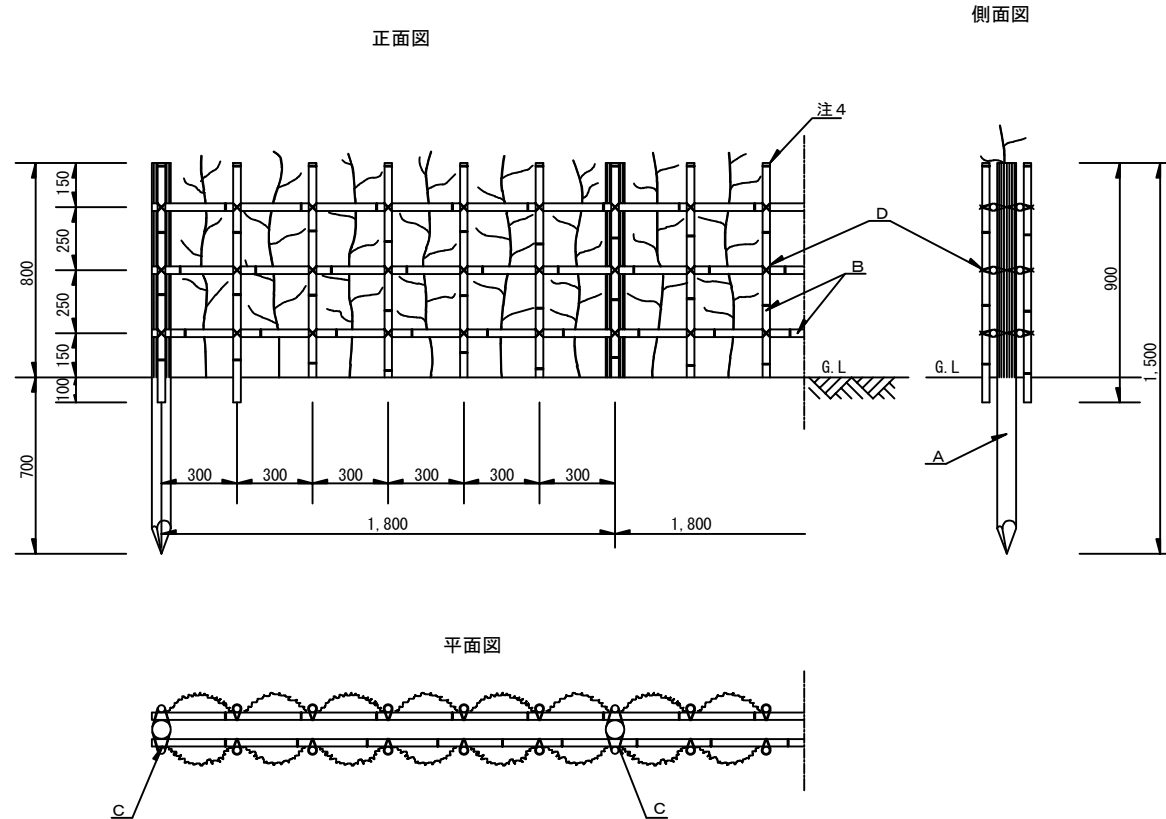
縮尺

1/30

番号

2-3-12

生垣 (H=0.8m)



凡例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.5m	針葉樹焼磨 仕上又は、 熏煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.103	2.06
客土なし	-	2.06

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は、原則としてH=0.9m以上とする。
- 樹木は四ツ目垣に棕梠縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は、30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし、溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣B)

縮尺

1/30

番号

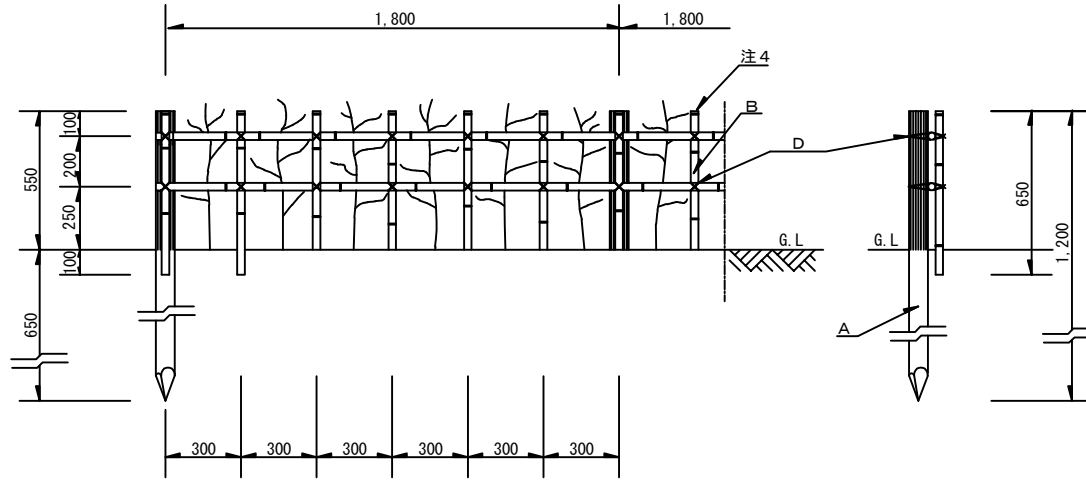
2-3-13

生垣 (H=0.6m)

正面図

側面図

凡例

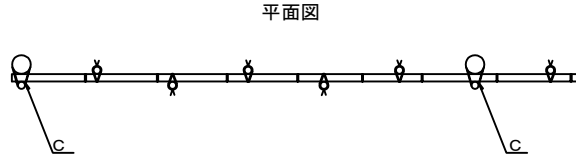


記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.2m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薫煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梶縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m3)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.077	1.54
客土なし	-	1.54

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は、原則としてH=0.6m以上とする。
- 樹木は、四ツ目垣に棕梶縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cmはなすこと。
- 床掘は幅30cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

平面図



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣C)

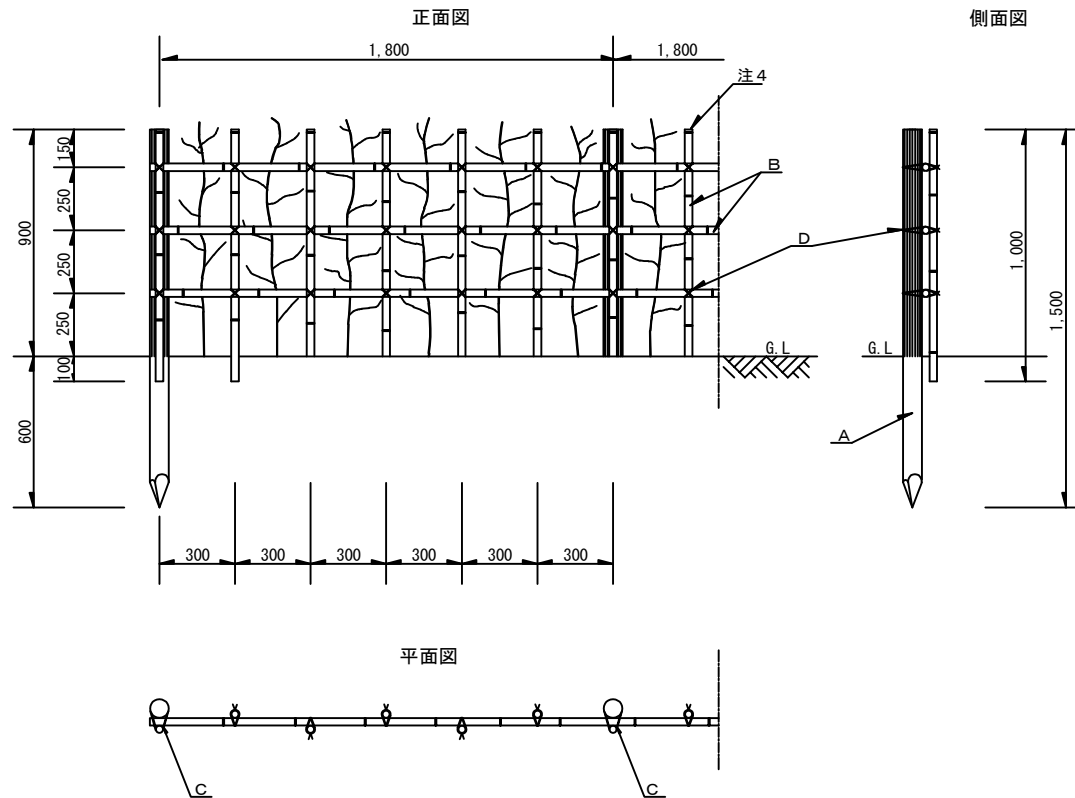
縮尺

1/30

番号

2-3-14

生垣 (H=0.9m)



凡例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.5m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薫煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	-	1.88

1. 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
2. 樹木は、原則としてH=1.0m以上とする。
3. 樹木は四ツ目垣に棕梠縄（黒）にて結束すること。
(1ヶ所/本)
4. 晒竹の上端は、節止めとする。
5. 樹木間隔は30cmを標準とする。
6. 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
7. 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
8. 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記
仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣D)

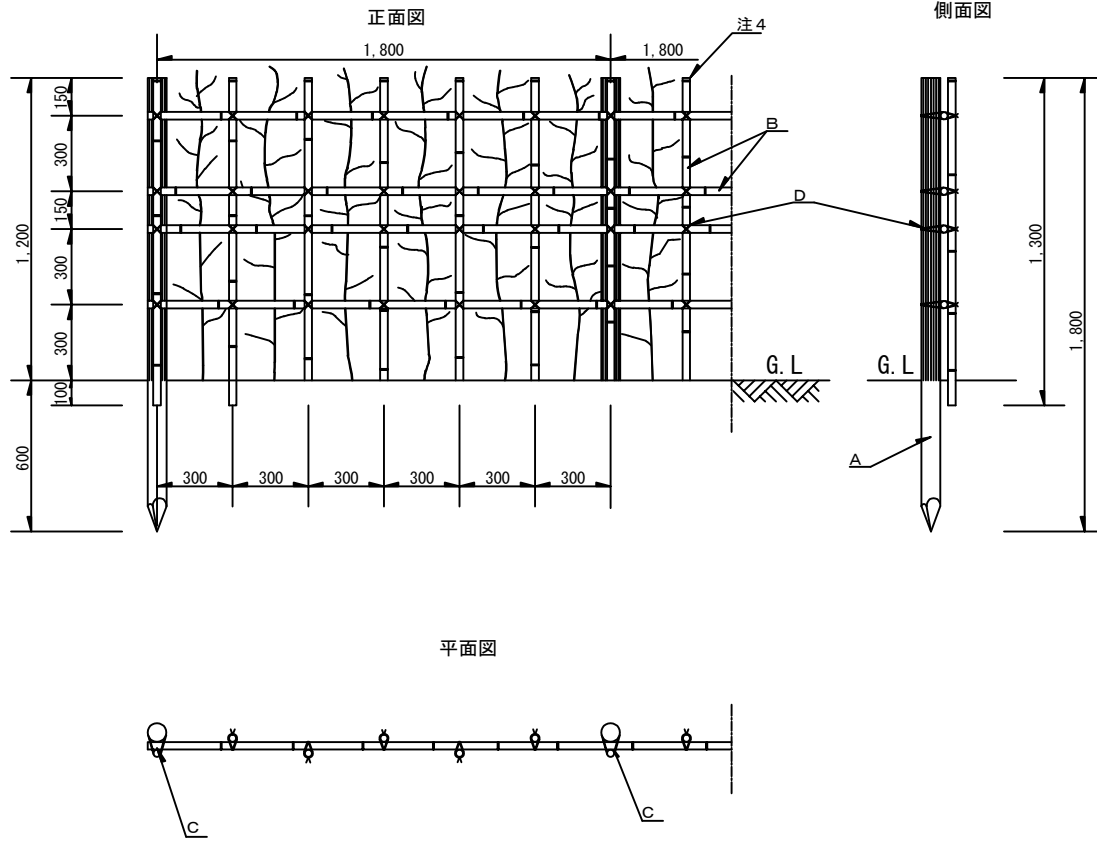
縮尺

1/30

番号

2-3-15

生垣 (H=1.2m)



凡 例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.8m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薰煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)

	客土量 (m3)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	-	1.88

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は原則としてH=1.3m以上とする。
- 樹木は、四ツ目垣に棕梠縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣E)

縮尺

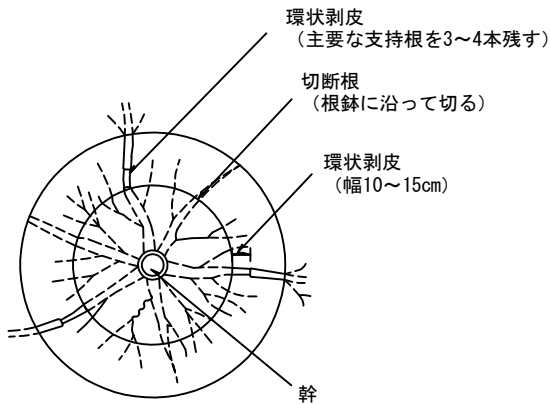
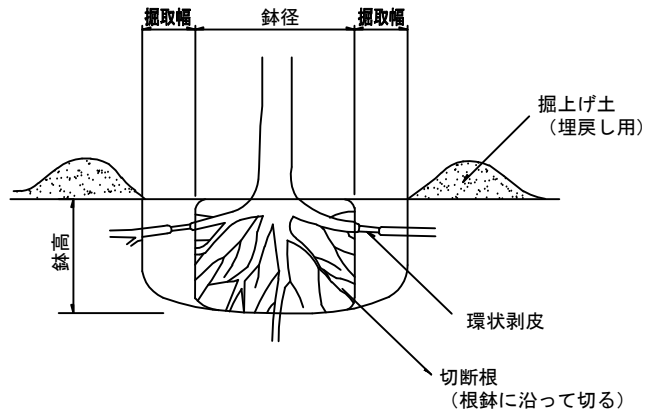
1/30

番号

2-3-16

2-4 移 植 工

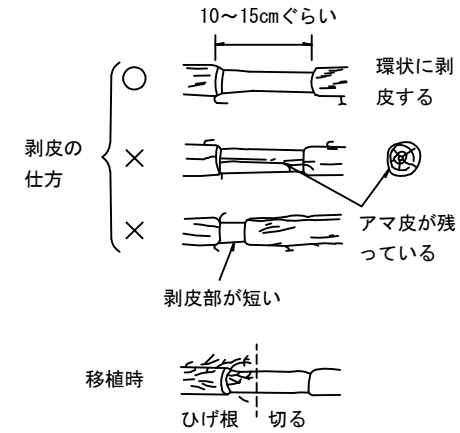
根回し（溝堀式）



* 根回し作業には、養生（セン定合）、床堀、環状剥皮、埋戻し、後片付けを含む。

* 埋戻し後は灌水を十分に行い、発根促進剤等を使用すること。

環状剥皮



* 主要な支持根（直径約4cm以上）は、根鉢より外に出ている部分を幅10~15cm程度、樹皮を鋭利な刃物で成層まできれいに削り取り、剥皮部に消毒剤を塗布すること。

根回し仕様一覧表

（参考資料）

幹周 (cm)	鉢径	鉢高	掘取幅
30cm未満	66	45	33
30cm以上 35cm未満	71	48	34
35cm以上 45cm未満	90	59	36
45cm以上 60cm未満	113	74	39
60cm以上 75cm未満	141	91	42
75cm以上 90cm未満	170	108	46
90cm以上 120cm未満	215	136	51

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

根回し工仕様

縮尺

—

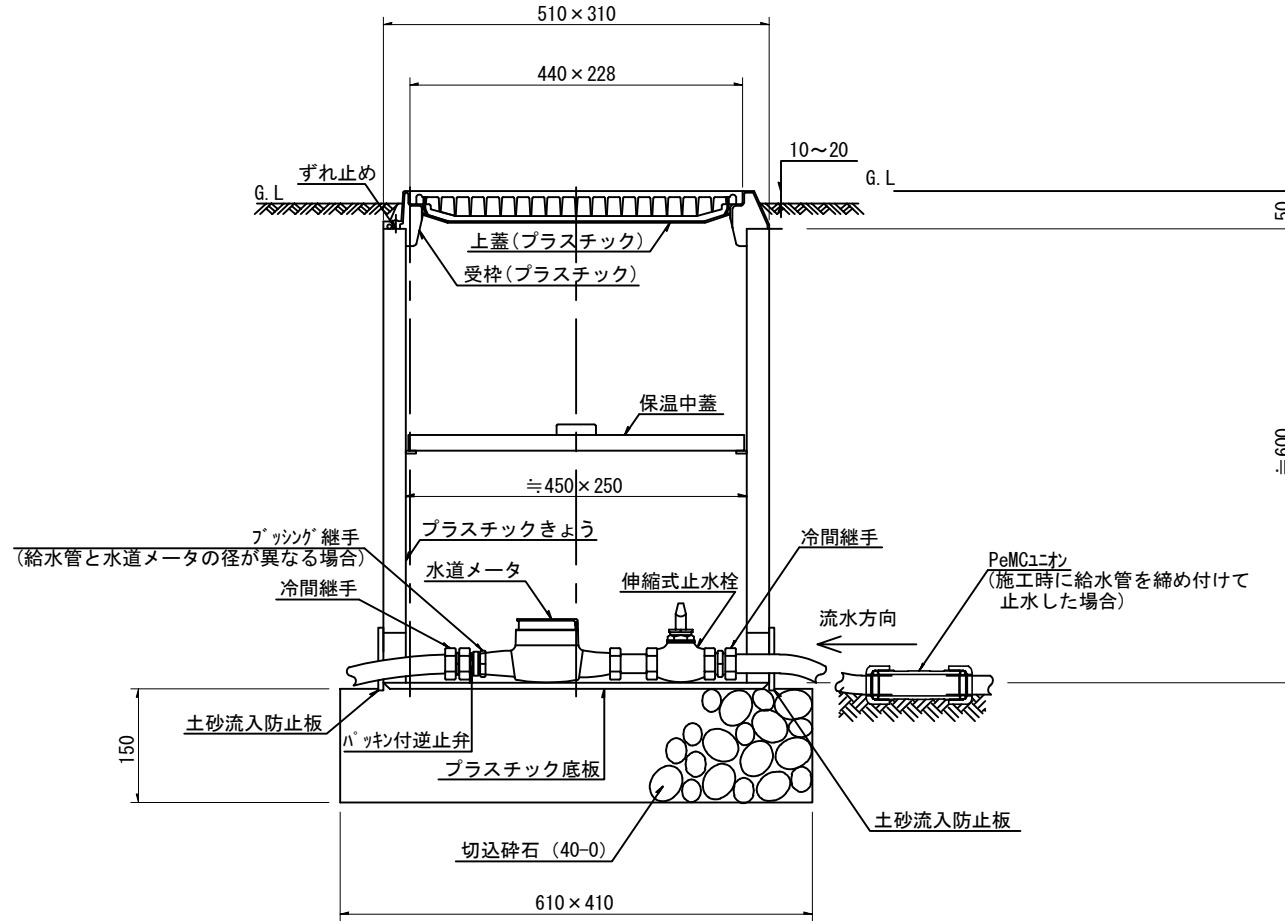
番号

2-4-1

3-3 給水設備工

水道メータきょう IV型 (改)

水道メーター口径13~25mmに適用する。



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

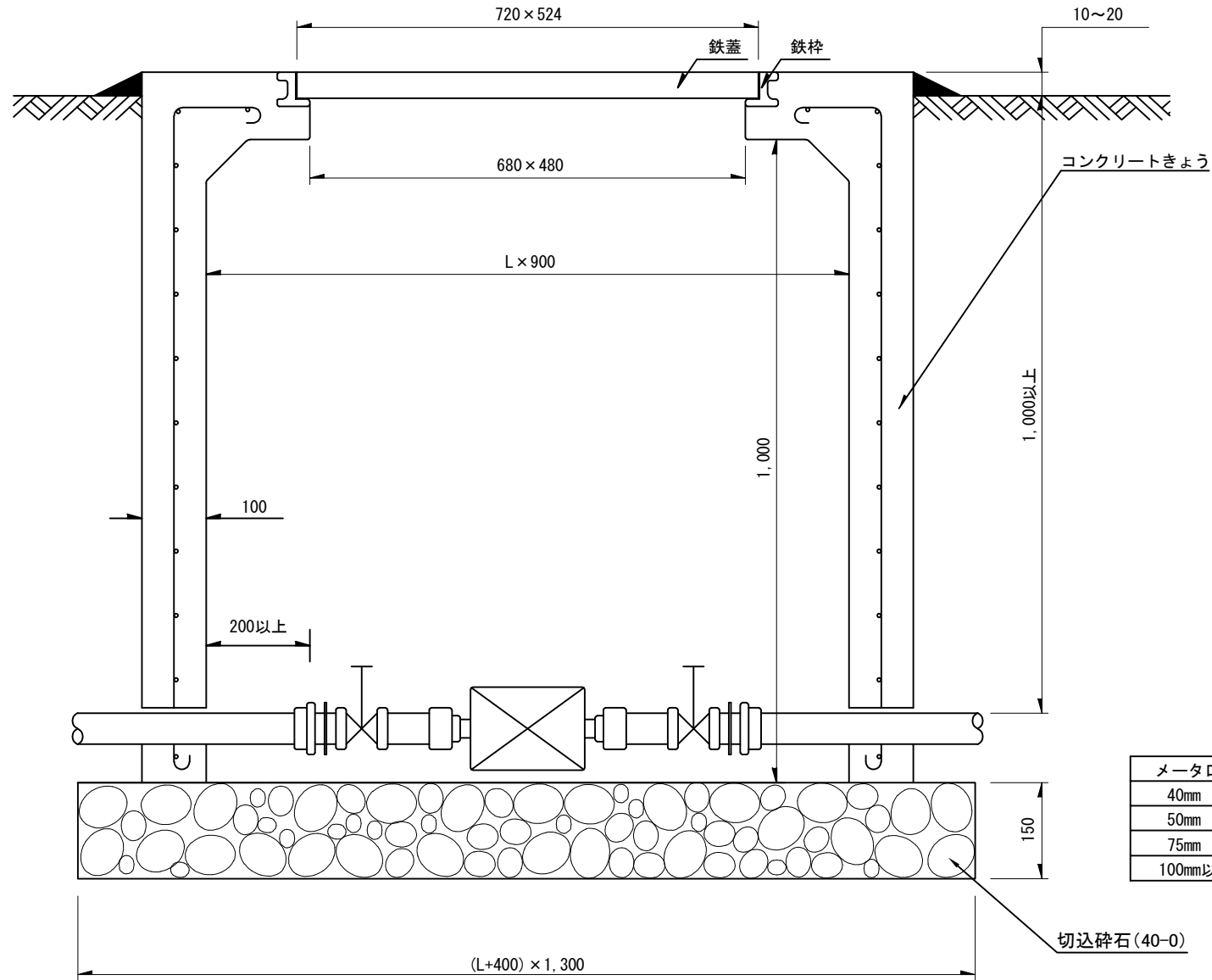
特記仕様

- 伸縮式止水栓について、新設はボール止水栓、改造等はボール止水栓及び甲形止水栓とする。
- 止水栓については、JWWA B 108規格品とする。ただし、ハンドルはキー(角)型とし、本市指定の閉栓キャップが設置できるものとする。
- 施工時に給水管を締め付けて止水した場合は、PeMC継手を取付けたうえ接続すること。

図面名称
水道メータ設置標準図

縮尺	1/10	番号	3-3-1
----	------	----	-------

大型水道メータきょう設置標準図



メータ口径	L寸法	備 考
40mm	1,000	
50mm	1,400	
75mm	2,400	継輪を含む
100mm以上	設 計	継輪を含む

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

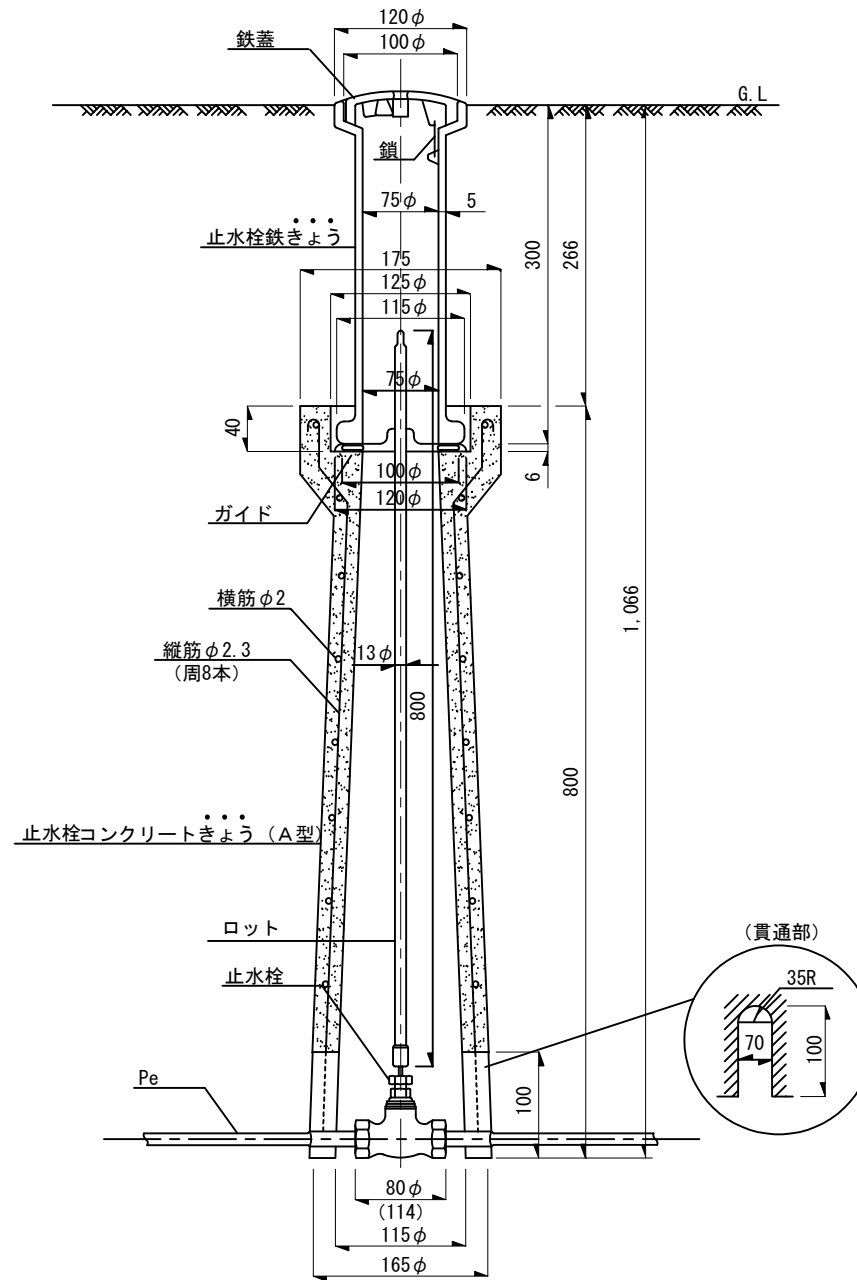
図面名称
大型水道メータきょう設置標準図

縮尺

1/10

番号

3-3-2



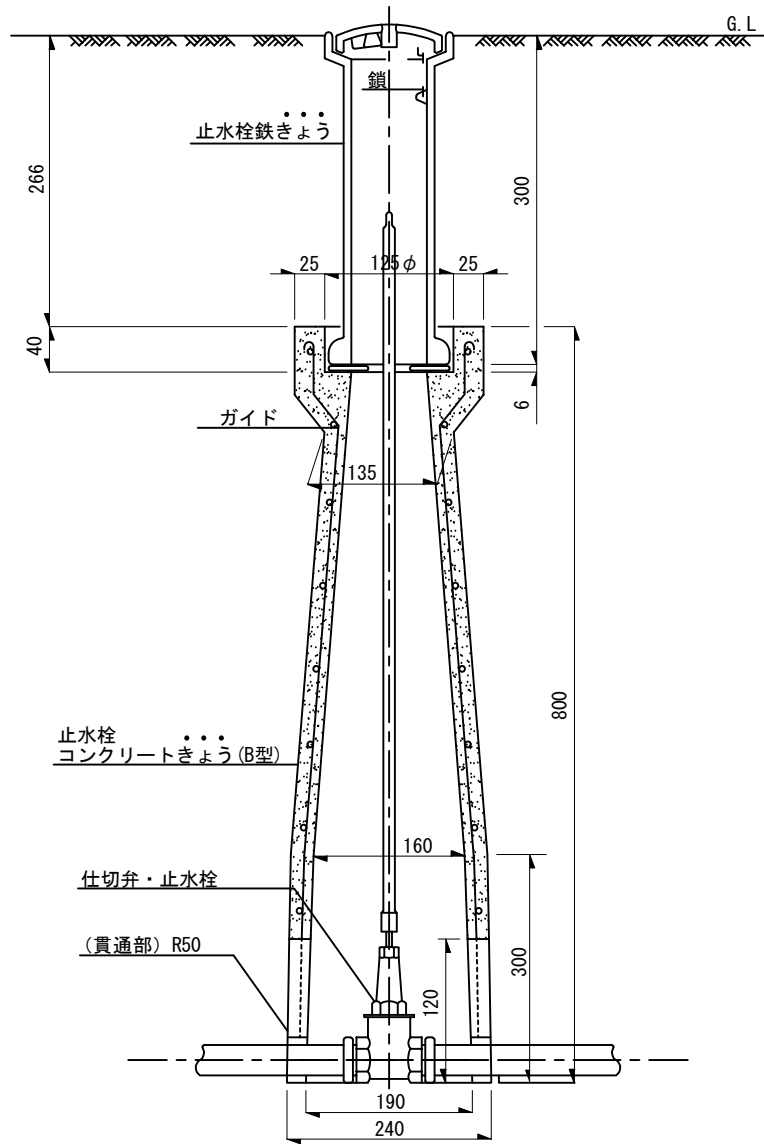
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 宅地内の止水栓口径φ13mm~25mmに適用する。

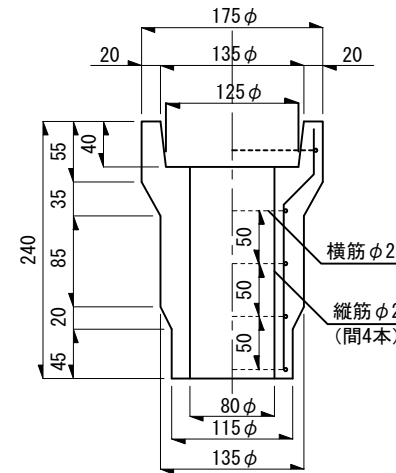
図面名称 止水栓きょう A-800
(φ13mm~φ25mm)

縮尺	—	番号	3-3-3
----	---	----	-------



使用区分	名称	型式	備考
宅地内	仕切弁 (1・1/4~2B)	B型	H=1,066mm
道路内	止水栓 (13mm~25mm) 仕切弁 (1・1/4~2B)	BC型	H=1,266mm

止水栓コンクリートきょう (C型)



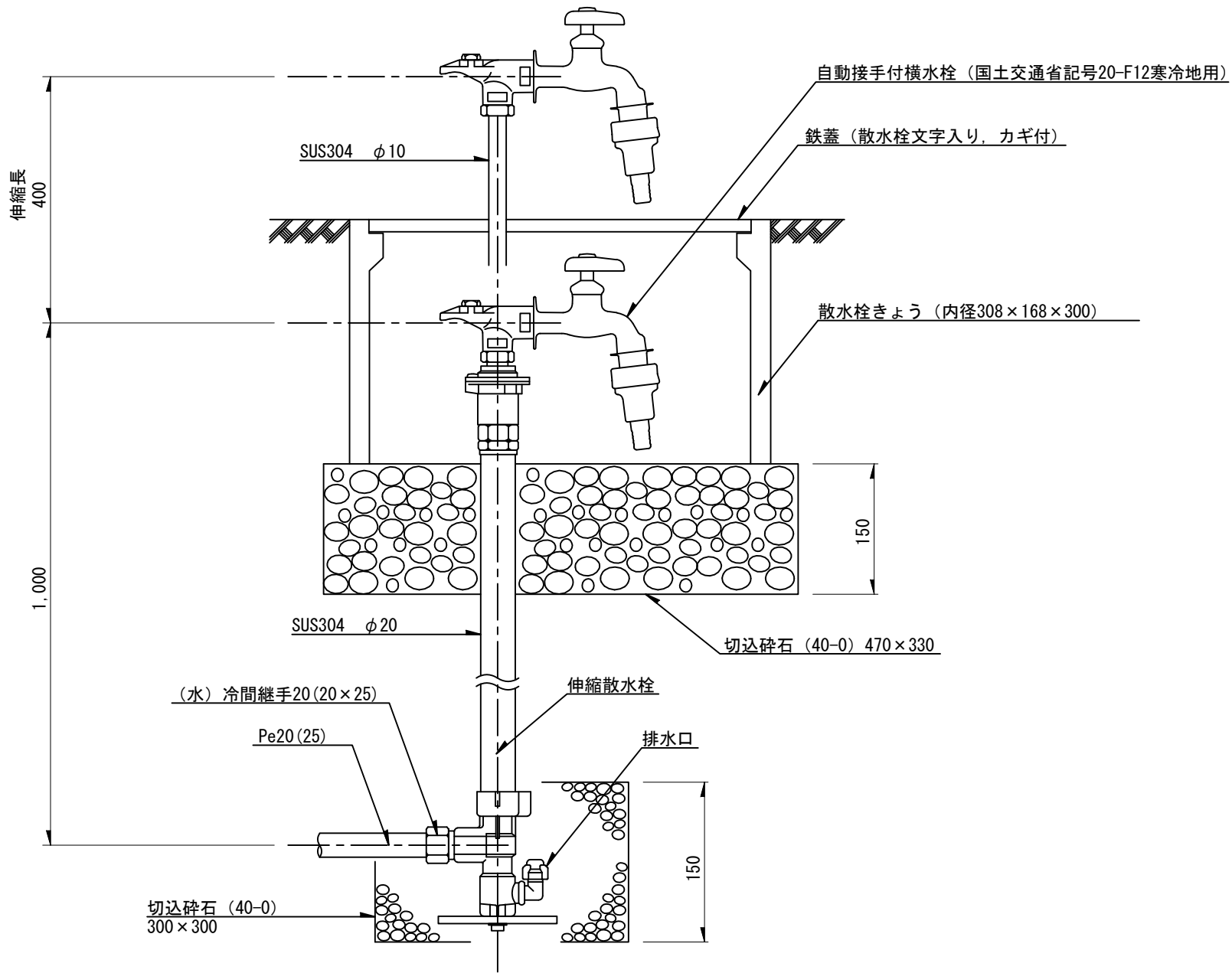
C型コンクリートきょうは、B型コンクリートきょうの上部に据付けBC型きょうとして使用する。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称 止水栓きょう B型及びBC型
(φ13mm~φ50mm)

縮尺	—	番号	3-3-4
----	---	----	-------



Pe管25mmのときは冷間継手 20×25

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

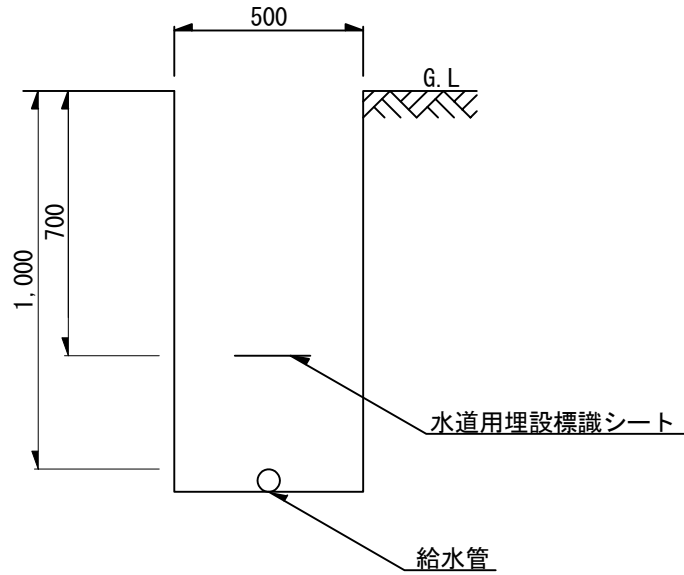
特記仕様

1. JIS、またはJWWA認証品
2. 散水栓きょうのカギは、取り外しハンドルタイプを基本とし、維持管理上支障のないように考慮の上で決定すること

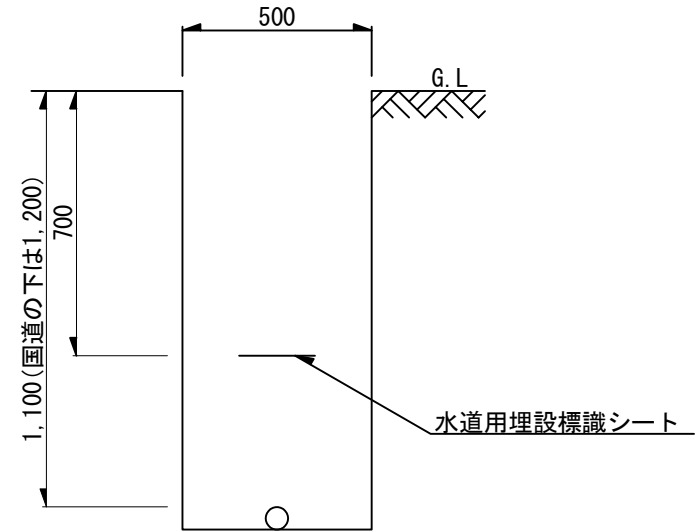
図面名称
伸縮散水栓設置標準図

縮尺	—	番号	3-3-5
----	---	----	-------

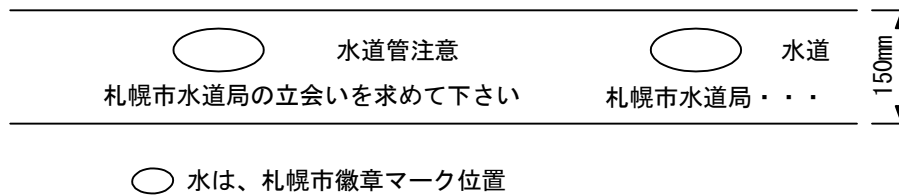
歩行者用園路及び歩道



管理用園路及び車道



水道用埋設標識シート



※ 字体、「水道局」及び「マーク」は、本市の規定字体とする。

製品規格

主材料	ポリエチレン(JIS Z 1702)	
幅	150mm	
長さ	50m巻	
折込み	2倍折込み	
シートの色	青色	
文字等の色	白色	
文字の大きさ	上段	50mm角
	中段	30mm角
	市徽章	50mm角

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 分水栓、割T字、T字管における取出し及び閉止箇所の掘削標準土工定規については、給水装置工事設計施工指針平成27年度改訂版を参照のこと。
2. 水道用埋設標識シートの品質の試験方法は、日本工業規格(JIS, K. 6772)ビニールゲージによるものとする。

図面名称

給水管埋設断面図

縮尺

1/20

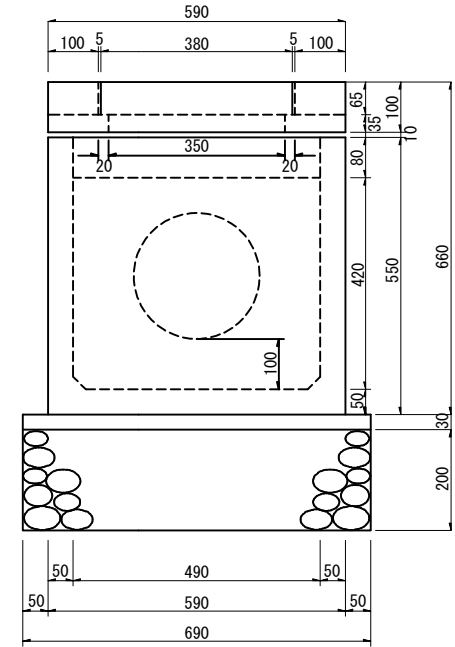
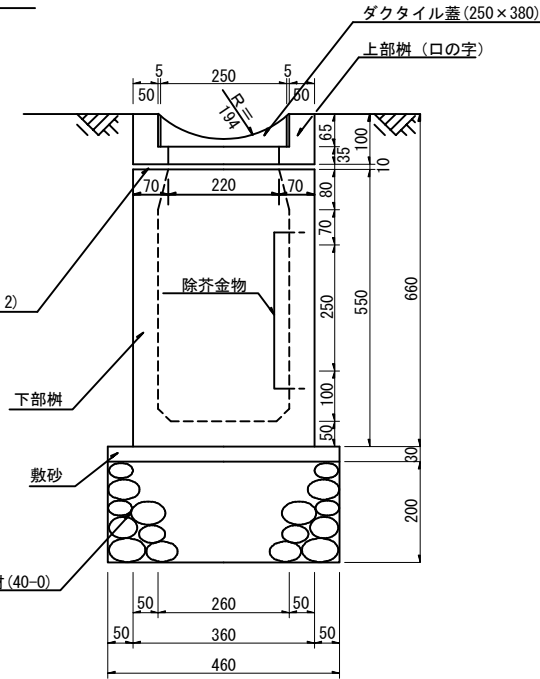
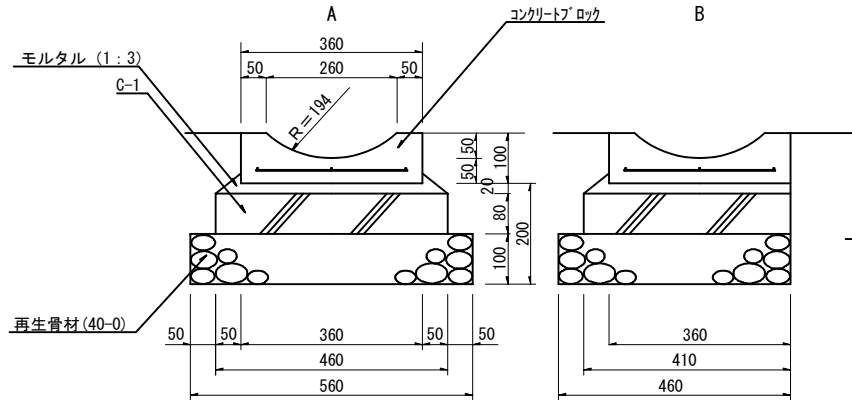
番号

3-3-6

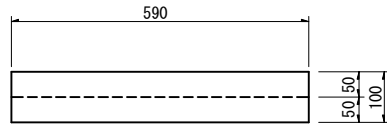
3-4 雨水排水設備工

皿型側溝 (札幌市規格、D型)

皿型側溝集水樹



側面図



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 目地幅10mm, モルタル (1:2) を使用。

図面名称
皿型側溝・皿型用集水樹

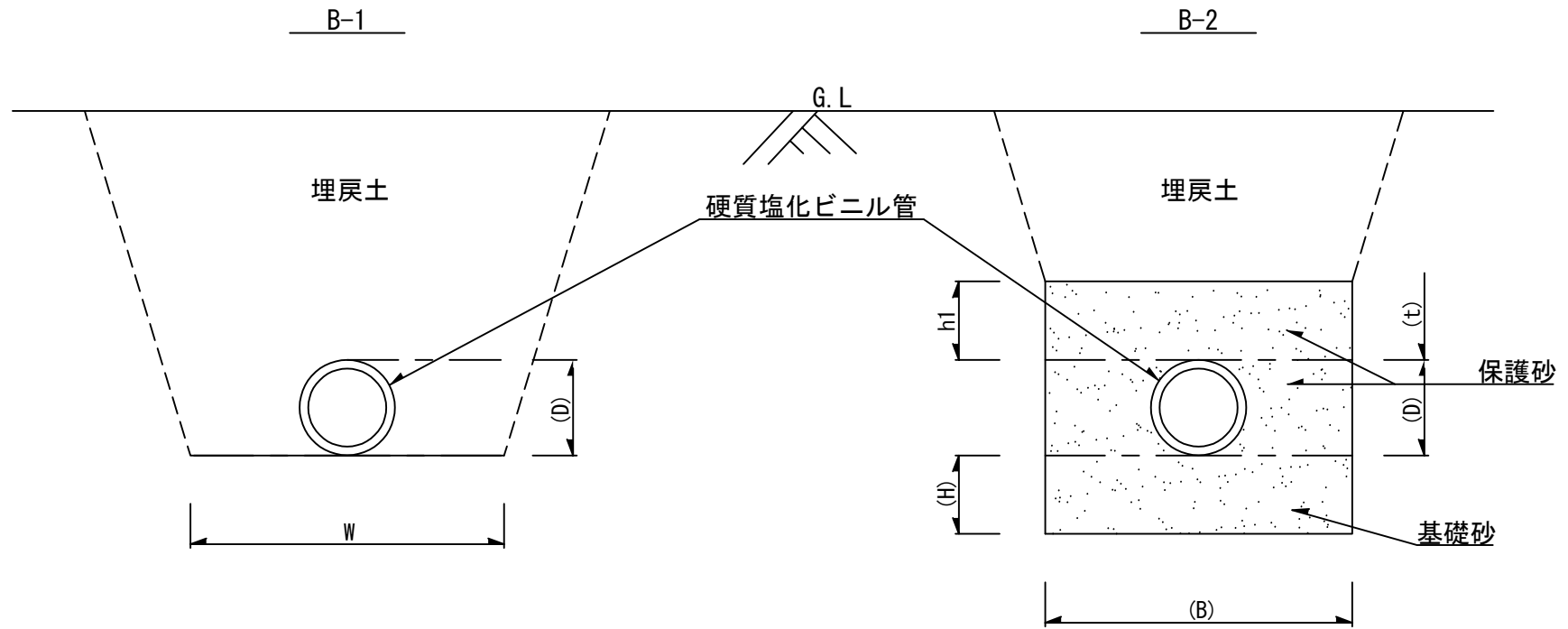
縮尺

1/15

番号

3-4-1

縦断管B 断面図



管径 D (mm)	150	200	250	300	350
掘削幅 W (mm)	850	850	850	900	950

(m当り)

管径 D (mm)	管外径 t (mm)	基礎厚 H (m)	基礎幅 B (m)	基礎砂			備考
				管頂防護厚 h1 (m)	管残土量 v1 (m3)	基礎砂計 V1 (m3)	
150	165	0.10	0.85	0.10	0.021	0.289	
200	216	0.10	0.85	0.10	0.037	0.317	
250	267	0.15	0.85	0.10	0.056	0.383	

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 砂質土、火山灰等の地盤ではB-1とし、掘削法面勾配は現地地盤・掘削深を考慮すること。B-2については特殊な場合に使用のこと。
- 著しい軟弱地盤等では、他の工法を検討すること。
- 土留なし、木矢板土留に適用。(鋼矢板土留は掘削幅200mm加算)
- 硬質塩化ビニル管は、JSWAS K-1を使用する。
- リブ付硬質塩化ビニル管については、札幌市下水道設計標準図を参照すること。

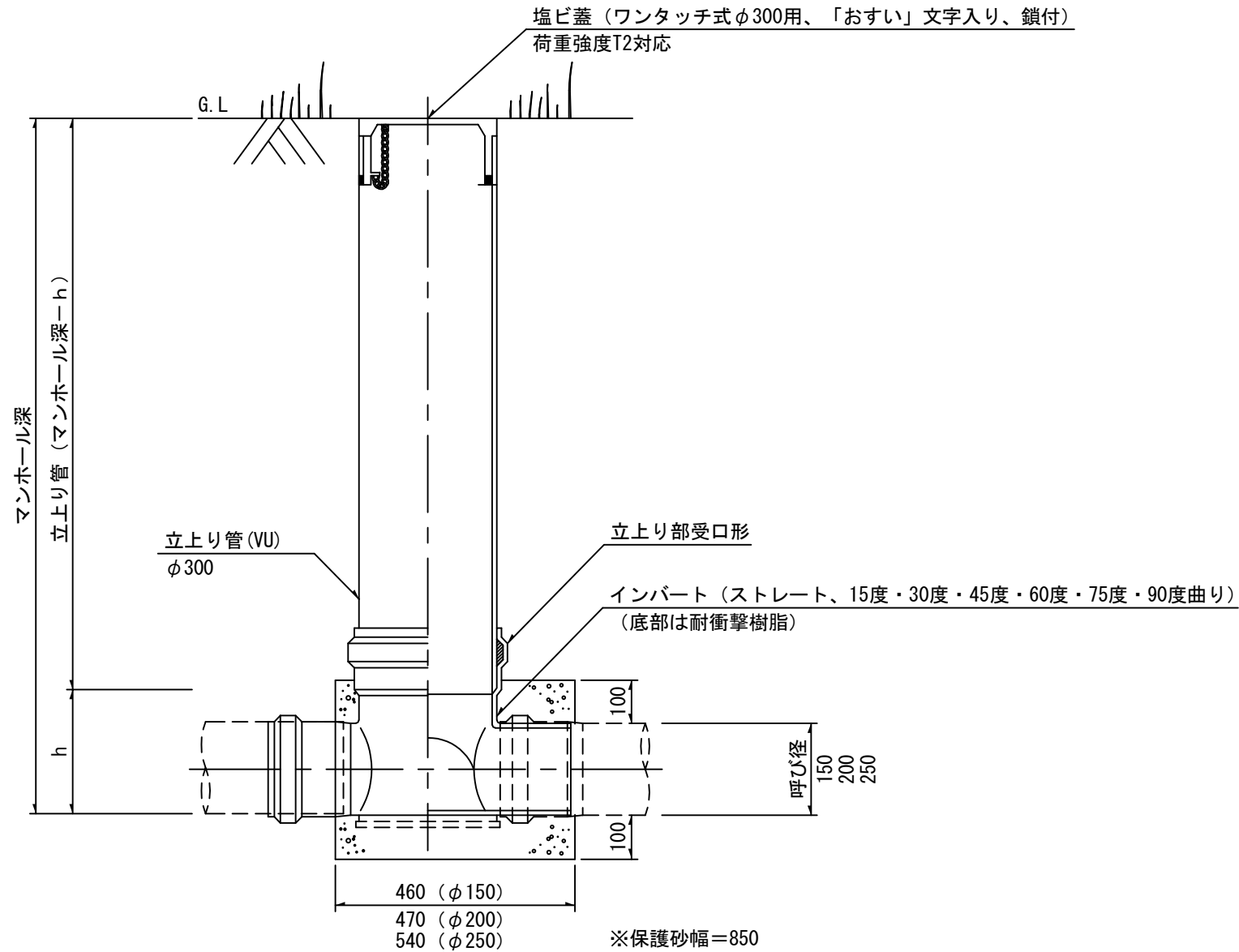
図面名称
硬質塩化ビニル管理設断面

縮尺

—

番号

3-4-2



※流出は差口・立上り管は受口構造とする。

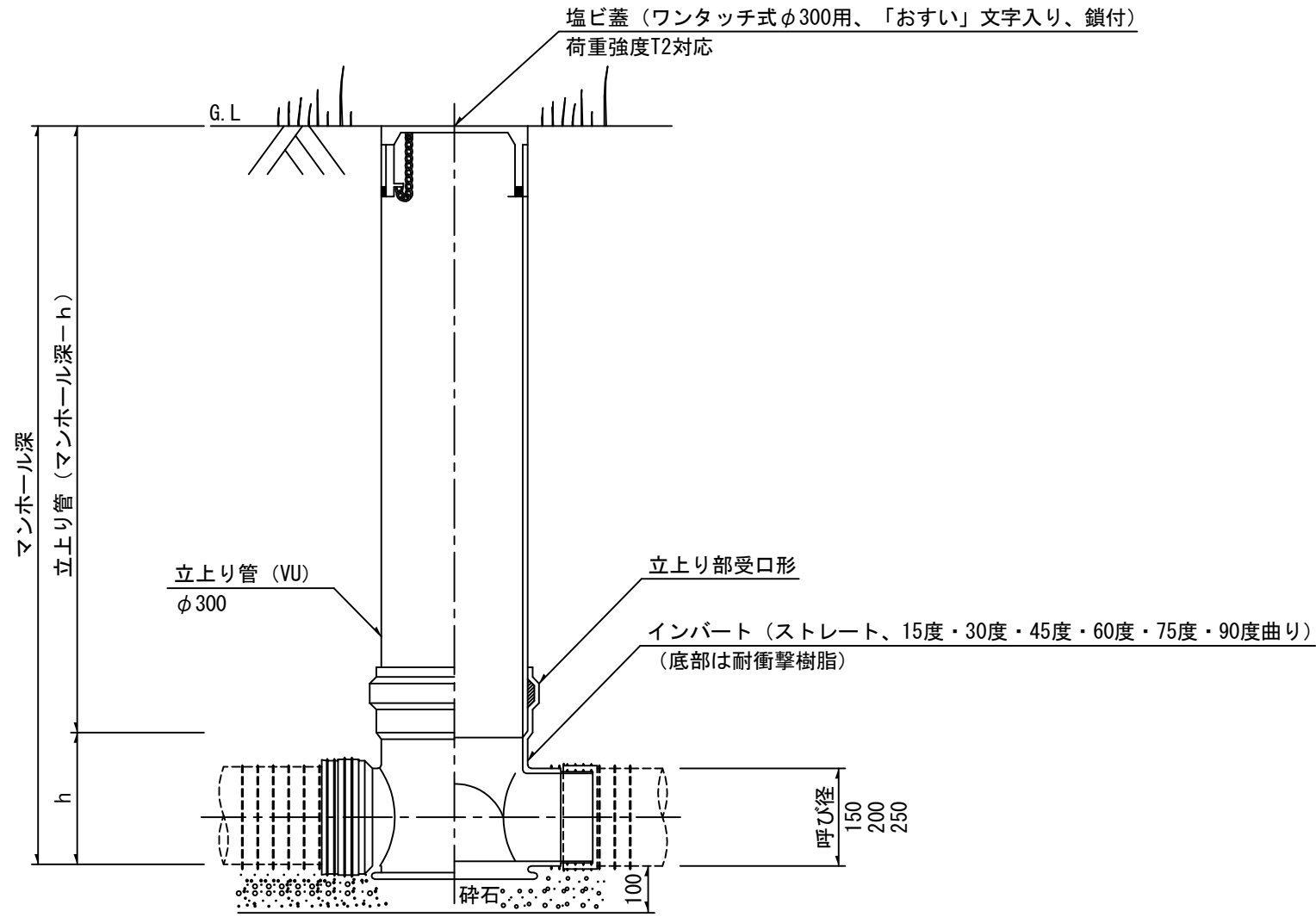
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 高圧洗浄車等でメンテナンスが行える場所に設置すること。
2. 輪荷重のかからない場所に設置すること。
3. 受口形については、承認図を提出し監督員の承諾を得ること。

図面名称
塩ビ製マンホール・塩ビ管用

縮尺	—	番号	3-4-3
----	---	----	-------



※流出は差口・立上り管は受口構造とする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

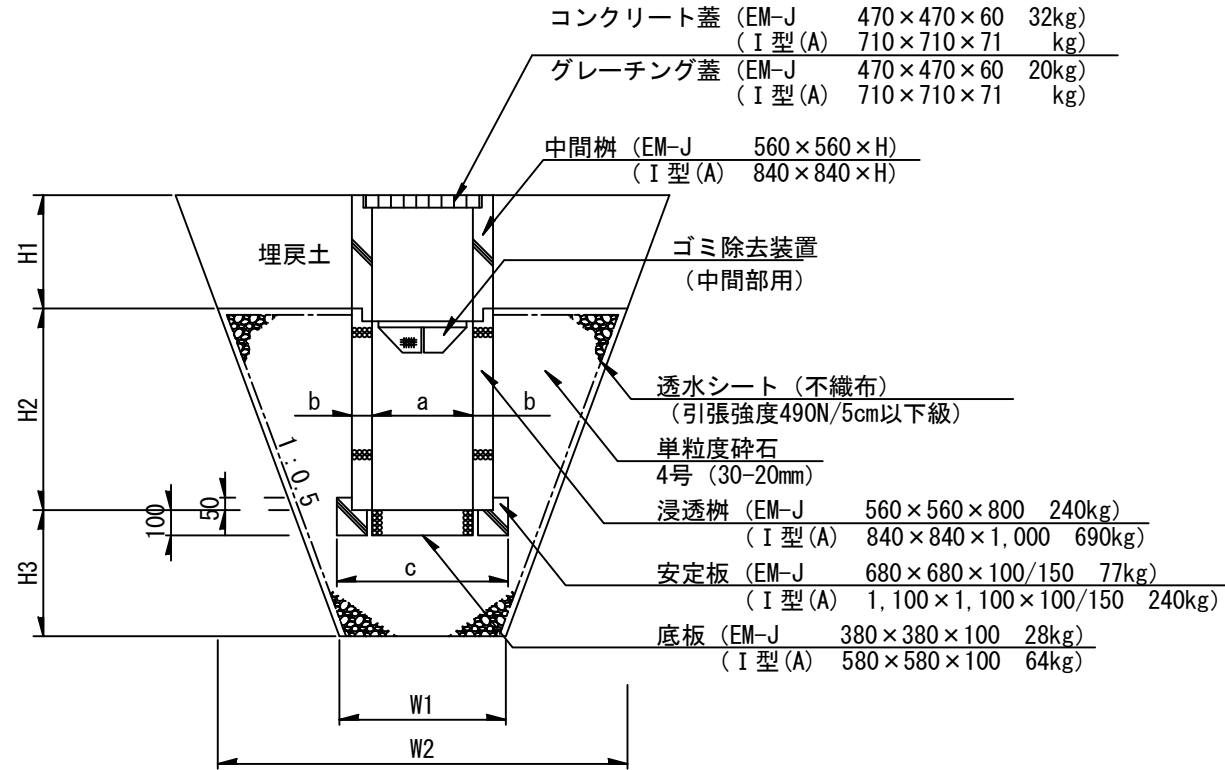
特記仕様
 1. 高圧洗浄車等でメンテナンスが行える場所に設置すること。
 2. 輪荷重のかからない場所に設置すること。
 3. 受口形については、承認図を提出し監督員の承諾を得ること。

図面名称 塩ビ製マンホール・リブ付塩ビ用	
縮尺 —	番号 3-4-4

浸透柵標準断面

(対象土層－火山灰・砂質土・礫及び礫質土)

※掘削深が2mを超える場合
砂質土の掘削構内は1:0.7とする。
※雨水を中間柵の天端から受ける場合
ゴミ除去装置は、グレーチングと受
枠の間に設置する。



	a	b	c	W1	W2	H2	H3
EM-J型	400	80	680	900	2,200	800	500
I型(A)	600	120	1,100	1,200	2,700	1,000	500

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

浸透柵標準断面図

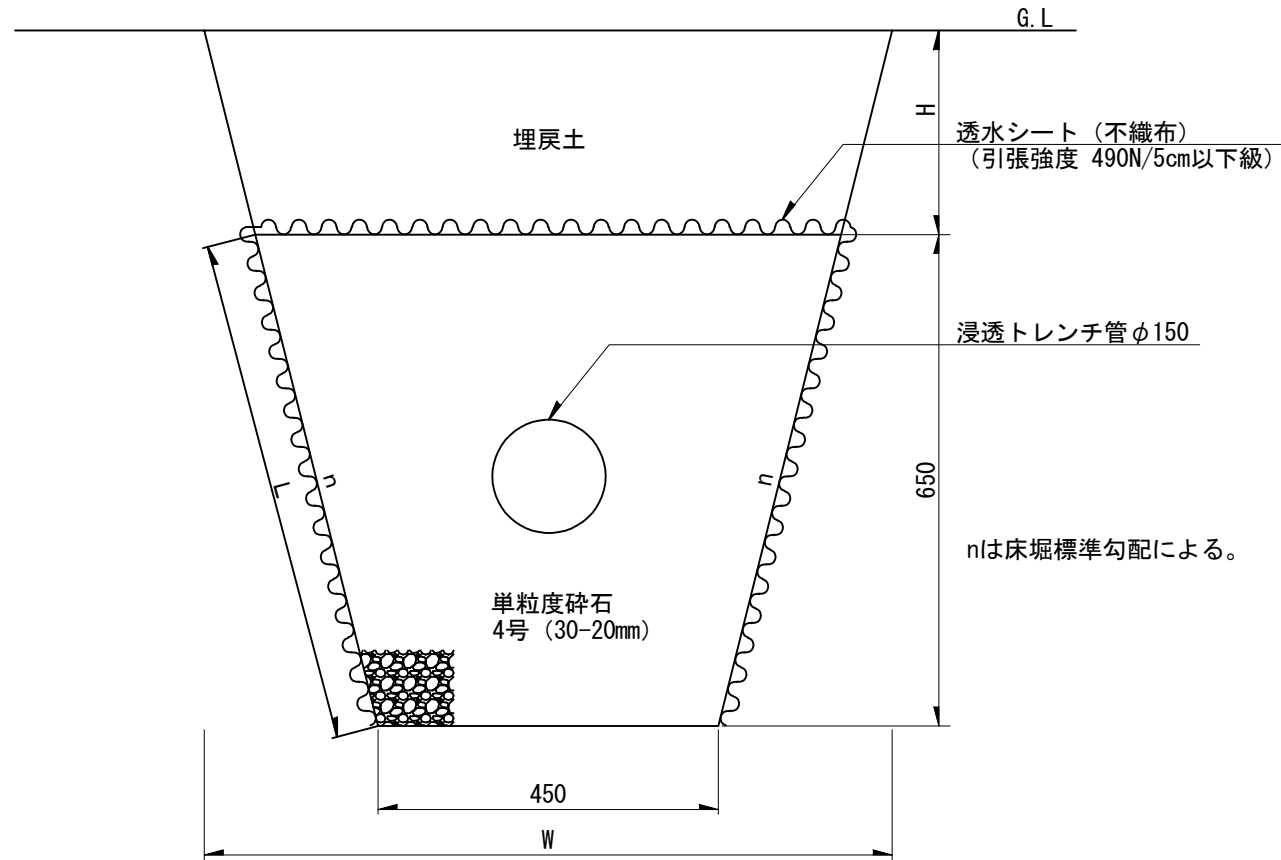
縮尺

—

番号

3-4-5

浸透トレンチ管 埋設断面図



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
浸透トレンチ管埋設断面図

縮尺

1/10

番号

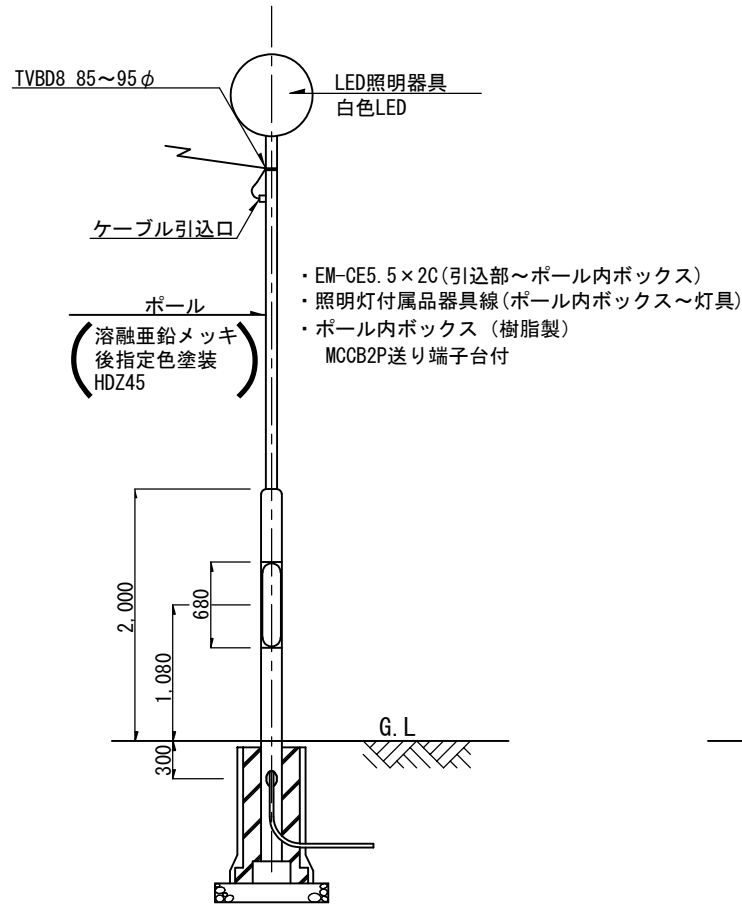
3-4-6

3-6 電 氣 設 備 工

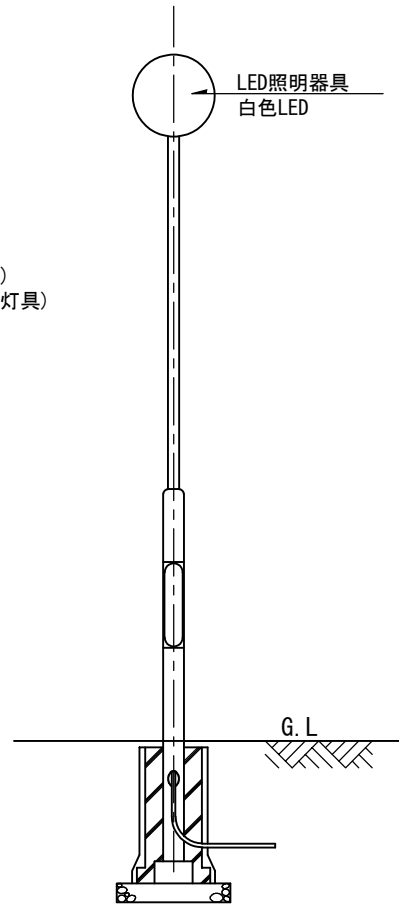
LED照明灯 (灯具) 設備	<p>電気方式 1相2線式 100V/200V 50Hz</p> <p>LED光源用に設計されたもので、蛍光灯・電球などのソケットを持つ器具に、ランプ型LEDを取り付けたものは適合外とする。</p>		
準拠 及び 参考規格	<ol style="list-style-type: none"> (1) 電気用品安全法 技術基準別表第八 (2) JIS C8105-1「照明器具—第1部：安全要求事項通則」 (3) JIS C8105-3「照明器具—第3部：性能要求事項通則」 (4) JIS C8121-2-2「ランプソケット類—第2-2部：プリント回路板ベースLEDモジュール用コネクタに関する安全性能要求事項」 (5) JIS C8147-1「ランプ制御装置—第1部：一般及び安全性要求事項」 (6) JIS C8147-2-13「ランプ制御装置—第2-13部：直流又は交流電源用LEDモジュール用制御装置の個別要求事項」 (7) JIS C61000-3-2：2009 「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値」 (8) JIS C8152「照明用白色発光ダイオード(LED)の測光方法」 (9) JIS C8154「一般用照明LEDモジュール—安全仕様」 (10) JIEG-001 照明学会 技術指針「照明設計の保守率と保守計画」 		
構造	<ol style="list-style-type: none"> (1) 灯具は、堅牢で防水性、耐食性を有し、保守点検が容易なもので、正常な使用状態において、機械的、電氣的、及び光学的にその機能を保持できるものとする。 (2) 灯具は、取り付け金具を使用して、指定の鋼管ポールに取り付けできるものとし、取り付け後容易に脱落しないものとする。 (3) 灯具は「積雪しにくい構造」、「点灯による発熱が灯具の積雪面に直接伝わりにくい構造」、「適切な水きり構造」などを有し、氷柱が生じにくいものとする。 (4) 灯具の材質は、硬質ガラス以外とする。 		
性能	<ol style="list-style-type: none"> (1) 適用温度は、-10℃～35℃とする。 (2) 光学性能は、設計図書による。 最低限、光束0lm以上、水平面照度1Lx範囲0m以上を工事図面に記載すること。 (3) 平均演色評価数(Ra)は60以上とする。 (4) 防水・防塵性能は、IP23相当以上とする。 (5) 自動点滅器を内蔵しないものとする。 (6) 電源装置は、LEDモジュールの定格電流値以下に制御された安定化した定電流を出力するものとする。 (7) 構造、配光及び電源装置の機能は、正常な使用状態において、札幌市の環境下で10年程度の耐用年数を有するものとする。 (8) 正常な使用状態で点灯させて、周囲温度25℃が連続した状態を想定し、40,000時間以上の期待寿命（器具光束又は光度が、初期に比べ70%に低下するまでの時間を寿命とした場合）を有するものとする。 		
<p>札幌市造園工事 標準図</p> <p>札幌市建設局みどりの推進部</p>	特 記 仕 様	<p>図面名称 LED照明灯特記仕様1</p>	
		縮 尺	<p>—</p> <p>番 号 3-6-1-1</p>

<p>表 示</p>	<p>ポール内ボックスに、容易に消えない方法で次の事項を表示するものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 型式 (2) 使用電圧 (V) (3) 入力電流 (A) (4) 入力容量 (VA) (5) 製造年月またはその略称 (6) 製造社名またはその略称 													
<p>保護装置・試験等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 絶縁抵抗 冷間時に、入力端子を一括したものと非充電金属部との間の絶縁抵抗を、JISC1302「絶縁抵抗計」に規定する500V絶縁抵抗計またはこれらと同等の精度を有する測定器で測定し、30MΩ以上であること。 (2) 耐電圧 絶縁抵抗試験のすぐ後で、充電部と非充電部との間の周波数50Hzの正弦波に近い1,500Vの試験電圧を1分間加えた時に、これに耐えるものとする。 (3) 高周波 JIS C61000-3-2のCクラス規格に適合すること。 (4) 雷サージ JIS C61000-4-5レベルⅩ試験電圧10kVに適合すること。 (5) 配光曲線、正弦等光度図、照明率曲線及び設計図書記載の光学性能における照度曲線のほか、試験成績書等、本仕様を満足していることを確認できる書類について、本市が求めた場合には速やかに提出すること。 (6) 提出書類は全て日本語で作成すること。 													
<p>保 証</p>	<p>灯具の不具合が発生した場合は、設置後3年間は、無償で交換すること。ただし、灯具メーカーの不備によらない不具合を除く。</p>													
<p>札幌市造園工事 標 準 図 札幌市建設局みどりの推進部</p>	<p>特記仕様</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">図面名称</td> </tr> <tr> <td colspan="3">LED照明灯特記仕様2</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3-6-1-2</td> </tr> </table>	図面名称			LED照明灯特記仕様2			縮尺	—	番号			3-6-1-2
図面名称														
LED照明灯特記仕様2														
縮尺	—	番号												
		3-6-1-2												

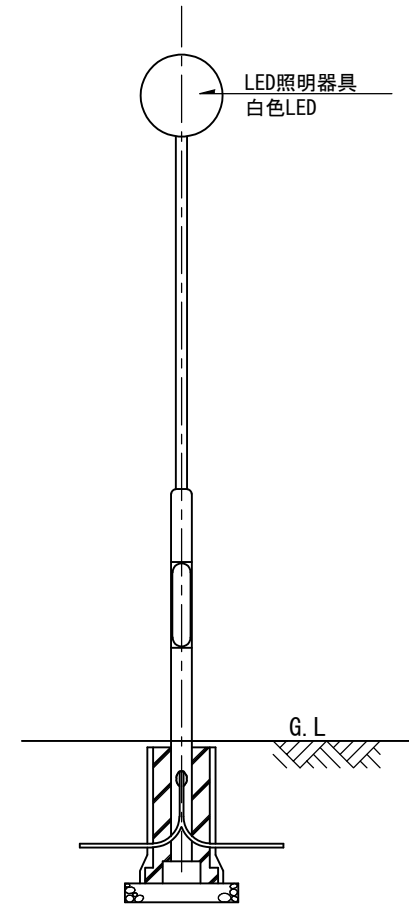
架空引込単柱用
架空引込地中送り用



地中引込端末用



地中引込中継用



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 照明器具からのアースをとること。
2. ポールの塗装についてはウレタン樹脂塗装(2回塗り)とする。
3. 接地を施すこと。(片側一方のみ)
4. LED照明器具及びLED点灯電源装置については、承認図によること。
5. 基礎は札幌市造園工事標準図「照明灯基礎拡大図」による。

6. 照明灯ポールは札幌市造園工事標準図「照明灯ポール詳細図」による。
7. その他、詳細については、LED照明灯特記仕様によること。

図面名称

LED照明灯姿図

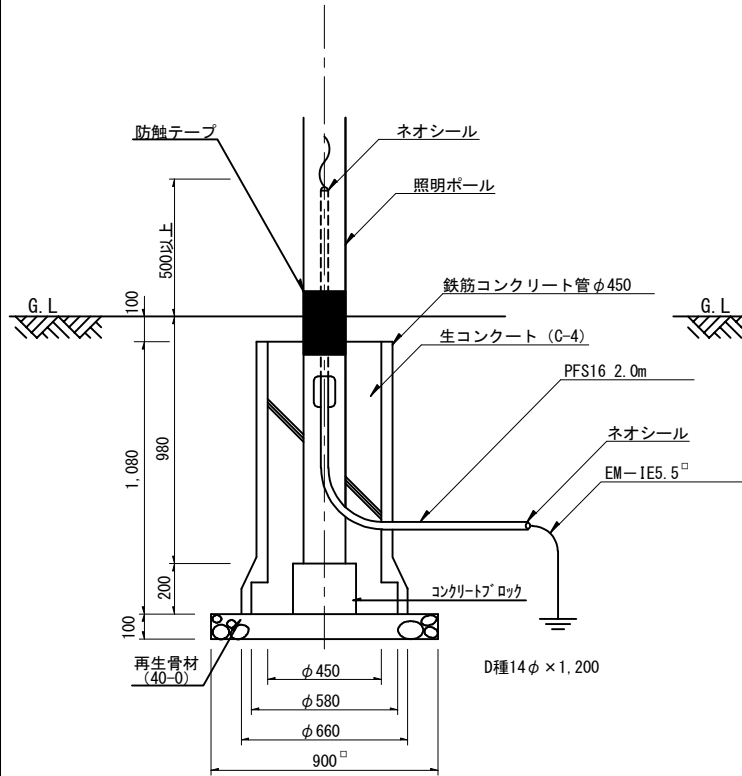
縮尺

1/60

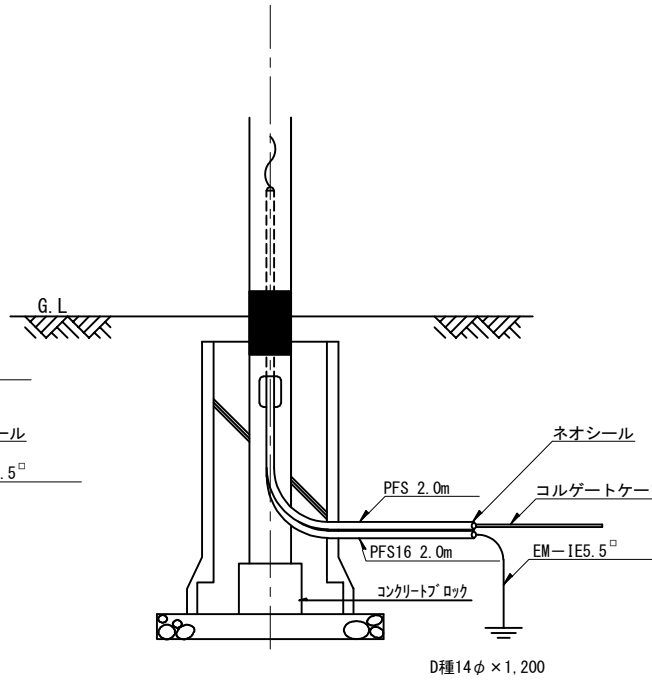
番号

3-6-2

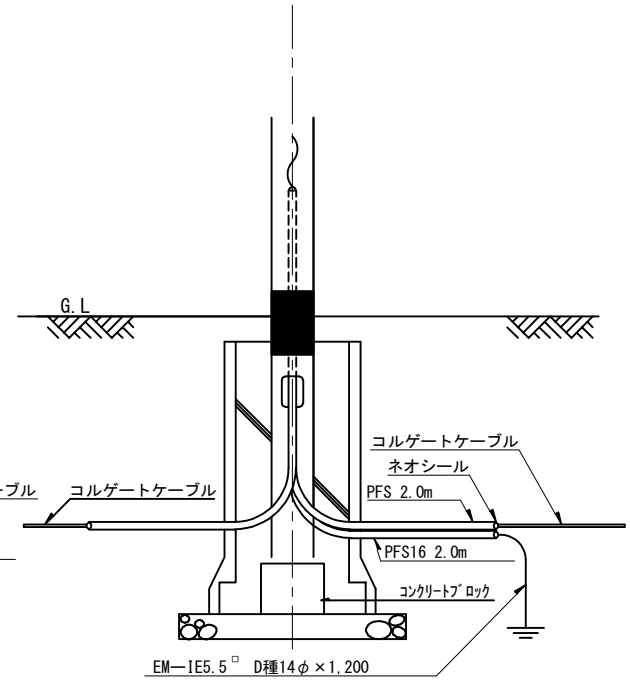
架空引込単柱用



地中引込末端用
架空引込地中送り用



地中引込中継用



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 接地線用のPF-S管はφ16を標準とする。
2. コルゲートケーブル用のPF-S管径は、造園工事積算基準によること。
3. 照明基礎からポール内ボックスまでの管内配線（立上管）延長は1.60mとする。

図面名称

照明灯基礎拡大図

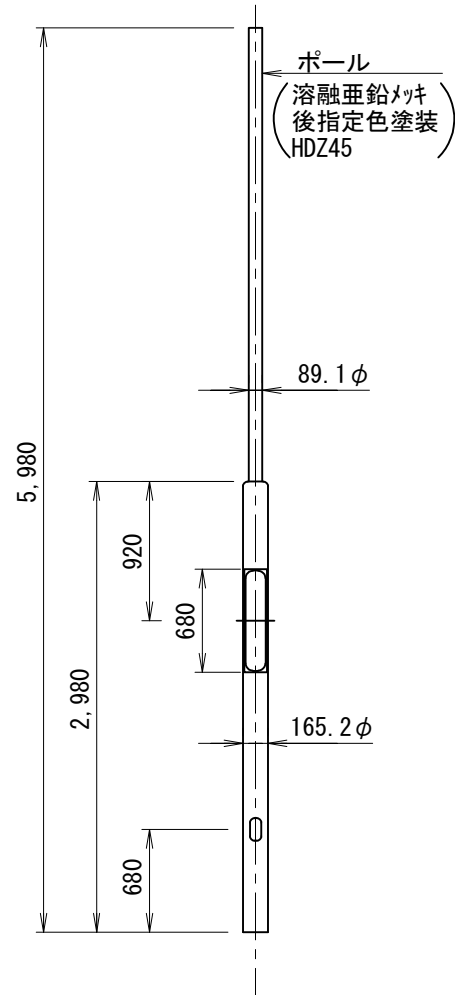
縮尺

1/30

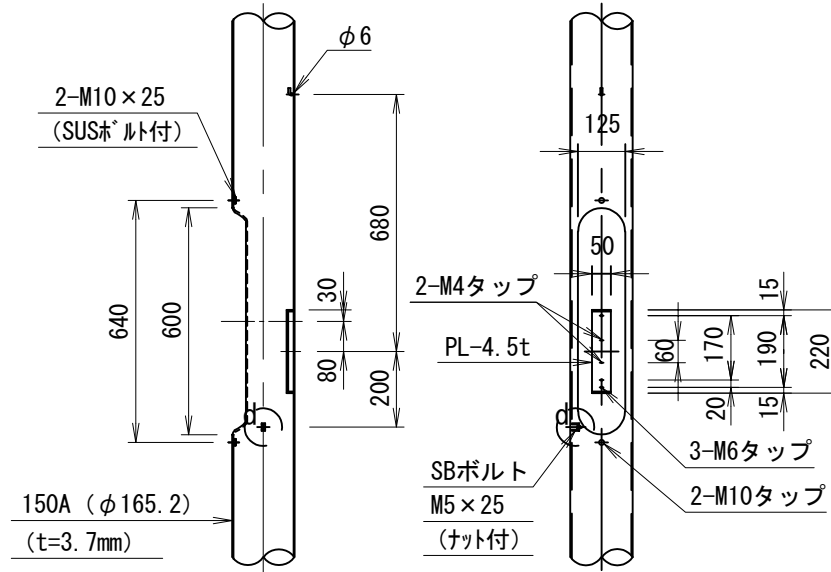
番号

3-6-3

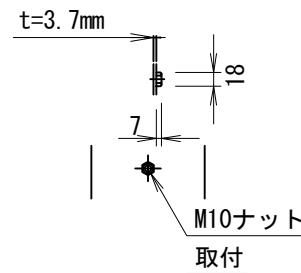
丸型段付ポール S=1:50



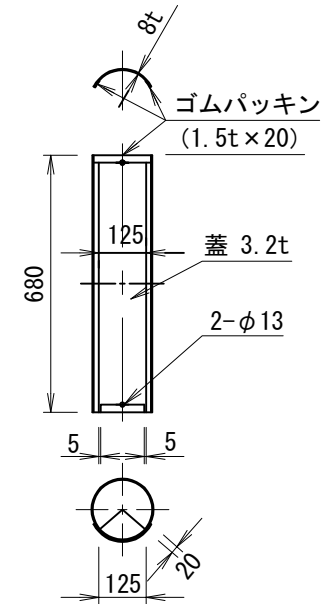
開口部詳細図 S=1:20



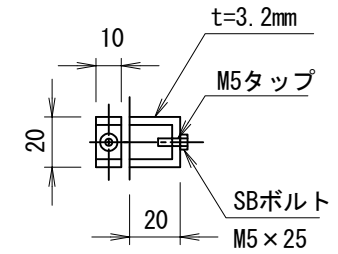
M10ナット取付部詳細図 S=1:10



蓋 S=1:20



d部詳細図 S=1:3



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. ポールの塗装についてはウレタン樹脂塗装 (2回塗り) とする。

図面名称

照明灯ポール詳細図

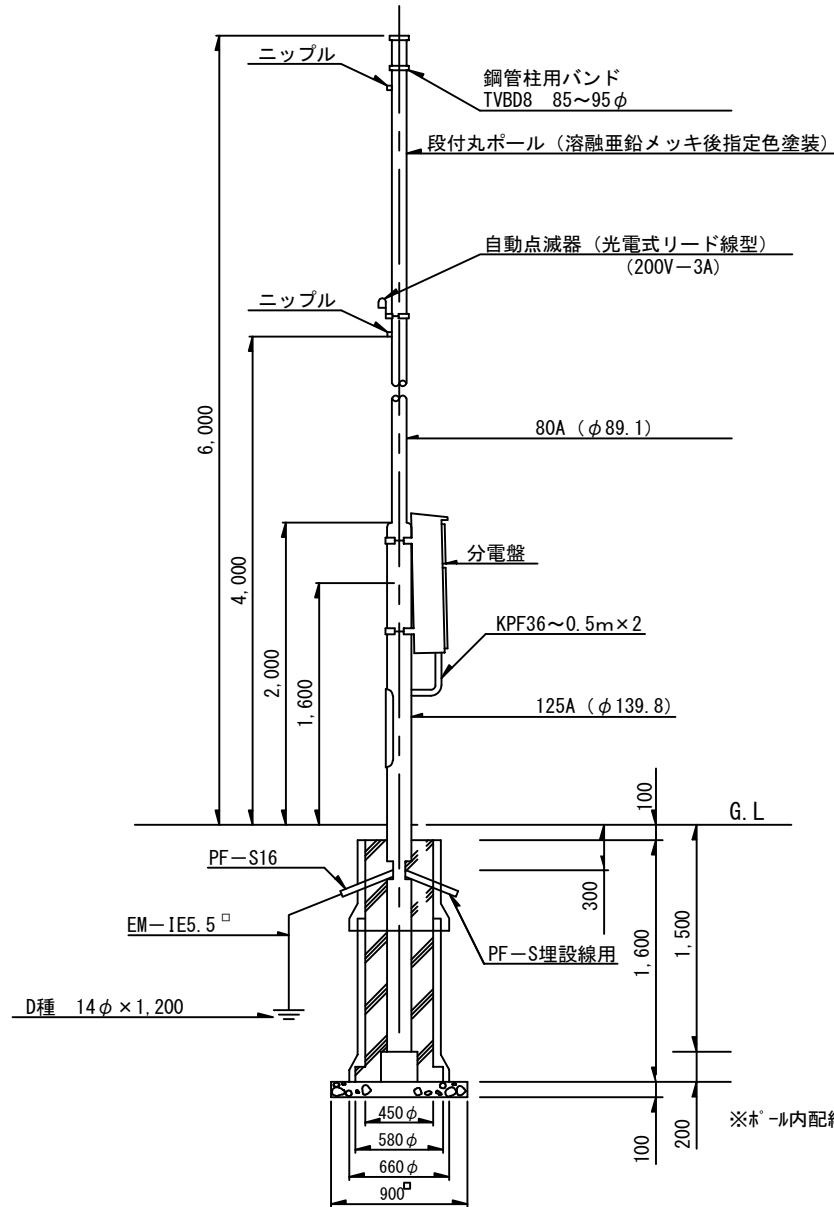
縮尺

図示

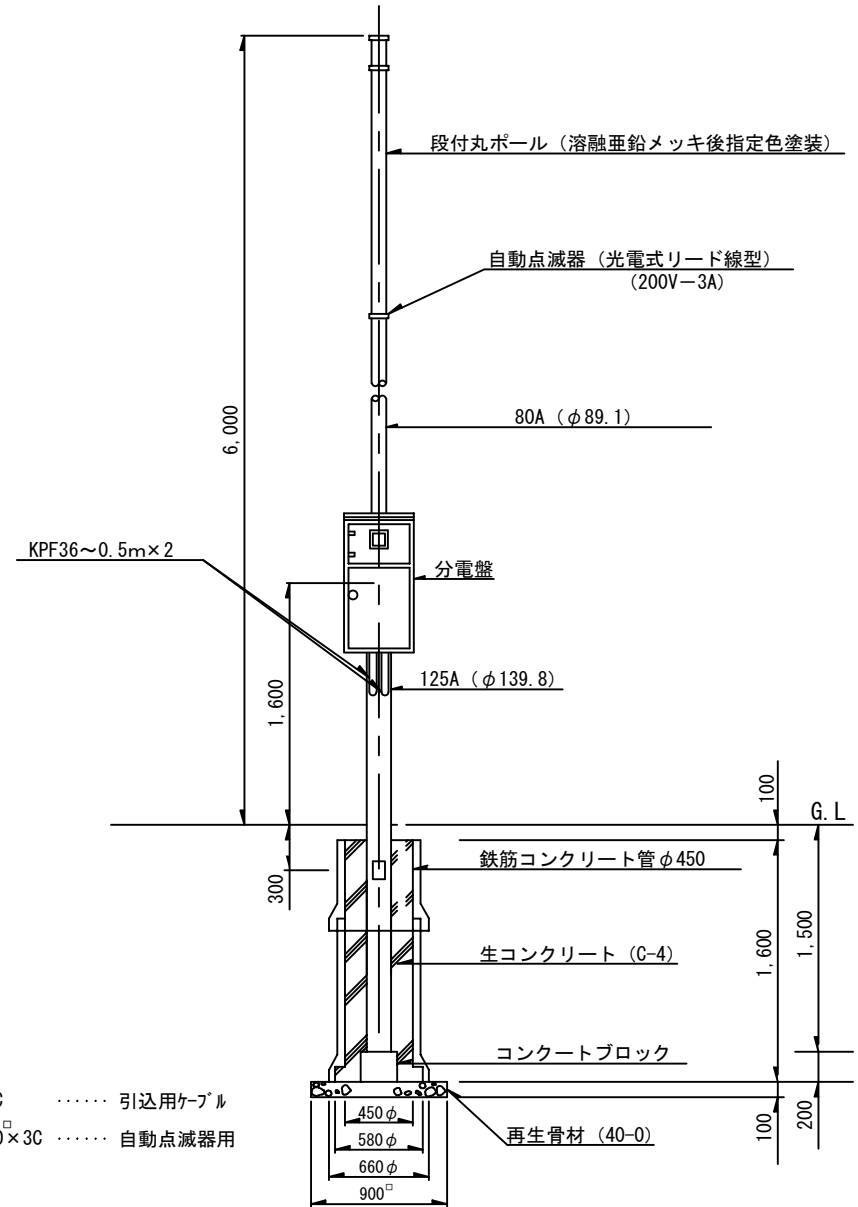
番号

3-6-4

側面図



正面図



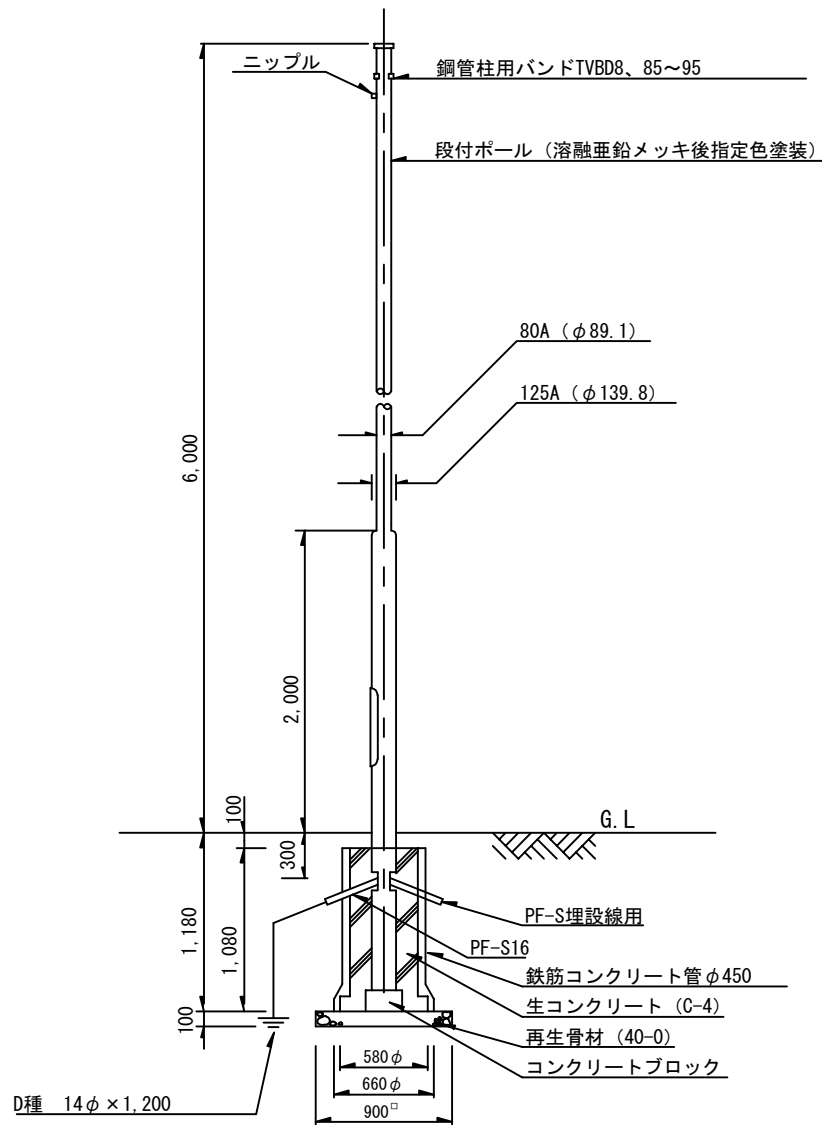
※ポール内配線 { EM-CE×2C 引込用ケーブル
EM-EER2.0×3C 自動点滅器用

特記仕様 1. ポールの塗装についてはウレタン樹脂塗装 (2回塗り) とする。

図面名称 引込柱姿図 (分電盤あり)

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

縮尺 1/50
番号 3-6-5



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. ポールの塗装についてはウレタン樹脂塗装(2回塗り)とする。

図面名称
引込柱姿図(分電盤なし)

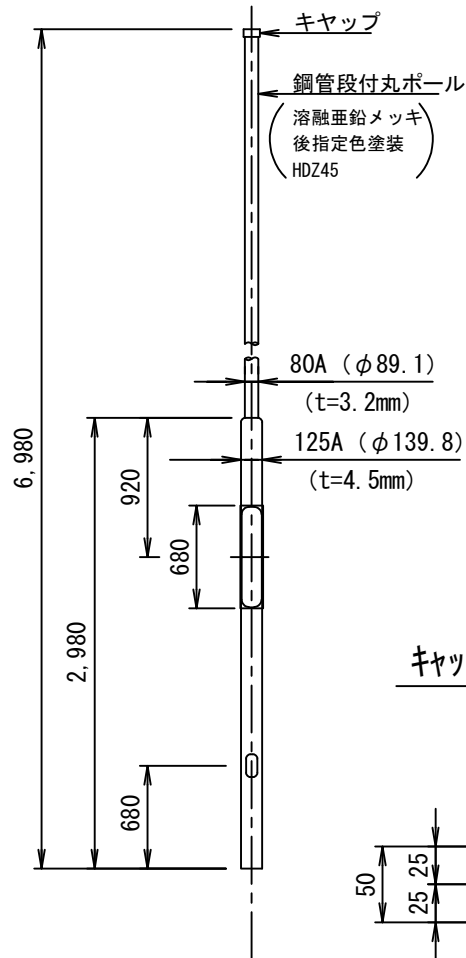
縮尺

1/50

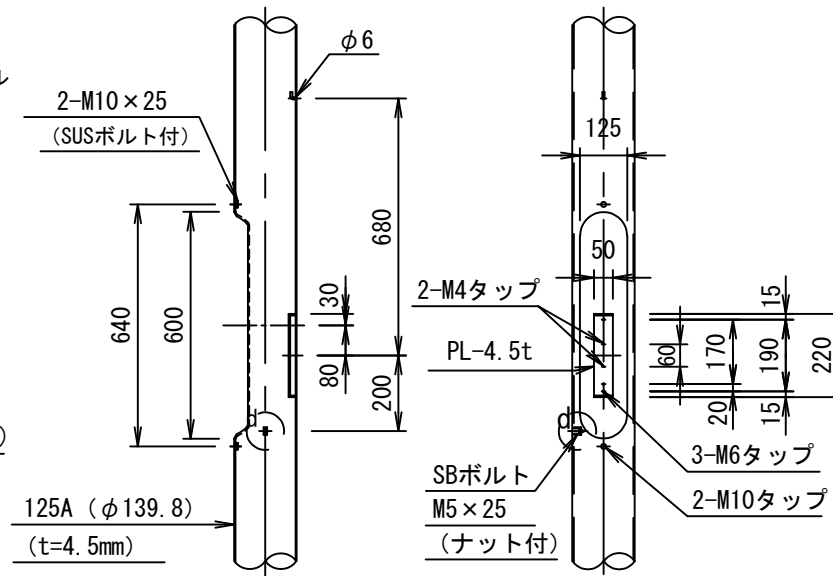
番号

3-6-6

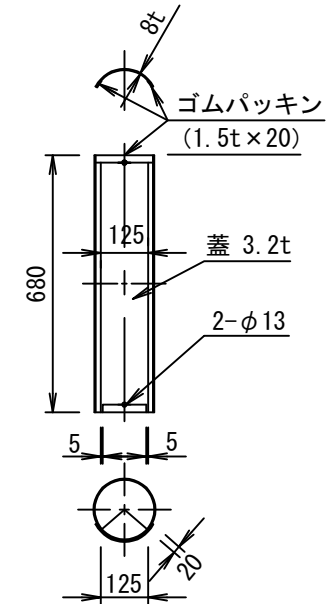
引込柱姿図 S=1:50



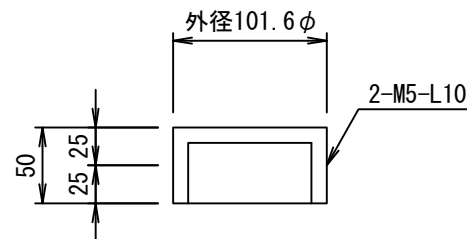
開口部詳細図 S=1:20



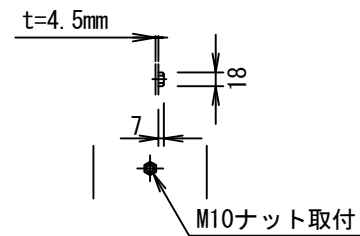
蓋 S=1:20



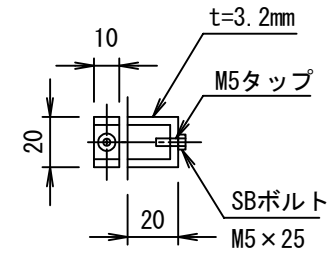
キャップ詳細図 S=1:5



M10ナット取付部詳細図 S=1:10



d部詳細図 S=1:3



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. ポールの塗装についてはウレタン樹脂塗装 (2回塗り) とする。

図面名称

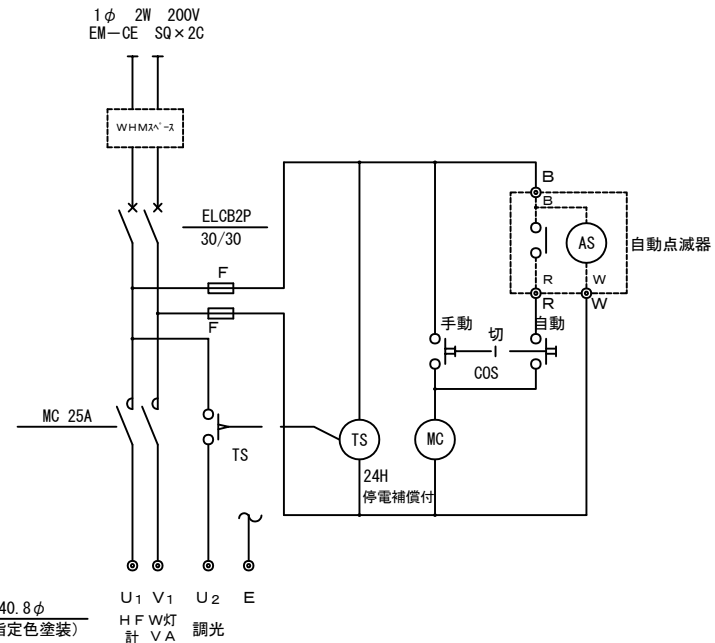
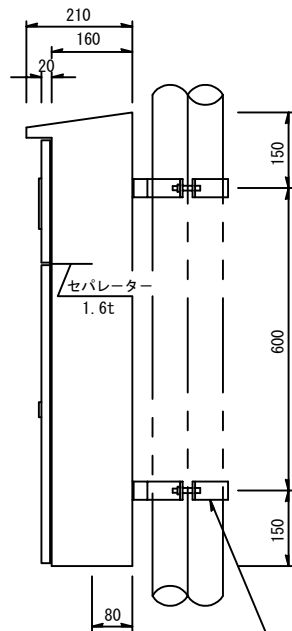
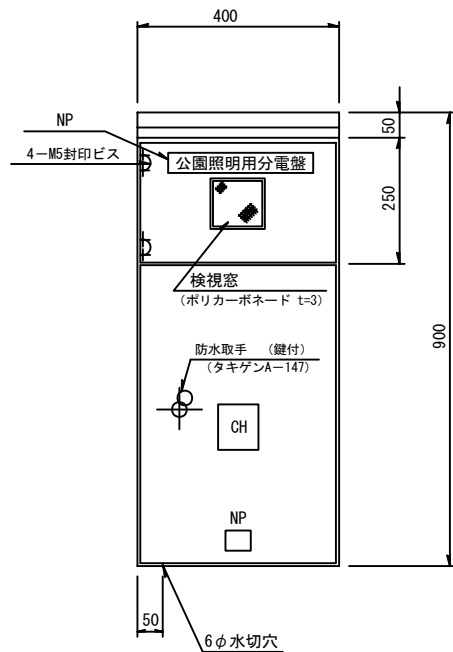
引込柱ポール詳細図

縮尺

図示

番号

3-6-7



盤仕様

(製作盤)

HF-300W=12灯まで

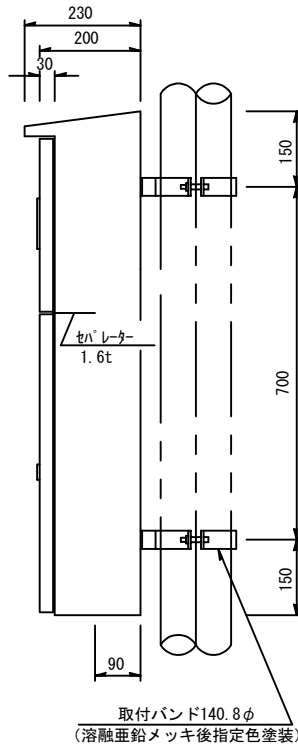
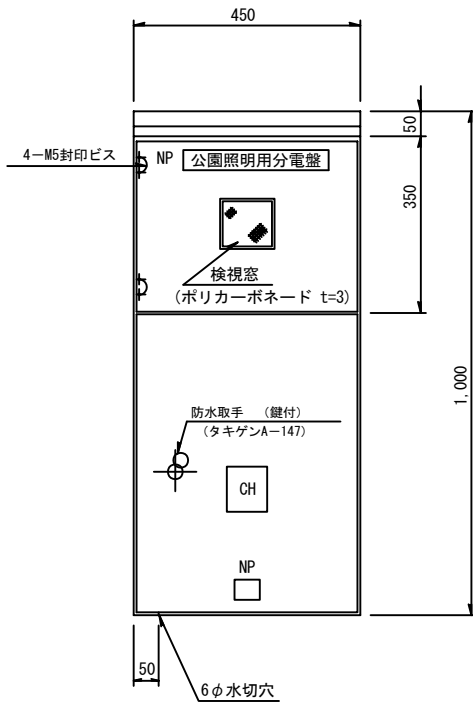
型式	屋外、防水、バンド付	
板厚	函体	2.3t
	扉	2.3t
	中ハネ	3.2t

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

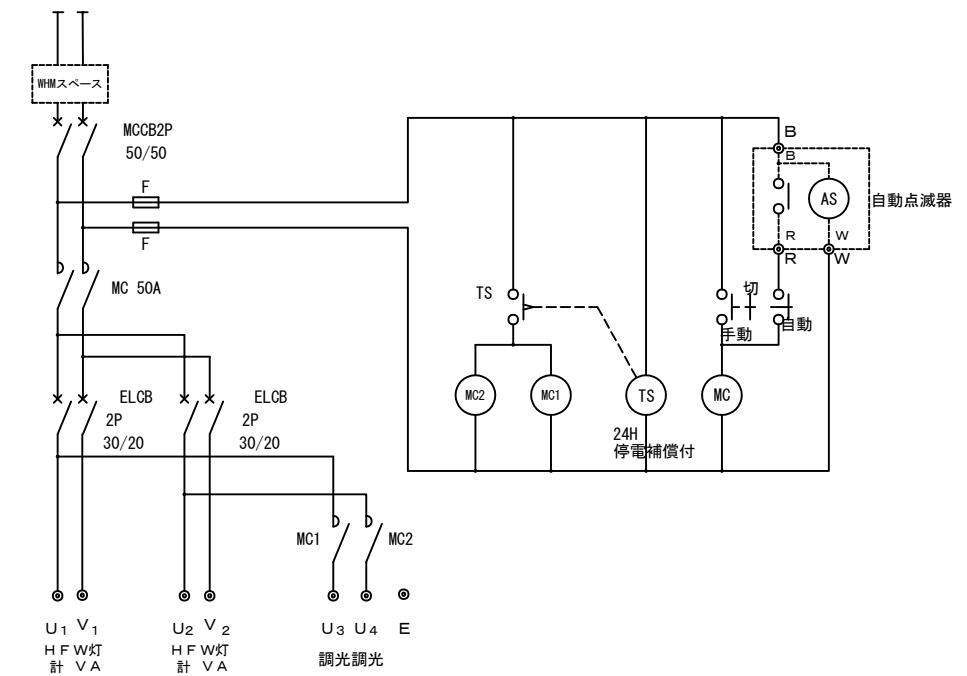
- 特記仕様
- 分電盤の内面及び外面の塗装は、ウレタン焼付仕上とし、指定色塗装とする。
 - 表示函体寸法は、参考値とする。
 - 灯柱は12灯までとする。

図面名称
照明用分電盤 (1系統1分岐調光用)

縮尺 1/15 番号 3-6-8



1φ 2W 200V
EM-CE SQ×2C



盤仕様

(製作盤)

HF-300W=12灯まで

型式	屋外、防水、バンド付	
板厚	函体	2.3t
	扉	2.3t
	中パネル	3.2t

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 分電盤の内面及び外面の塗装は、ウレタン焼付仕上とし、指定色塗装とする。
- 表示函体寸法は、参考値とする。
- 灯柱は12灯までとする。

図面名称

照明用分電盤 (1系統2分岐調光用)

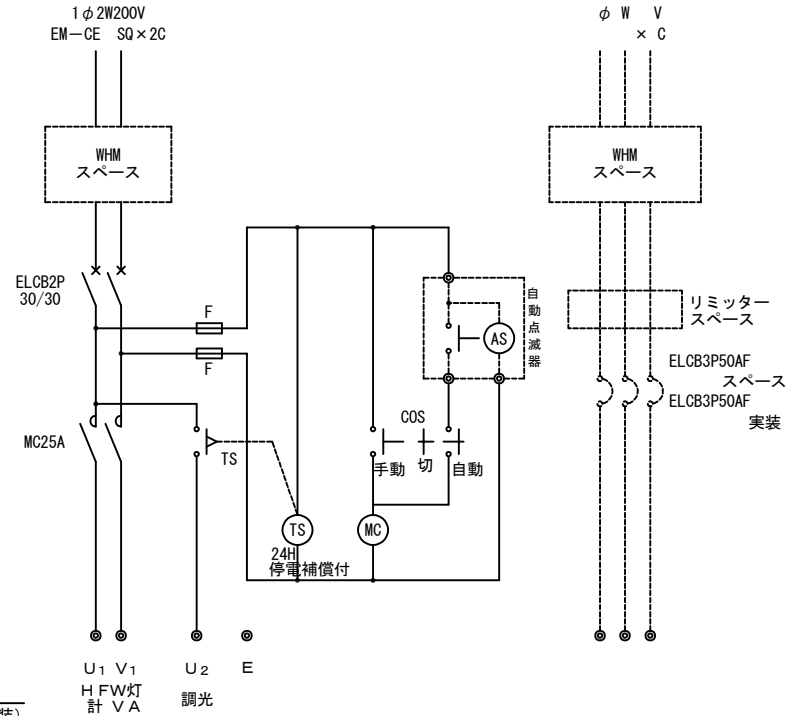
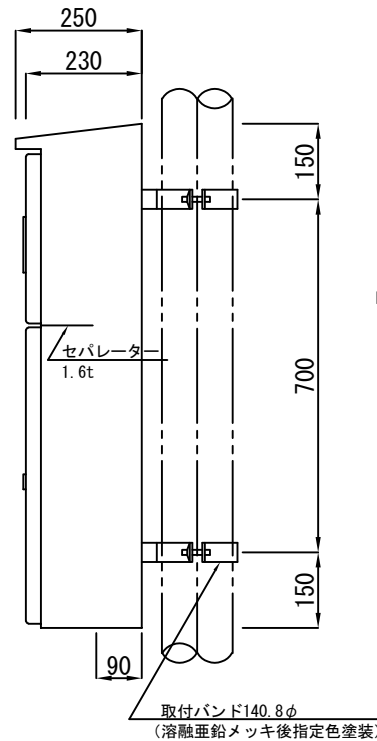
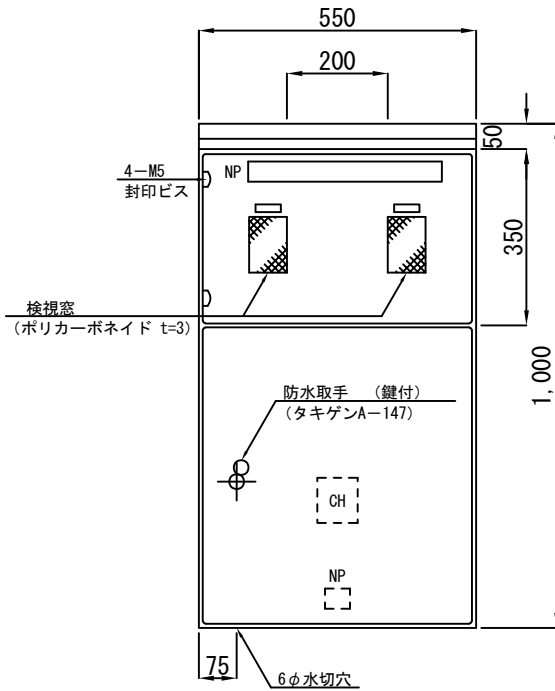
縮尺

1/15

番号

3-6-9

照明灯用分電盤 (2系統1分岐用)



盤仕様

(製作盤)

型式	屋外、防水、ハンド付	
板厚	箱体	2.3t
	扉	2.3t
	中ハコ	3.2t

HF-300W=12灯まで

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 分電盤の内面及び外面の塗装は、ウレタン焼付仕上とし、指定色塗装とする。
- 表示図体寸法は、参考値とする。
- この分電盤はスペース（トイレ用ELCBなし）及び実装（トイレ用ELCBあり）の2種類に適用する。

図面名称

照明灯その他引込分電盤 (2系統1分岐調光用)

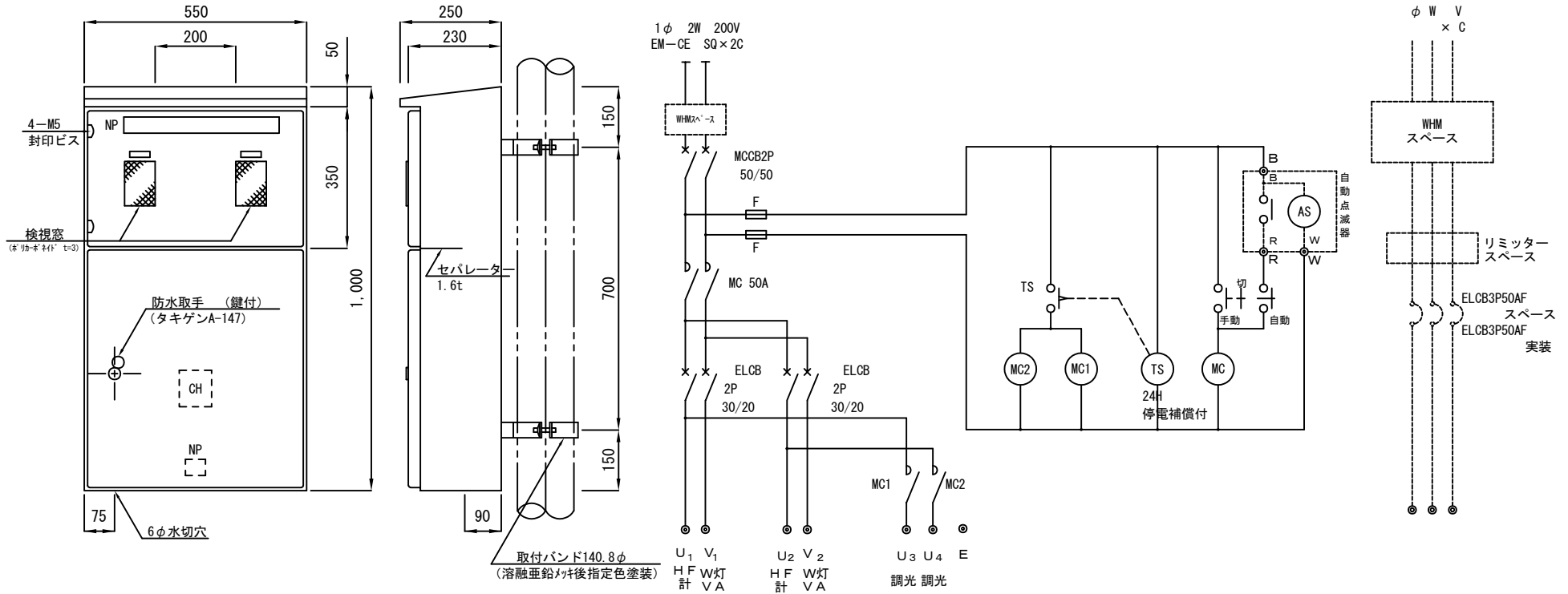
縮尺

1/15

番号

3-6-10

照明灯用分電盤 (2系統2分岐用)



盤仕様

(製作盤)

型式	屋外、防水、ハンド付	
板厚	函体	2.3t
	扉	2.3t
	中パネル	3.2t

HF-300W=20灯まで

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

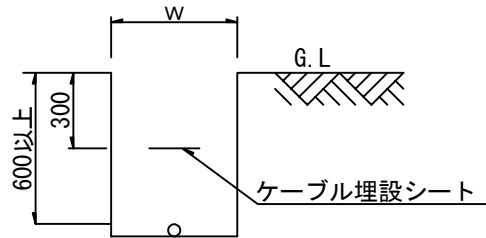
- 分電盤の内面及び外面の塗装は、ウレタン焼付仕上とし、指定色塗装とする。
- 表示函体寸法は、参考値とする。
- この分電盤はスペース（トイレ用ELCBなし）及び実装（トイレ用ELCBあり）の2種類に適用する。

図面名称
照明灯その他引込分電盤 (2系統2分岐調光用)

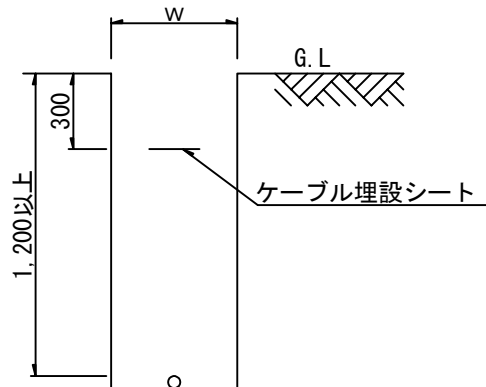
縮尺	1/15	番号	3-6-11
----	------	----	--------

ケーブル埋設断面図 S=1/30

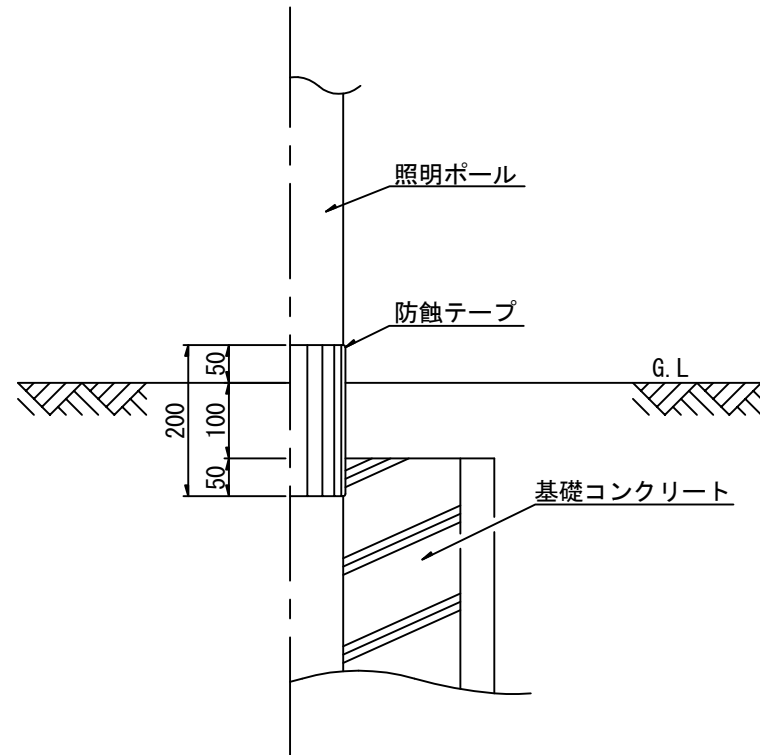
歩行者用園路及び歩道



管理用園路及び車道



防蝕テープ詳細図 S=1/10

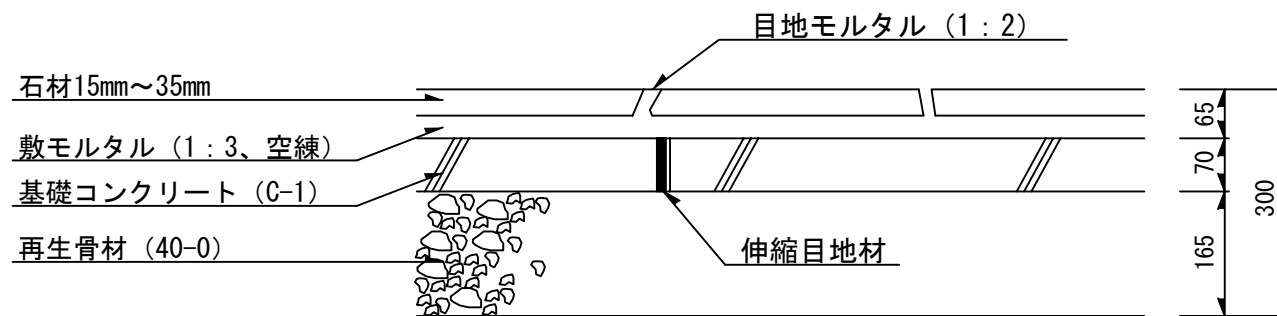


3-7 園路広場整備工

アスファルト舗装

アスファルト舗装は下記を標準とする。

区 分	対 象 区 分	舗 装 構 成
管 理 用 園 路	管 理 用 車 両 (4t車以下)の 通行に供する	
歩行者専用 園 路	歩 行 者 及 び 自 転 車 の 通 行 の み の 場 合	



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 著しい軟弱地盤（路床土CBR2%未満、泥炭地等）については、路床土の置換路床土の安定処理等、各種工法の検討を行う。
2. 伸縮目地材の間隔は5mメッシュとする。

図面名称

石張路盤構造図

縮尺

1/10

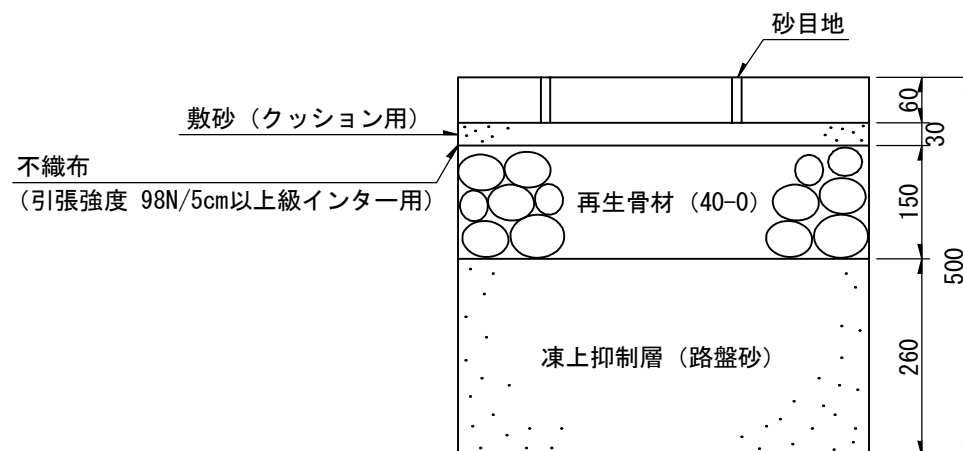
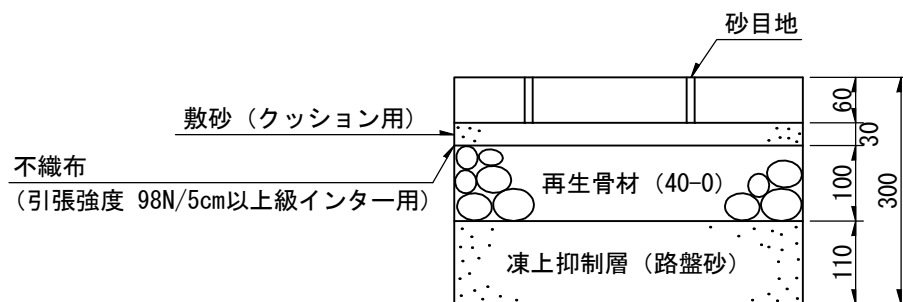
番号

3-7-2

歩道用園路

管理用園路

大型交通量に換算し、15台未満/日の園路舗装（インターロッキングブロック）は、下記を標準とする。



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 著しい軟弱地盤（路床土OBR2%未満、泥炭地等）については、路床土の置換路床土の安定処理等、各種工法の検討を行う。

図面名称
インターロッキングブロック路盤構造図

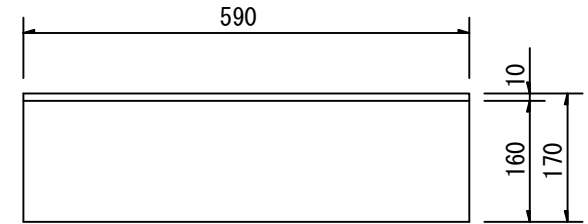
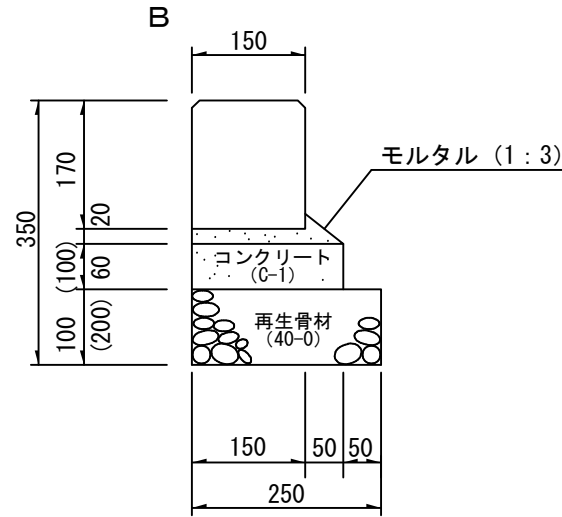
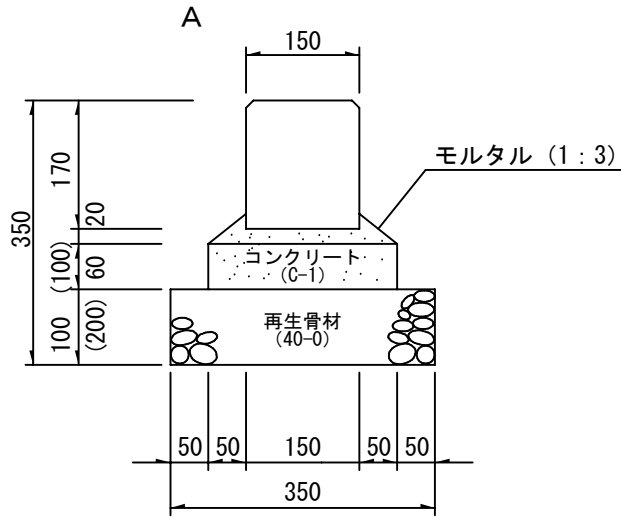
縮尺

1/10

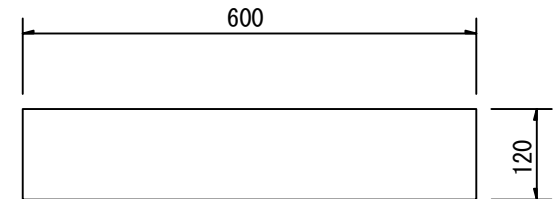
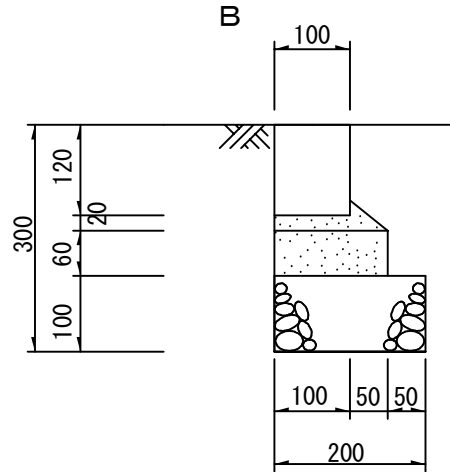
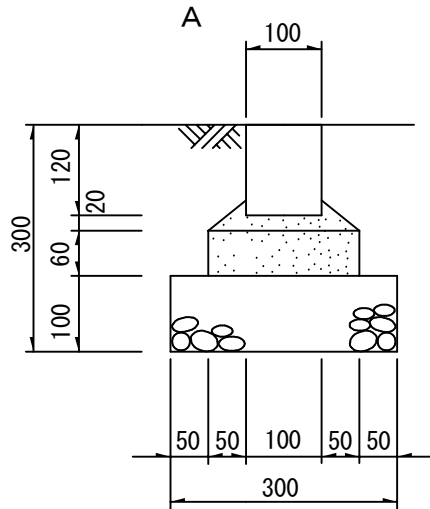
番号

3-7-3

コンクリート仕切石 (I)



コンクリート仕切石 (II)



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 目地は巾10mm、深3~5mm、モルタル (1:2) を使用。
- 延長10mに1ヶ所目地材 (伸縮材) を使用 (基礎を含む)。

図面名称

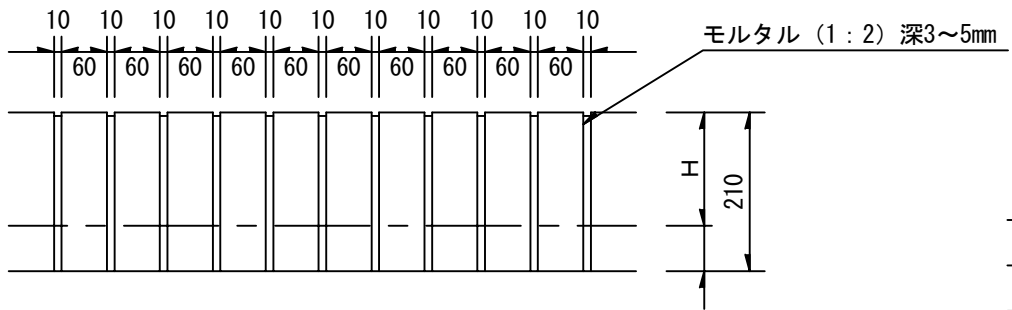
コンクリート仕切石 (I) (II)

縮尺

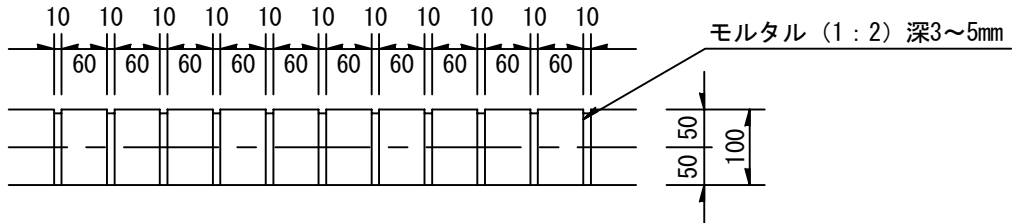
1/10

番号

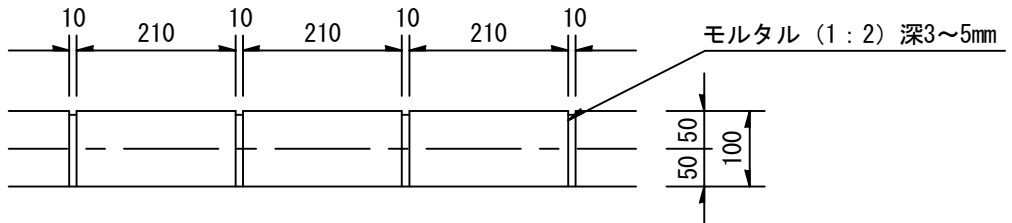
3-7-4



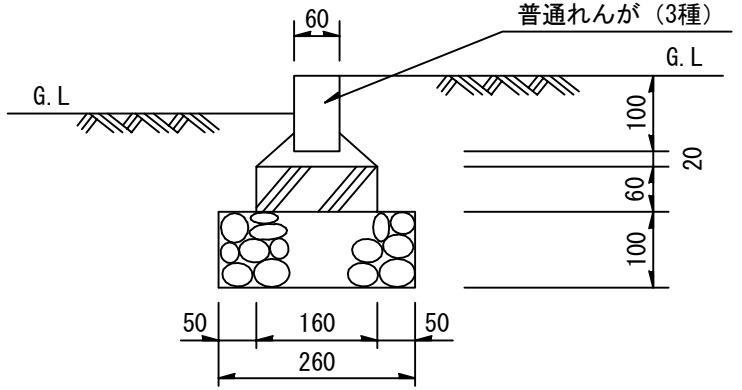
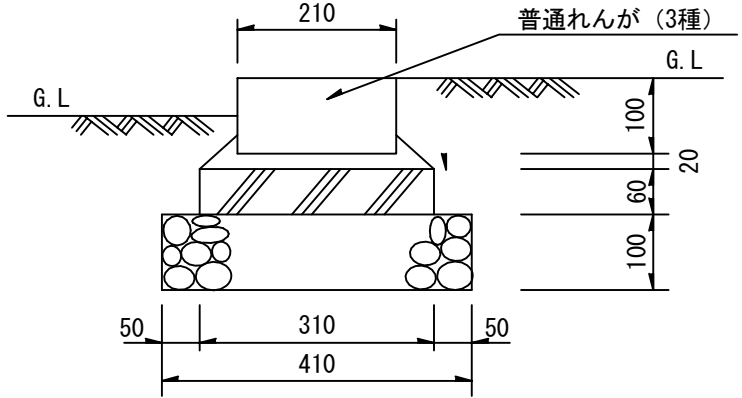
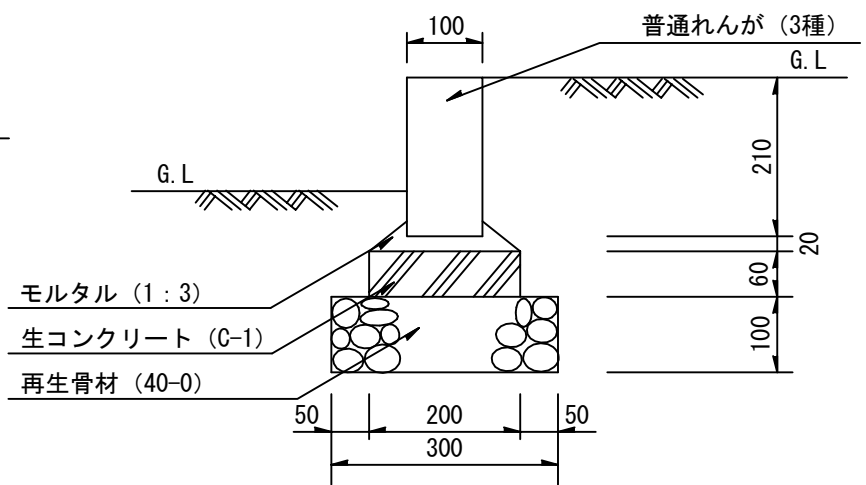
レンガ仕切 (I)



レンガ仕切 (II)



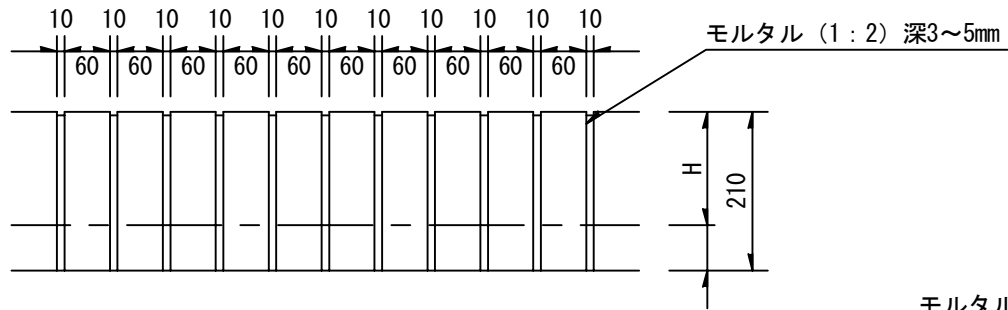
レンガ仕切 (III)



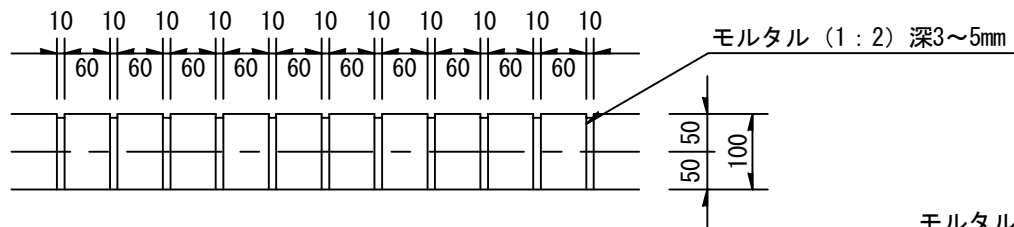
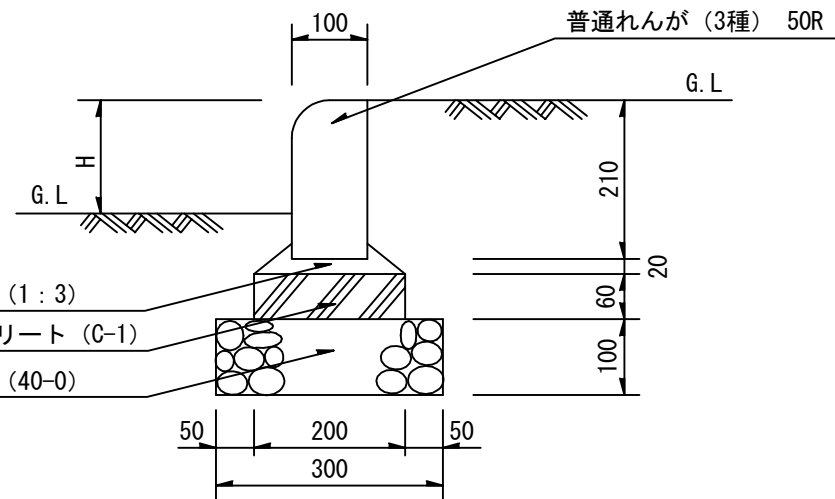
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様
1. 延長10mに1ヶ所目地材 (伸縮材) を使用 (基礎を含む)。

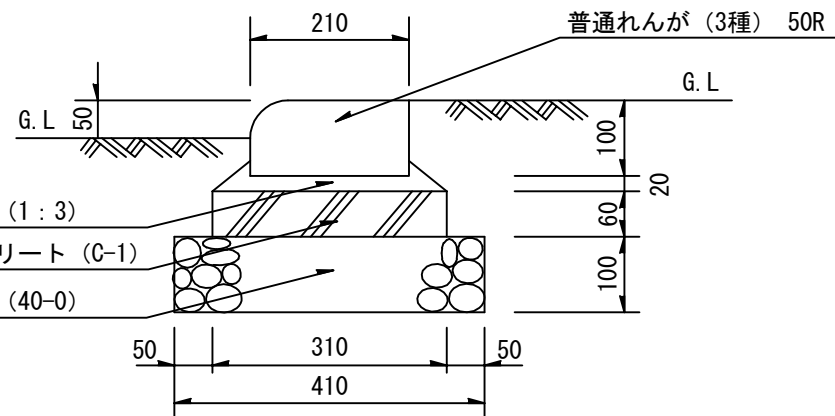
図面名称
レンガ仕切 (I) (II) (III)
縮尺 1/10
番号 3-7-5



面取りレンガ仕切 (I)



面取りレンガ仕切 (II)



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 延長10mに1ヶ所目地材 (伸縮材) を使用 (基礎を含む)。

図面名称
面取りレンガ仕切 (I) (II)

縮尺

1/10

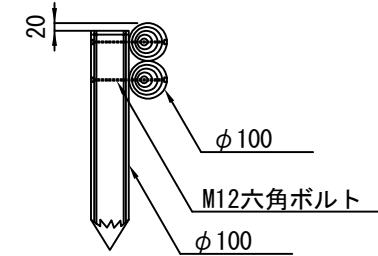
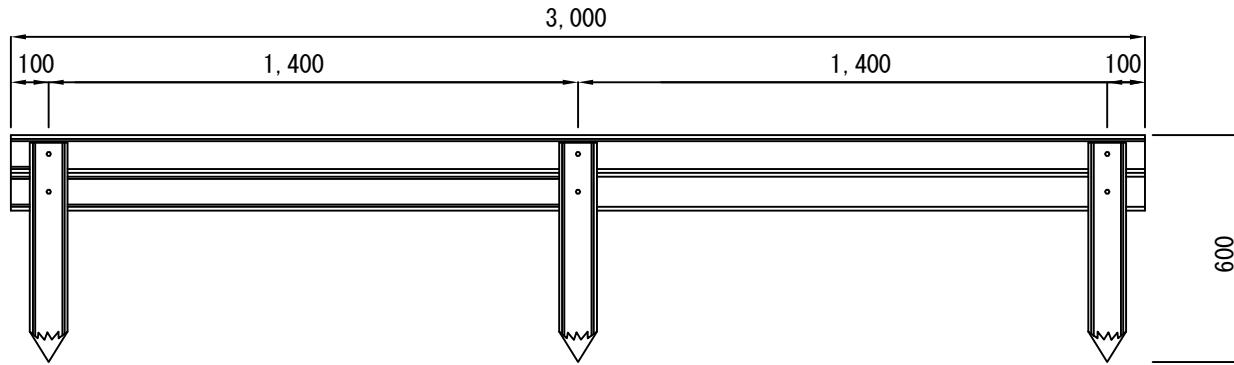
番号

3-7-6

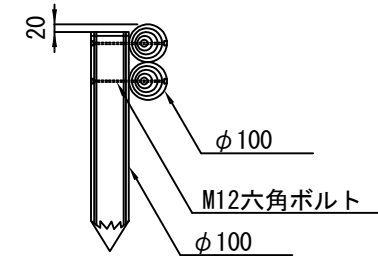
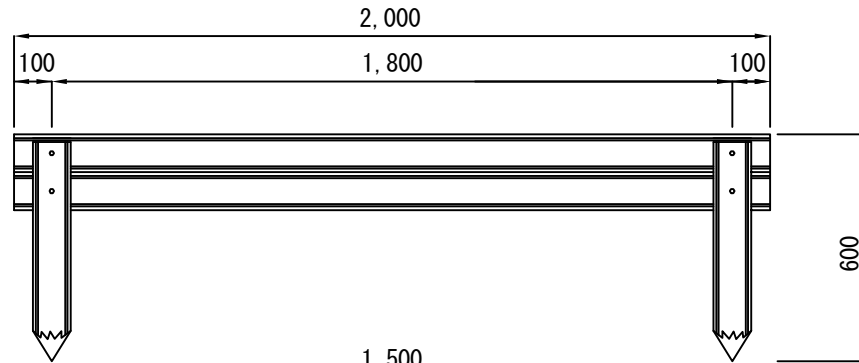
正面図

側面図

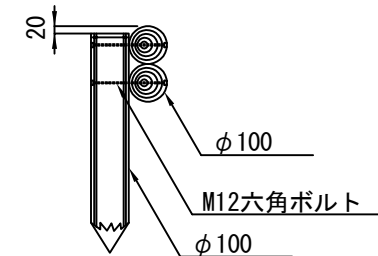
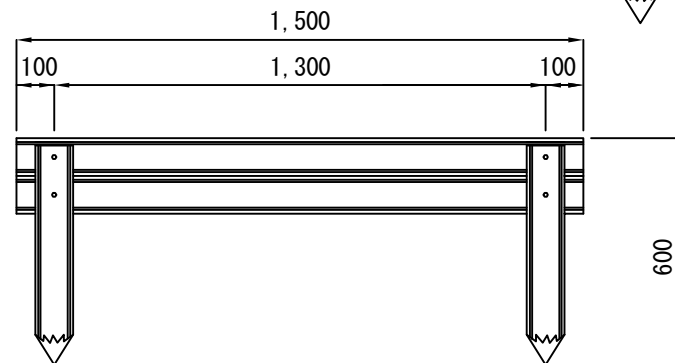
A-TYPE



B-TYPE



C-TYPE



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 木材は、カラマツ材とし、防腐加圧注入加工処理とする。
2. 丸太は、旋盤削り加工丸太とする。
3. ボルト・ナットはメッキとし、木部を座掘し落とし込みとする。(全て)
4. 木材の隅部は、全てR面取り仕上とする。

図面名称

丸太階段

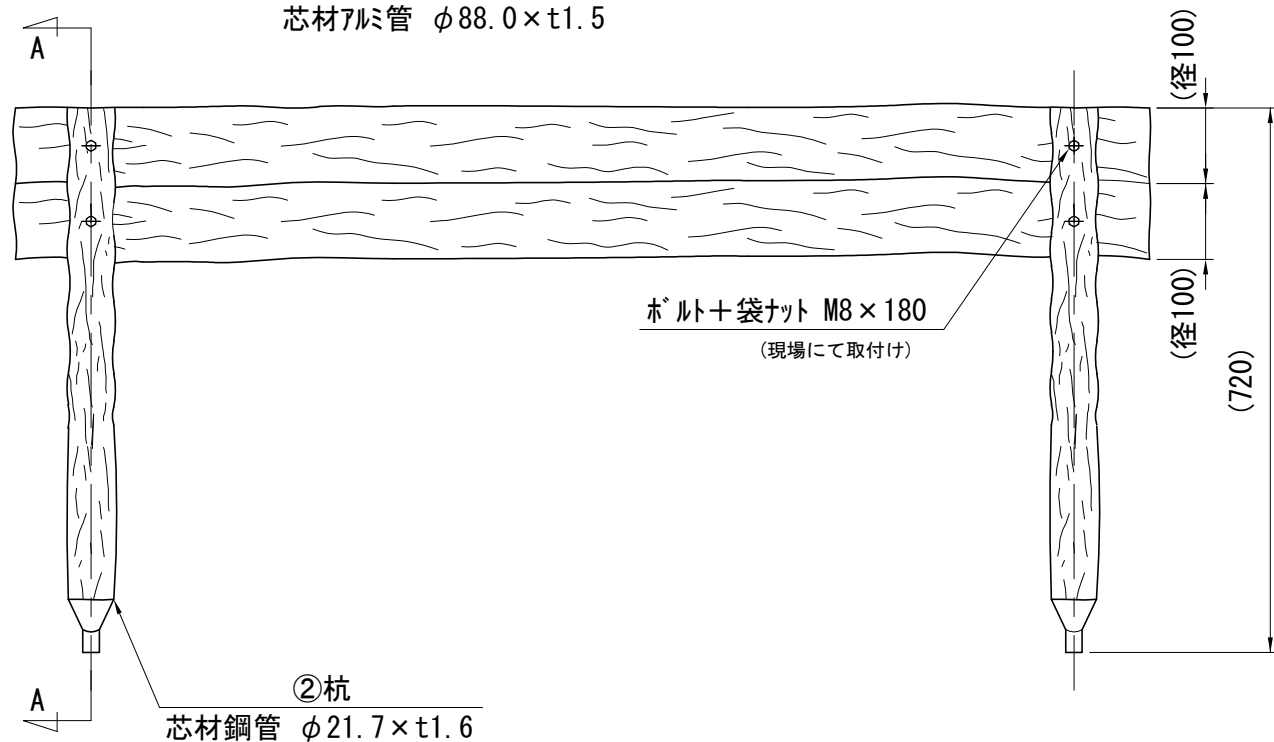
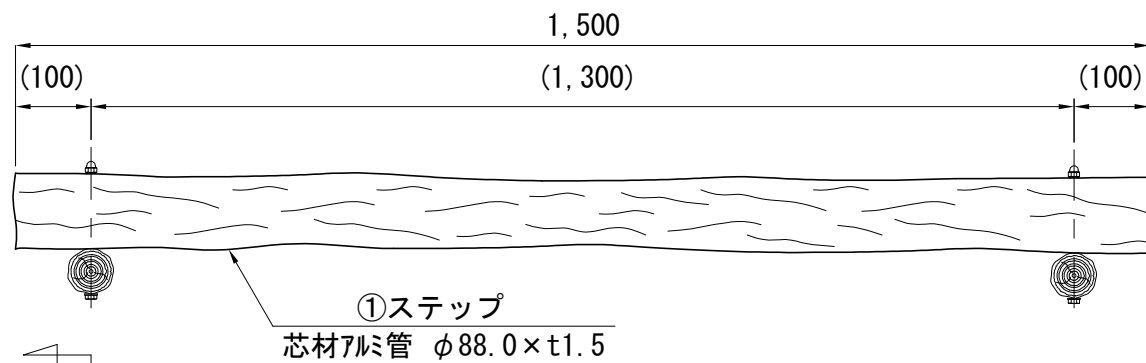
縮尺

1/20

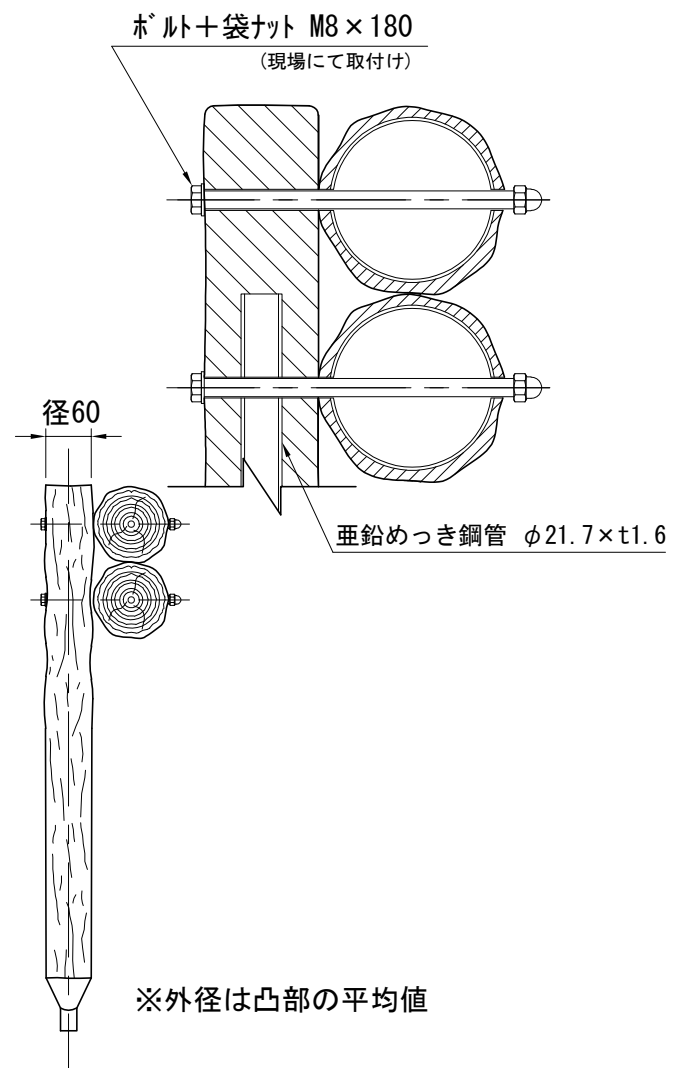
番号

3-7-7

平面図・正面図 (1/10)



A-A断面図 (1/4)



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. ステップはアルミ+再生ポリエチレン（樹脂被覆）とする。
2. 杭はSTK400+再生ポリエチレン（樹脂被覆）とする。
3. 参考重量：10.6kg/セット（ステップ2本 + 杭2本）

図面名称

軽量プラ擬木階段

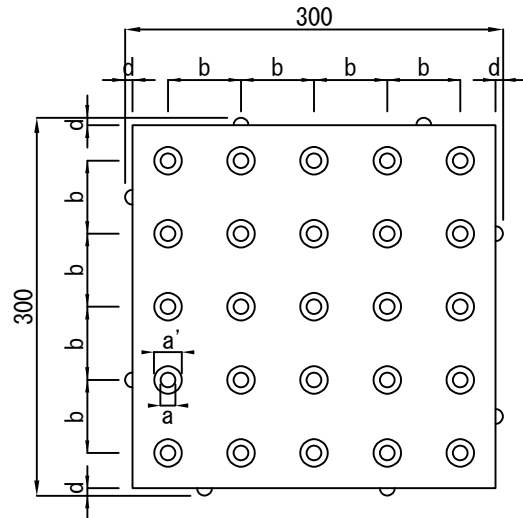
縮尺

図示

番号

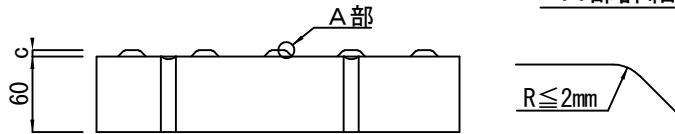
3-7-8

位置表示用

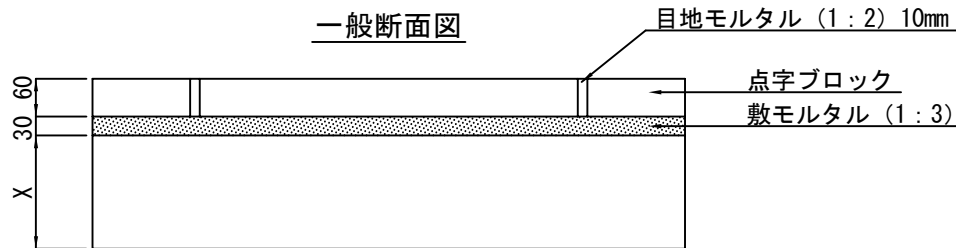


記号	寸法	許容差
a	12	+1.5 0
a'	a+10	
b	55~60	
c	5	+1 0
d	0~数mm	

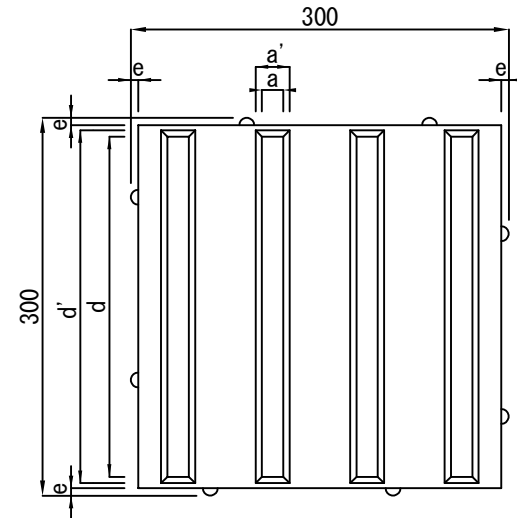
A部詳細



一般断面図

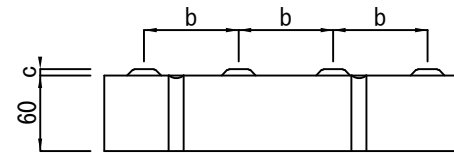


誘導表示用



記号	寸法	許容差
a	17	+1.5 0
a'	a+10	
b	75	
c	5	+1 0
d	270以上	
d'	d+10	
e	0~数mm	

備考 ブロック等の継ぎ目部分（突起の長手方向）における突起と突起の上辺部での間隔は、30mm以下とする。



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 点字ブロックは、黄色とする。
- 材質は、JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」のカラー平板と同等品以上とする。
- (1) 点状突起の形状・寸法及びその配列は左図による。点状突起を配列するブロック等の大きさは300mm（目地込み）四方以上とする。
(2) 線状突起の形状・寸法及びその配列は右図による。ただし、線状突起の本数は4本を下限とし、線状突起を配列するブロック等の大きさに応じて増やす。

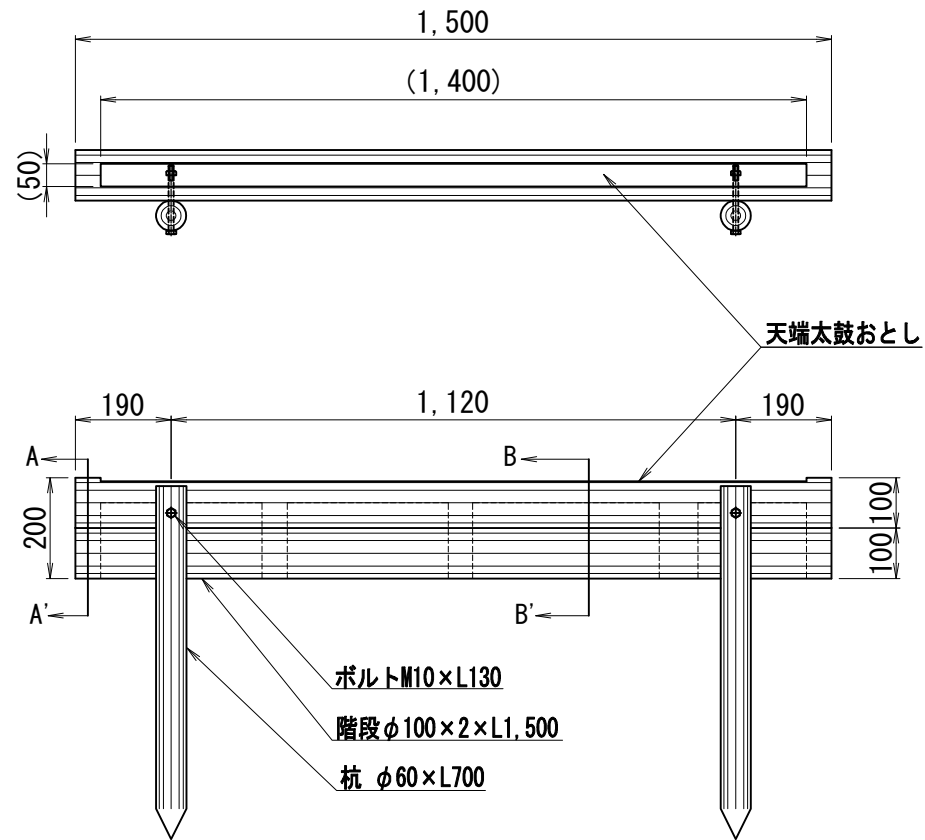
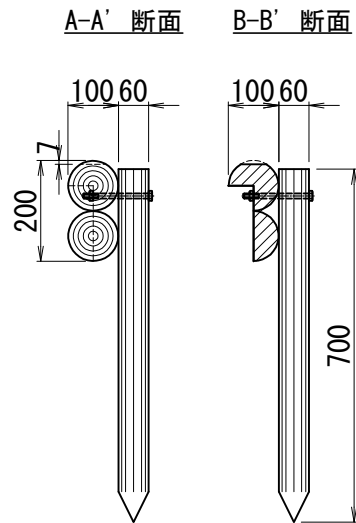
図面名称
視覚障害者誘導用ブロック

縮尺

1/6

番号

3-7-9



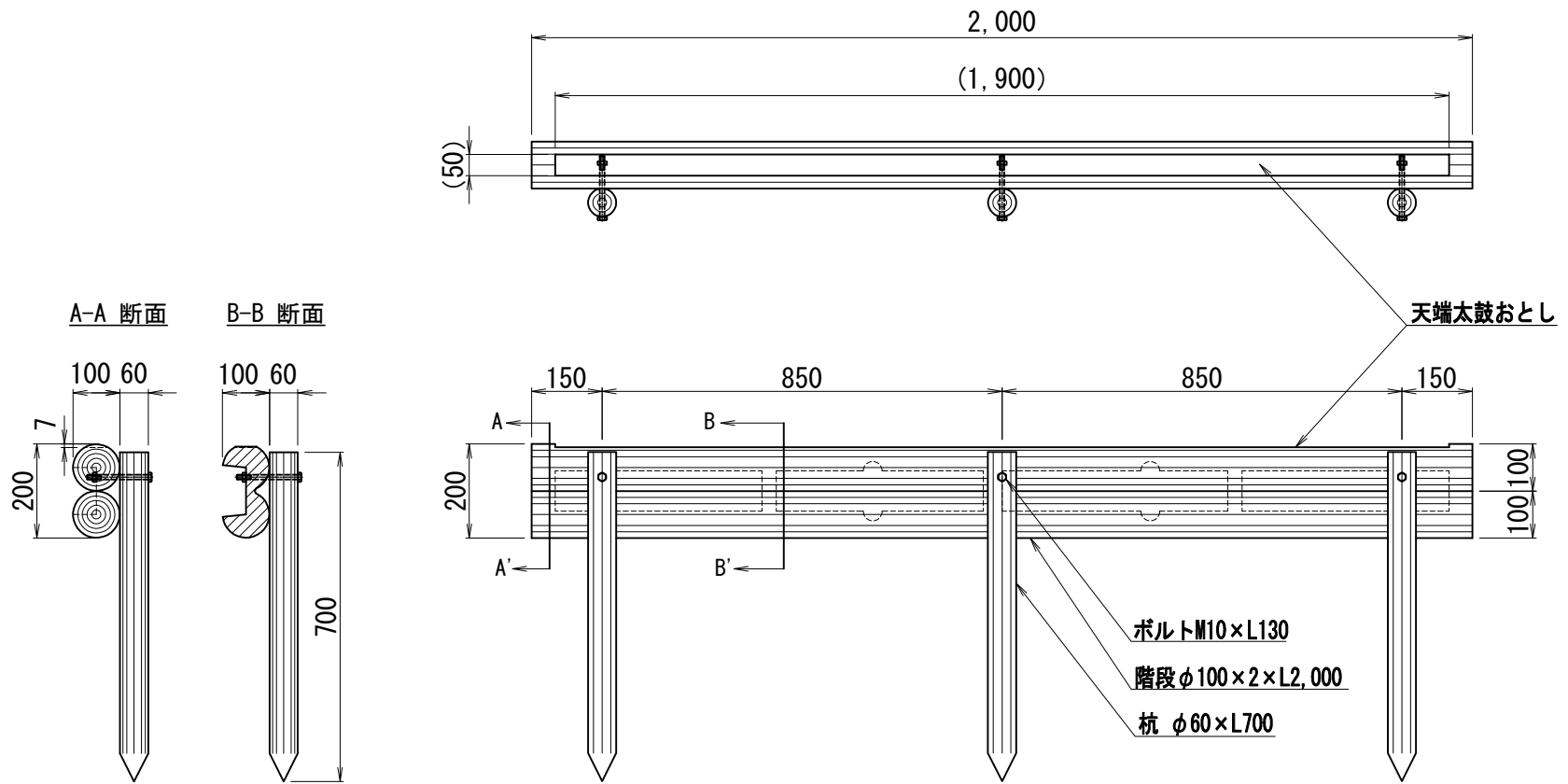
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. プラ擬木色：ダークブラウン
2. 外観：クヌギ肌模様
3. 樹脂部：リサイクルプラスチック（ポリエチレン、ポリプロピレン）
4. ボルト：溶融亜鉛メッキ品
5. 参考重量：18.5kg/セット（ステップ+杭2本）

図面名称
プラ擬木階段（天端太鼓おとし W=1,500）

縮尺	1/15	番号	3-7-10
----	------	----	--------



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. プラ擬木 色：ダークブラウン
2. 外観：クヌギ肌模様
3. 樹脂部：リサイクルプラスチック（ポリエチレン、ポリプロピレン）
4. ボルト：溶融亜鉛メッキ品
5. 参考重量：28.0kg/セット（ステップ+杭3本）

図面名称
プラ擬木階段（天端太鼓おとし W=2,000）

縮尺

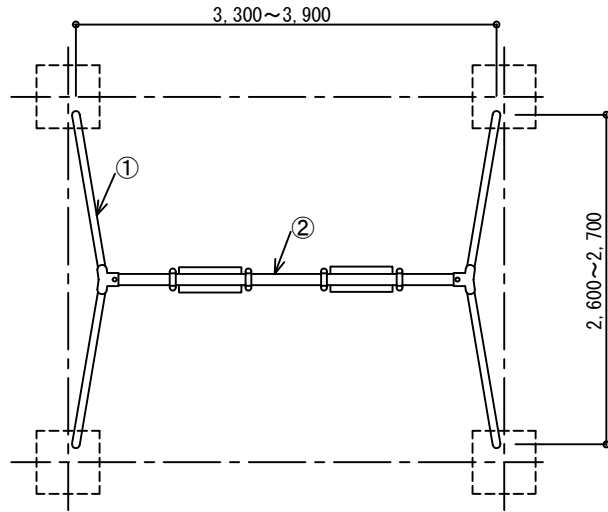
1/15

番号

3-7-11

3-9 遊 戲 施 設 整 備 工

平面図

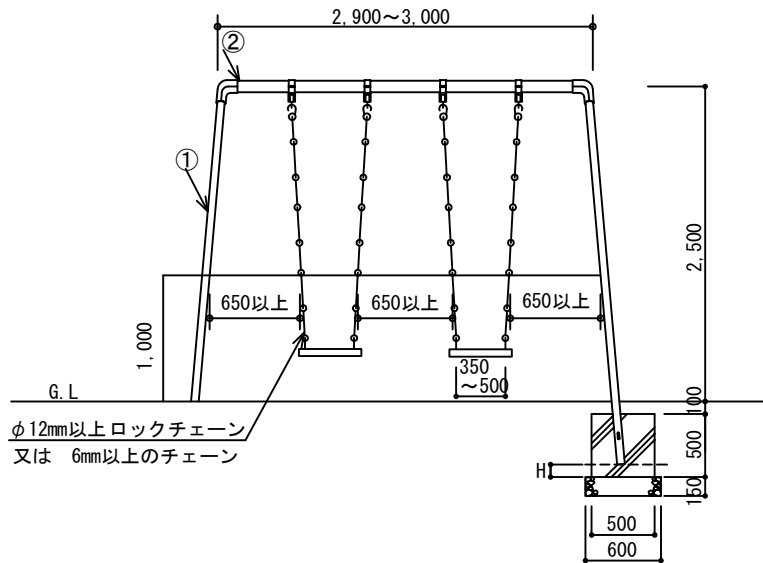


①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

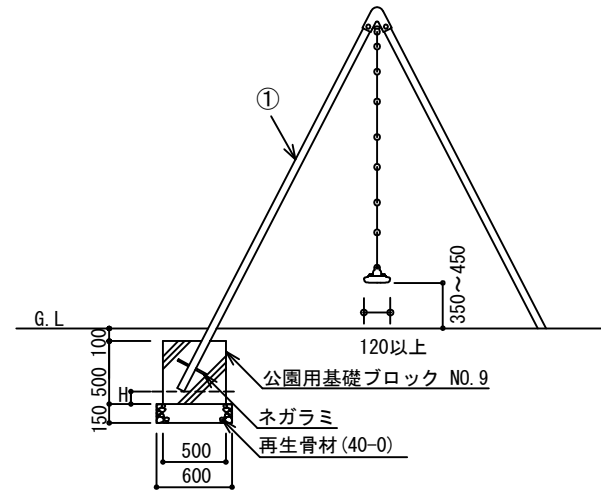
H=50~100 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- ブランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- 着座部の表面は、ソフトな素材で覆われているものとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (0-4) とする。二度打ち又はコンクリート (0-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大型2人用ブランコ

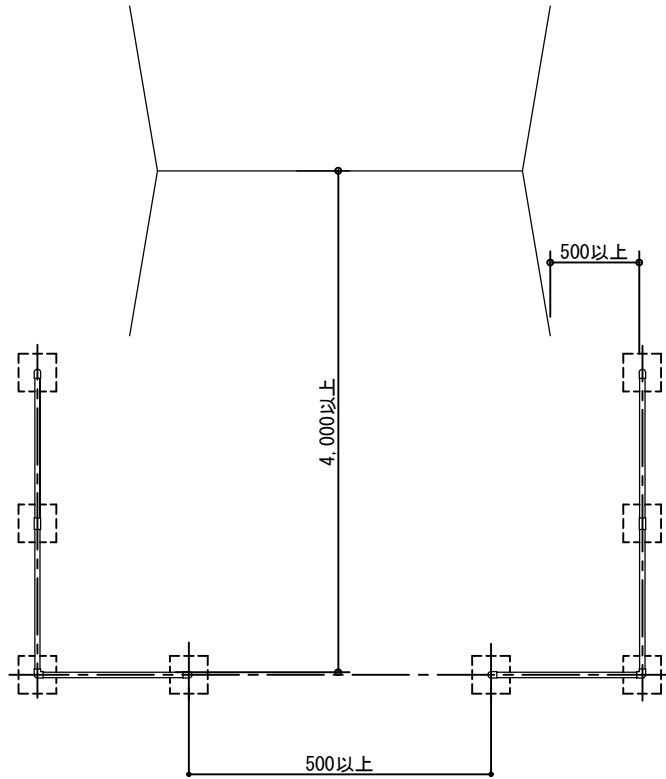
縮尺

1/60

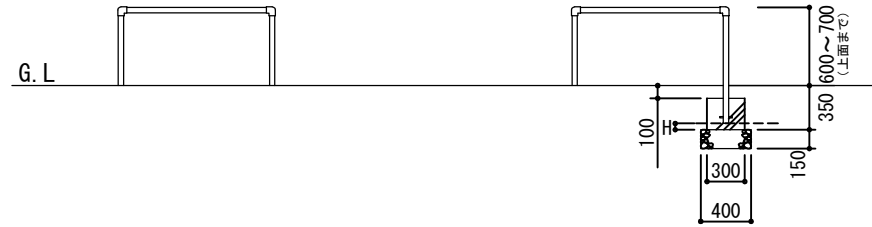
番号

3-9-1-1

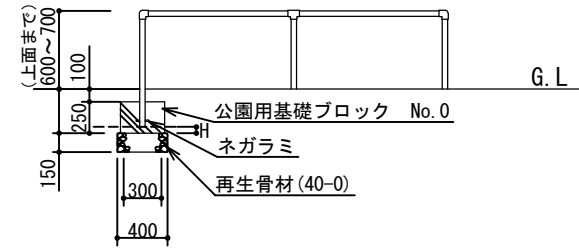
平面図



正面図



側面図



H=20~50 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 境界柵は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」による安全領域内に設置しないこと。
- 支柱および梁は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大型2人用ブランコ境界柵

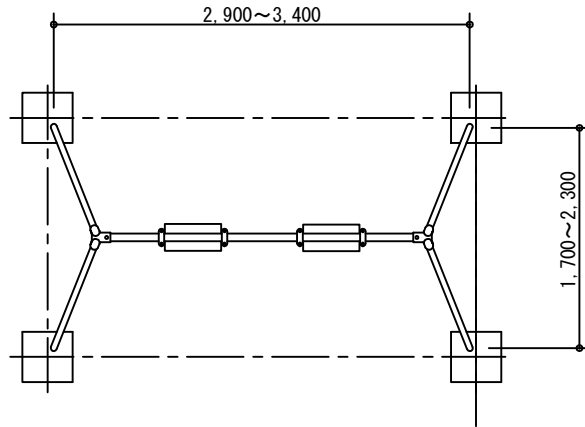
縮
尺

1/60

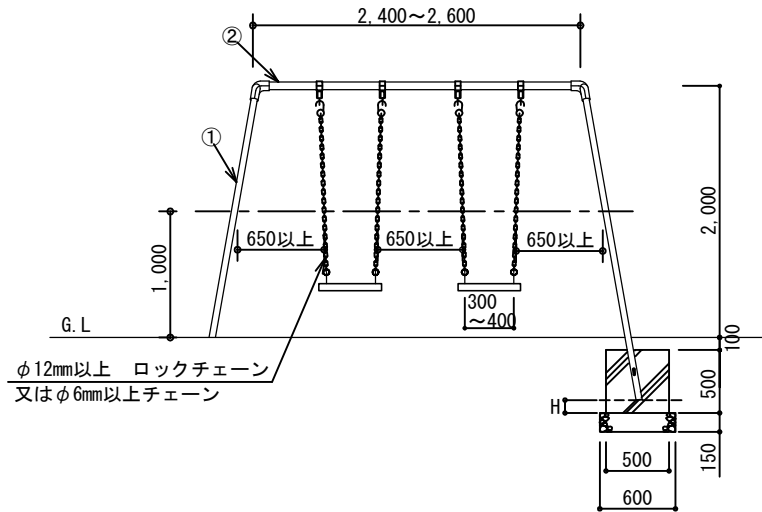
番
号

3-9-1-2

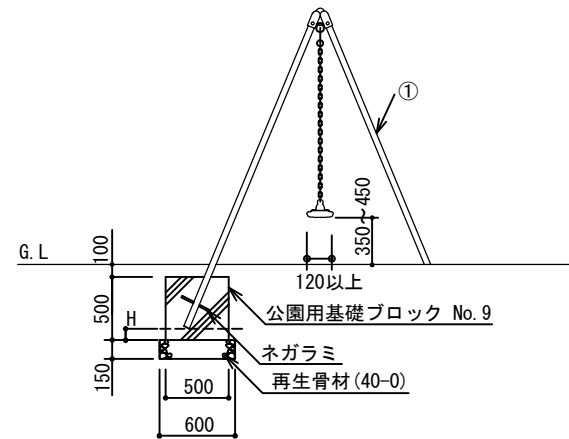
平面図



正面図



側面図



①	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 48.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
	STK	外径 76.3mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50~200 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- プランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- 着座部の表面は、ソフトな素材で覆われているものとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (0-4) とする。二度打ち又はコンクリート (0-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

小型2人用ブランコ

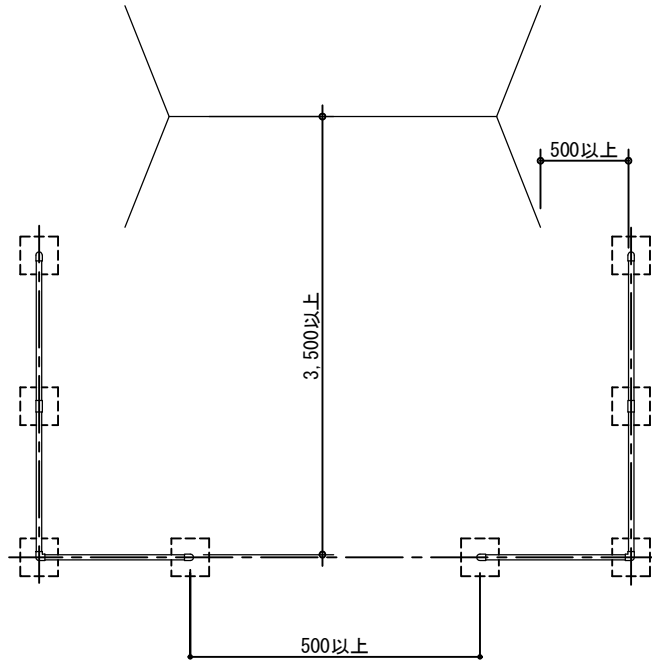
縮尺

1/60

番号

3-9-2-1

平面図



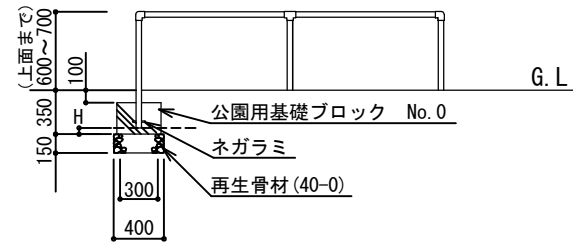
H=20~50 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 境界柵は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」による安全領域内に設置しないこと。
- 支柱および梁は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

小型2人用ブランコ境界柵

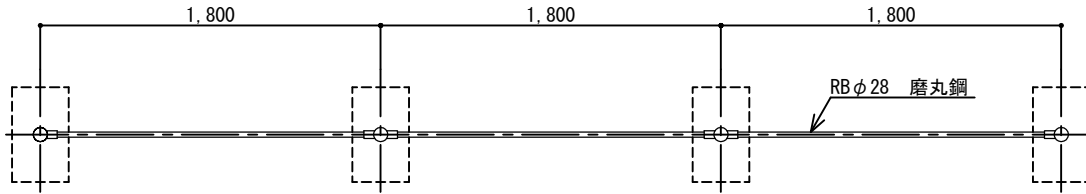
縮尺

1/60

番号

3-9-2-2

平面図

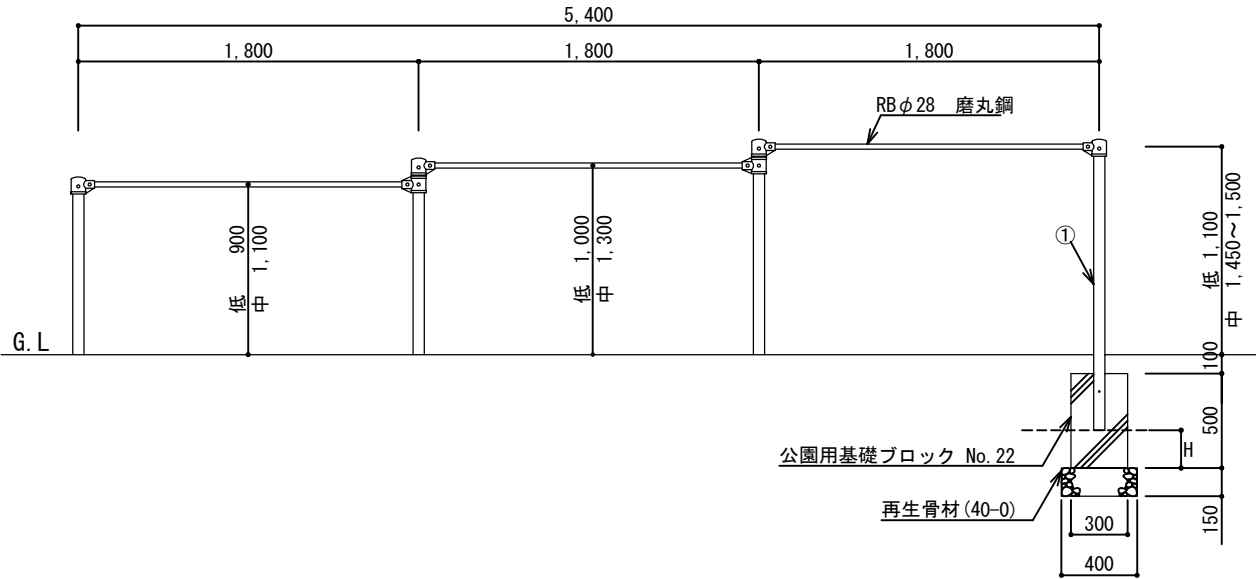


①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444

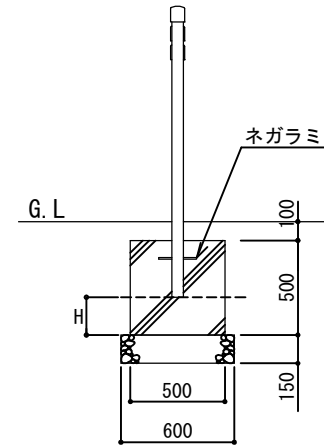
H=50~200 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 鉄棒本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- Rφ28磨丸鋼は、ジंकロメートメッキ仕上とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスパーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

三間低・中铁棒

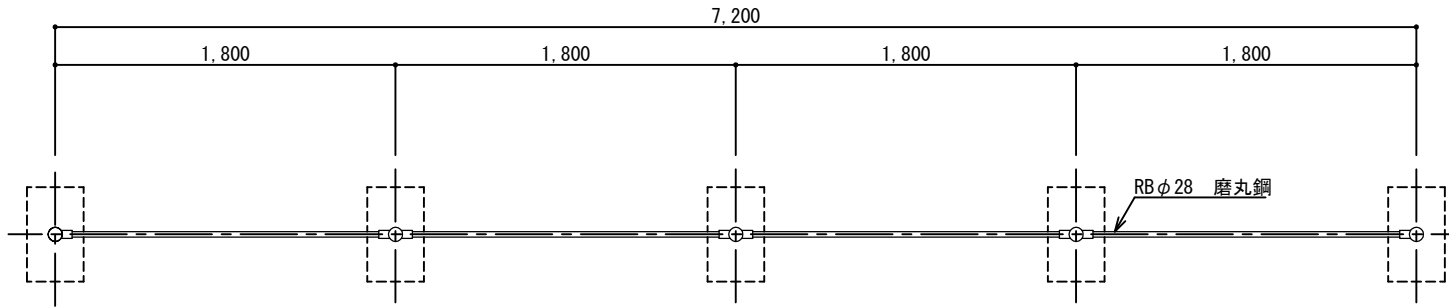
縮尺

1/40

番号

3-9-3

平面図

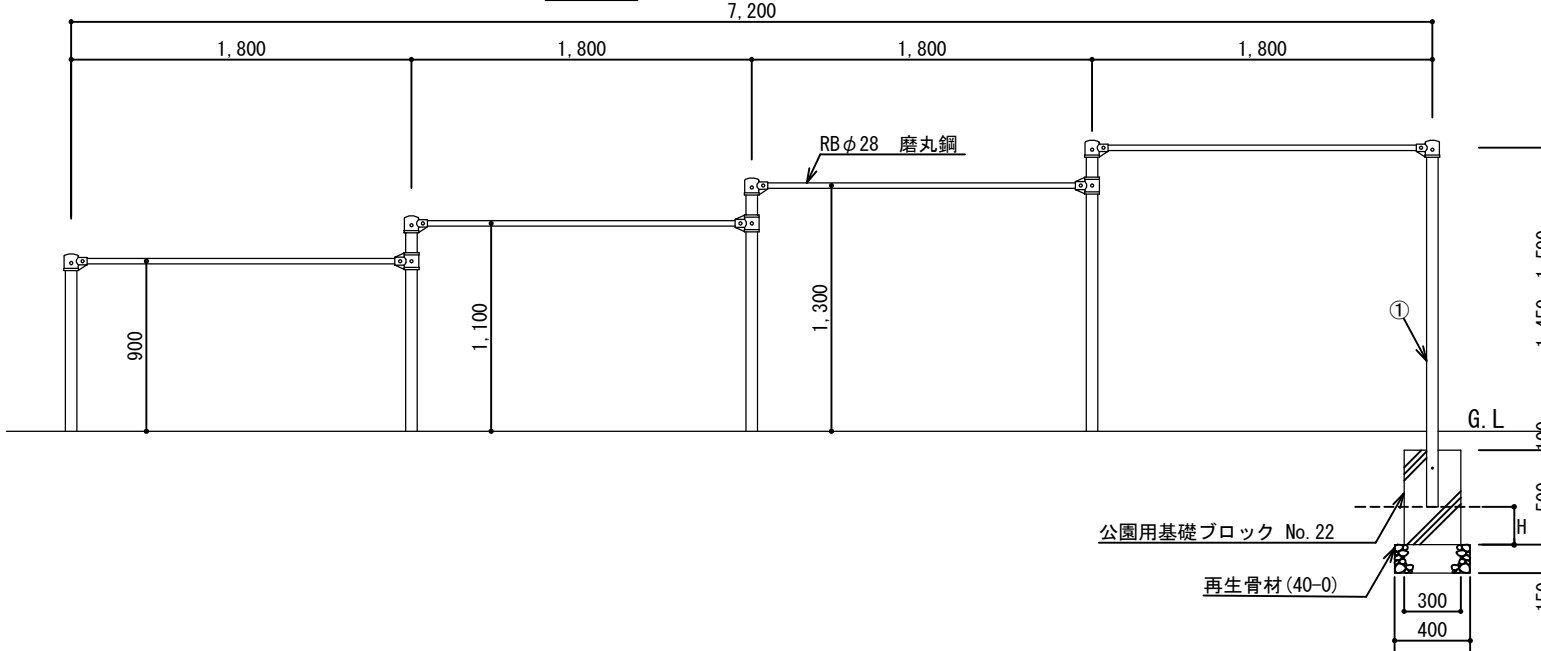


①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444

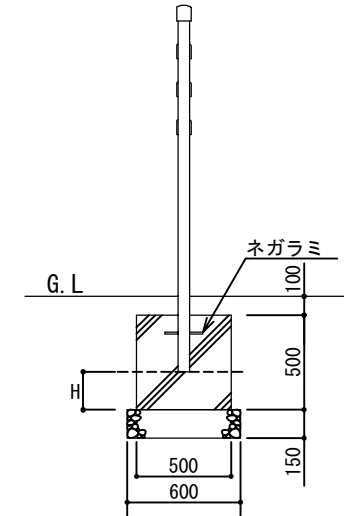
H=50~200 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 鉄棒本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- RBφ28磨丸鋼は、ジンクロメートメッキ仕上とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

四間鉄棒

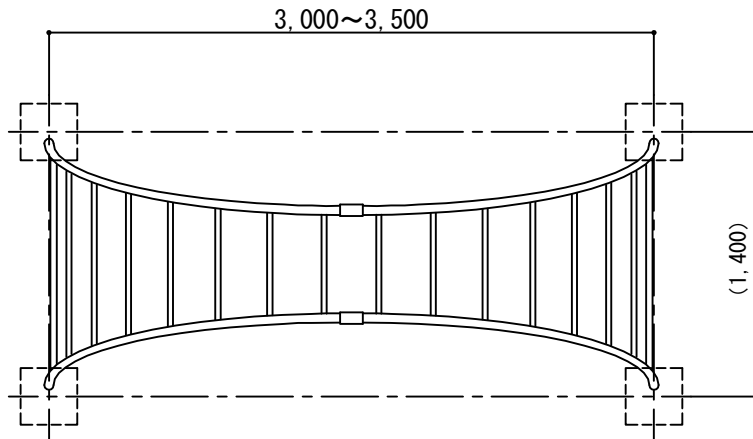
縮尺

1/40

番号

3-9-4

平面図

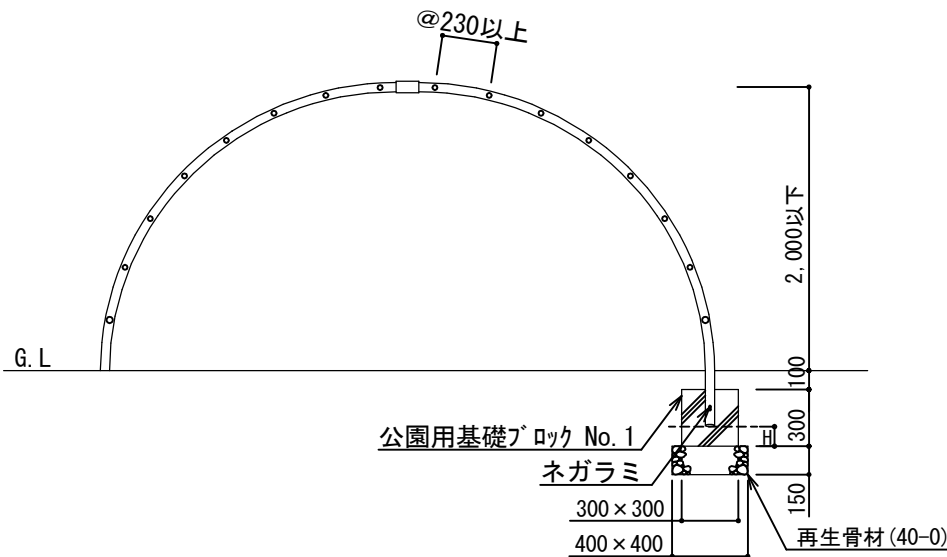


①	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	SGP	外径 42.7mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 42.7mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444

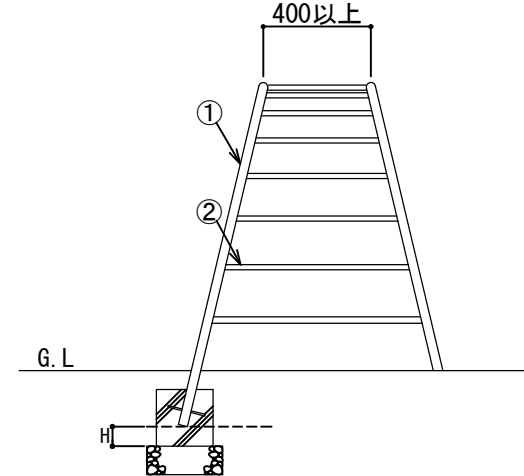
H=50~100 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 太鼓梯子本体は(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPA-SP-S-2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

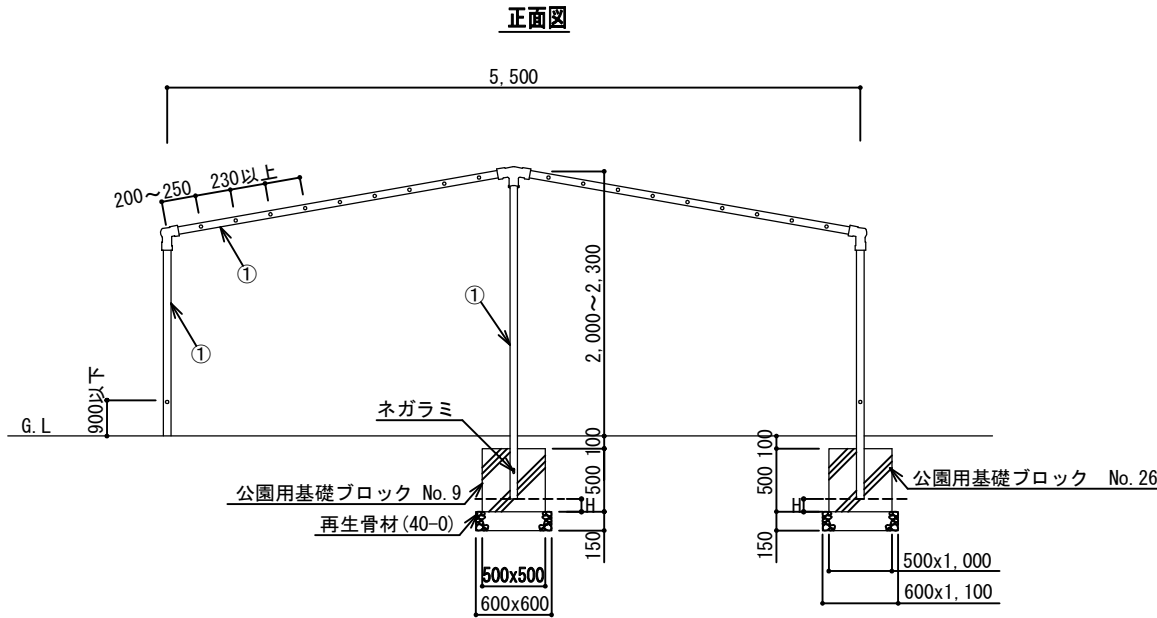
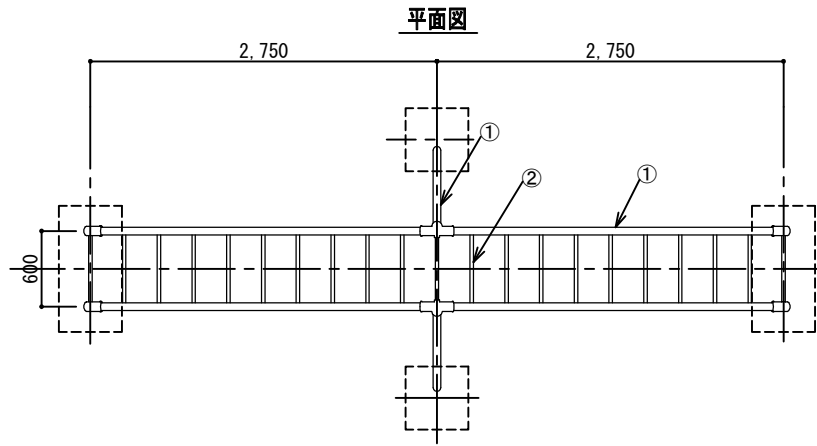
太鼓梯子

縮尺

1/40

番号

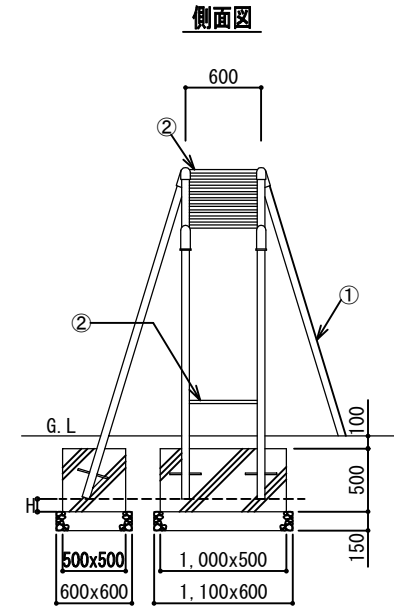
3-9-5



①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444

H=100 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 山型雲梯本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

山型雲梯

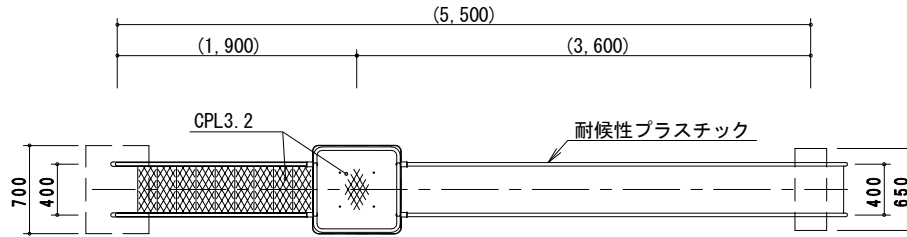
縮
尺

1/60

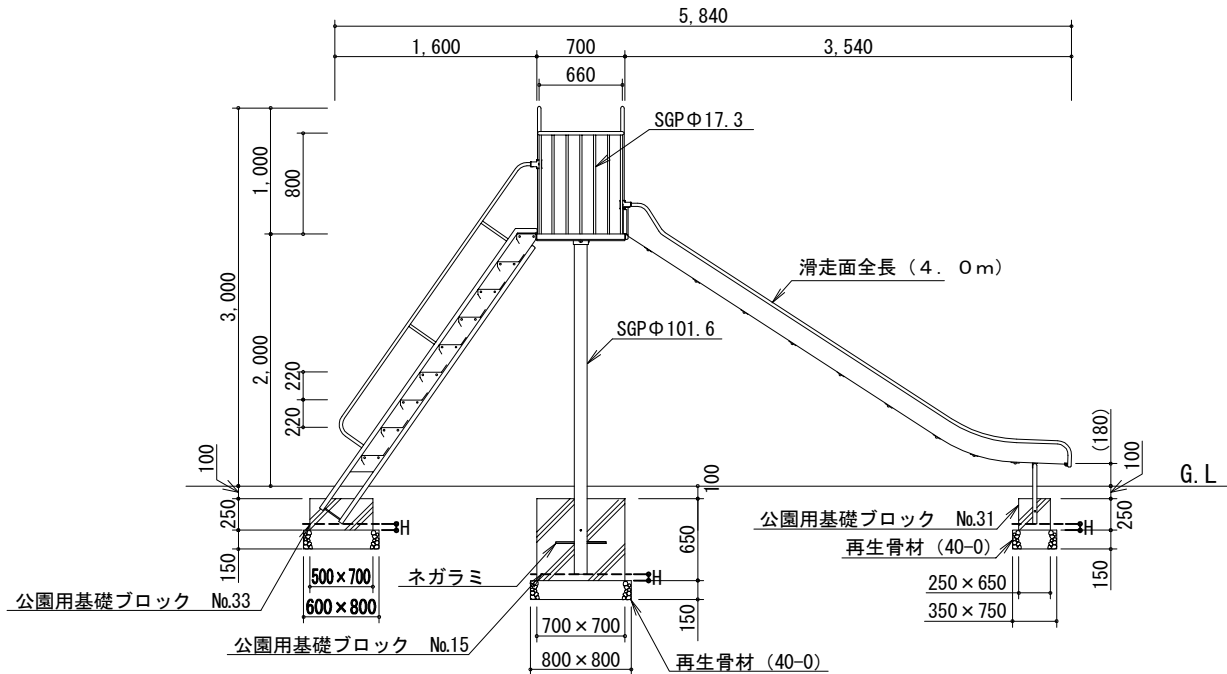
番
号

3-9-6

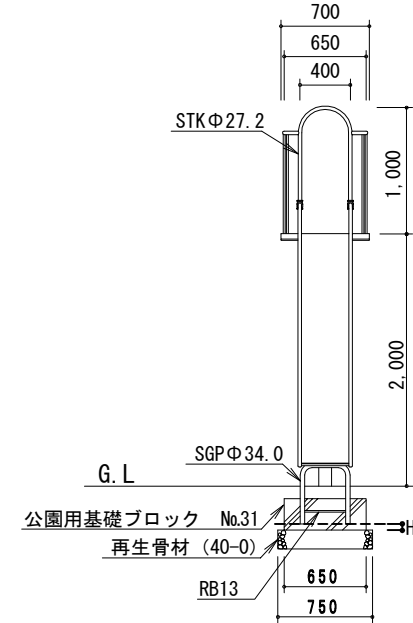
平面図



側面図



正面図



SGP	外径 17.3	肉厚 2.3	JISG3452
STK	外径 27.2	肉厚 2.3	JISG3444
SGP	外径 34.0	肉厚 3.2	JISG3452
SGP	外径101.6	肉厚 4.2	JISG3452
鋳鉄	ダクタイル		JISG5502

H=50 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

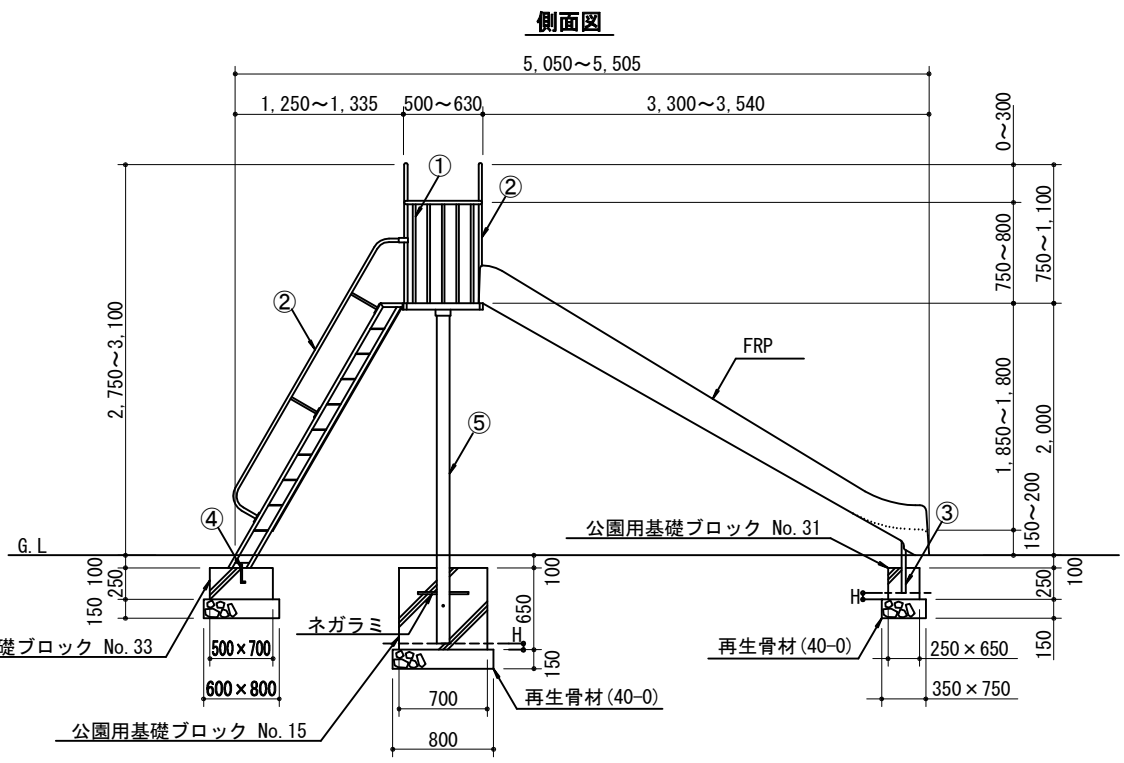
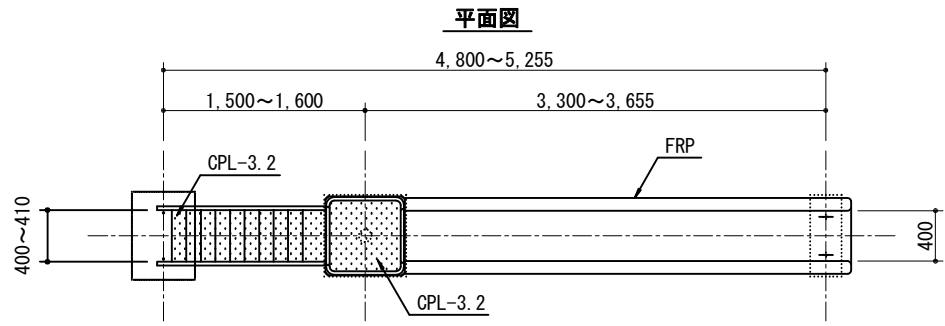
大一流滑台A (プラスチック)

縮尺

1/60

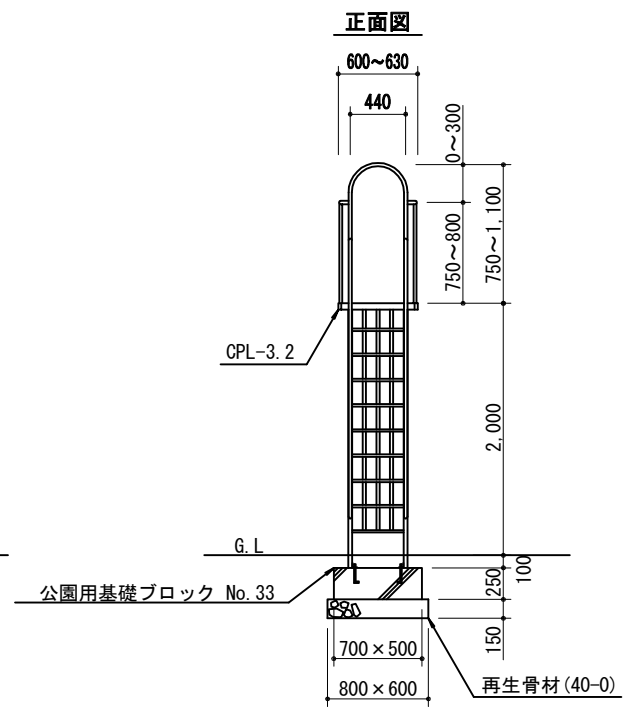
番号

3-9-7

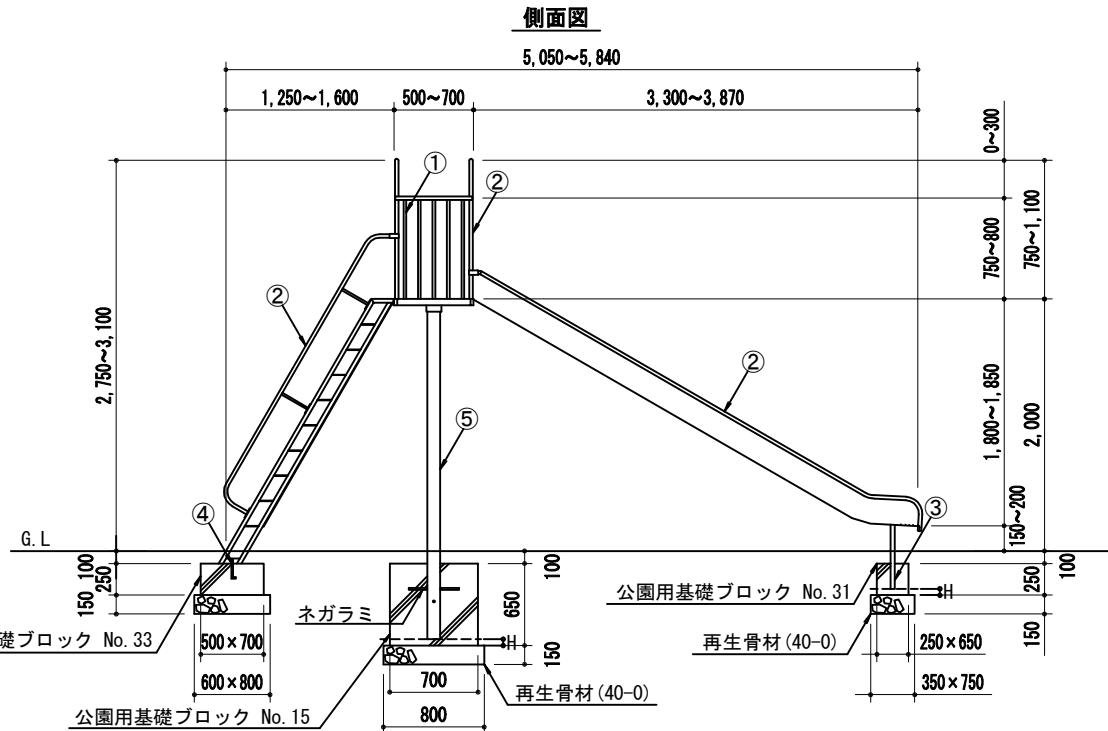
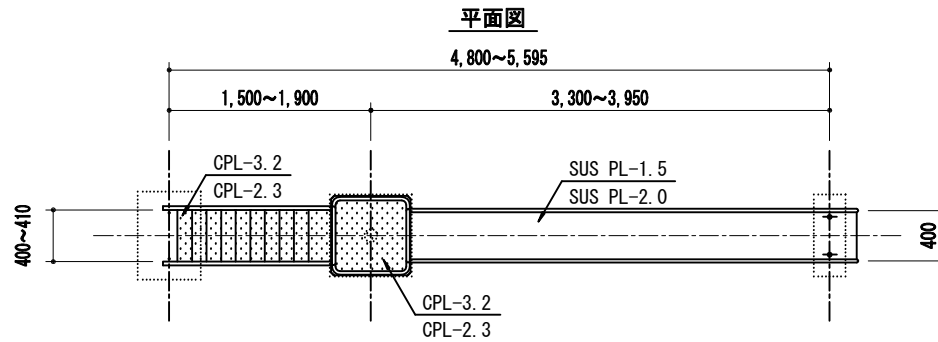


①	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
	RB-16φ					
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
④	A. BOLT 2-M12					
	SGP	外径	114.3mm	肉厚	4.5mm	JIS G 3452
⑤	STK	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高



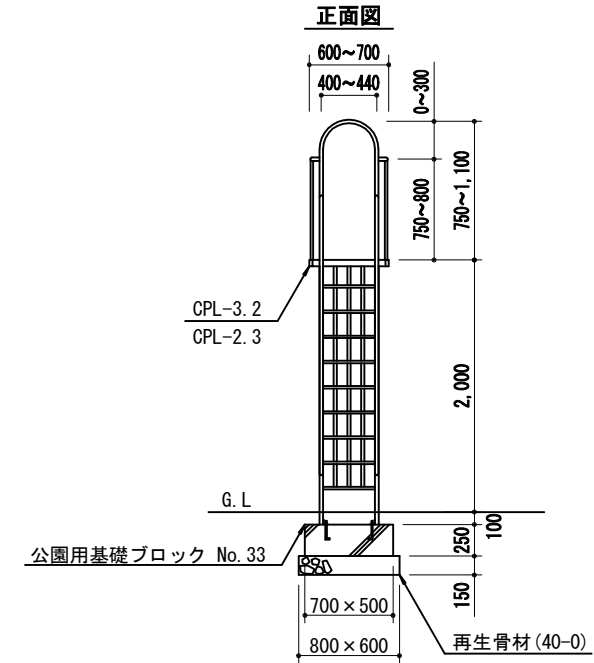
札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特 記 仕 様	1. 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。 2. 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。 3. 主要部材は、SGP又はSTKとする。 4. メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。 5. ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。 6. 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。 7. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。 8. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。 9. 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。	図面名称 大一流滑台B (FRP)	
	縮尺	1/60	番号	3-9-8



①	SGP	外径 17.3mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径 21.7mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 21.7mm	肉厚 1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ				
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50				
④	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3			
A. BOLT 2-M12				
⑤	SGP	外径 101.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 114.3mm	肉厚 4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 101.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大一流滑台C (ステンレス)

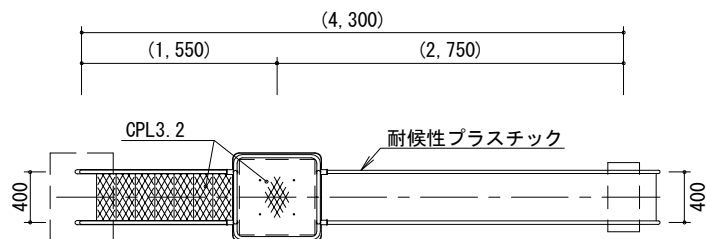
縮尺

1/60

番号

3-9-9

平面図

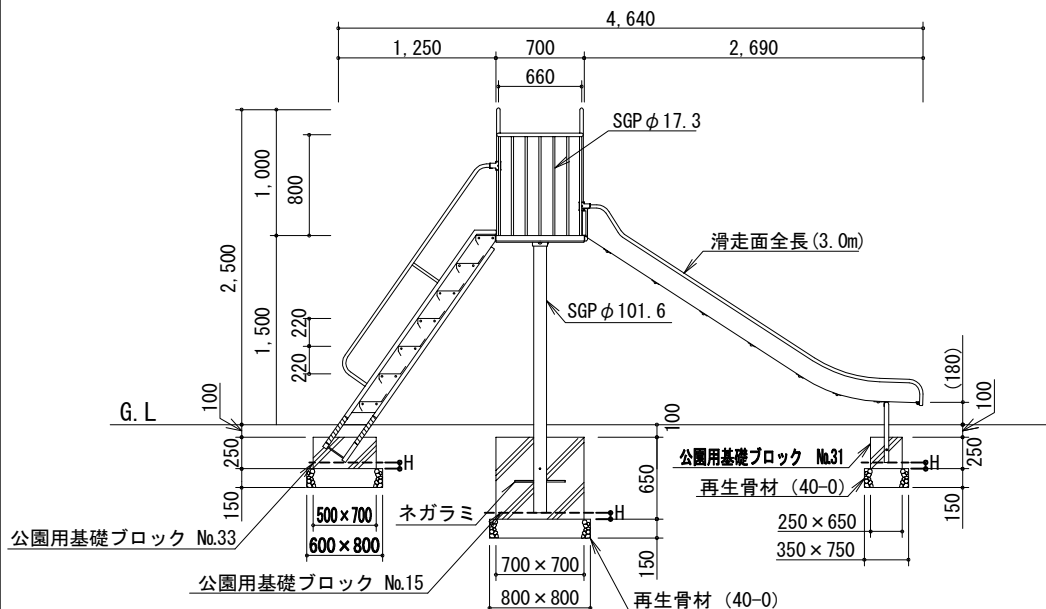


SGP	外径 17.3	肉厚 2.3	JISG3452
STK	外径 27.2	肉厚 2.3	JISG3444
SGP	外径 34.0	肉厚 3.2	JISG3452
SGP	外径101.6	肉厚 4.2	JISG3452
鋳鉄	ダクタイル		JISG5502

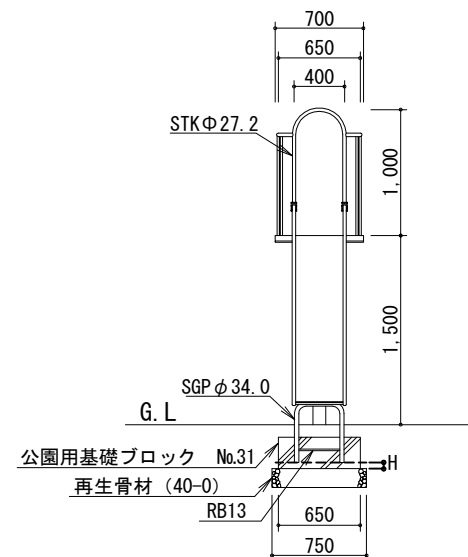
H=50 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

側面図



正面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

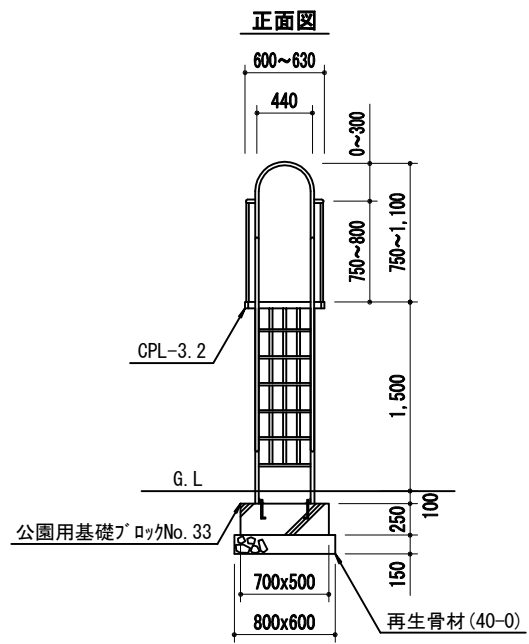
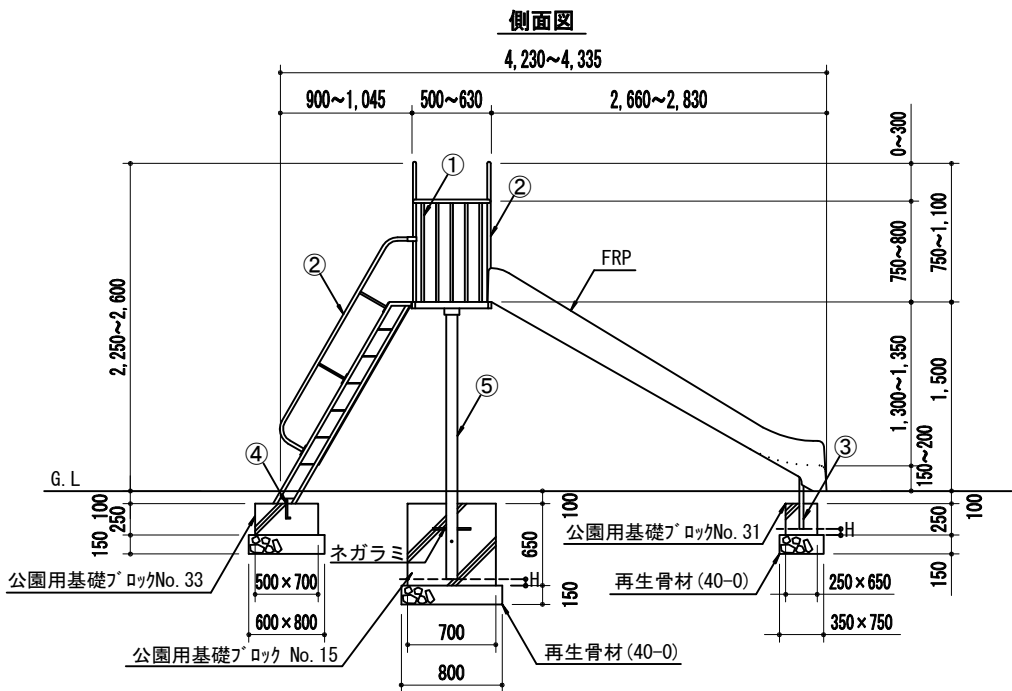
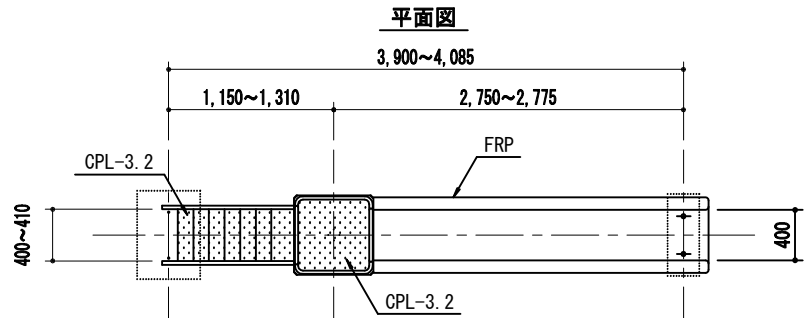
中型滑台A (プラスチック)

縮尺

1/60

番号

3-9-10



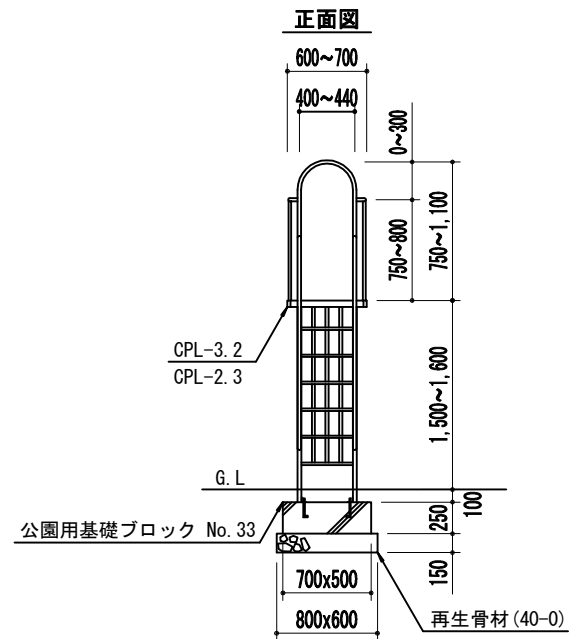
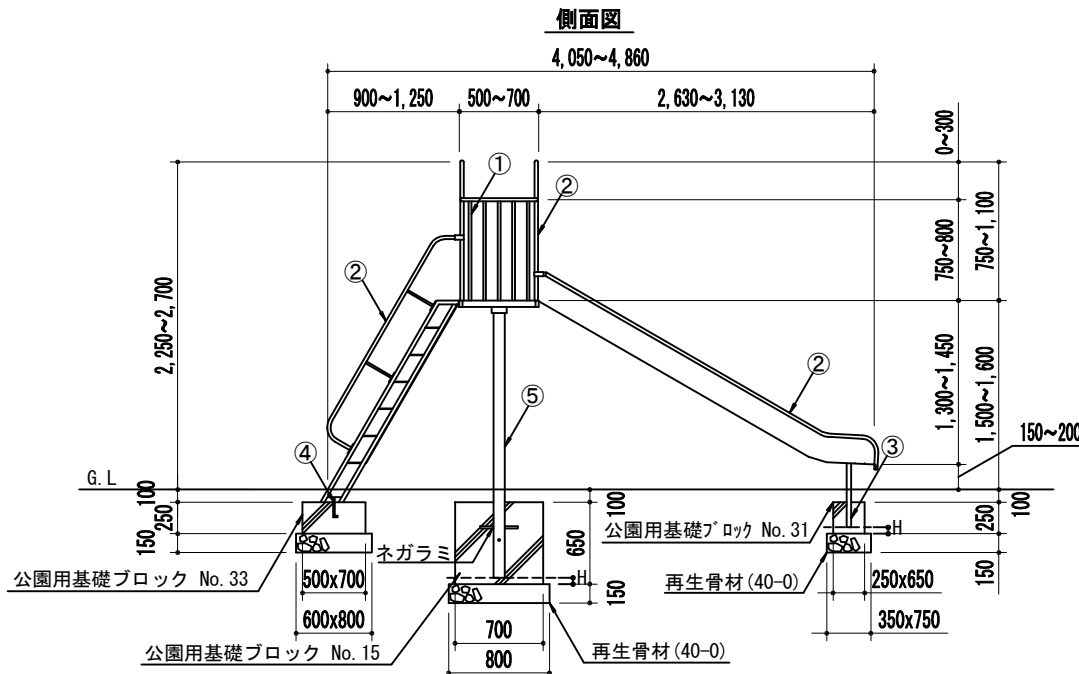
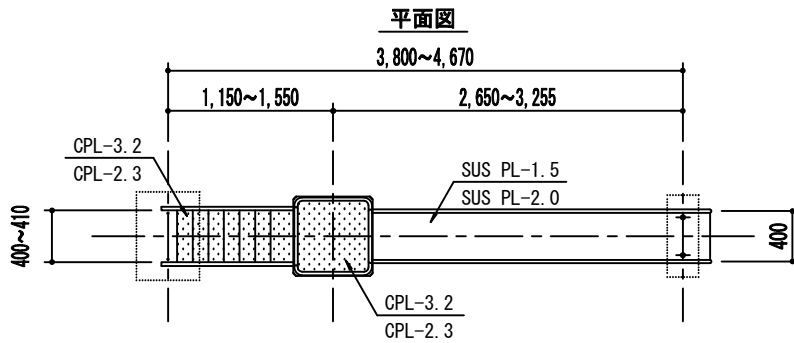
①	STK	外径 21.7mm	肉厚 1.9mm	JIS G 3444
	RB-16φ			
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444
④	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	A. BOLT 2-M12			
⑤	SGP	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
 ※ H: 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事
 標準図
 札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
 - 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
 - 主要部材は、SGP又はSTKとする。
 - メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
 - ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
 - 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。
 - 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
 - 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
 - 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称		
中型滑台B (FRP)		
縮尺	1/60	番号
		3-9-11



①	SGP	外径	17.3mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径	21.7mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ						
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50						
④	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3					
A. BOLT 2-M12						
⑤	SGP	外径	89.1mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径	89.1mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

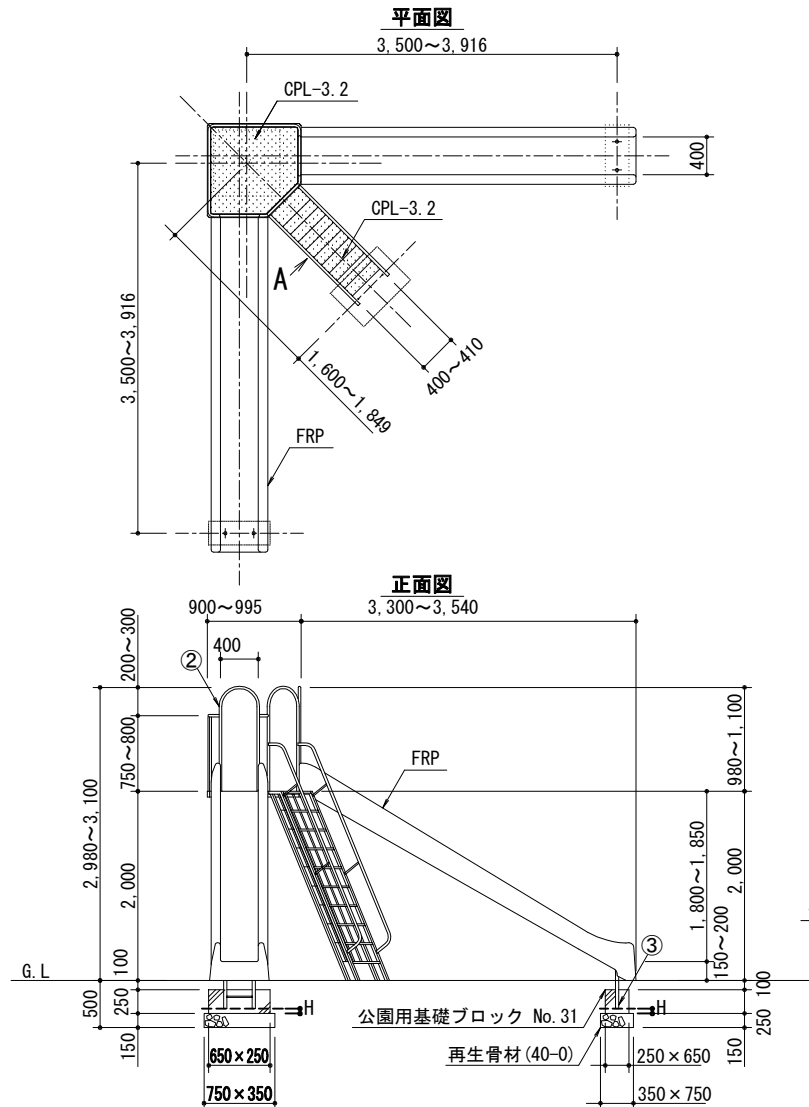
中型滑台C (ステンレス)

縮
尺

1/60

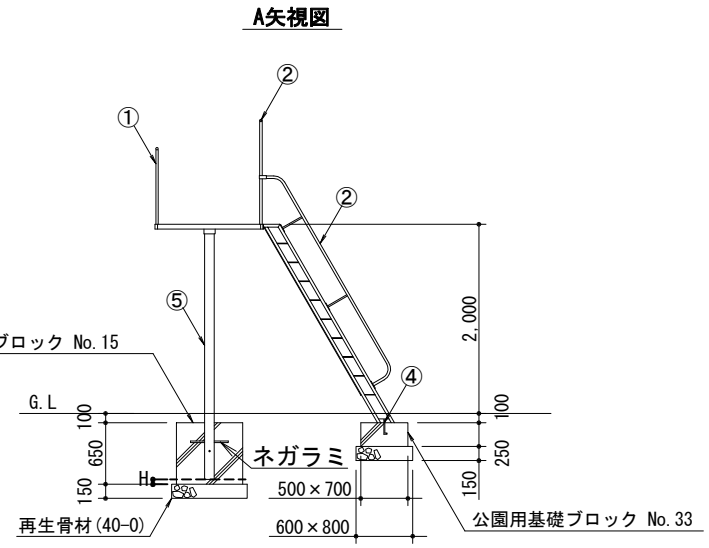
番
号

3-9-12



①	STK	外径 21.7mm	肉厚 1.9mm	JIS G 3444
	RB-16φ			
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444
④	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	A. BOLT 2-M12			
⑤	SGP	外径 114.3mm	肉厚 4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 101.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
 ※ H: 支柱下端部の設置高



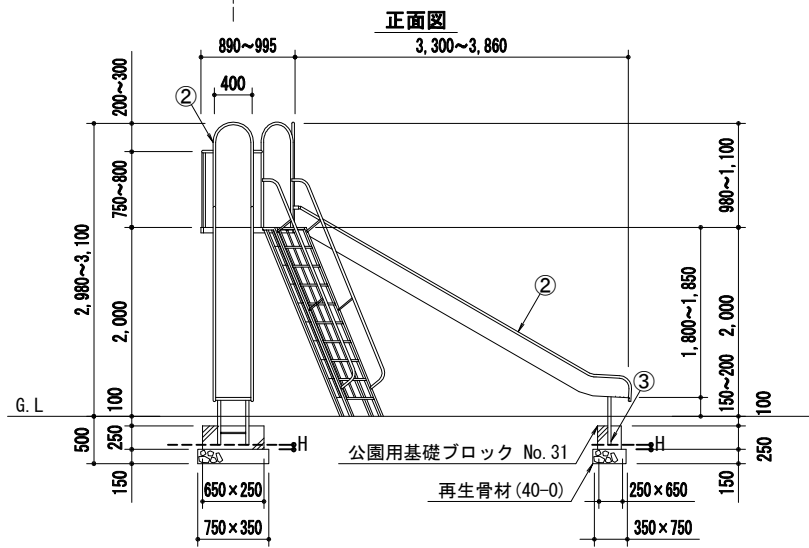
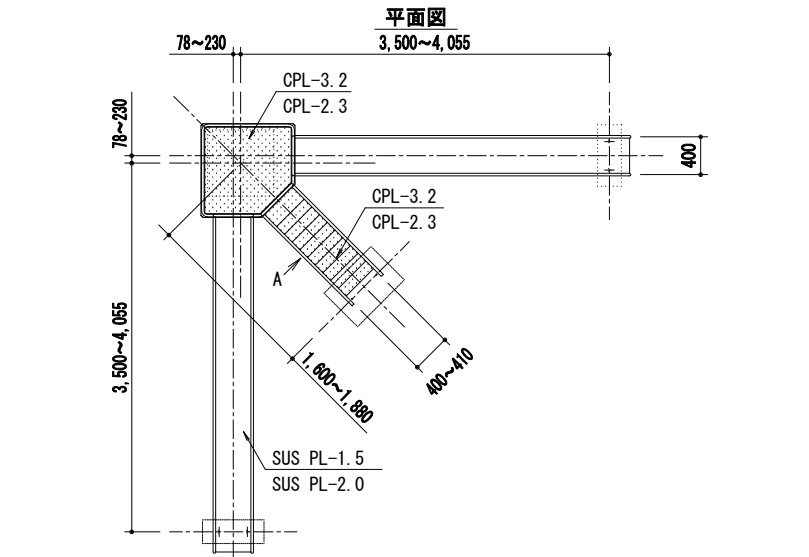
札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

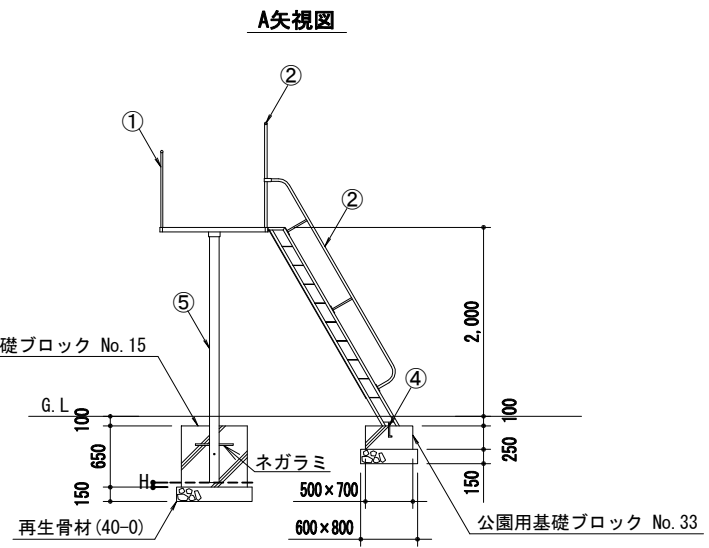
- 特記仕様
- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
 - 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
 - 主要部材は、SGP又はSTKとする。
 - メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
 - ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
 - 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
 - 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。
 - 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
 - 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称		
放射型滑台B (FRP)		
縮尺	1/80	番号
		3-9-14



①	SGP	外径	17.3mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径	21.7mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ						
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50						
④	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3					
A. BOLT 2-M12						
⑤	SGP	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	114.3mm	肉厚	4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

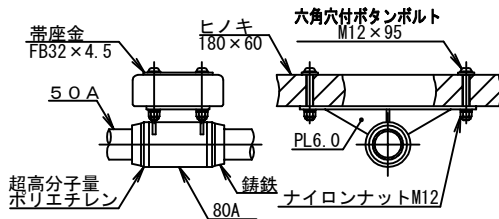


札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

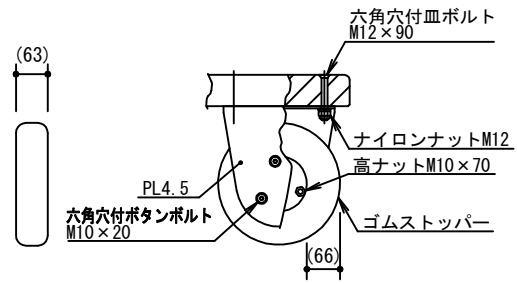
- 特記仕様
- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
 - 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPIFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
 - 主要部材は、SGP又はSTKとする。
 - メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
 - ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
 - 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
 - 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
 - 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
 - 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称		
放射型滑台C (ステンレス)		
縮尺	1/80	番号
		3-9-15

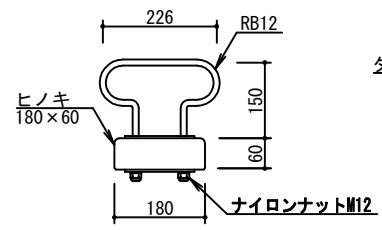
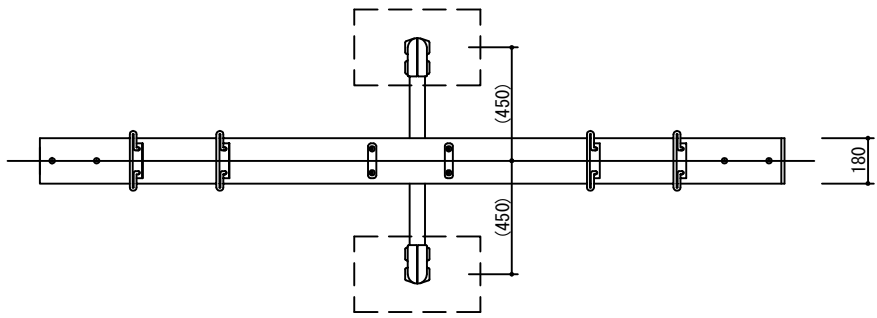
STK50A	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
SGP80A	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
鑄鉄	ダクタイル		JIS G 5502



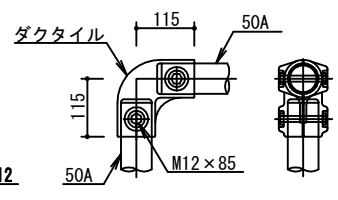
A 詳細図 S=1/15



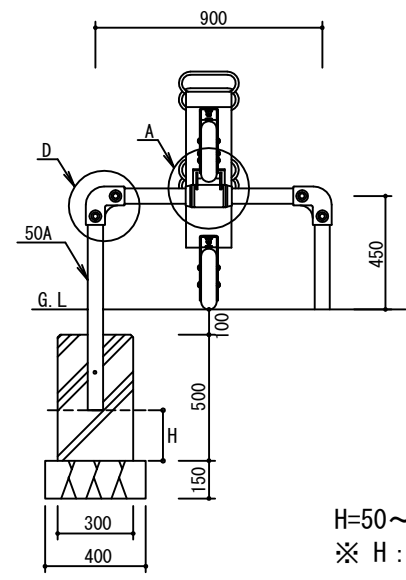
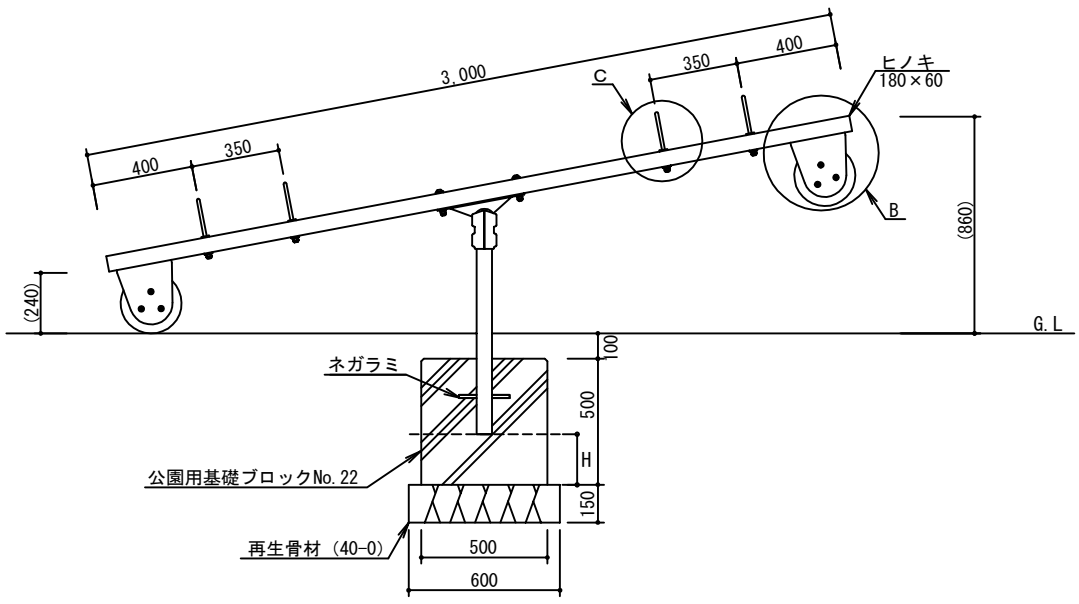
B 詳細図 S=1/15



C 詳細図 S=1/15

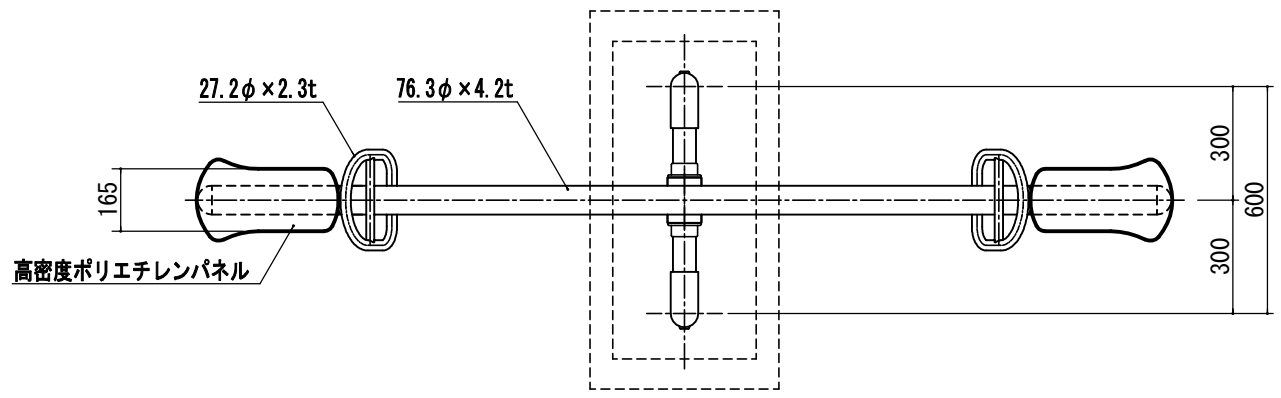


D 詳細図 S=1/15

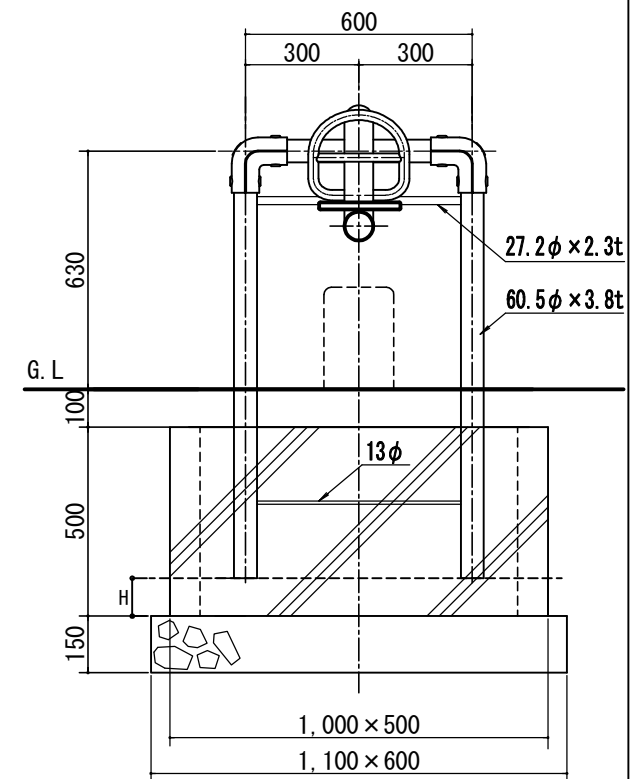
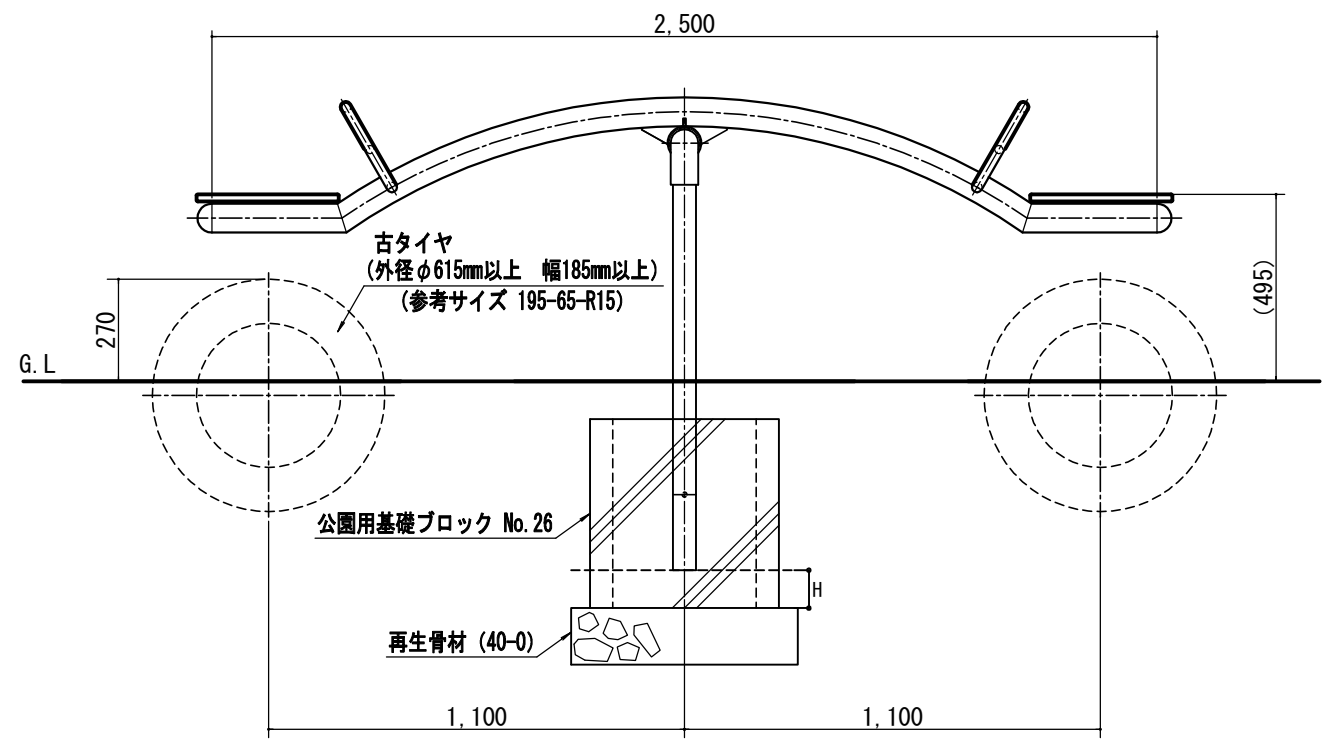


H=50~200 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

<p>札幌市造園工事</p> <p>標準図</p> <p>札幌市建設局みどりの推進部</p>	<p>特記仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。 シーソー本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。 主要部材は、SGP又はSTKとする。 木材は、木製品特記仕様(1-2-2)による。 メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。 ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペースー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。 	<p>図面名称</p> <p>シーソーA</p>	
		縮尺	1/30



H=100 (参考値)
 ※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

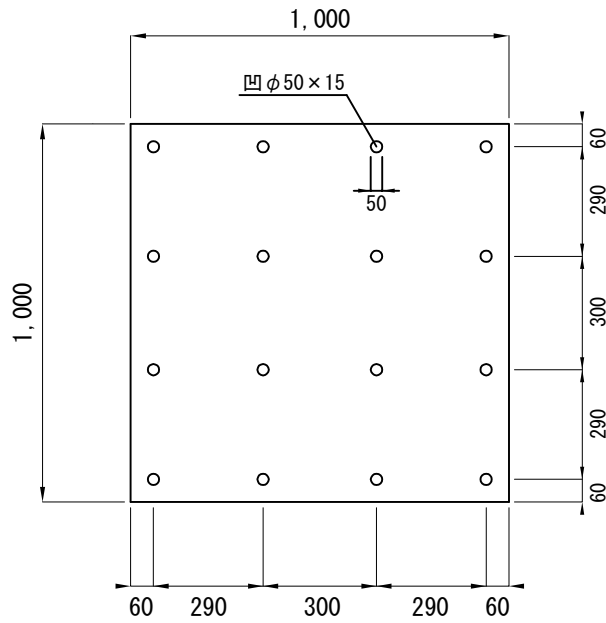
特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- シーソー本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPAF-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 使用パイプ類およびボルト・ナット類は、ジंकロメートメッキとする。
- 下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスパーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

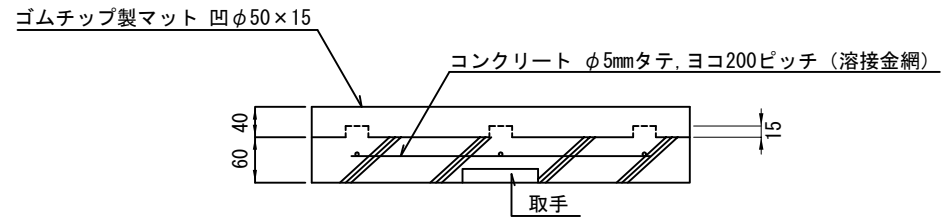
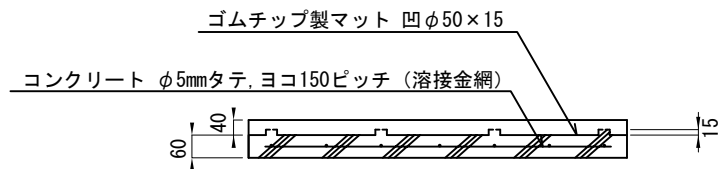
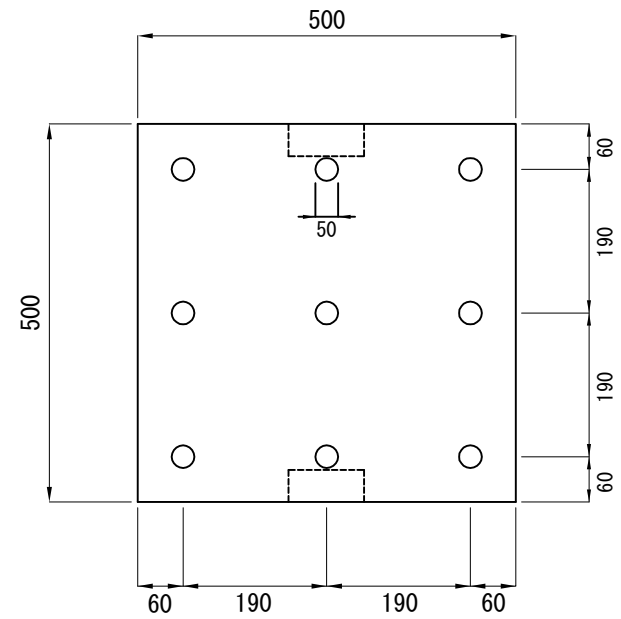
図面名称	
シーソーC	
縮尺	1/20
番号	3-9-17

ゴムチップ製マット詳細図

S=1/20



S=1/10

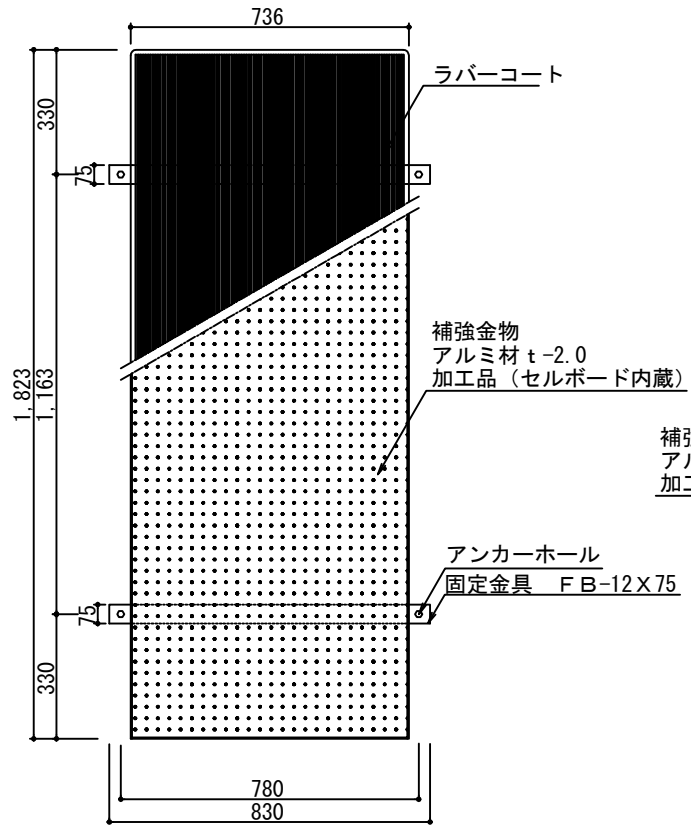


札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

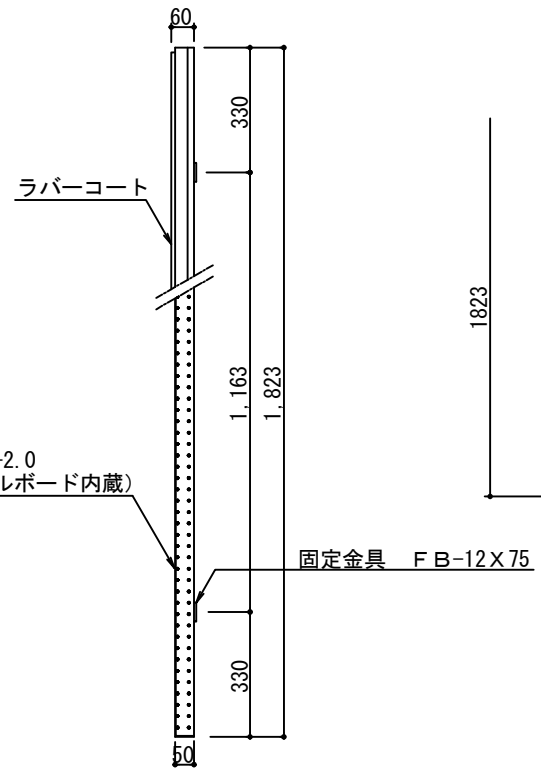
特記仕様

図面名称
ゴムチップ製マット

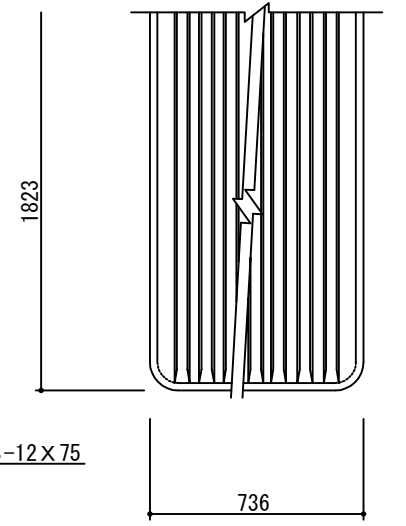
縮尺	図示	番号	3-9-18
----	----	----	--------



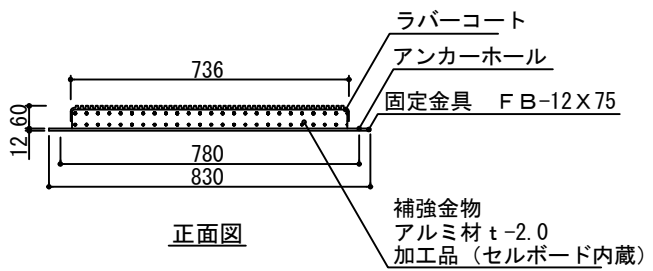
平面図



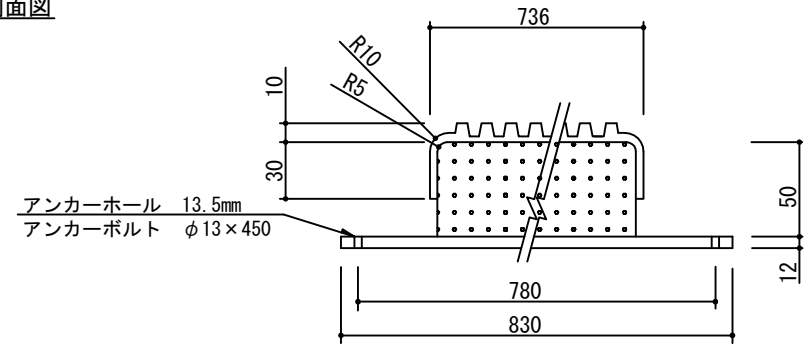
側面図



ラバーコート平面図 S=1/3



正面図



ラバーコート正面図 S=1/3

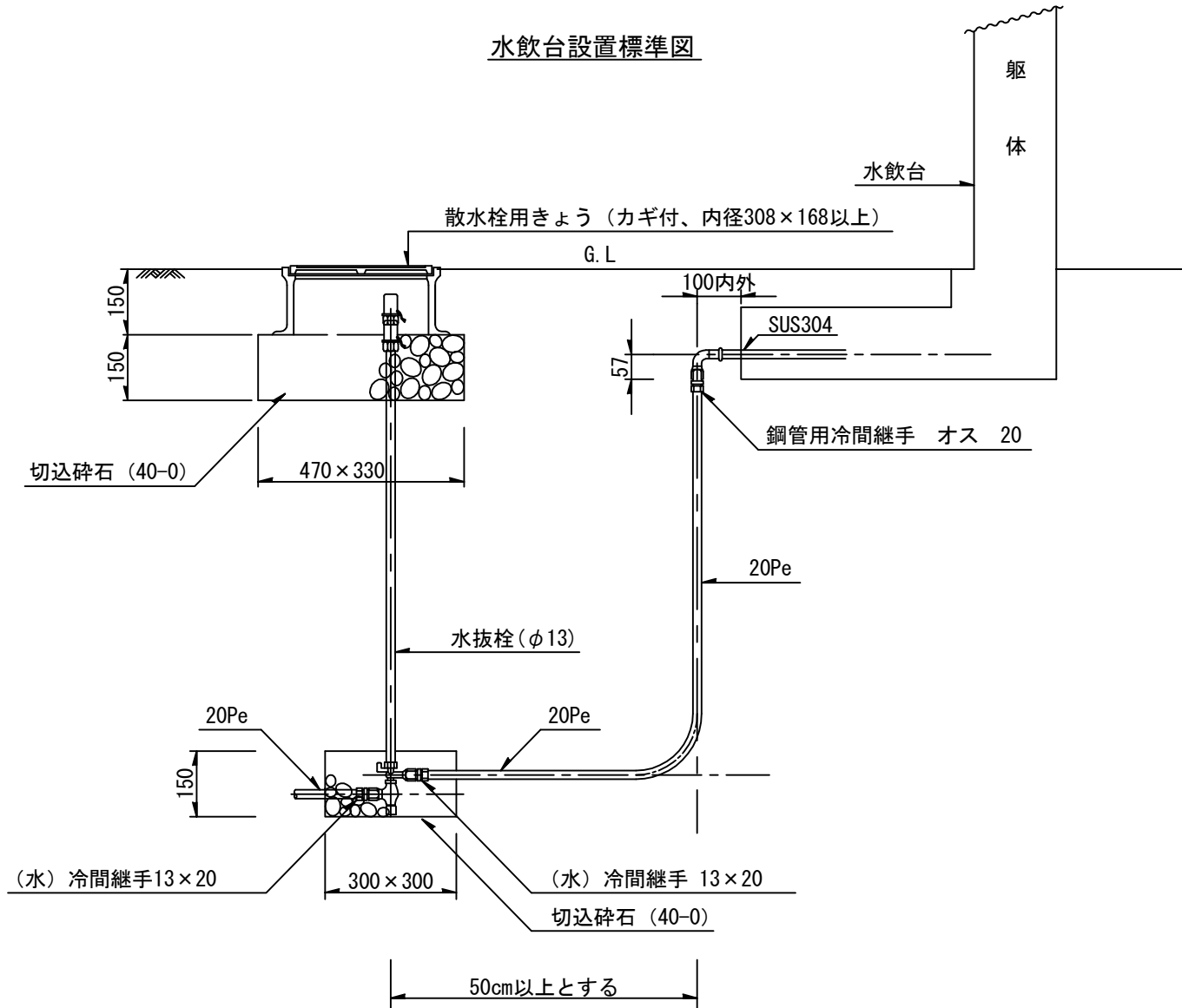
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称		敷床板	
縮尺	図示	番号	3-9-19

3-10 サービス施設整備工

水飲台設置標準図



1. 散水栓きょうのカギは、取り外しハンドルタイプを基本とし、維持管理上支障のないように考慮の上で決定すること。

図面名称

水飲台設置標準図

縮尺

1/15

番号

3-10-1

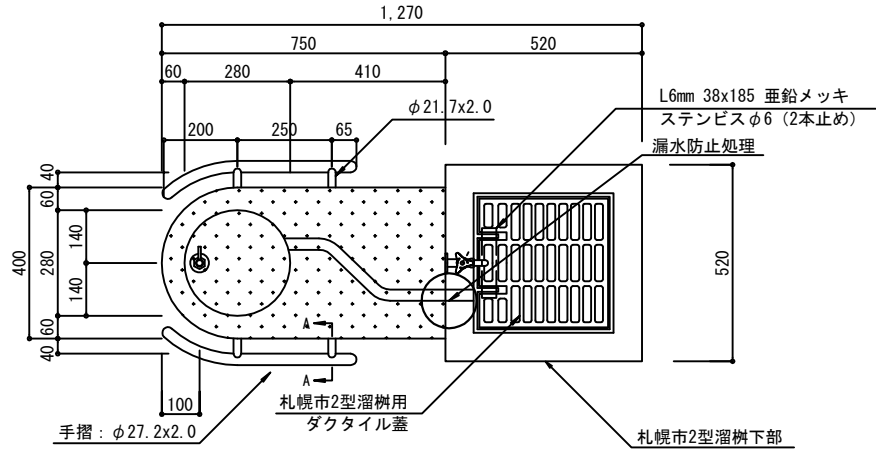
札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

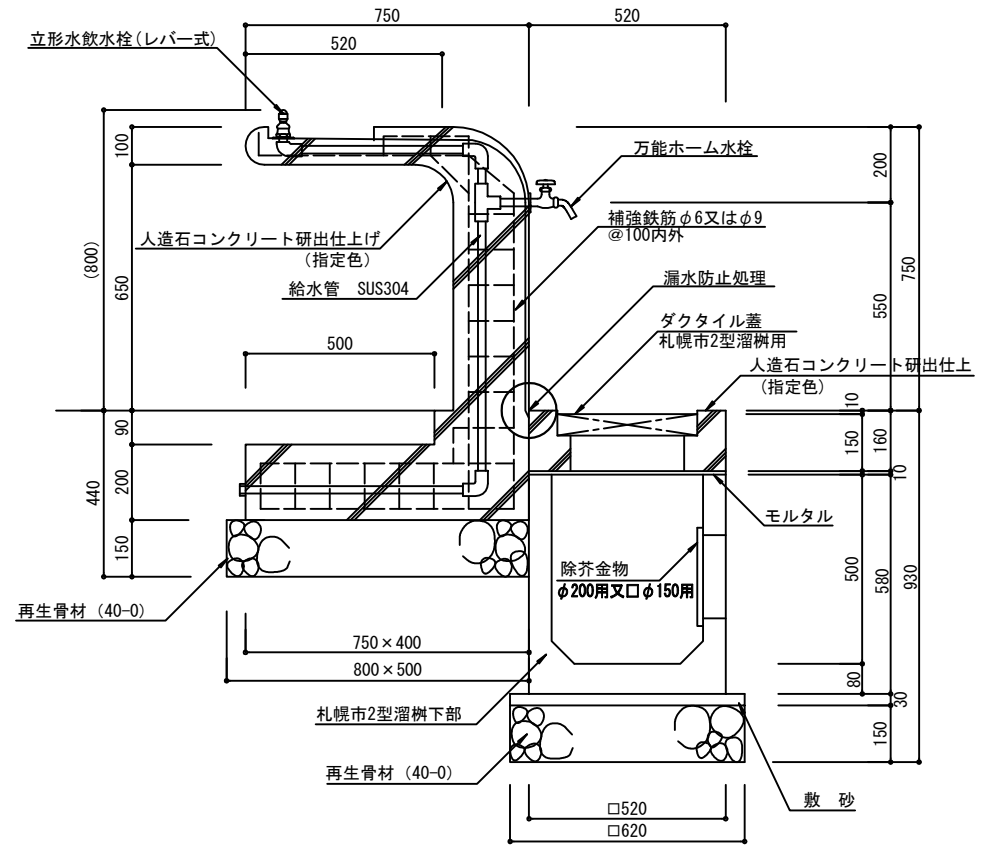
特記仕様

水飲台詳細図

平面図

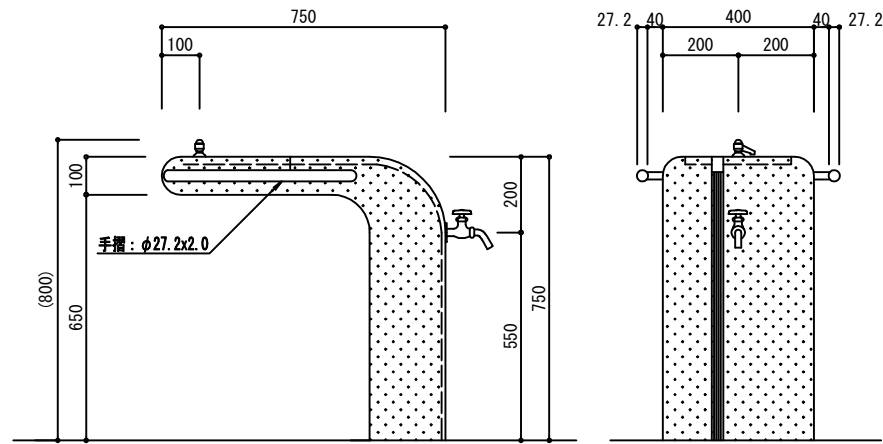


断面図

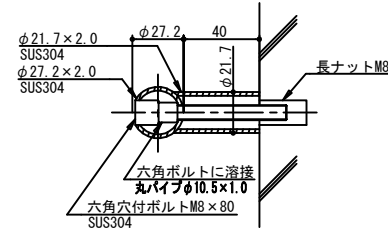


側面図

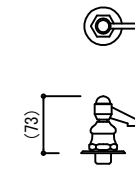
正面図



A-A断面図 S=1:4



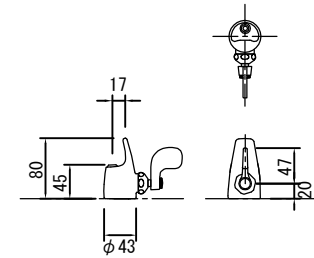
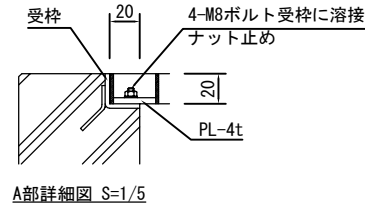
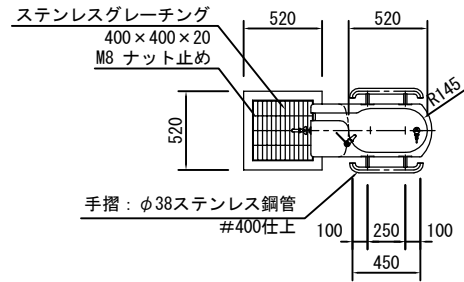
立型水栓詳細図(レバー式) SF-101 S=1:10



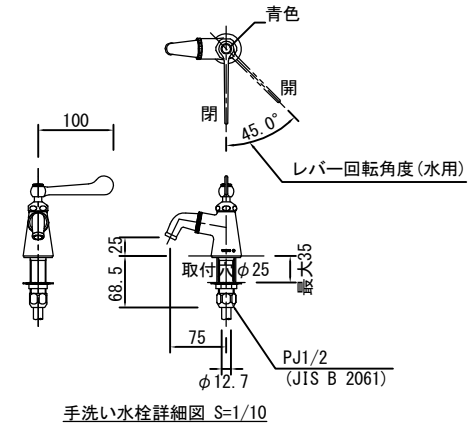
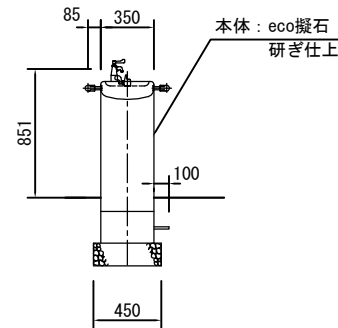
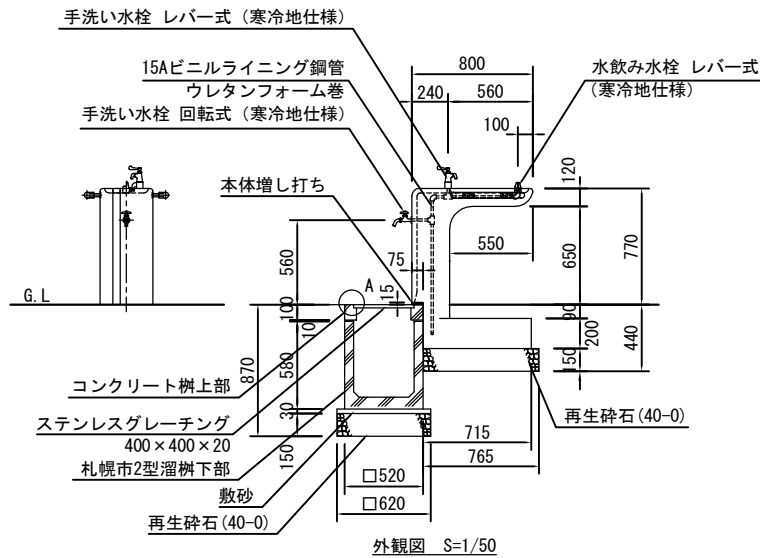
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
- 製品の表面は、人造石コンクリート研出仕上(指定色)とする。
 - 給水管(JWWA G115)継手(JWWA G116)仕様とする。
 - 設置時に立形水飲水栓の水量調節を行うこと。
 - 水飲台と上部樹の境目については、漏水防止処理を施すこと。

図面名称		水飲台A	
縮尺	図示	番号	3-10-2



水飲み水栓詳細図 S=1/10



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
1. 本体：eco擬石 (稲田) 研ぎ仕上
 2. 手摺：φ38×t1.5ステンレス鋼管
 3. 水栓：水飲み (レバー式/寒冷地仕様)
上部手洗い (レバー式/寒冷地仕様)
下部手洗い (回転式/寒冷地仕様)

図面名称

水飲台 C

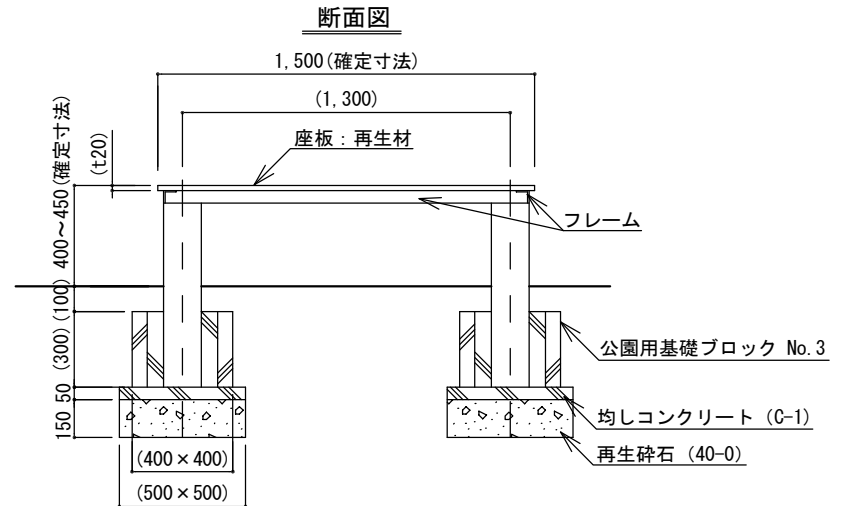
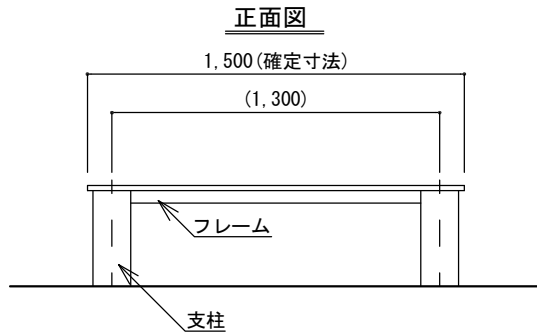
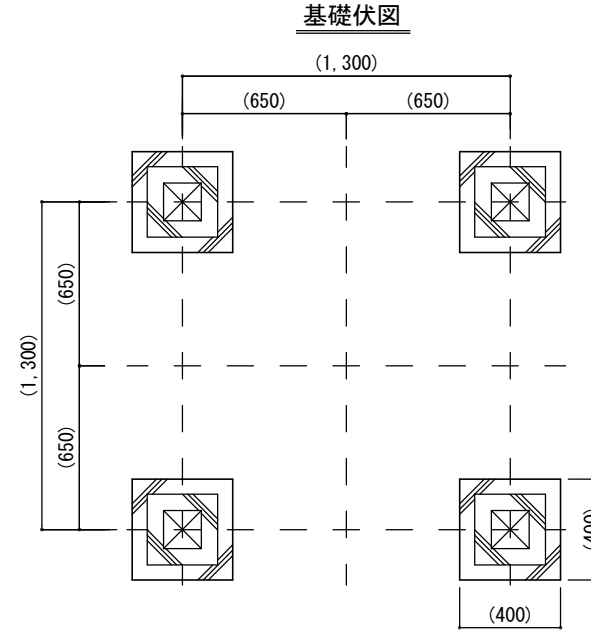
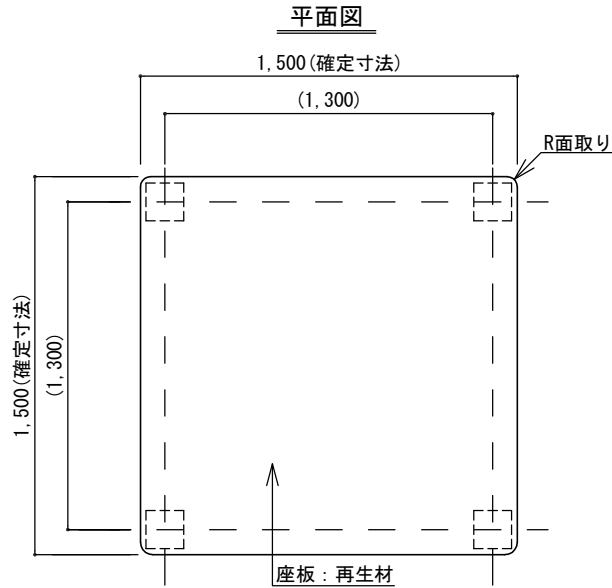
縮尺

図示

番号

3-10-3

縁台 C 詳細図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

1. 参考図に表示する括弧内の寸法は参考値（但し、確定寸法は変更不可）とする。納入する製品は参考図と同等程度の製品とする。
2. 製品の細部、確定寸法、基礎の形状・規格、鋼材の塗装色等の使用について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定することとする。
3. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
4. 再生木材は、用途を考慮し縁台に適した材を使用すること。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面等を提出すること。
8. 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

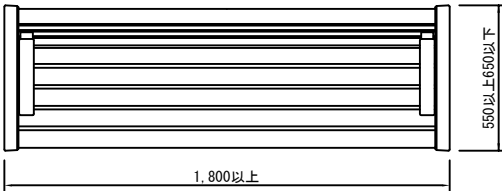
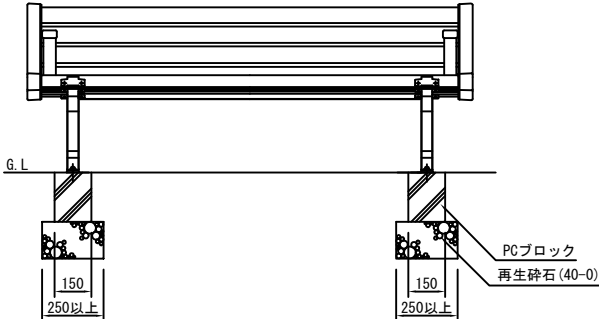
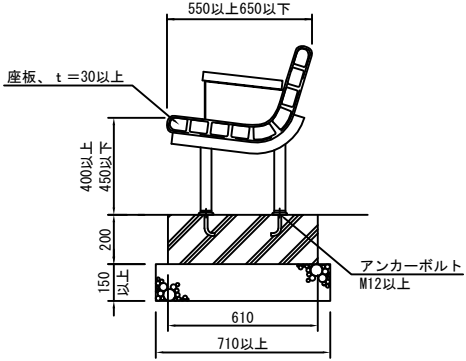
縁台 C

縮
尺

1/30

番
号

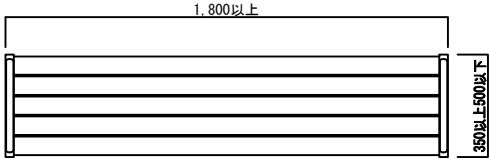
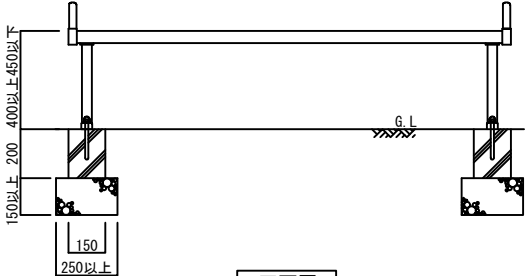
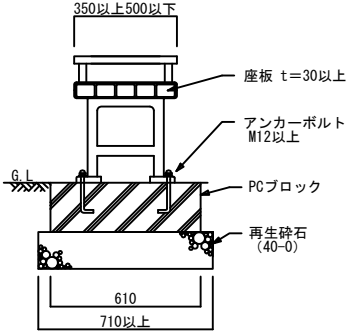
3-10-4

区分	品質・規格	模式図
座板	1) 材質は、木材・プラスチック再生複合材とし、リサイクル材料の含有率を40%以上とする。 2) 耐水性、耐候性に優れた材質とすること。 3) ささくれ等の危険が生じない仕上げとすること。 4) 板材の厚さは、30mm以上とすること。	 <p style="text-align: center;">平面図</p>
脚・肘掛	1) 材質は、金属材料とし、詳細は土木工事共通仕様書によること。 2) 防食性に優れた仕上げとすること。 3) アンカーボルト取付とする。 4) アンカーボルトは、M12以上とし、形状・径の詳細を承諾図に記載すること。 5) アンカーボルトのめっきは、札造標1-2-1によること。 6) 肘掛に再生複合材を使用する際は、座板を参照すること。	 <p style="text-align: center;">正面図</p>
形状仕様規格	1) 座面の長さは 1,800mm以上とすること。 2) 座面の幅は 550mm以上650mm以下とすること。 3) 座面の高さは 400mm以上450mm以下とすること。 4) 脚は 2か所とすること。 5) アンカーボルト取付とし、PCコンクリートブロック基礎L610×W150×H200とすること。 6) アンカーボルトは1脚あたり 2か所以上とすること。 7) 基礎砕石は再生骨材40-0とし、L710×W250×t150以上敷設すること。 8) ビス・ナット類はSUS304以上とすること。 9) 肘掛は両端 2か所とすること。 10) 座り心地、人間工学に配慮したデザイン・形状とすること。 11) 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品に貼付すること。 ただし、利用の妨げにならない箇所に、容易に剥がれない方法で貼付すること。 12) 設計にあたっては、構造計算に基づき、形状等を規定すること。 また、発注者との協議により、発注者が求める場合は、構造計算書を提出すること。	 <p style="text-align: center;">側面図</p>

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

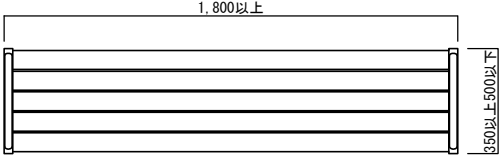
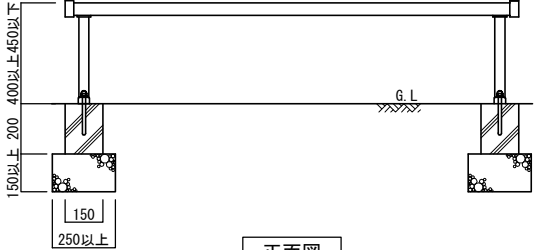
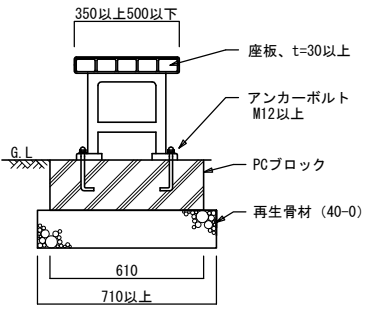
図面名称		背付ベンチS	
縮尺	—	番号	3-10-5

区分	品質・規格	模式図
座板	1) 材質は、木材・プラスチック再生複合材とし、リサイクル材料の含有率を40%以上とする。 2) 耐水性、耐候性に優れた材質とすること。 3) ささくれ等の危険が生じない仕上げとすること。 4) 板材の厚さは、30mm以上とすること。	 <p>1,800以上</p> <p>350以上500以下</p> <p>平面図</p>
脚・肘掛	1) 材質は、金属材料とし、詳細は土木工事共通仕様書によること。 2) 防食性に優れた仕上げとすること。 3) アンカーボルト取付とする。 4) アンカーボルトは、M12以上とし、形状・径の詳細を承諾図に記載すること。 5) アンカーボルトのめっきは、札造標1-2-1によること。 6) 肘掛に再生複合材を使用する際は、座板を参照すること。	 <p>150以上 200 400以上450以下</p> <p>250以上</p> <p>正面図</p>
形状仕様規格	1) 座面の長さは 1,800mm以上とすること。 2) 座面の幅は 350mm以上500mm以下とすること。 3) 座面の高さは 400mm以上450mm以下とすること。 4) 脚は 2か所とすること。 5) アンカーボルト取付とし、PCコンクリートブロック基礎L610×W150×H200とすること。 6) アンカーボルトは1脚あたり 2か所以上とすること。 7) 基礎砕石は再生骨材40-0とし、L710×W250×t150以上敷設すること。 8) ビス・ナット類はSUS304以上とすること。 9) 肘掛は両端 2か所とすること。 10) 座り心地、人間工学に配慮したデザイン・形状とすること。 11) 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品に貼付すること。 ただし、利用の妨げにならない箇所に、容易に剥がれない方法で貼付すること。 12) 設計にあたっては、構造計算に基づき、形状等を規定すること。 また、発注者との協議により、発注者が求める場合は、構造計算書を提出すること。	 <p>350以上500以下</p> <p>座板 t=30以上</p> <p>アンカーボルト M12以上</p> <p>PCブロック</p> <p>再生砕石 (40-0)</p> <p>610 710以上</p> <p>側面図</p>

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
背無ベンチ（肘掛付き）S
縮尺 — 番号 3-10-6

区分	品質・規格	模式図
座板	<ol style="list-style-type: none"> 1) 材質は、木材・プラスチック再生複合材とし、リサイクル材料の含有率を40%以上とする。 2) 耐水性、耐候性に優れた材質とすること。 3) ささくれ等の危険が生じない仕上げとすること。 4) 板材の厚さは、30mm以上とすること。 	 <p>1,800以上</p> <p>350以上 500以下</p> <p>平面図</p>
脚・肘掛	<ol style="list-style-type: none"> 1) 材質は、金属材料とし、詳細は土木工事共通仕様書によること。 2) 防食性に優れた仕上げとすること。 3) アンカーボルト取付とすること。 4) アンカーボルトは、M12以上とし、形状・径の詳細を承諾図に記載すること。 5) アンカーボルトのめっきは、札造標 1-2-1 によること。 	 <p>150以上 200以下</p> <p>400以上 450以下</p> <p>150</p> <p>250以上</p> <p>正面図</p>
形状寸法・仕様・規格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 座面の長さは 1,800mm以上とすること。 2) 座面の幅は 350mm以上500mm以下とすること。 3) 座面の高さは 400mm以上450mm以下とすること。 4) 脚は 2か所とすること。 5) アンカーボルト取付とし、PCコンクリートブロック基礎L610×W150×H200とすること。 6) アンカーボルトは1脚あたり 2か所以上とすること。 7) 基礎砕石は再生骨材40-0とし、L710×W250×t150以上敷設すること。 8) ビス・ナット類はSUS304以上とすること。 9) 肘掛等がないデザインとすること。 10) 座り心地、人間工学に配慮したデザイン・形状とすること。 11) 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品に貼付すること。 ただし、利用の妨げにならない箇所に、容易に剥がれない方法で貼付すること。 12) 設計にあたっては、構造計算に基づき、形状等を規定すること。 また、発注者との協議により、発注者が求める場合は、構造計算書を提出すること。 	 <p>350以上 500以下</p> <p>座板、t=30以上</p> <p>アンカーボルト M12以上</p> <p>PCブロック</p> <p>再生骨材 (40-0)</p> <p>610</p> <p>710以上</p> <p>側面図</p>

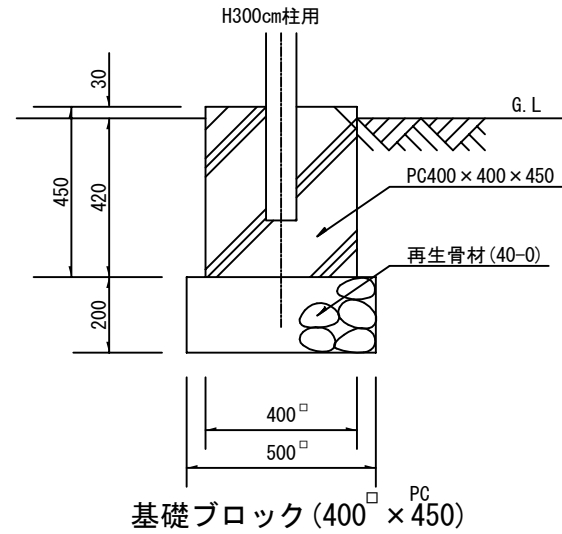
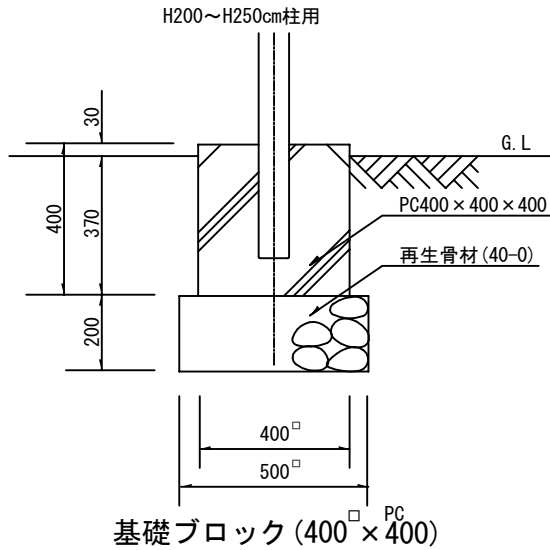
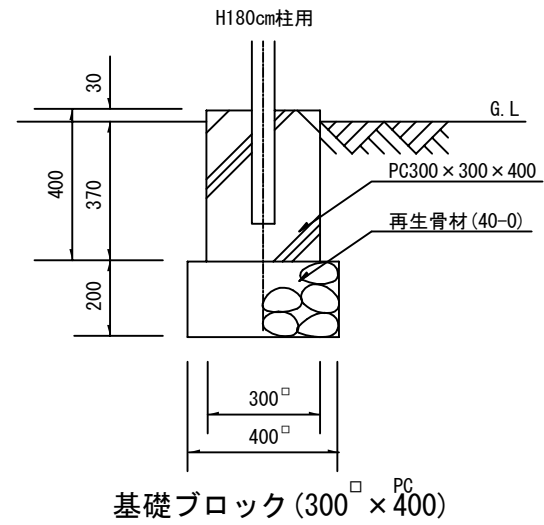
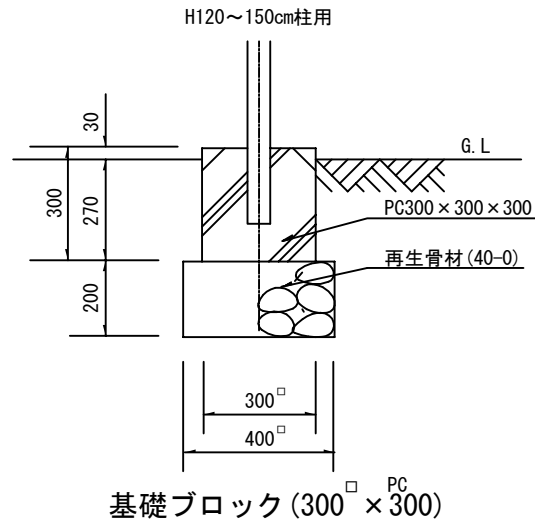
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
背無ベンチ（肘掛なし）S
縮尺 — 番号 3-10-7

3-11 管理施設整備工

ネットフェンス基礎工詳細図



1. 中詰は、モルタル (1 : 3) とする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

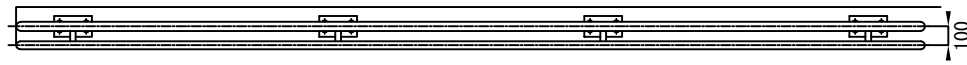
図面名称
ネットフェンス基礎工詳細図

縮尺

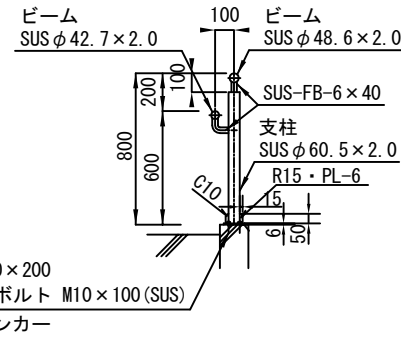
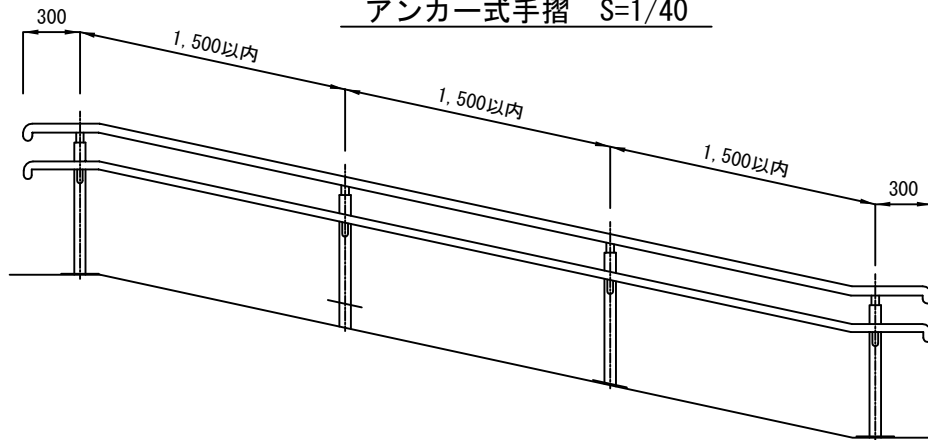
1/20

番号

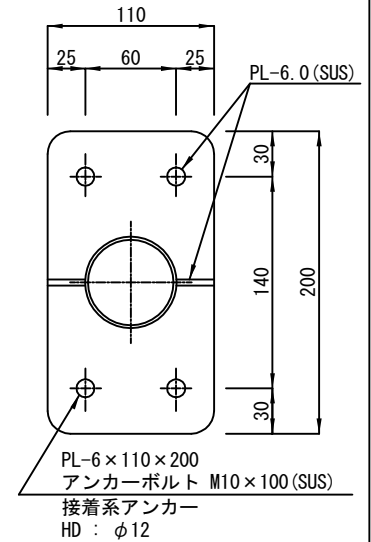
3-11-1



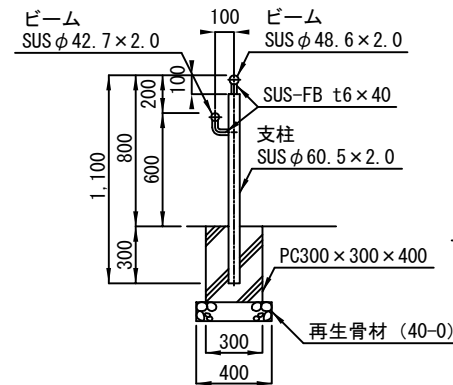
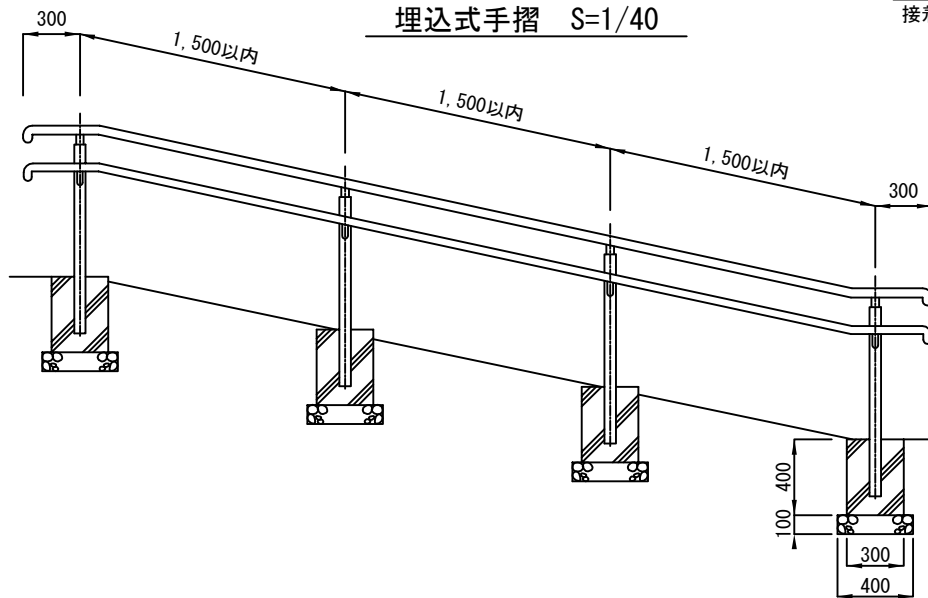
アンカー式手摺 S=1/40



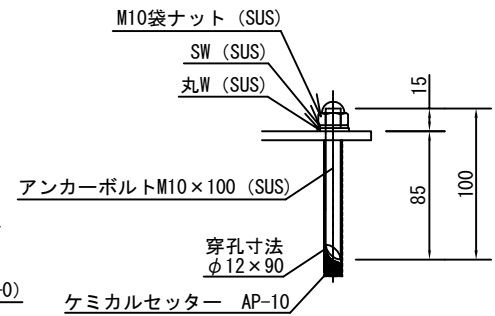
脚部詳細図 S=1/5



埋込式手摺 S=1/40



アンカー詳細図 S=1/5



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 材質は、ステンレス製 (SUS304) 鏡面仕上げ (400#) とする。
2. 中詰は、モルタル (1 : 3) とする。

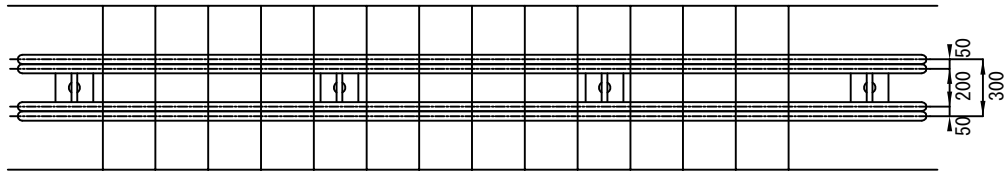
図面名称
ステンレス手摺 (片面型) H-800

縮尺

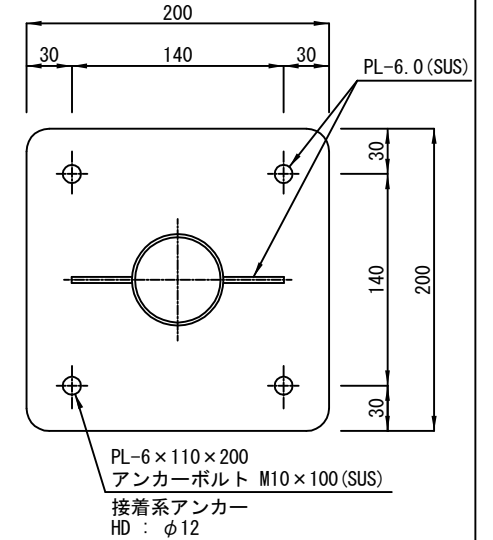
図示

番号

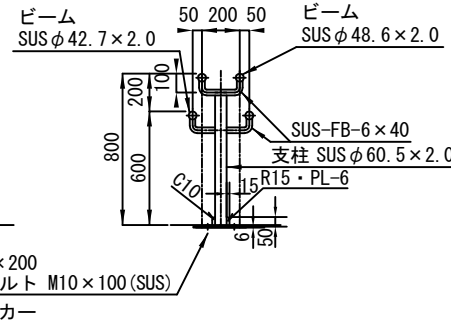
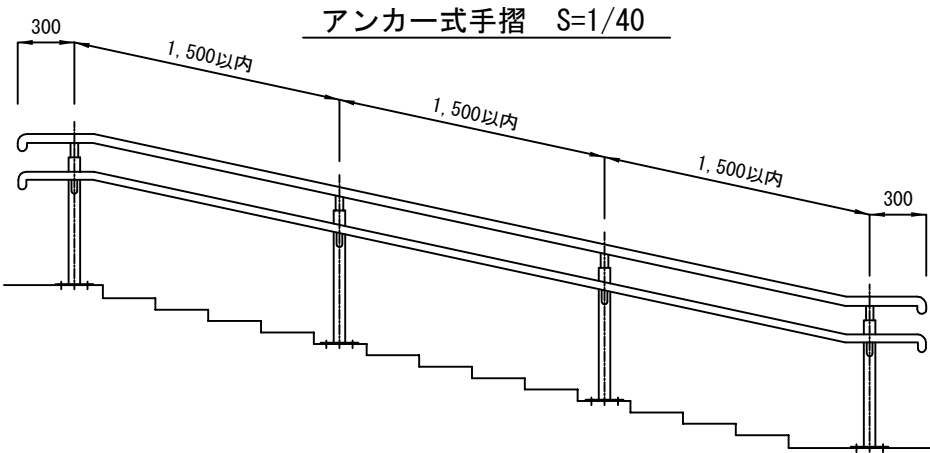
3-11-2



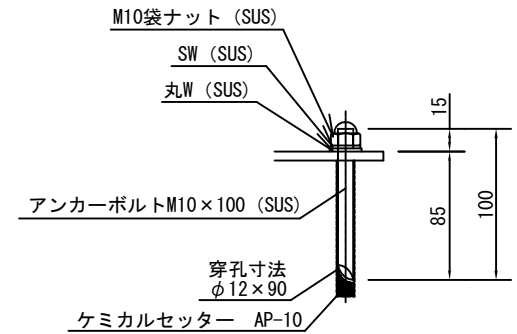
脚部詳細図 S=1/5



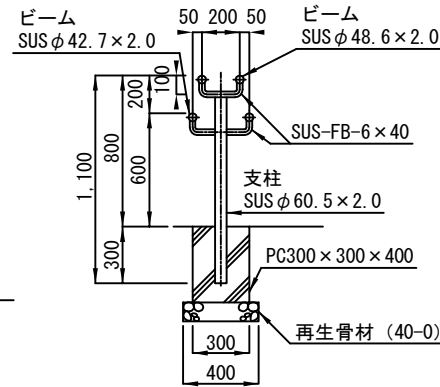
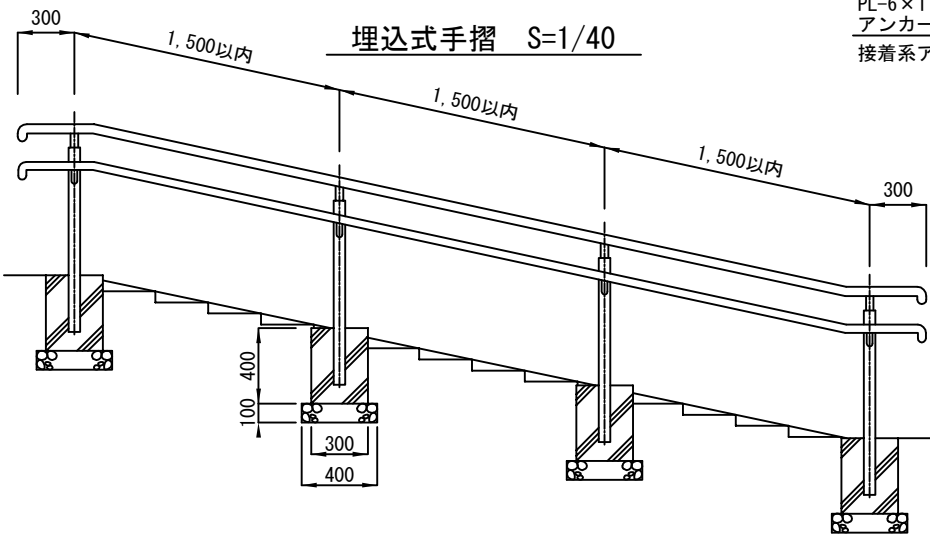
アンカー式手摺 S=1/40



アンカー詳細図 S=1/5



埋込式手摺 S=1/40



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 材質は、ステンレス製 (SUS304) 鏡面仕上げ (400#) とする。
2. 中詰は、モルタル (1 : 3) とする。

図面名称
ステンレス手摺 (両面型) H-800

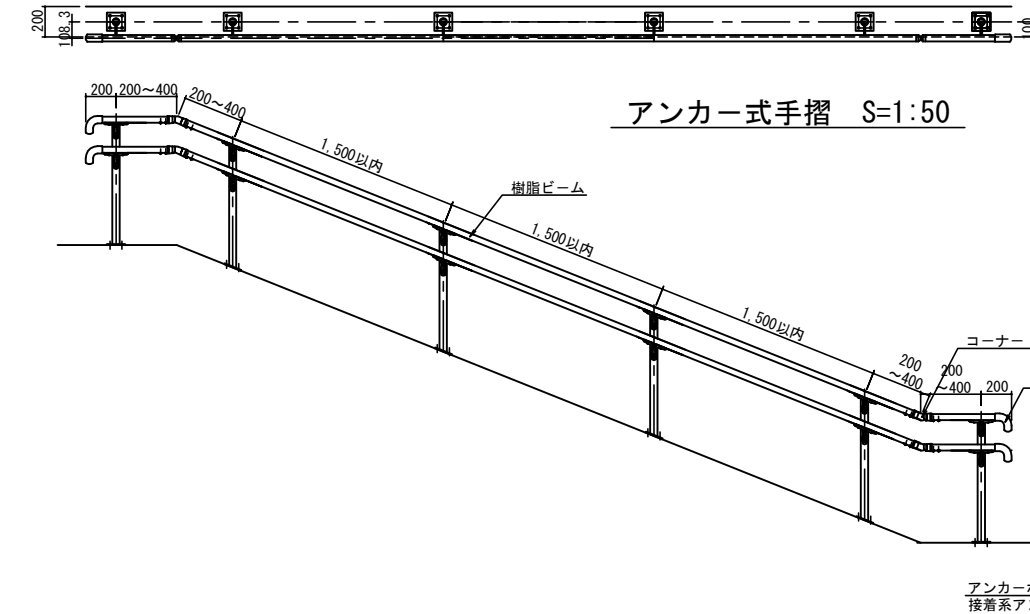
縮尺

図示

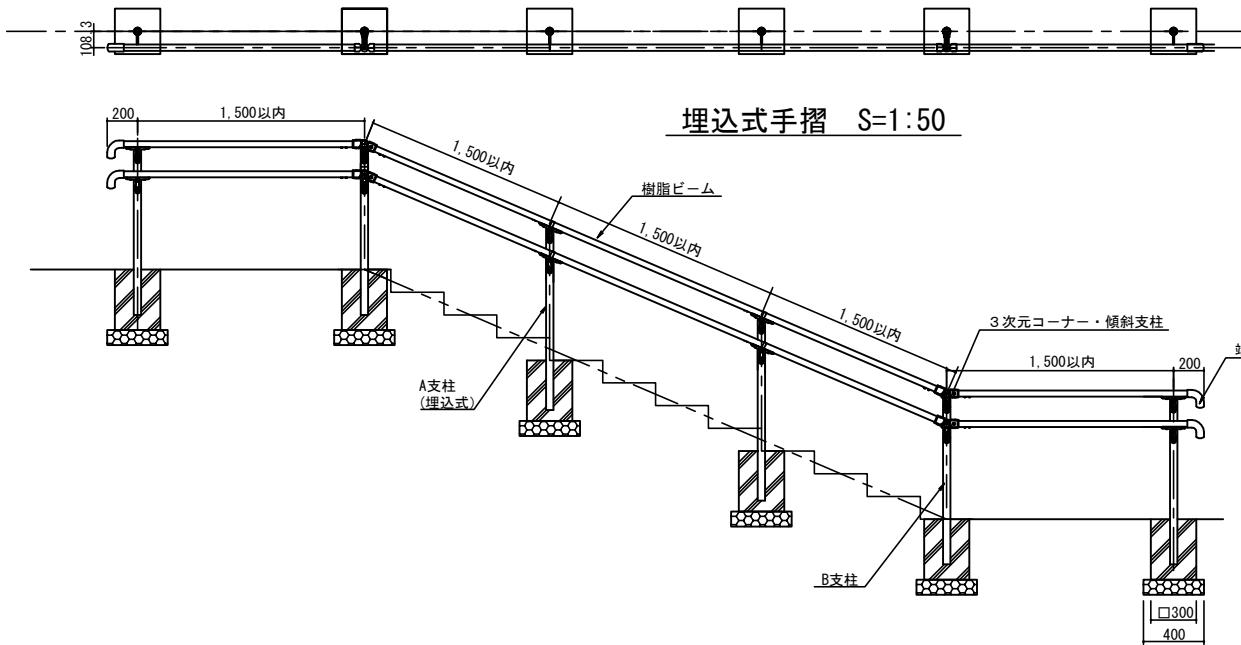
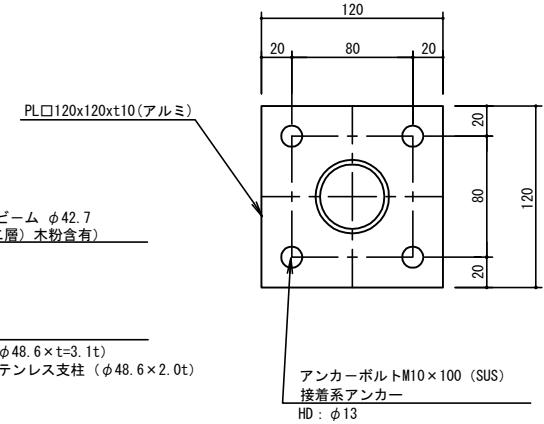
番号

3-11-3

アンカー式手摺 S=1:50

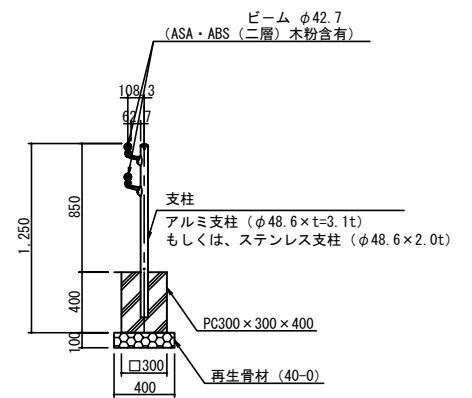
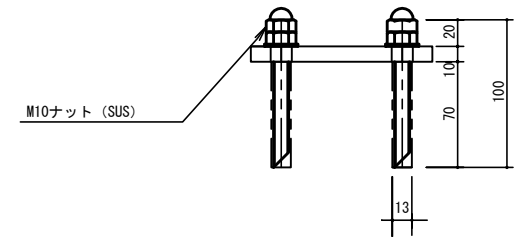


側面図 S=1:50



埋込式手摺 S=1:50

側面図 S=1/50



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. アルミ製支柱の材質はTHS87S-T6 (JISH4100 A6061S-T6相当) とし、陽極酸化皮膜処理とする。
2. ステンレス支柱の材質はSUS304、表面処理はヘアーライン仕上げとする。
3. ビームの材質はアルミ形材THS87S-T6 (JISH4100 A6061S-T6相当) + ABS樹脂・ASA樹脂 (2層) とする。
4. ブラケットの材質はアルミダイカスト及びアルミ鋳物とする。
5. 中詰は、モルタル (1:3) とする。

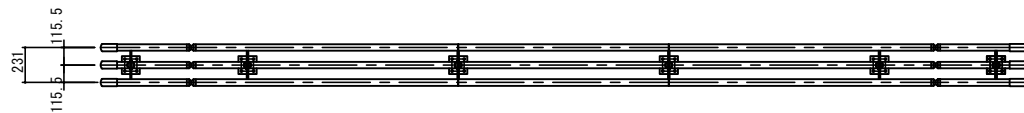
図面名称
樹脂被覆手摺 (片面型) H-850

縮尺

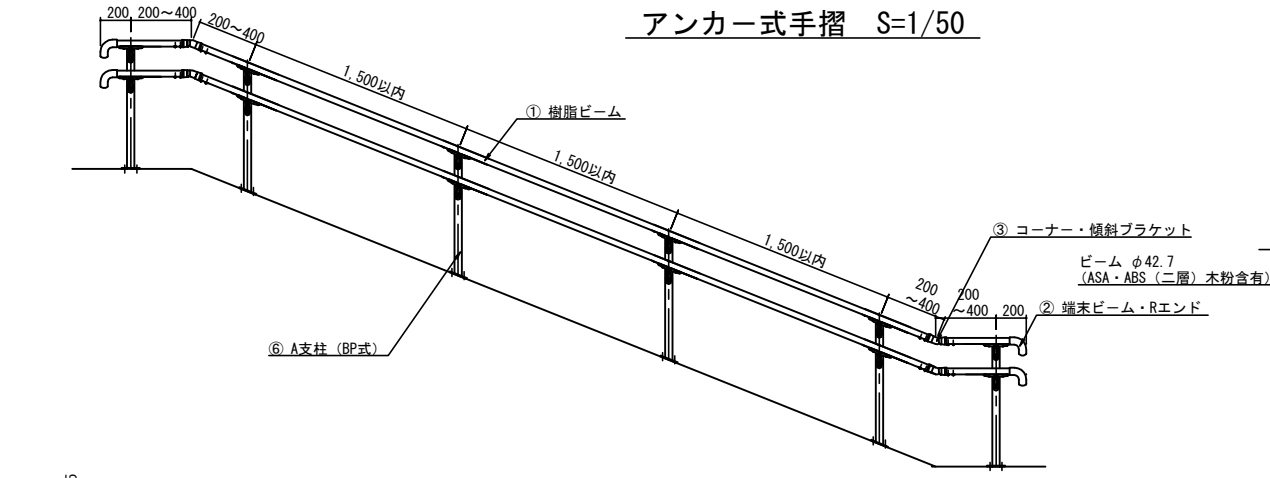
図示

番号

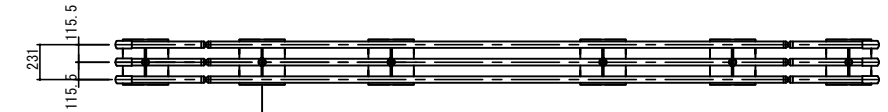
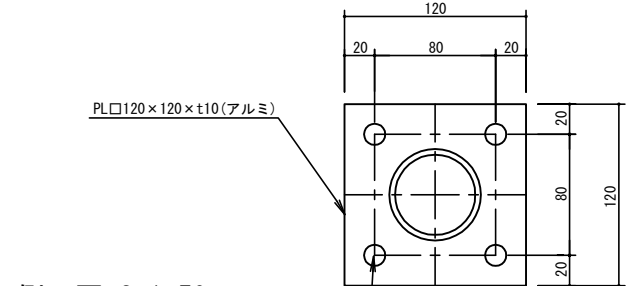
3-11-4



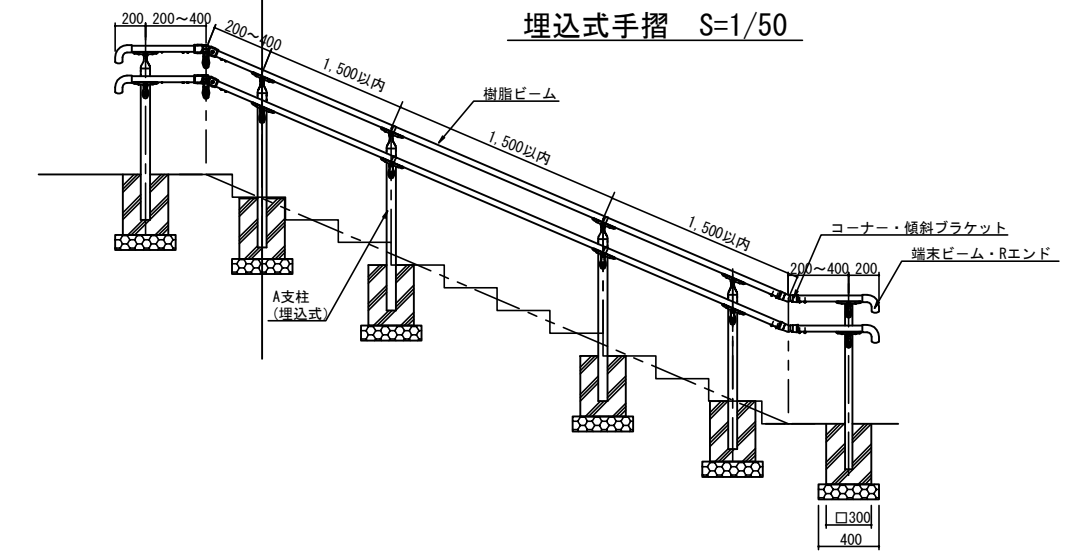
アンカー式手摺 S=1/50



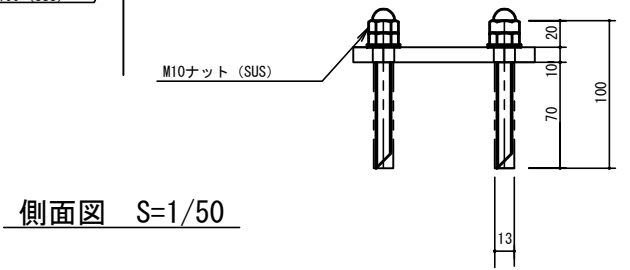
側面図 S=1:50



埋込式手摺 S=1/50



側面図 S=1/50



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

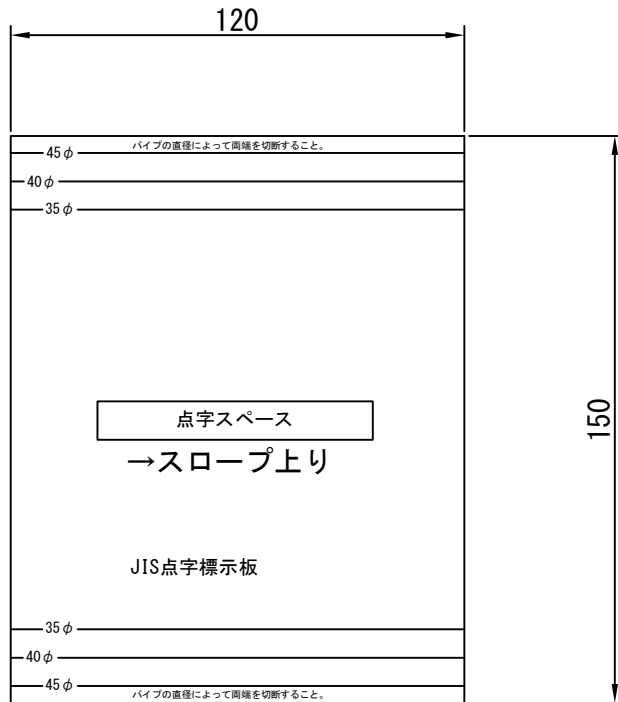
1. アルミ製支柱の材質はA6063-T5相当とし、陽極酸化皮膜処理とする。
2. ステンレス支柱の材質はSUS304、表面処理はヘアーライン仕上げとする。
3. ビームの材質はアルミ形材THS87S-T6 (JISH4100 A6061S-T6相当) + ABS樹脂・ASA樹脂 (2層) とする。
3. ブラケットの材質はアルミダイカスト及びアルミ鋳物とする。
4. 中詰は、モルタル (1:3) とする。

図面名称
樹脂被覆手摺 (両面型) H-850

縮尺	図示	番号
		3-11-5

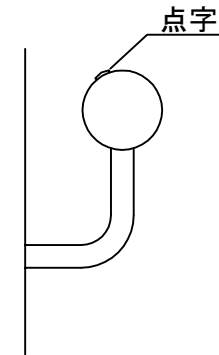
手摺用点字案内シート

屋外用



文字規格一覧

←階段上り	→階段上り
←階段下り	→階段下り
←スロープ上り	→スロープ上り
←スロープ下り	→スロープ下り



※2段手摺となっている場合は、少なくとも上部の手摺に表示する。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 厚さ0.2mm
2. 材質はポリカーボネート0.2t、文字印刷はシルクスクリーン印刷とする。
3. 規格文字一覧の表示のみ対象とする。

図面名称

手摺用点字案内シート

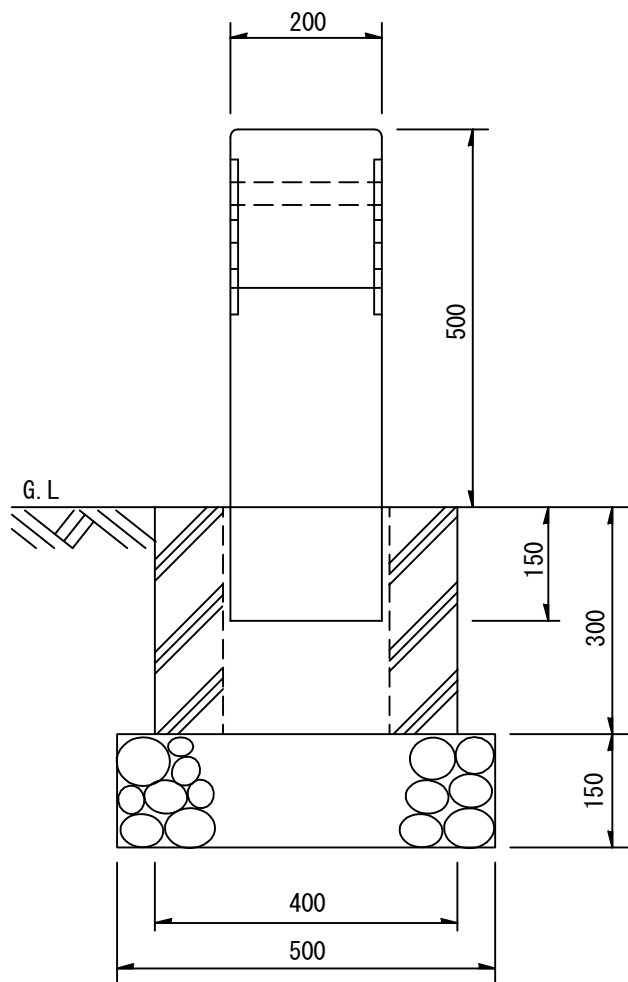
縮尺

1/2

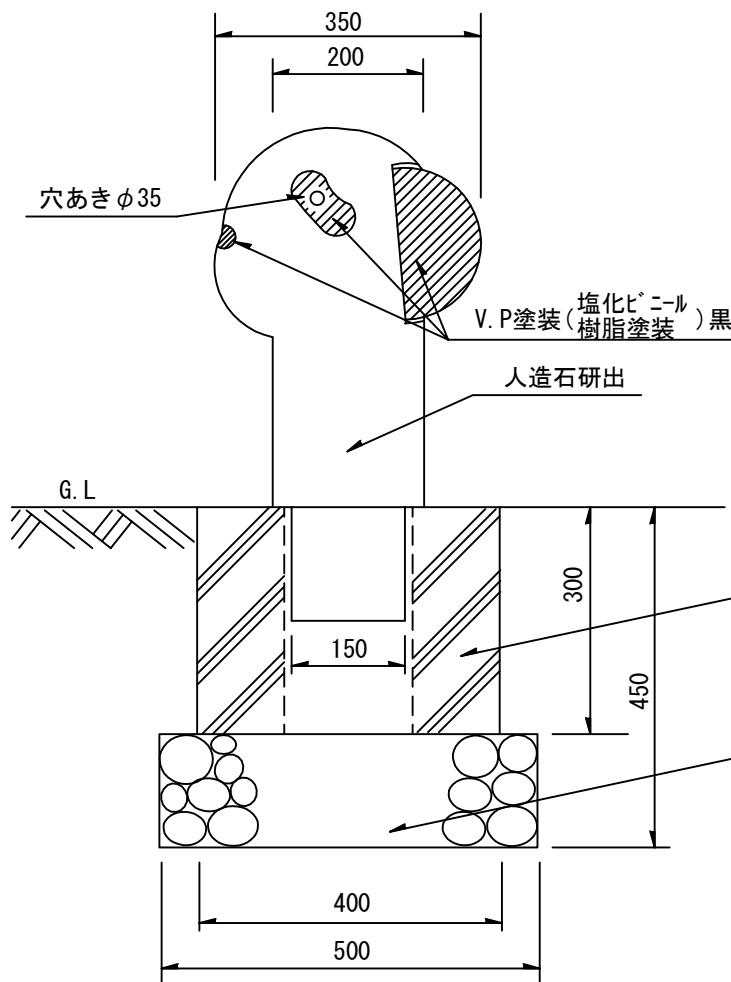
番号

3-11-6

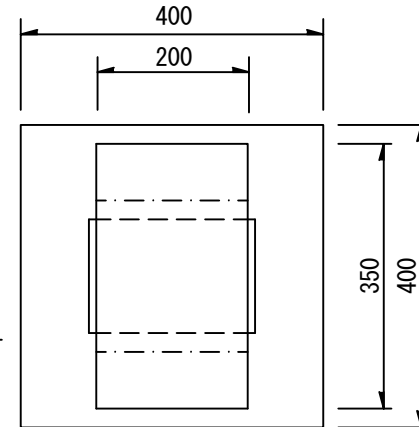
立面図



側面図

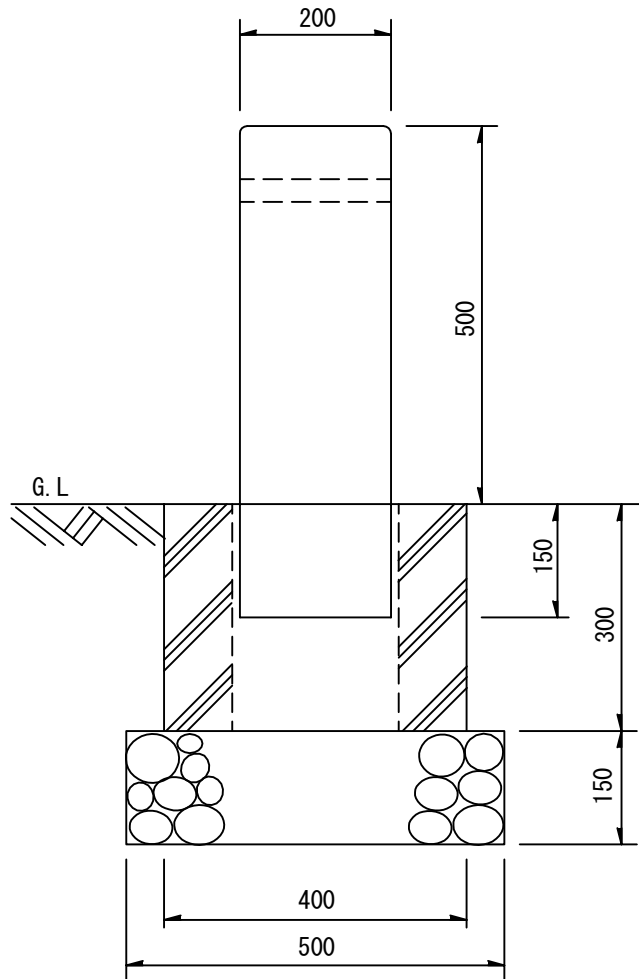


平面図

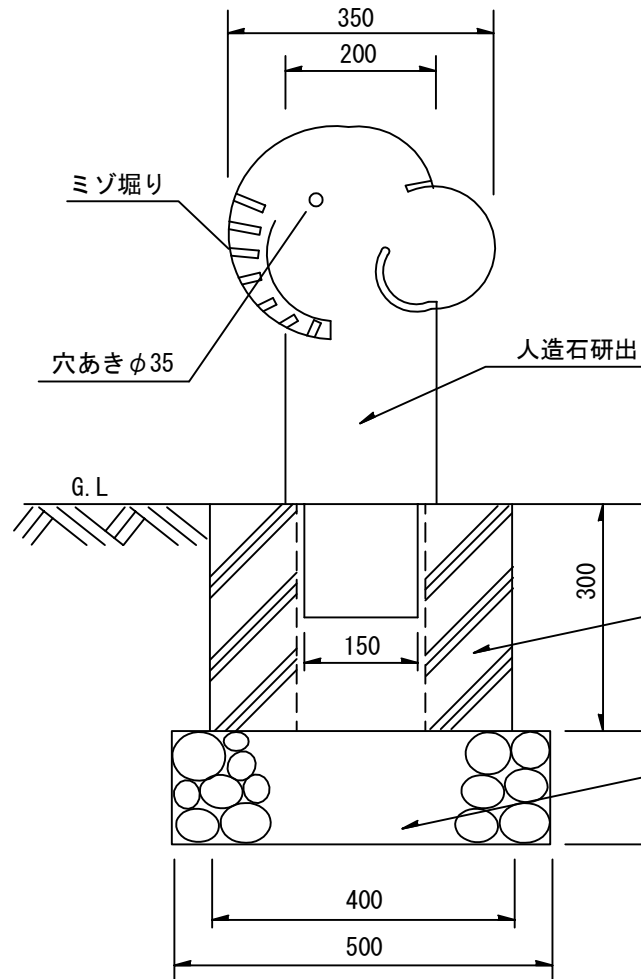


札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特記仕様	図面名称 車止 (パンダ)	
		縮尺 1/10	番号 3-11-7

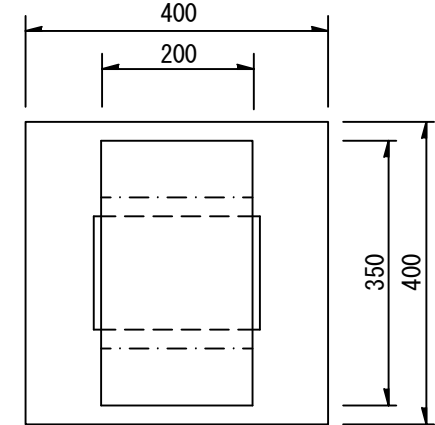
立面図



側面図



平面図



PC400×400×300

再生骨材 (40-0)

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

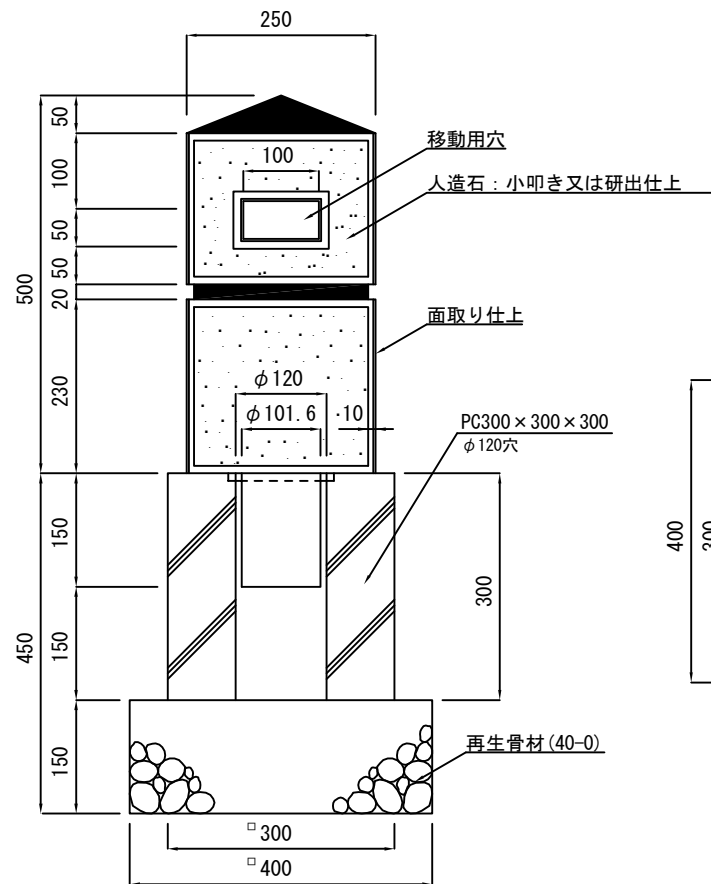
車止 (ゾウ)

縮尺

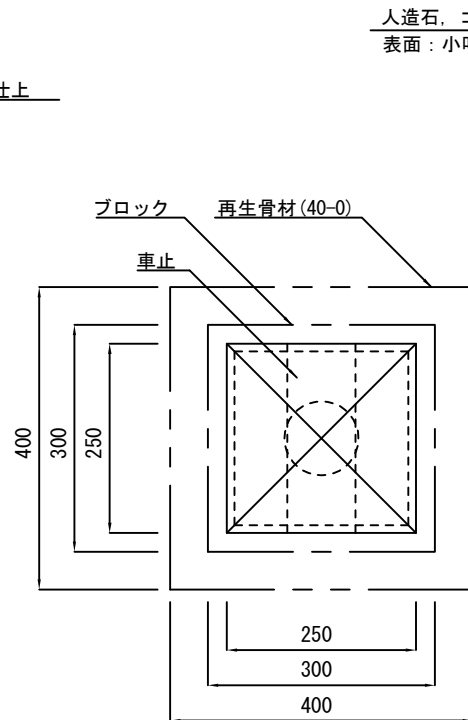
1/10

番号

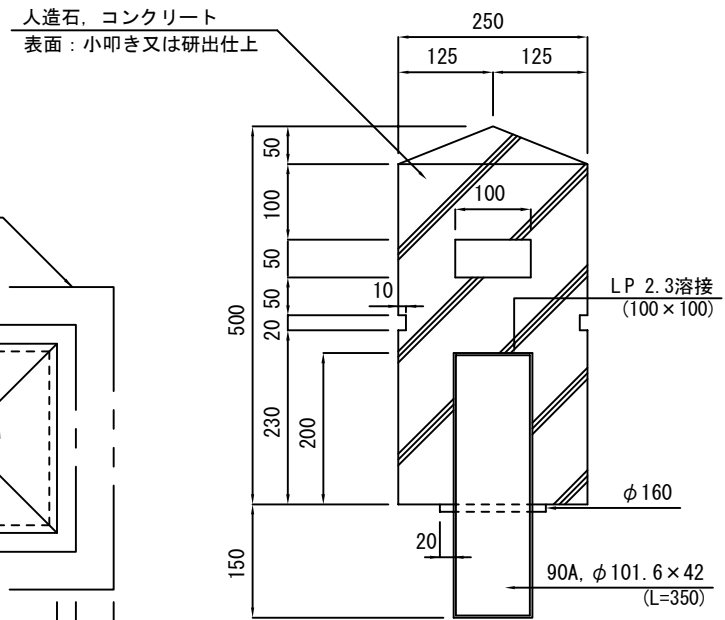
3-11-8



正面図



平面図



断面図

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
車止（人造石角型）

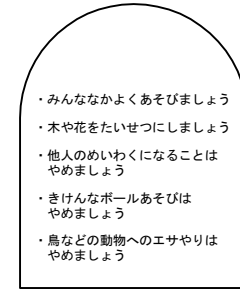
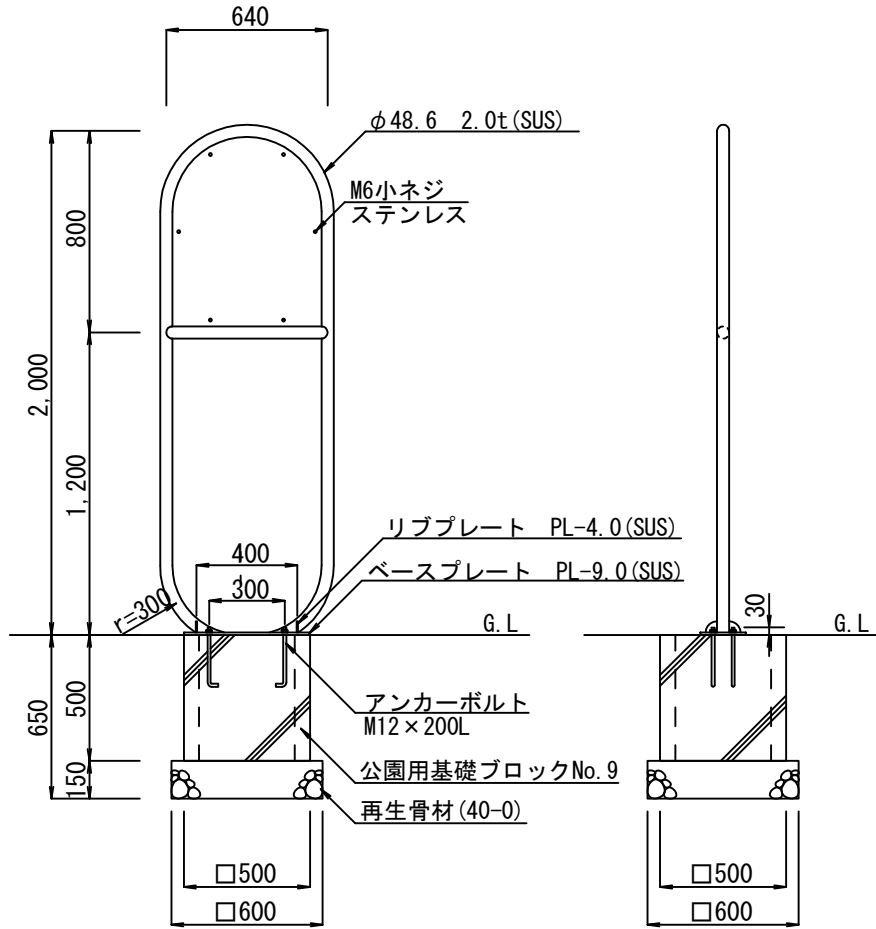
縮尺	1/10	番号	3-11-9
----	------	----	--------

立面図 S=1/30

側面図 S=1/30

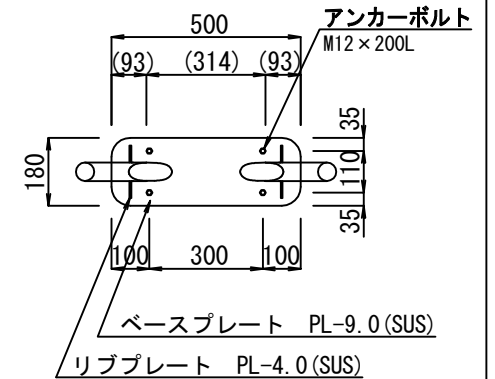
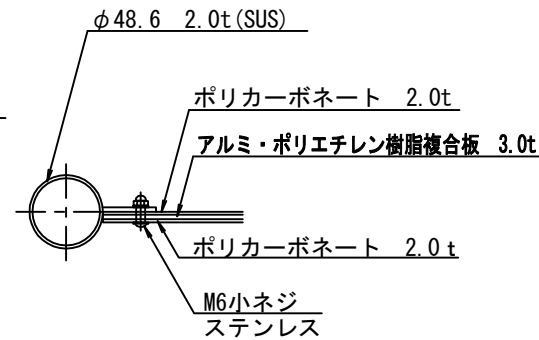
看板表面図 S=1/20

看板裏面図 S=1/20



断面詳細図 S=1/5

ベースプレート詳細図 S=1/20



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 本体は、ステンレスとし、HL仕上げとする。
2. 中詰は、生コンクリート (G-4) とする。

図面名称

園名板A

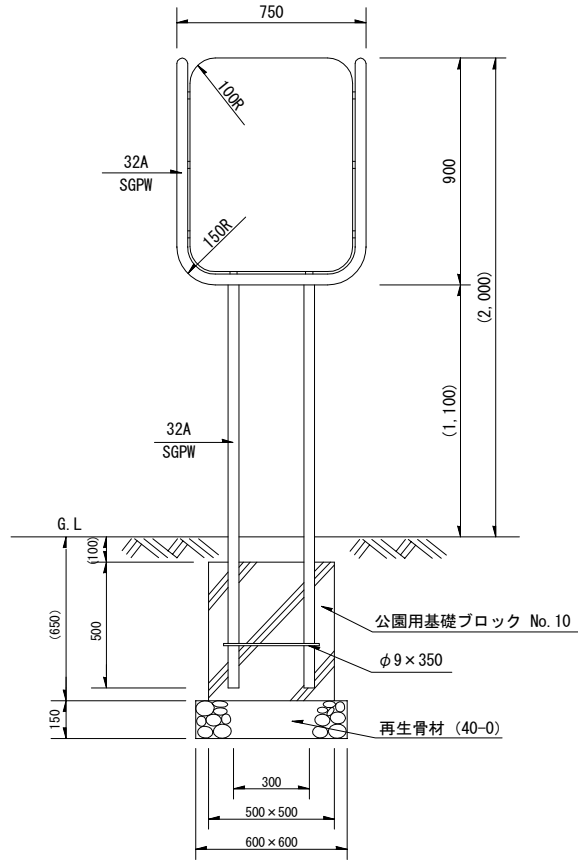
縮尺

図示

番号

3-11-10

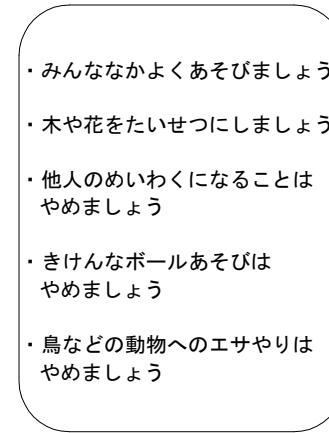
正面図 S=1/30



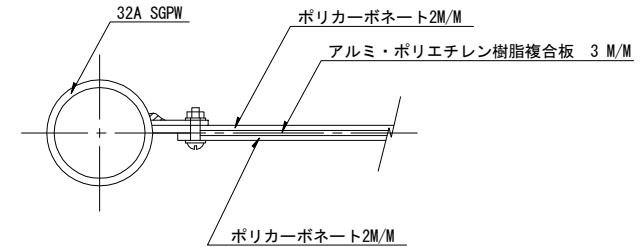
看板表面図 S=1/15



看板裏面図 S=1/15



詳細図 S=1/3



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 括弧内の寸法は参考値のため、納入する製品は参考値と同等程度の製品とする。
- 製品の細部、確定寸法、基礎の形状・規格、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 鋼材部およびボルト・ナットのめっき処理・塗装仕様は、札幌市造園工事標準図1-2-1による。
- 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書の内容および様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

園名板B

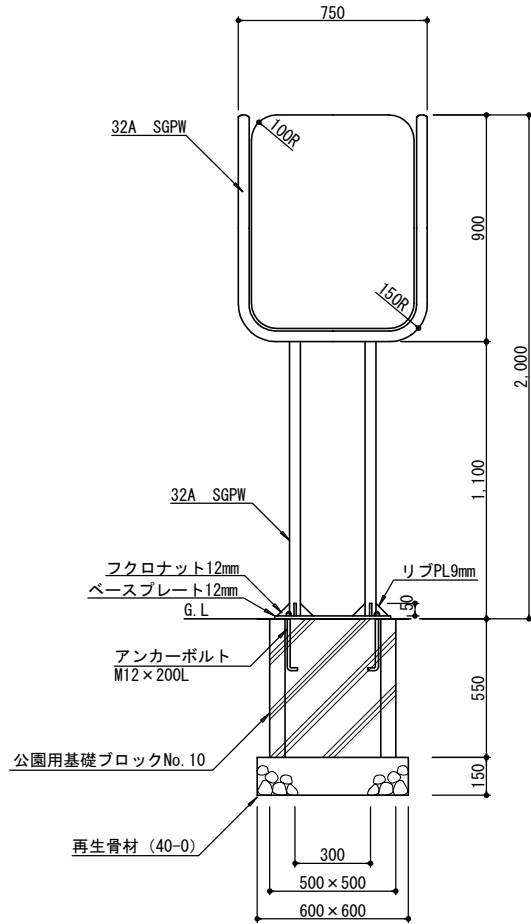
縮尺

図示

番号

3-11-11

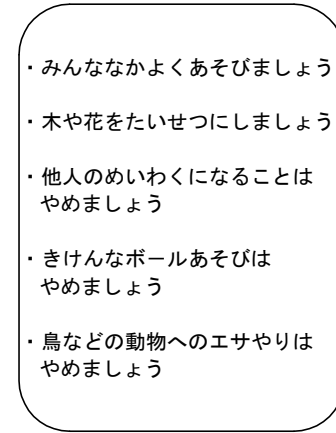
正面図 S=1/30



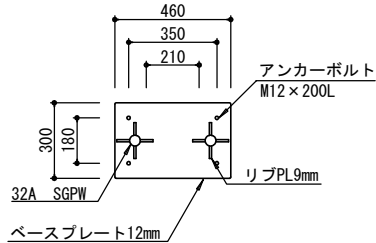
看板表面図 S=1/15



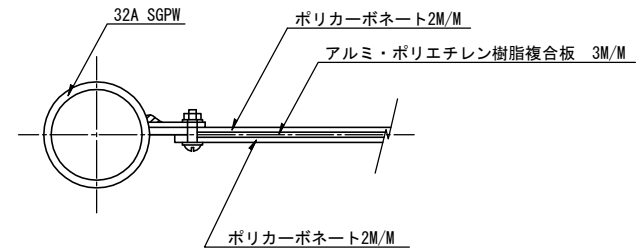
看板裏面図 S=1/15



ベースプレート詳細図 S=1/30



詳細図 S=1/3



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 製品の細部、確定寸法、基礎の形状・規格、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図により発注者の承認を得た上で決定すること。
2. 鋼材部およびボルト・ナットのめっき処理・塗装仕様は、札幌市造園工事標準図1-2-1による。
3. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
4. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
品質証明書の内容および様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
5. 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

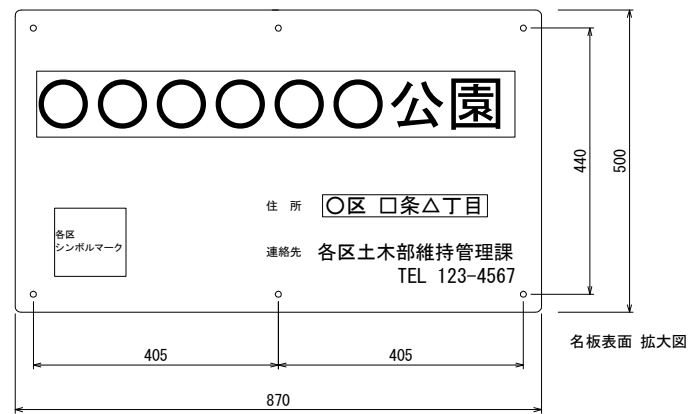
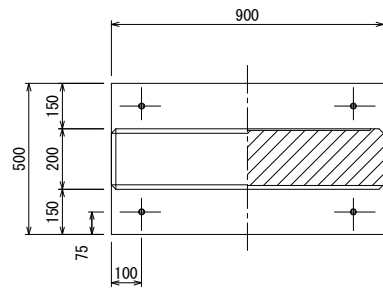
園名板B (ベースプレート固定)

縮尺

図示

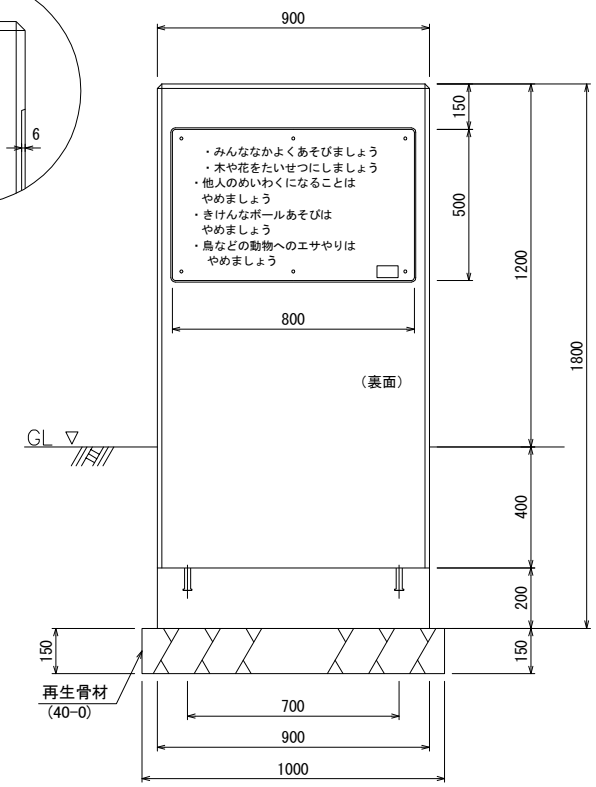
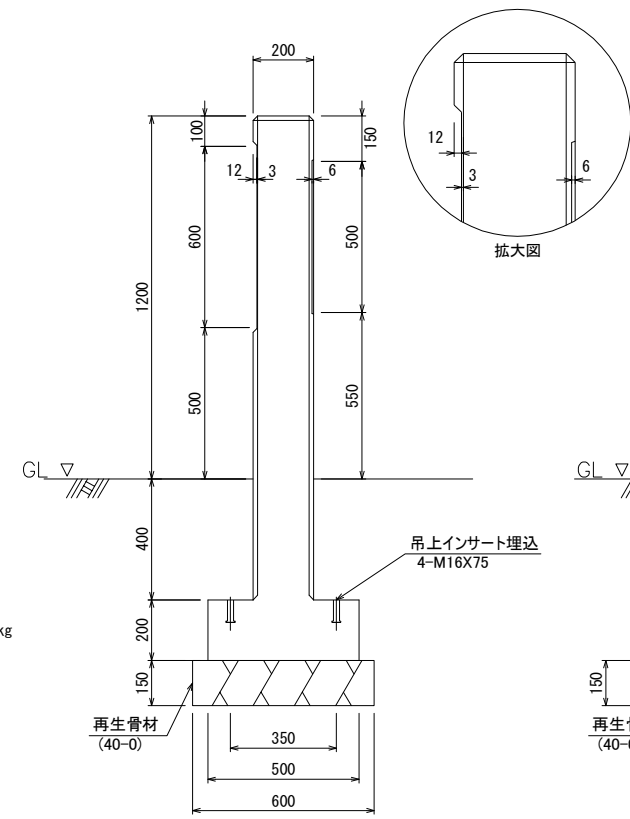
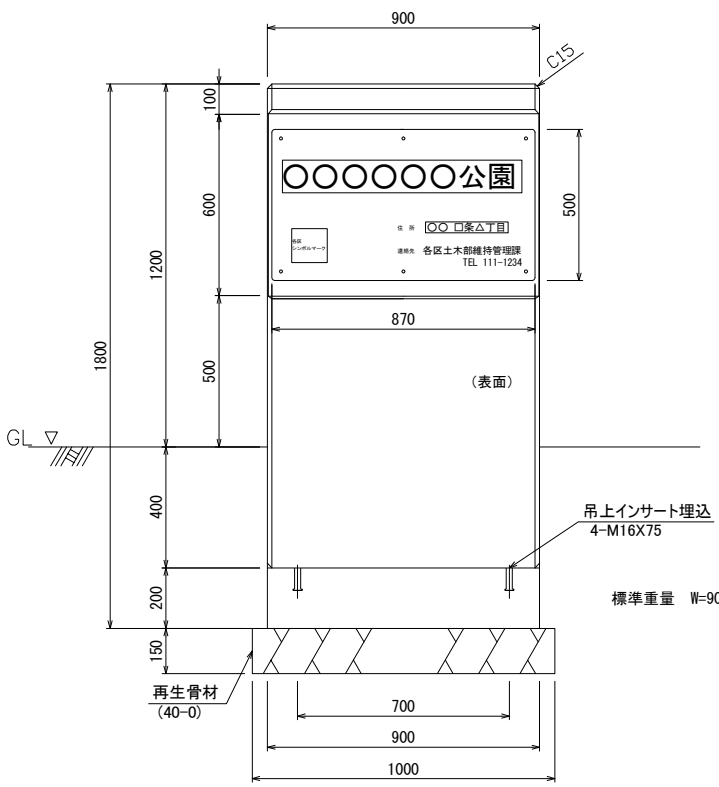
番号

3-11-12



名板：H500XW870（表側） H500XW800（裏側）
 ポリカーボネイト樹脂板/アルミ板の複合表示板
 1. カッティング文字+裏/白色樹脂フィルム被覆
 2. 専用ネジ6カ所固定

名板表面 拡大図



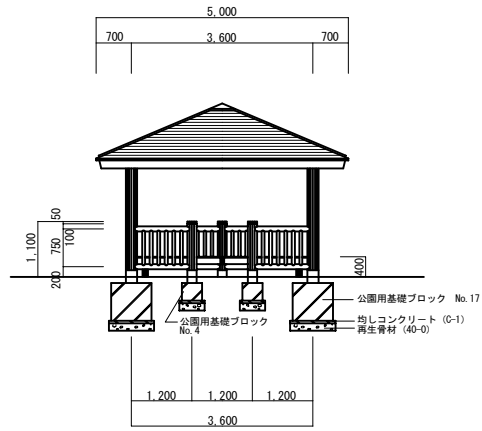
札幌市造園工事
 標準図
 札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様
 1. 板面デザインは参考とし、監督員と協議の上決定すること。
 2. 製造者名・製造年月日を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

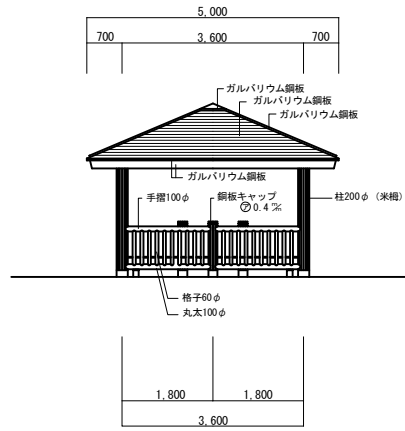
図面名称
園名板コンクリートブロック
 縮尺 1/25
 番号 3-11-13

3-12 建築施設組立設置工

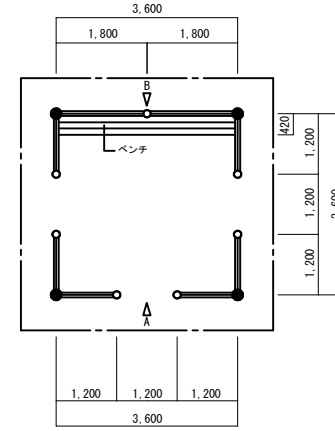
A 立面図



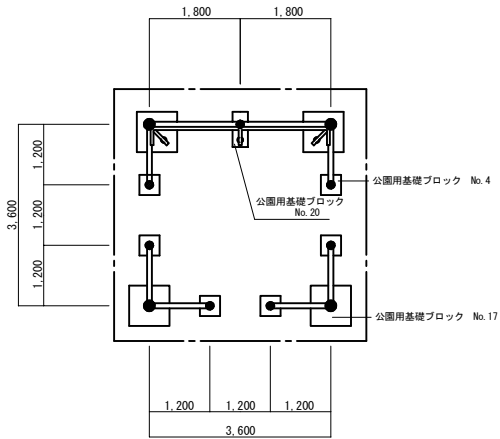
B 立面図



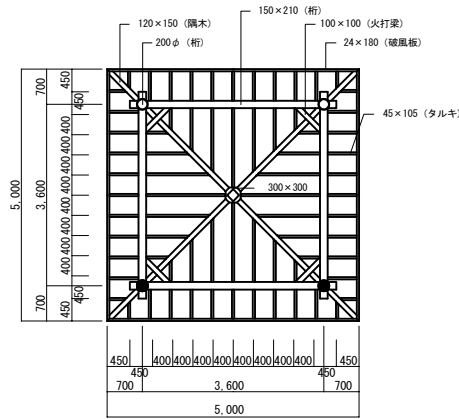
平面図



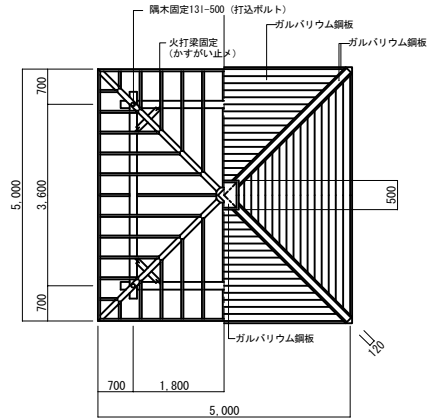
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

四阿3.6×3.6丸柱 ベンチ有

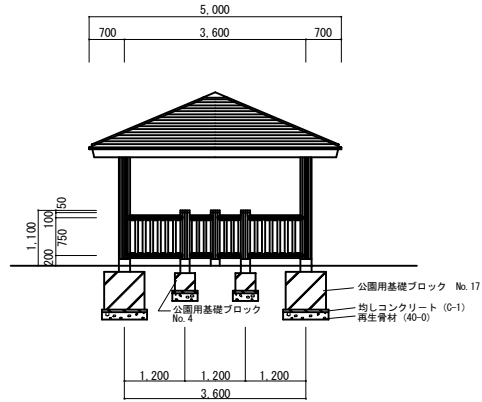
縮尺

1/150

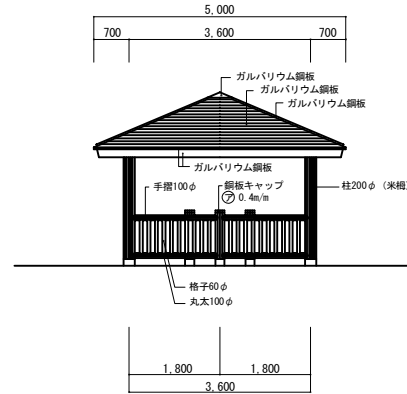
番号

3-12-1-1

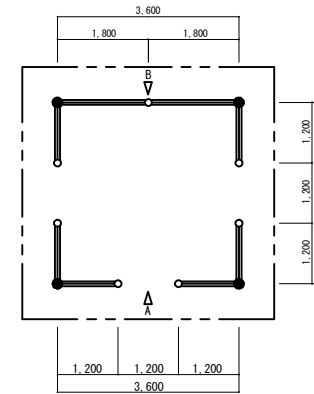
A 立面図



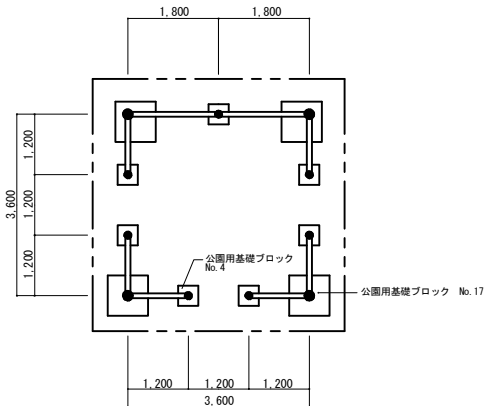
B 立面図



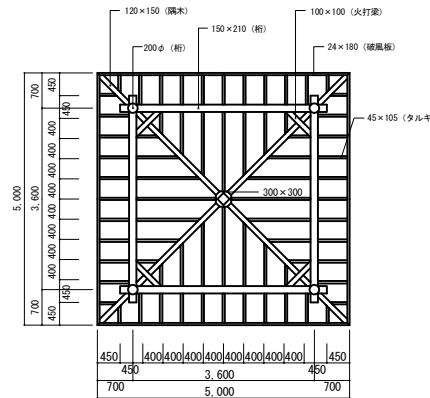
平面図



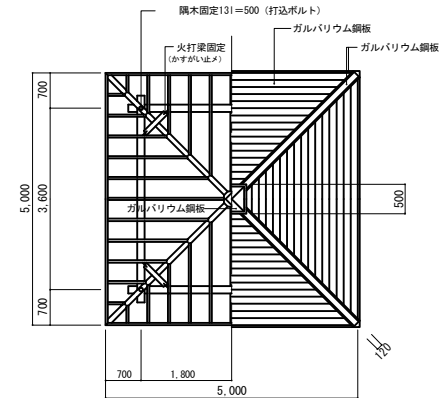
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

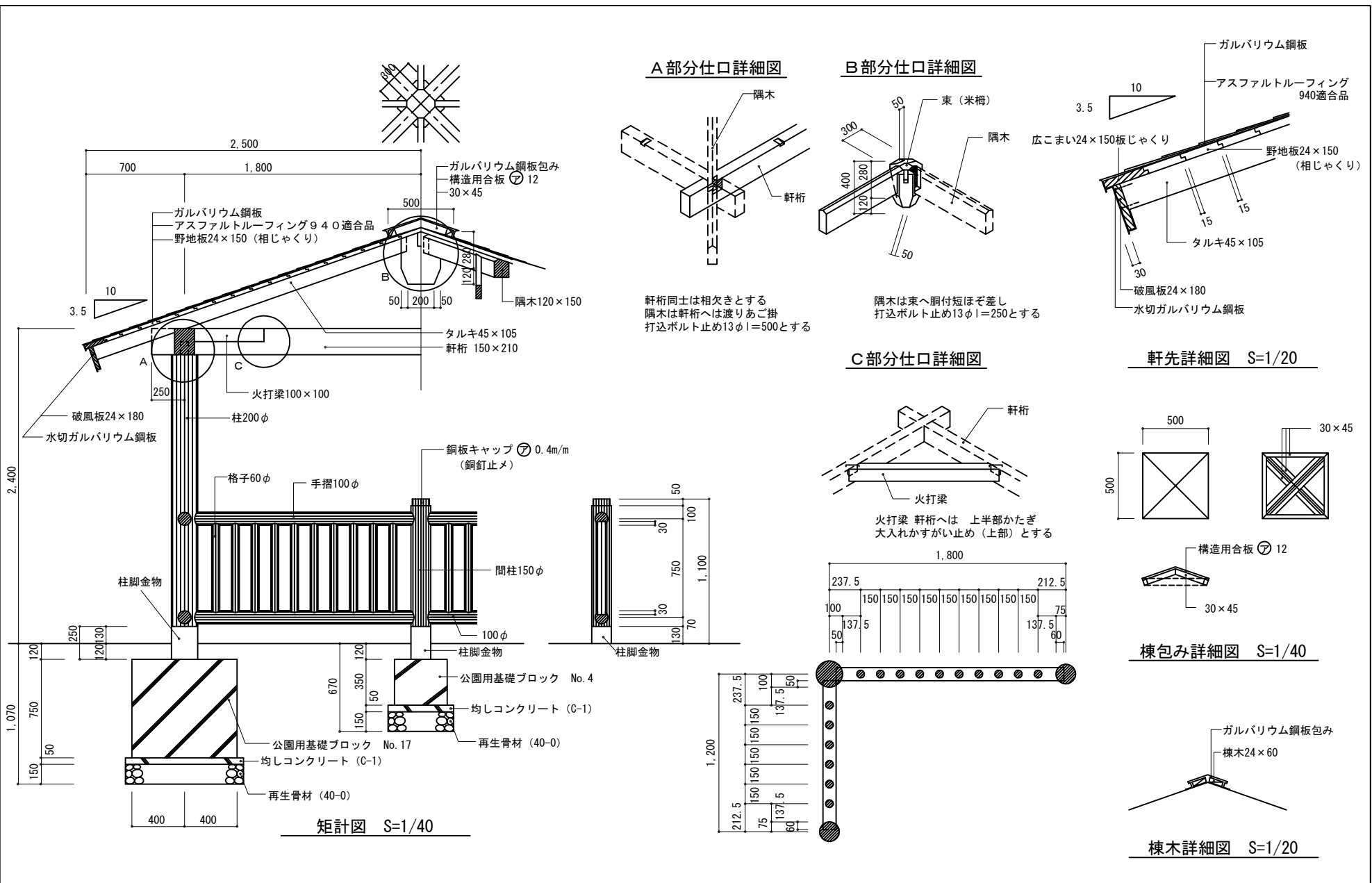
四阿3.6×3.6丸柱ベンチ無

縮
尺

1/150

番
号

3-12-2-1

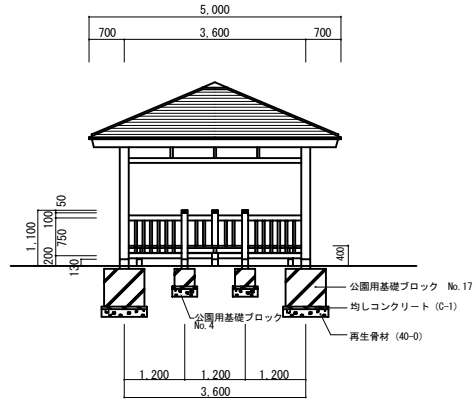


札幌市造園工事
 標準図
 札幌市建設局みどりの推進部

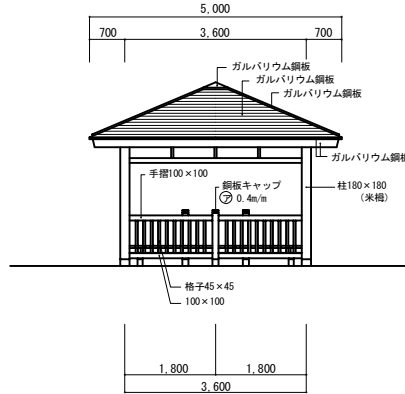
- 特記仕様
1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1による。
 2. 屋根はGalvalume鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
 3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗料仕上げとする。
 4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗料仕上げとする。
 5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
 6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
 7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
 8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
 9. 柱脚金物の寸法は、3-12-9による。

図面名称		
四阿3.6×3.6丸柱ベンチ無		
縮尺	図示	番号
		3-12-2-2

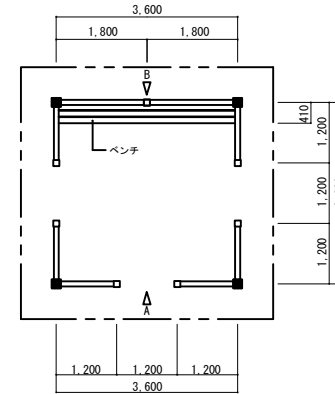
A 立面図



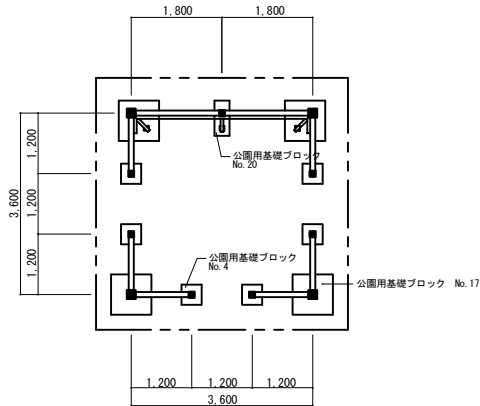
B 立面図



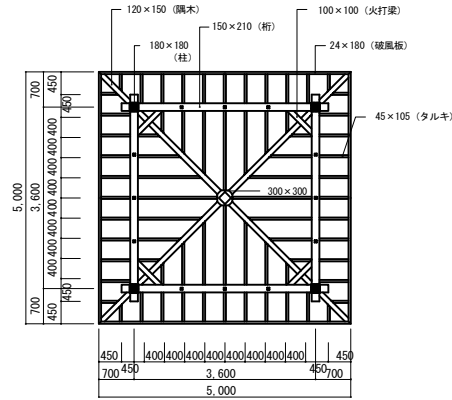
平面図



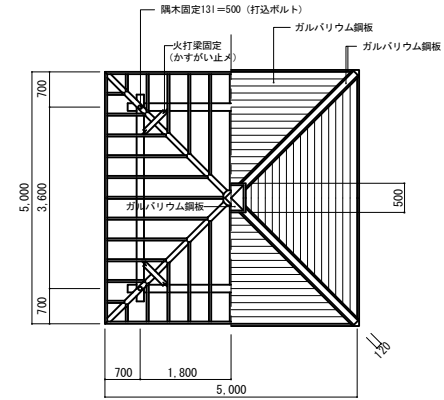
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

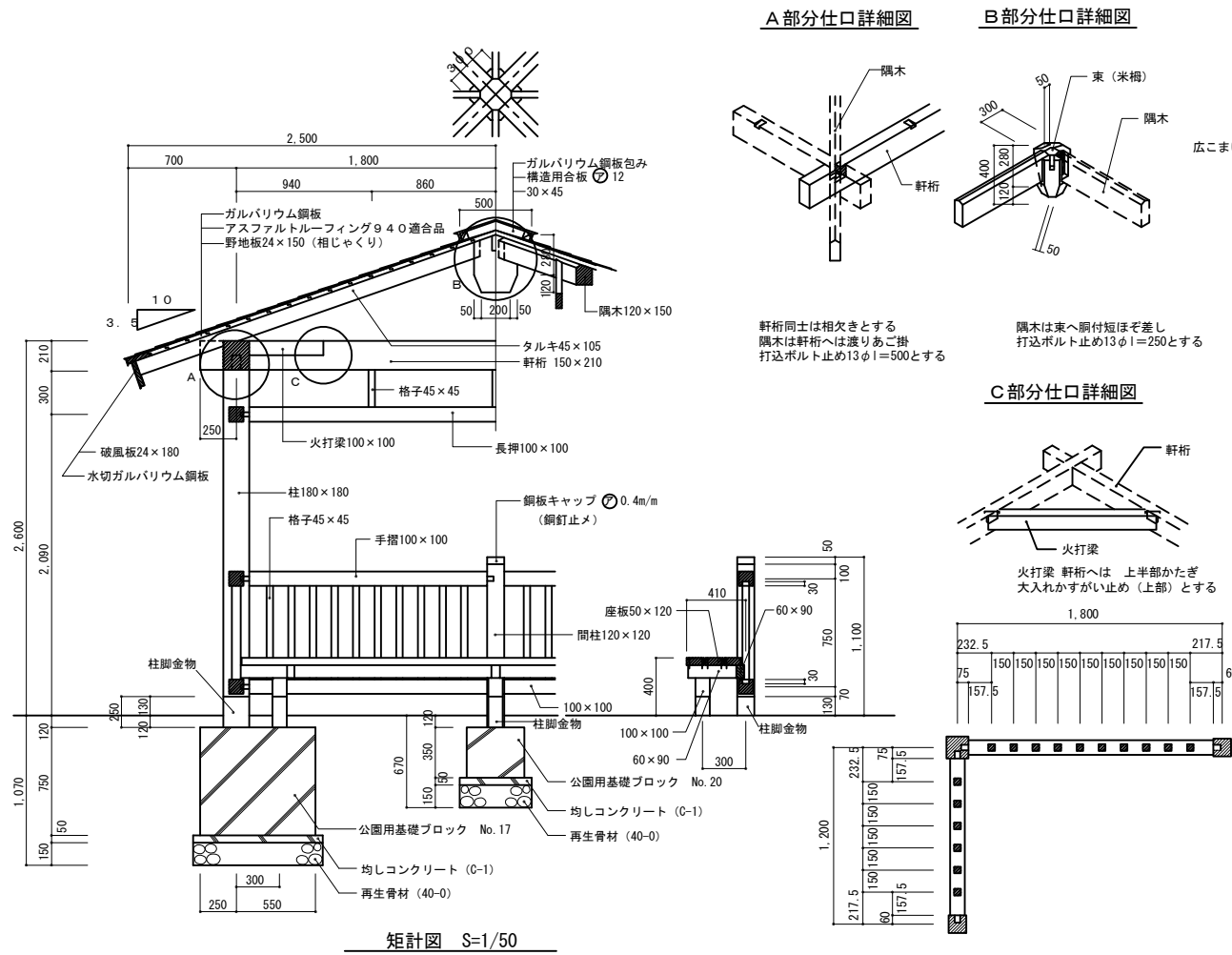
四阿3.6×3.6角柱ベンチ有

縮尺

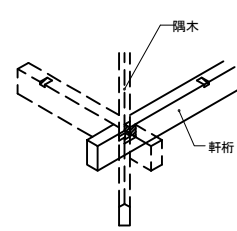
1/150

番号

3-12-3-1

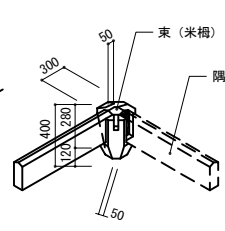


A部分仕口詳細図



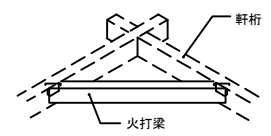
軒桁同士は相欠きとする
隅木は軒桁へは渡りあご掛
打込ボルト止め13φl=500とする

B部分仕口詳細図

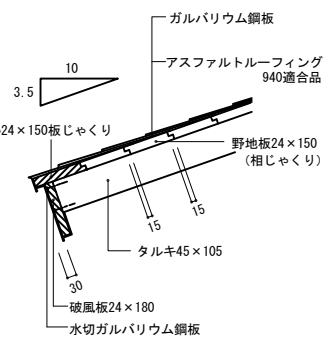


隅木は束へ副付短ほぞ差し
打込ボルト止め13φl=250とする

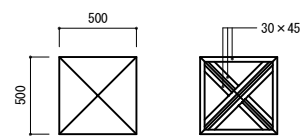
C部分仕口詳細図



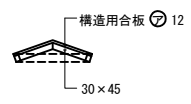
火打梁 軒桁へは 上半部かたぎ
大入れかすがい止め(上部)とする



軒先詳細図 S=1/25



棟包み詳細図 S=1/50



棟木詳細図 S=1/25



札幌市造園工事

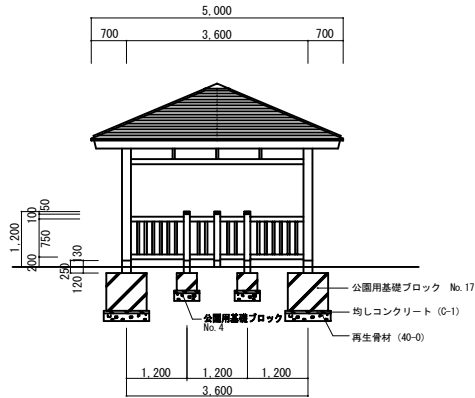
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

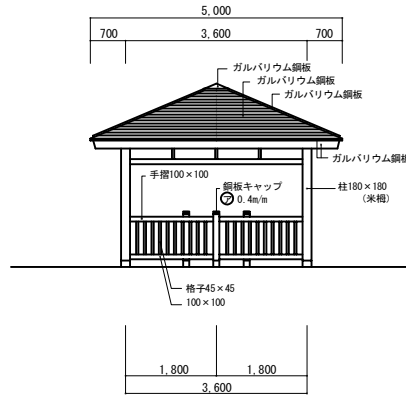
- 特記仕様
1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1による。
 2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
 3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
 4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
 5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
 6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
 7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
 8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
 9. 柱脚金物の寸法は、3-12-10-1、3-12-10-2による。

図面名称		
四阿3.6×3.6角柱ベンチ有		
縮尺	図示	番号
		3-12-3-2

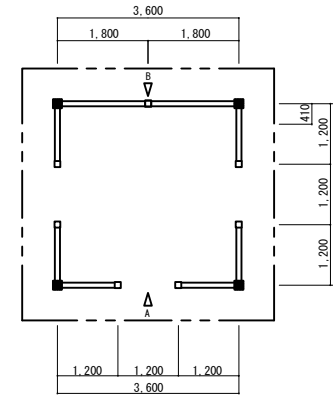
A 立面図



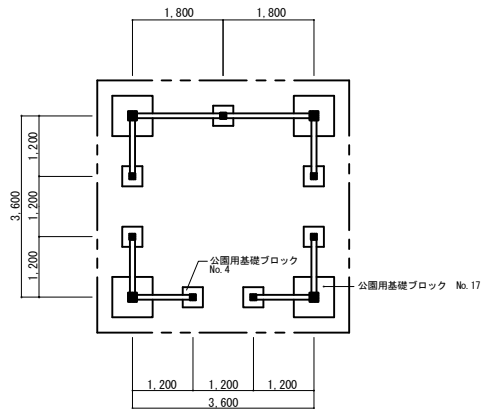
B 立面図



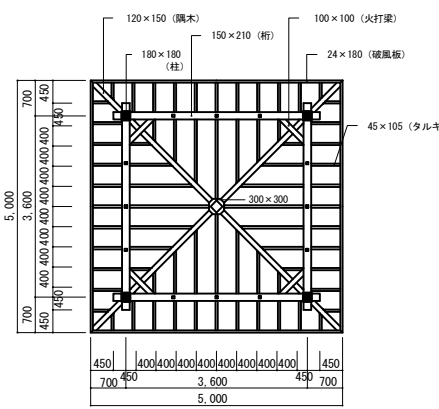
平面図



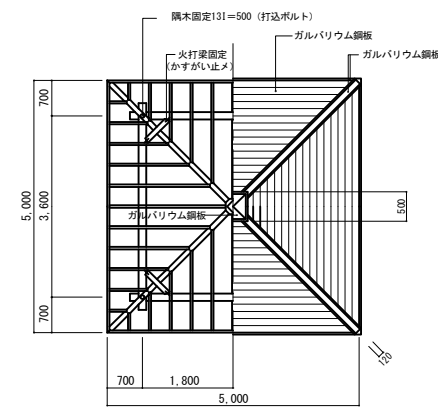
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (0-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

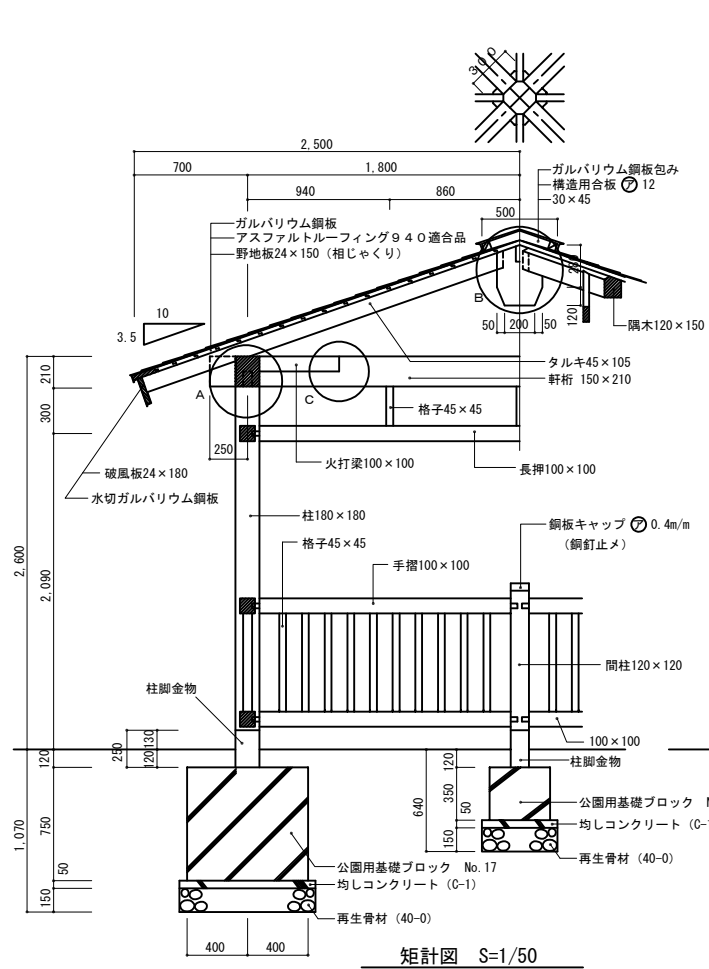
四阿3.6×3.6角柱ベンチ無

縮尺

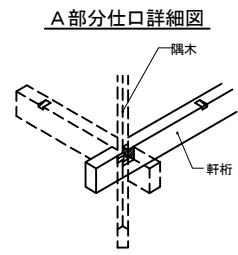
1/150

番号

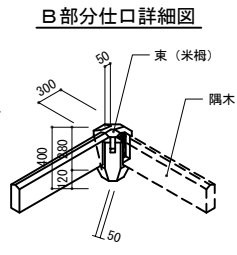
3-12-4-1



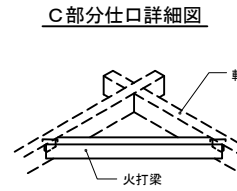
矩計図 S=1/50



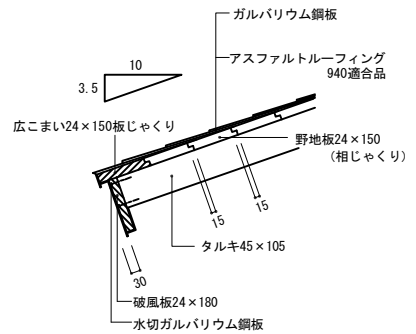
軒桁同士は相欠きとする
隅木は軒桁へは渡りあご掛
打込ボルト止め13φl=500とする



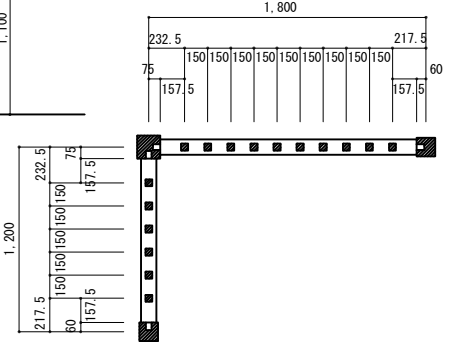
隅木は東へ胴付短ほぞ差し
打込ボルト止め13φl=250とする



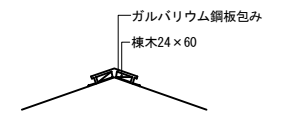
火打梁 軒桁へは 上半部かたぎ
大入れかすがい止め(上部)とする



軒先詳細図 S=1/25



棟包み詳細図 S=1/50



棟木詳細図 S=1/25

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

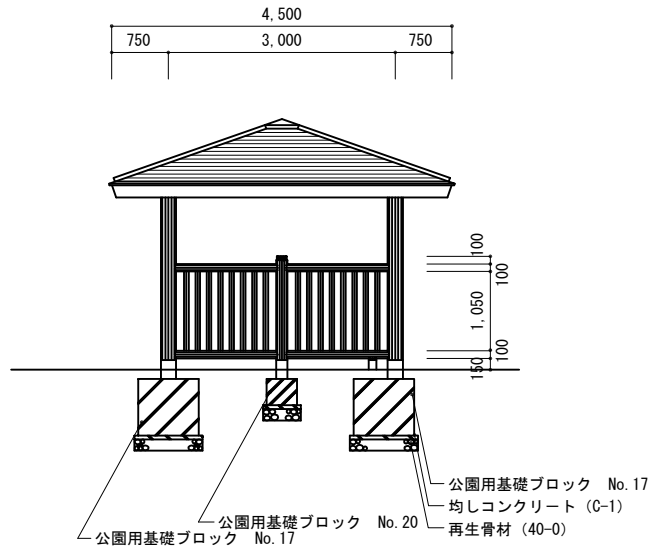
- 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図1-2-1による。
- 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
- 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
- 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
- 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
- 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
- 柱脚金物の寸法は、3-12-10-1、3-12-10-2による。

図面名称

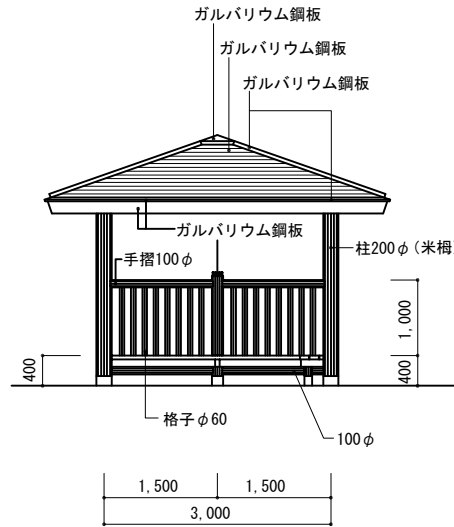
四阿3.6×3.6角柱ベンチ無

縮尺	図示	番号	3-12-4-2
----	----	----	----------

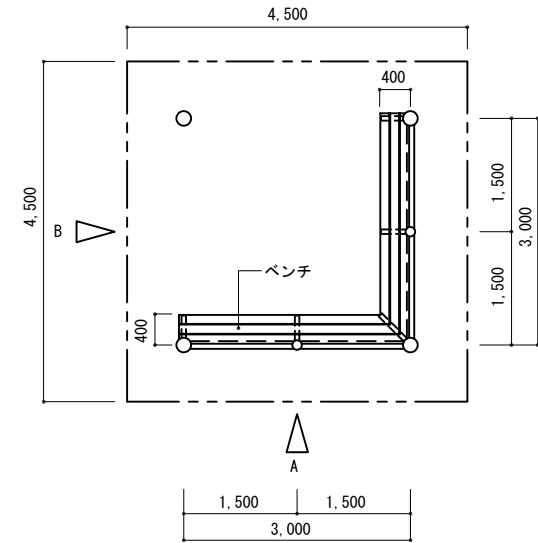
A 立面図



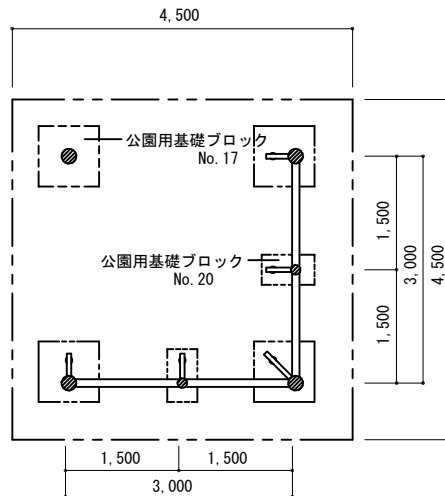
B 立面図



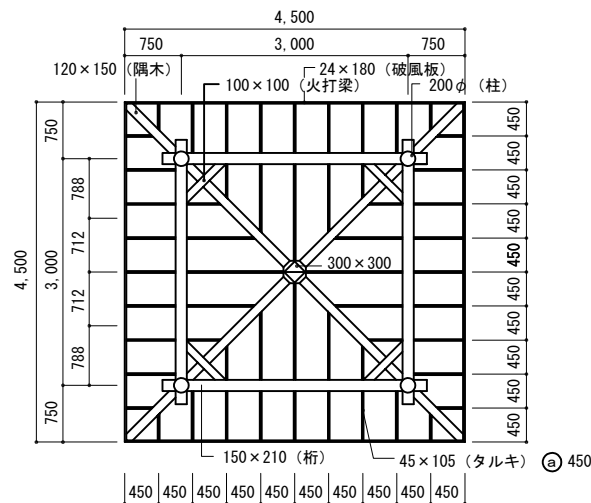
平面図



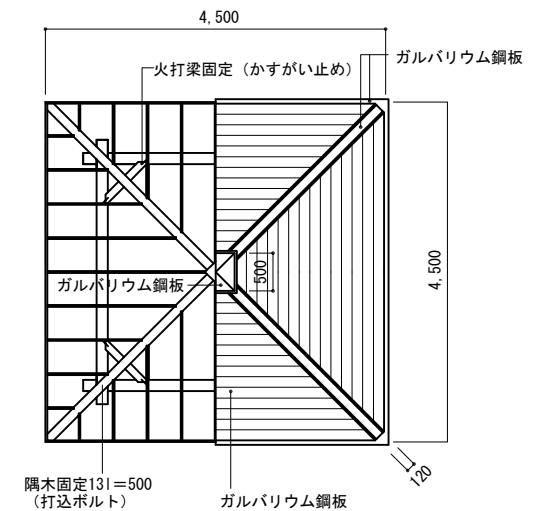
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

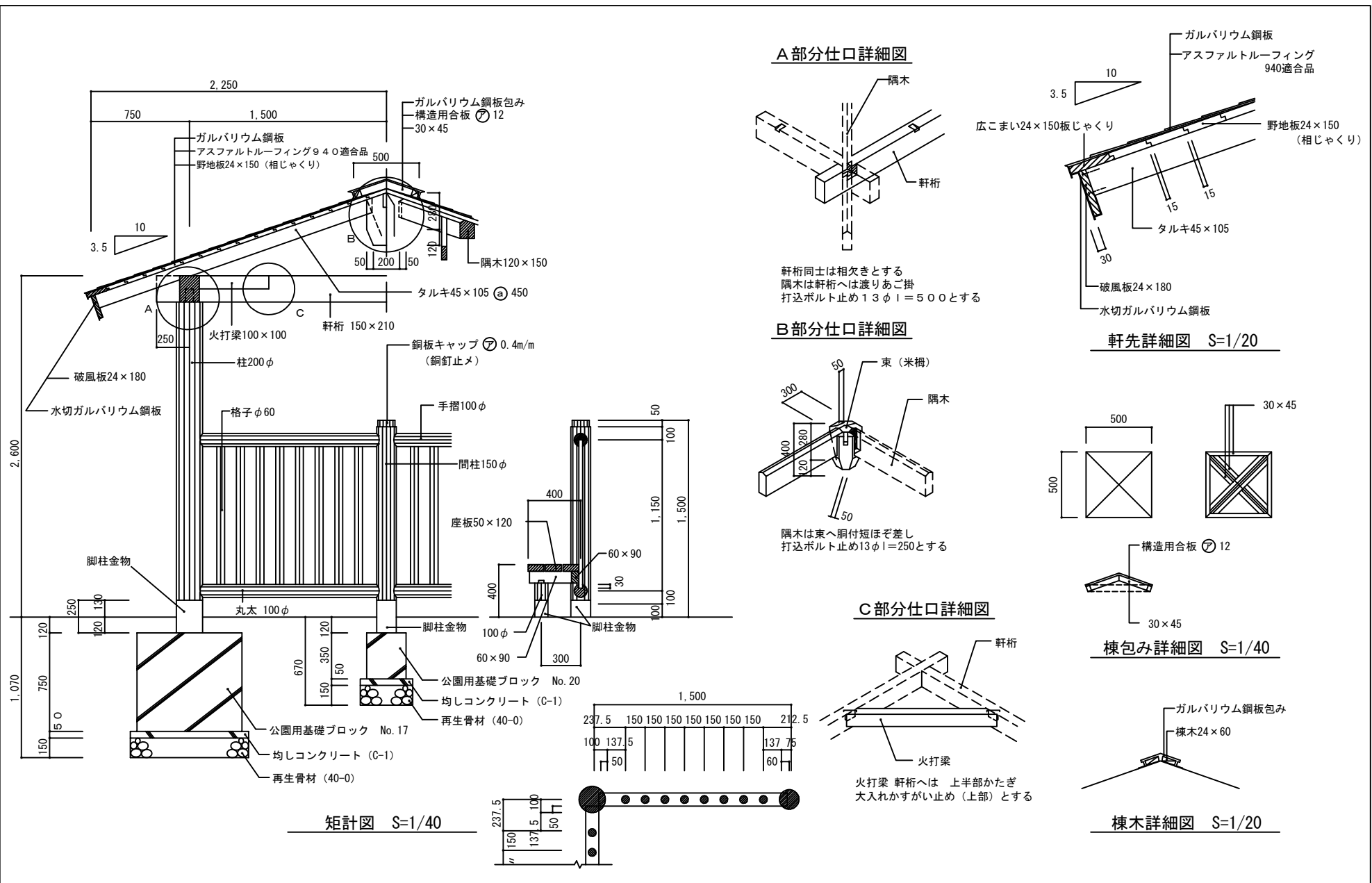
四阿3.0×3.0丸柱ベンチ有

縮尺

1/100

番号

3-12-5-1



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
9. 柱脚金物の寸法は、3-12-9による。

図面名称

四阿3.0×3.0丸柱ベンチ有

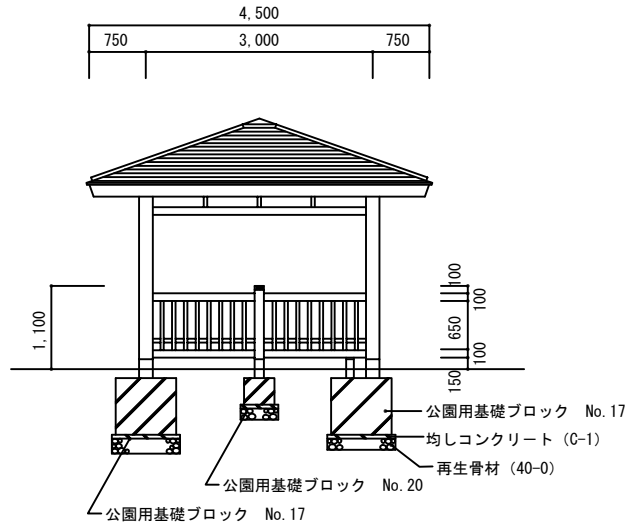
縮尺

図示

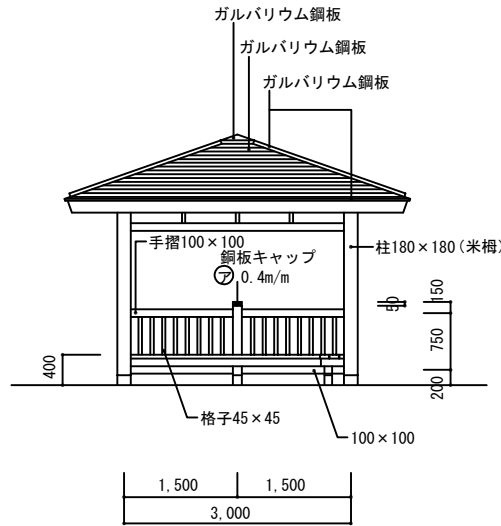
番号

3-12-5-2

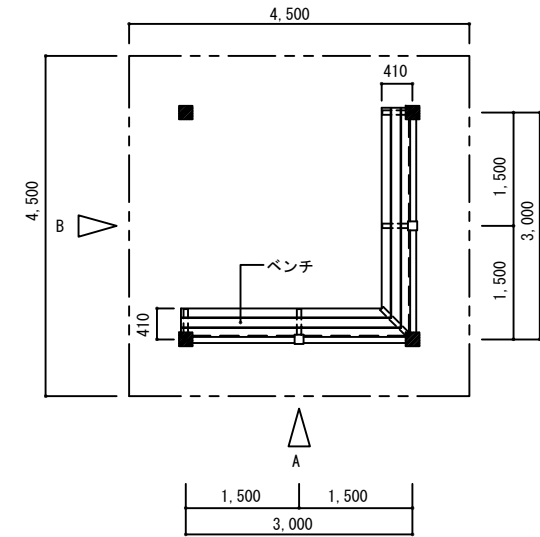
A 立面図



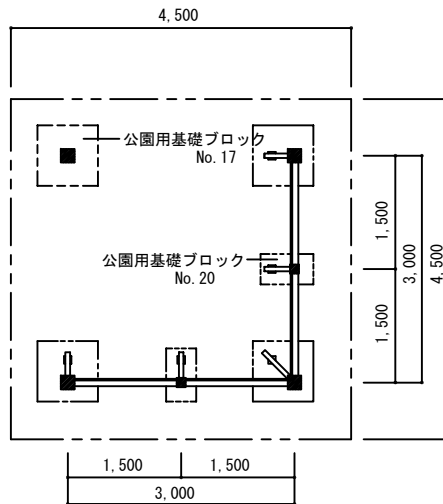
B 立面図



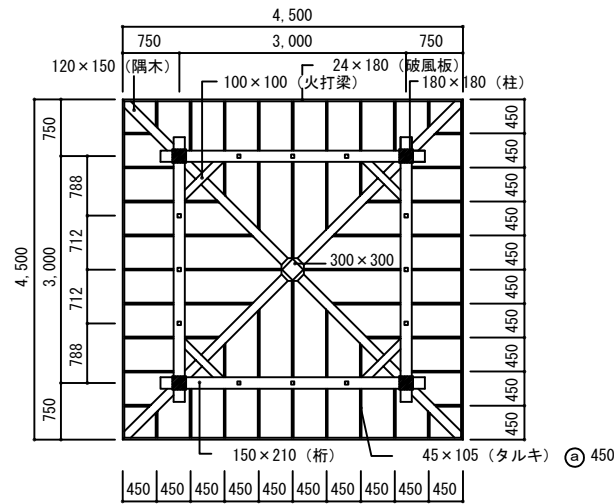
平面図



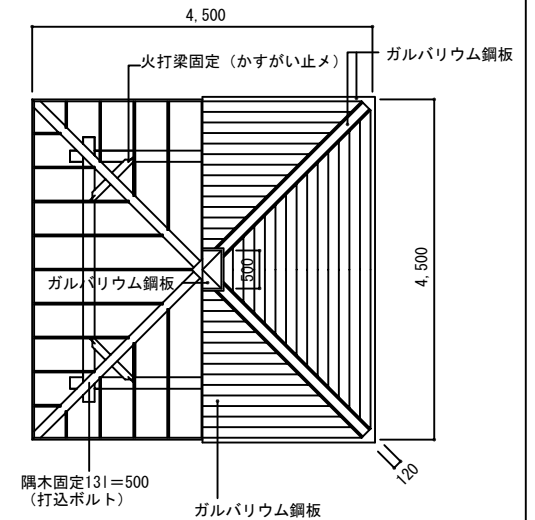
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

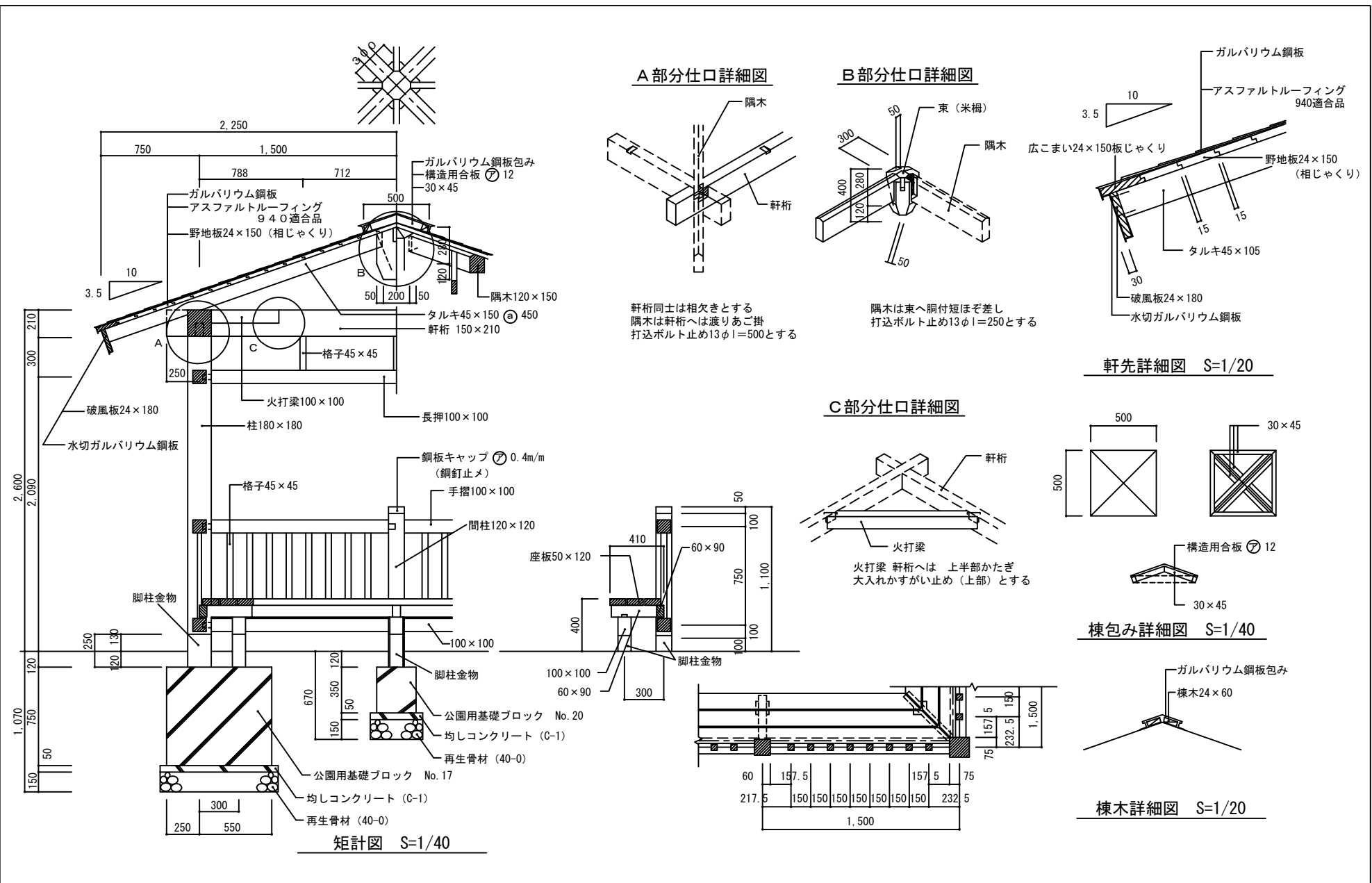
四阿3.0×3.0角柱ベンチ有

縮尺

1/100

番号

3-12-6-1

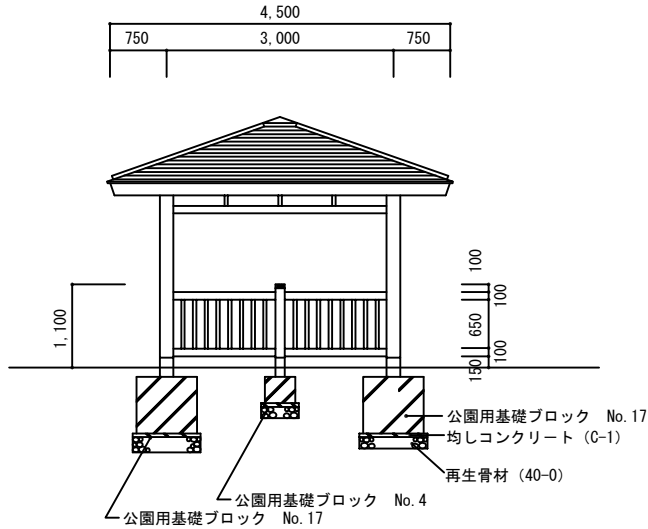


札幌市造園工事
 標準図
 札幌市建設局みどりの推進部

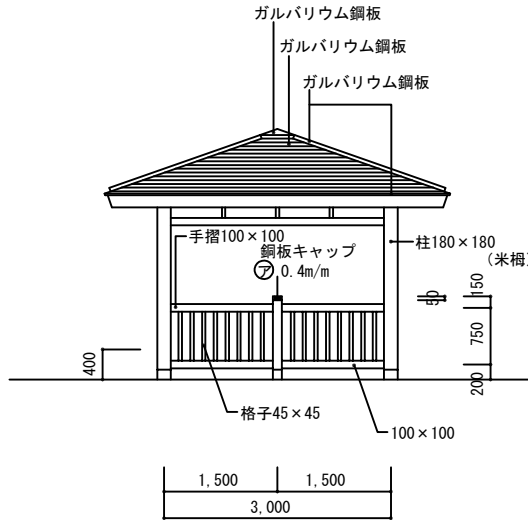
- 特記仕様
1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1による。
 2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
 3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
 4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
 5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
 6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
 7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
 8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
 9. 柱脚金物の寸法は、3-12-10-1、3-12-10-2による。

図面名称
 四阿3.0×3.0角柱ベンチ有
 縮尺
 図示
 番号
 3-12-6-2

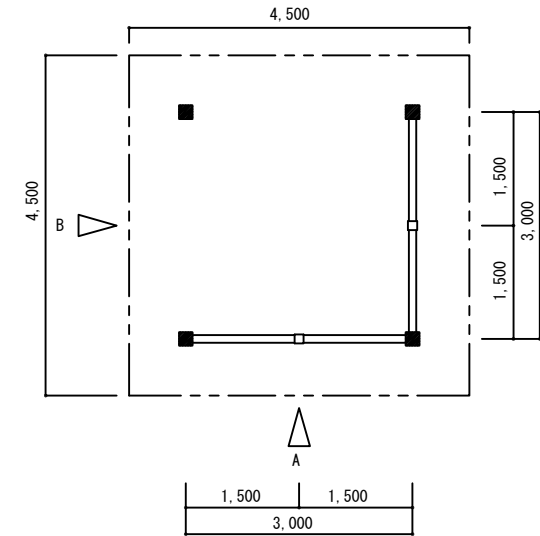
A 立面図



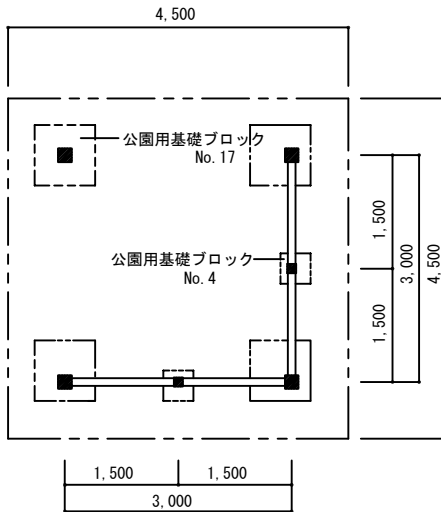
B 立面図



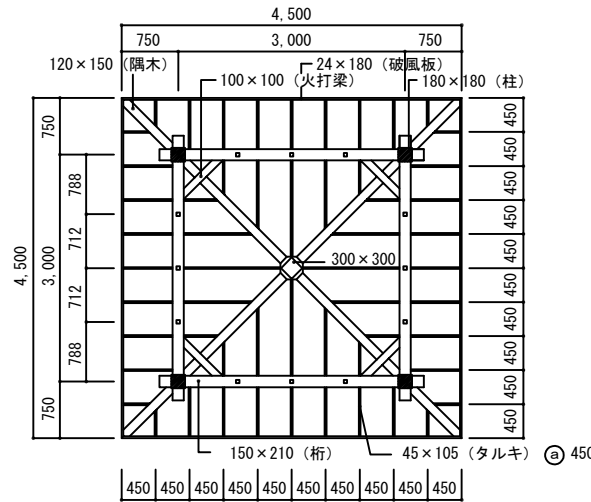
平面図



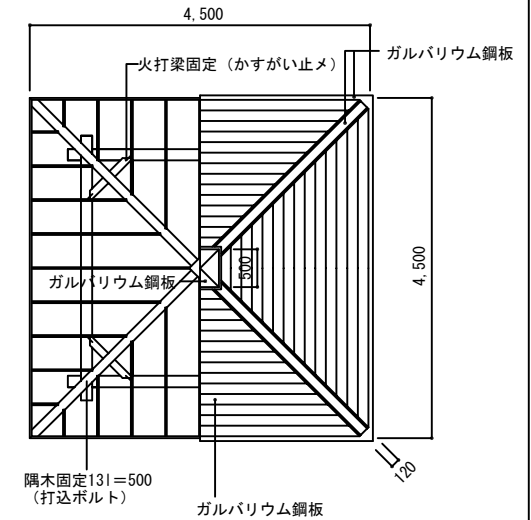
基礎伏図



天井伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 $t=24$ 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

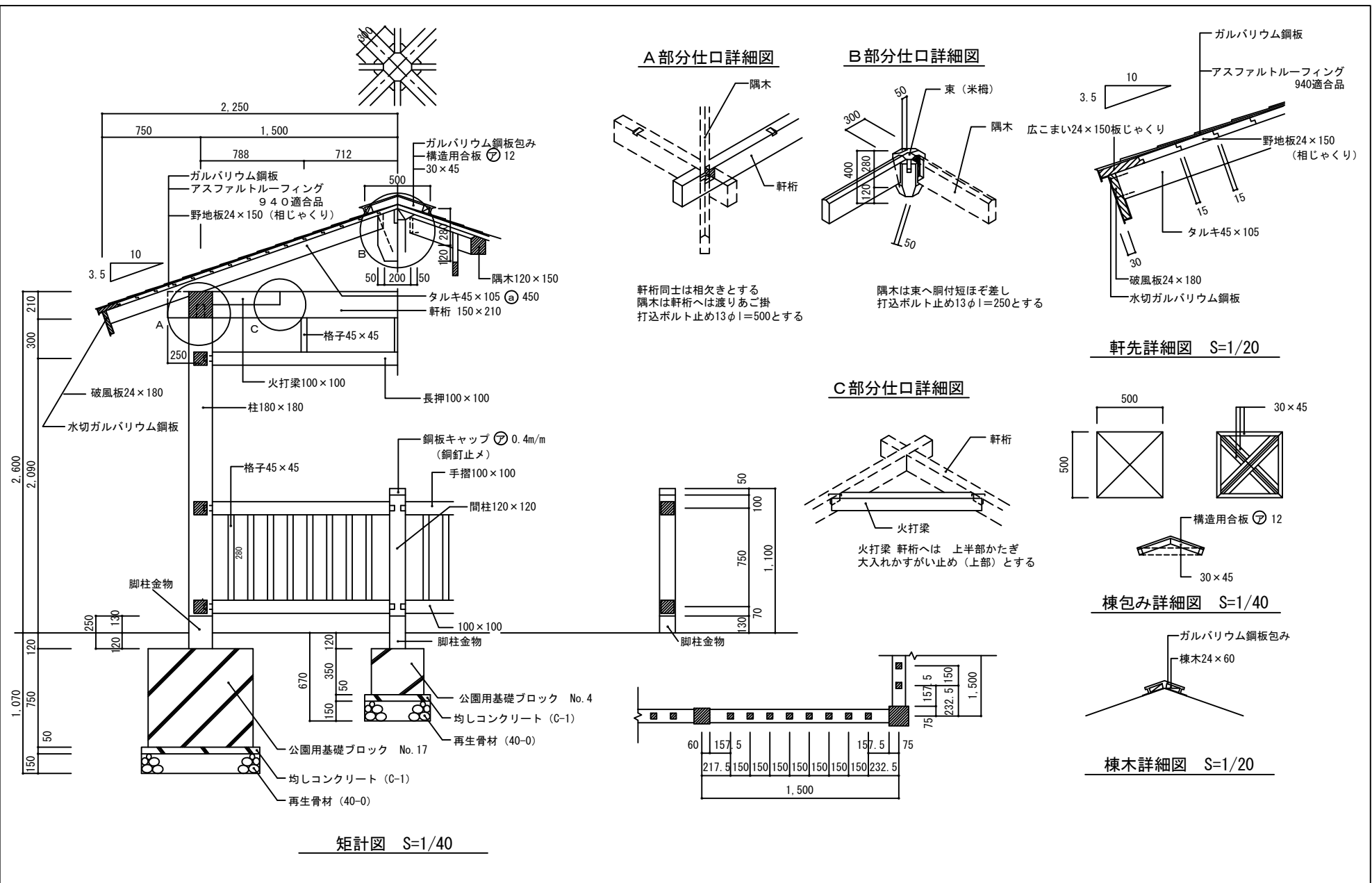
四阿3.0×3.0角柱ベンチ無

縮尺

1/100

番号

3-12-7-1



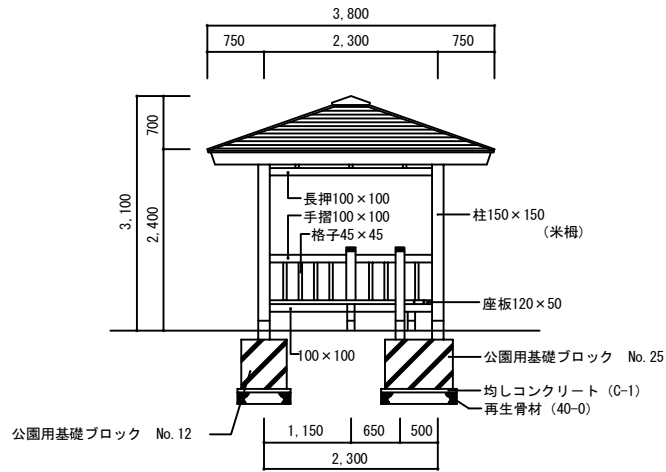
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1による。
 2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
 3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
 4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
 5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
 6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
 7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
 8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
 9. 柱脚金物の寸法は、3-12-10-1、3-12-10-2による。

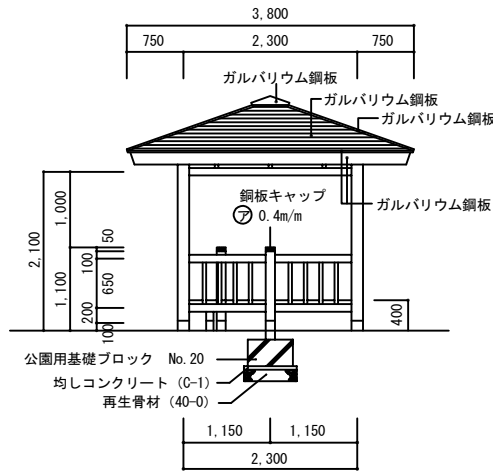
図面名称
四阿3.0×3.0角柱ベンチ無

縮尺
図示
番号
3-12-7-2

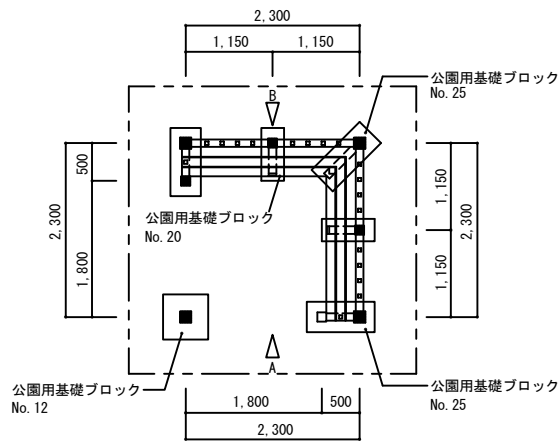
A 立面図



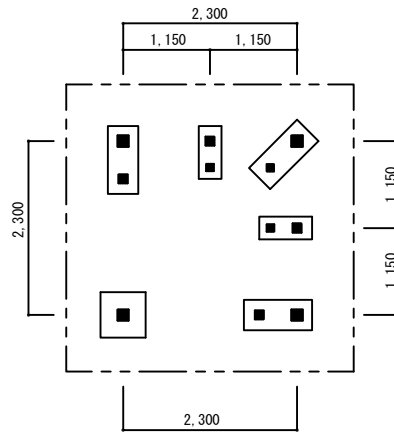
B 立面図



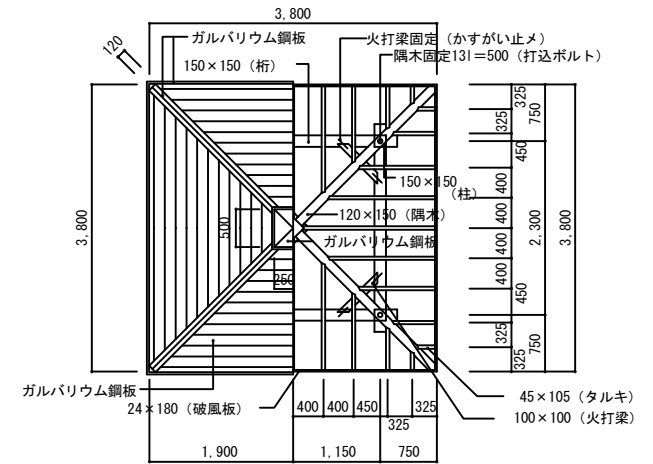
平面図



基礎伏図



小屋・屋根伏図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

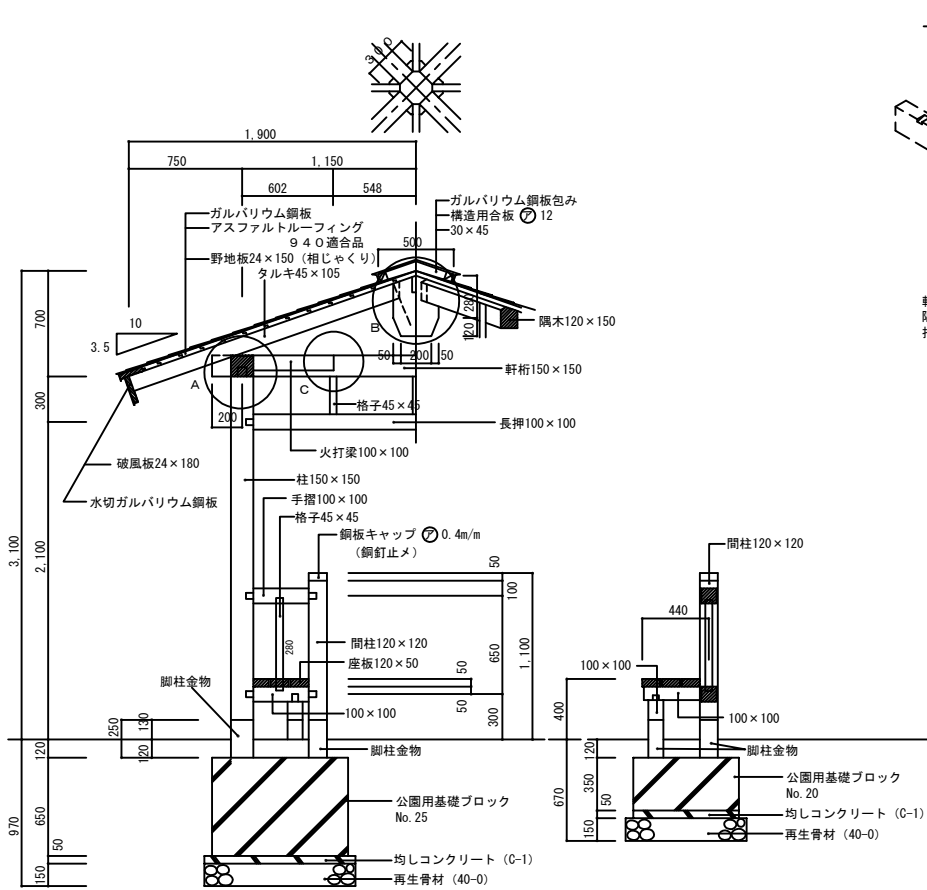
四阿2.3x2.3角柱ベンチ有

縮尺

1/100

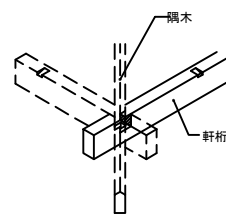
番号

3-12-8-1



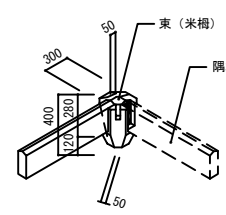
矩計図 S=1/50

A部分仕口詳細図

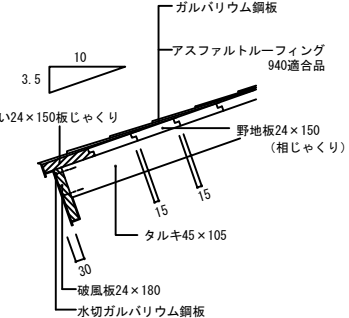


軒桁同士は相欠きとする
隅木は軒桁へは透りあご掛
打込ボルト止め13φl=500とする

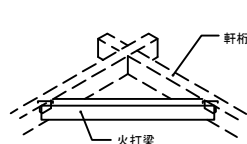
B部分仕口詳細図



隅木は東へ胴付短ほぞ差し
打込ボルト止め13φl=250とする

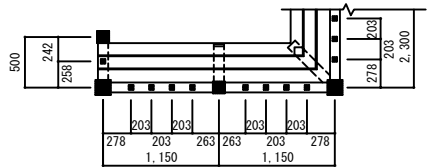


C部分仕口詳細図

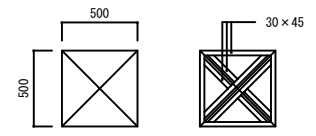


火打梁 軒桁へは 上半部かたぎ
大入れかすがい止め (上部) とする

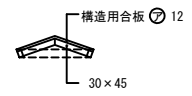
格子寸法図 S=1/75



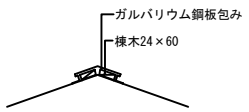
軒先詳細図 S=1/25



棟包み詳細図 S=1/50



棟木詳細図 S=1/25



札幌市造園工事

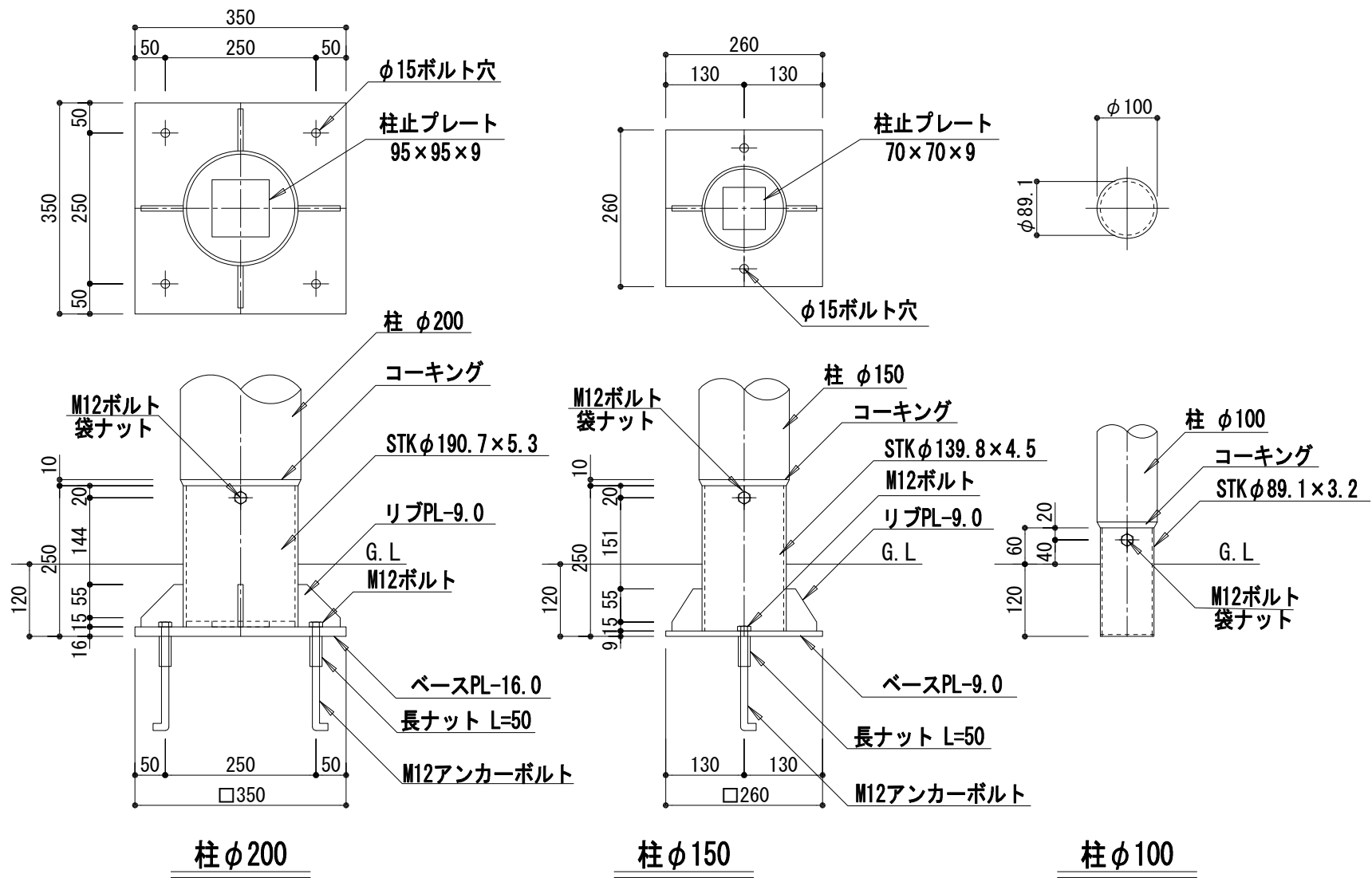
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
 2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
 3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
 4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
 5. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
 6. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
 7. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
 8. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。
 9. 柱脚金物の寸法は、3-1-2-10-1、3-1-2-10-2 による。

図面名称			
四阿2.3×2.3角柱ベンチ有			
縮尺	図示	番号	3-12-8-2

柱脚金物詳細図

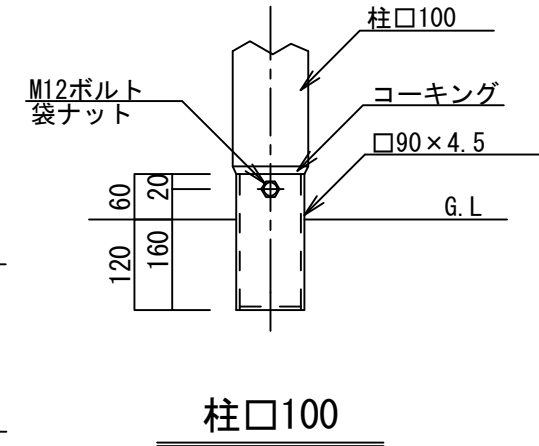
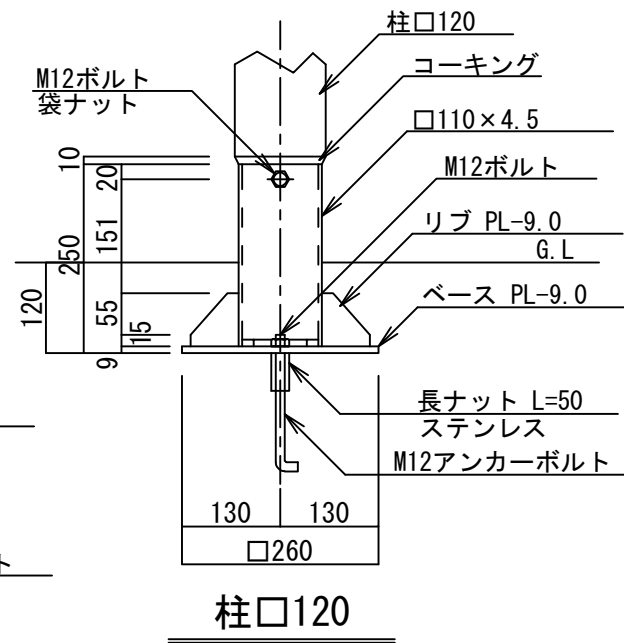
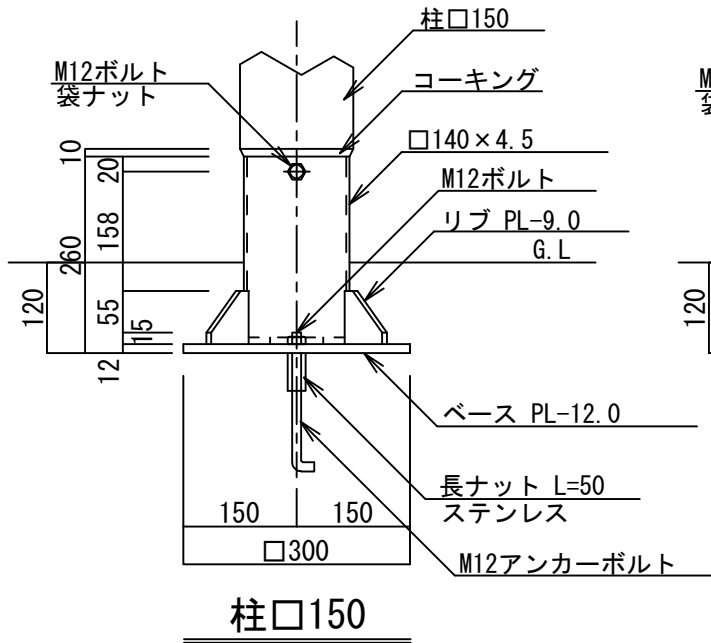
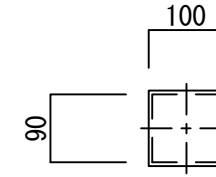
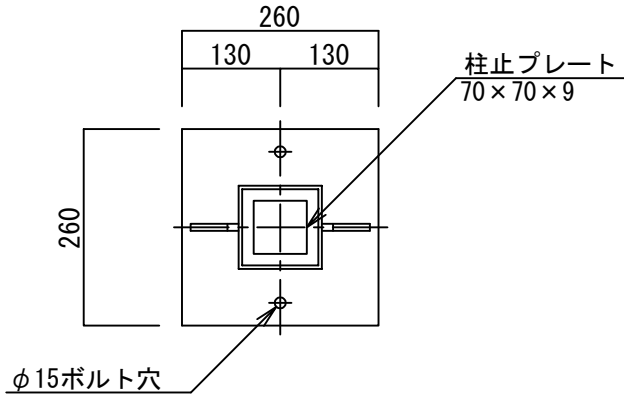
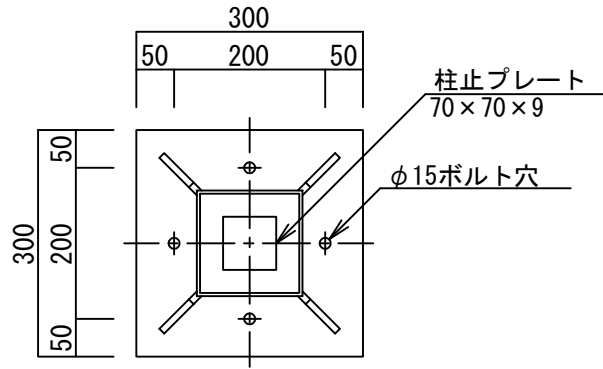


札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様
1. 金物は、電気亜鉛メッキとし、焼き付け塗装とする。(ブラウン色)
2. 金物の中に入る部分は、インサイジングを施すこと。

図面名称 丸柱脚金物詳細図		
縮尺	1/10	番号 3-12-9

柱脚金物詳細図



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 金物は、電気亜鉛メッキとし、焼き付け塗装とする。(ブラウン色)
2. 金物の中に入る部分は、インサイジングを施すこと。

図面名称

角柱脚金物詳細図 1

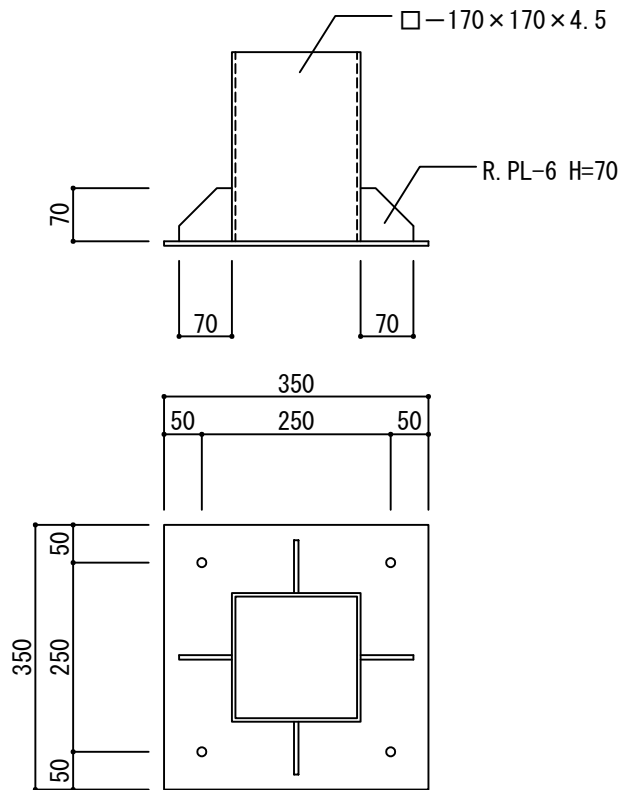
縮尺

1/10

番号

3-12-10-1

支柱 □180



柱脚形状

PL-16 × 350 × 350

A. BOLT 4-12φ

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 金物は、電気亜鉛メッキとし、焼き付け塗装とする。(ブラウン色)
2. 金物の中に入る部分は、インサイジングを施すこと。

図面名称

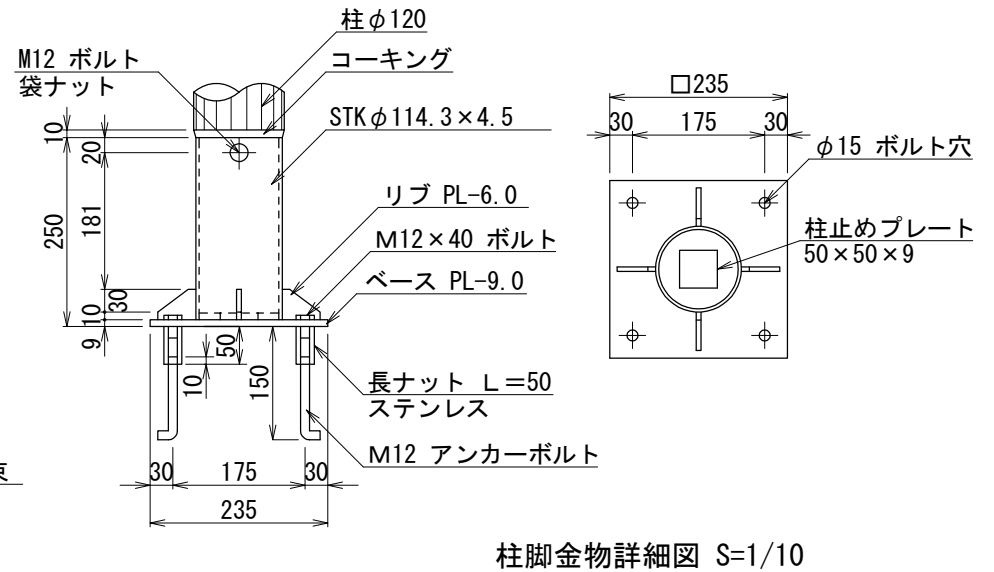
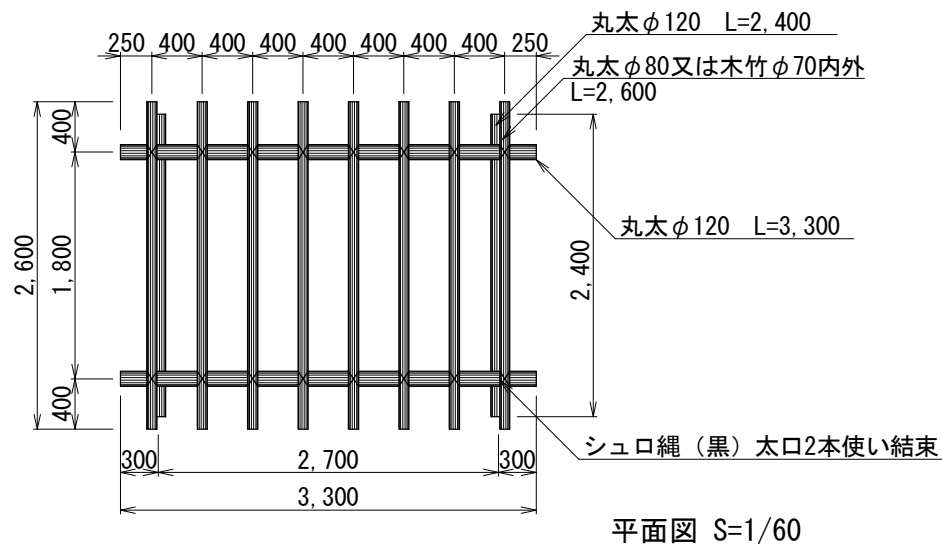
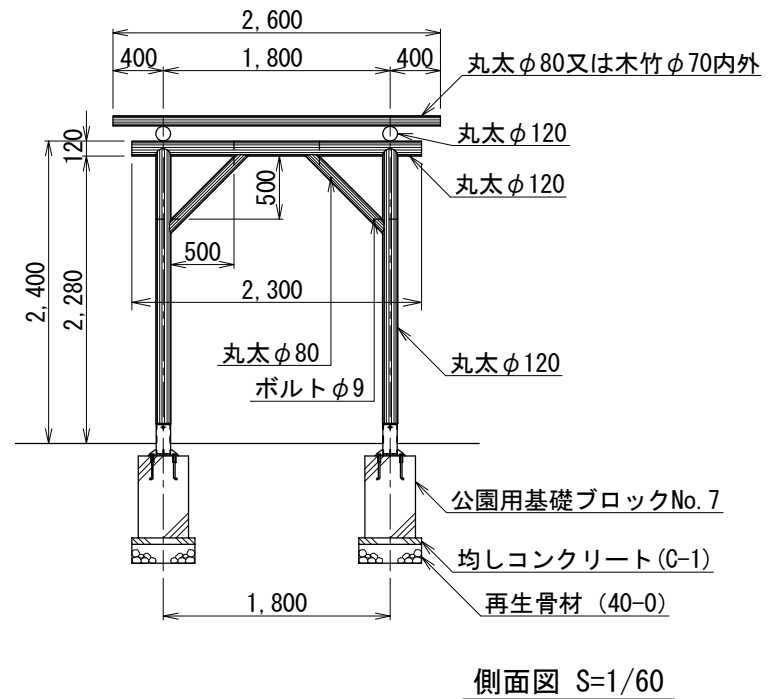
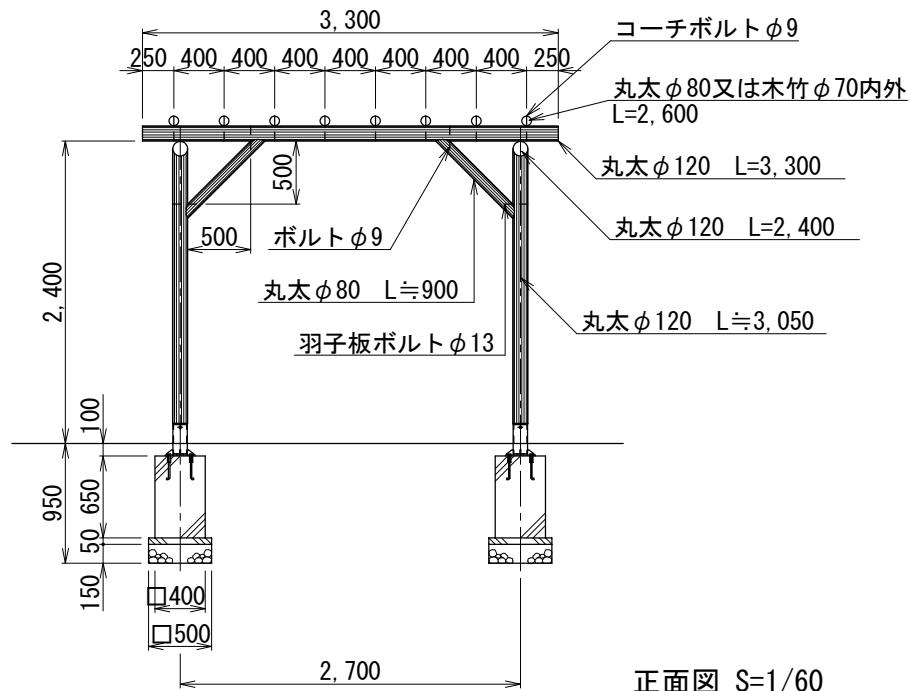
角柱脚金物詳細図2

縮尺

1/10

番号

3-12-10-2



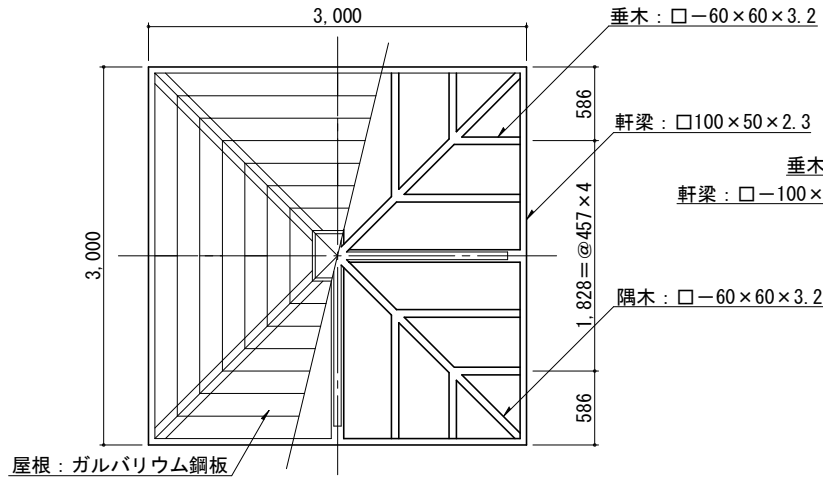
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
1. 特記事項は、1-2-2による。
 2. 中詰は、生コンクリート (0-4) とする。
 3. 金物は、電気亜鉛メッキとし、焼き付け塗装とする。(ブラウン色)
 4. 金物に入る部分は、インサイジングを施すこと。

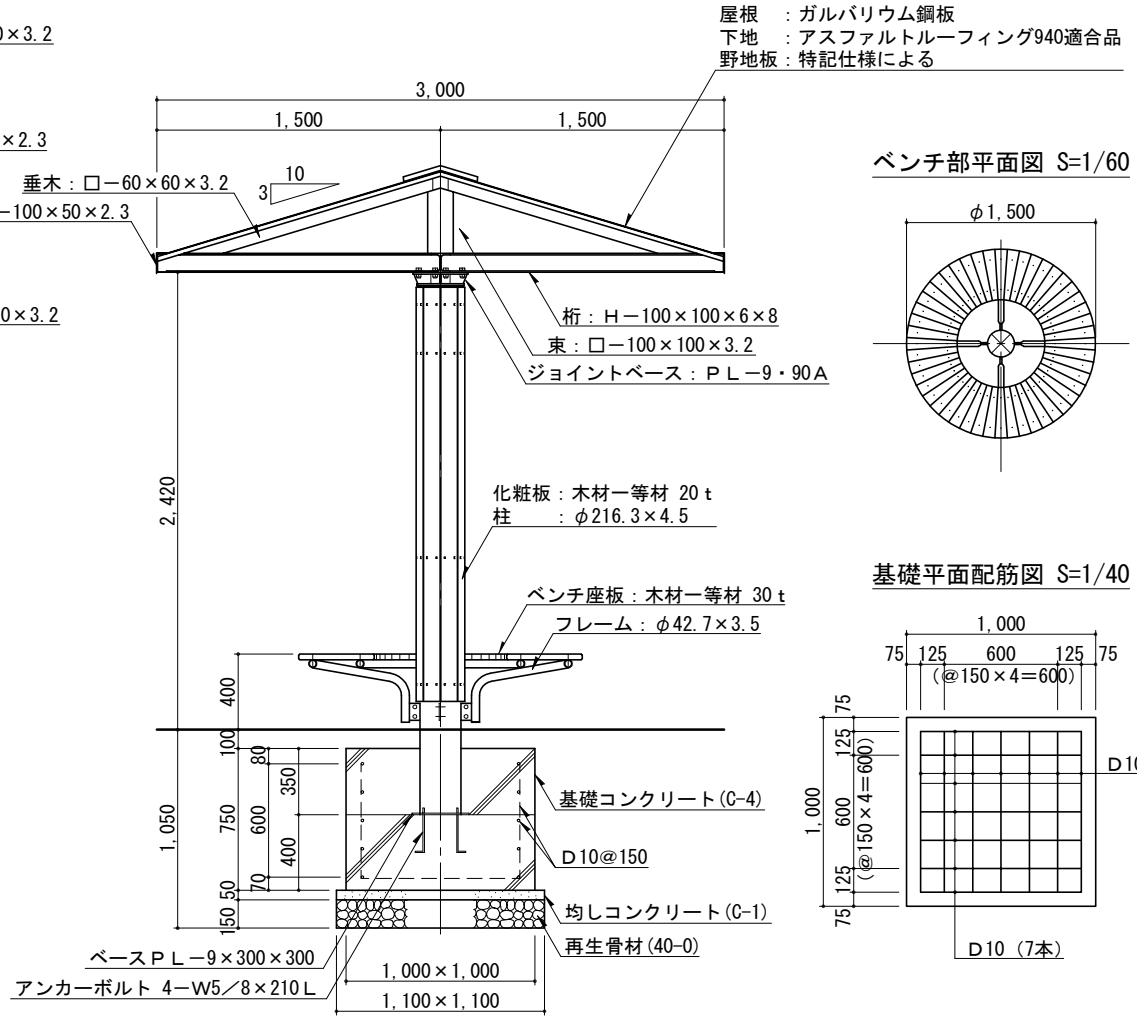
図面名称		藤棚詳細図	
縮尺	図示	番号	3-12-11

シェルターA 詳細図

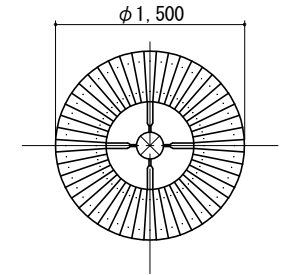
屋根伏／小屋組伏図 S=1/60



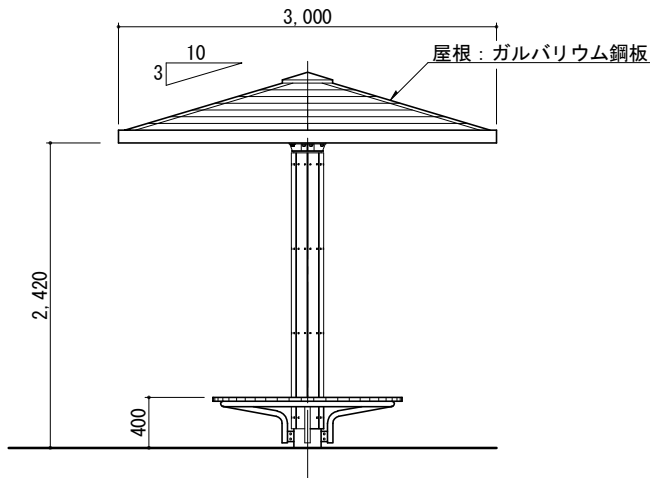
矩形図 S=1/40



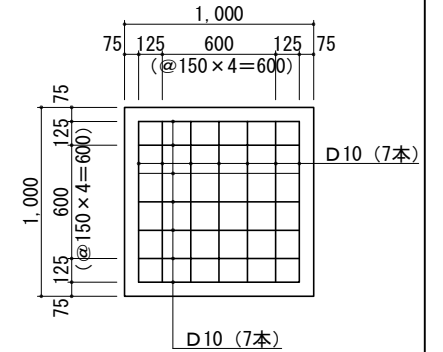
ベンチ部平面図 S=1/60



立面図 S=1/60



基礎平面配筋図 S=1/40



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 木部は防腐加圧注入処理および木材保護着色塗装仕上げとする。
5. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
6. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
7. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

シェルターA

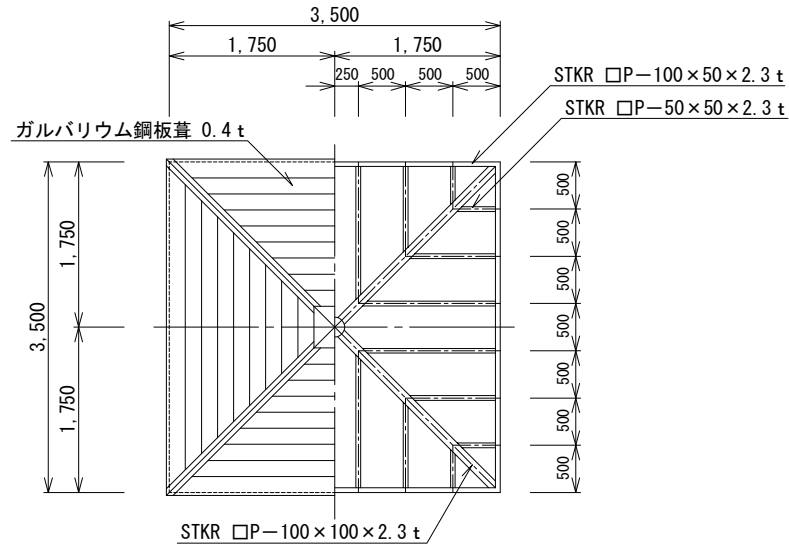
縮尺

図示

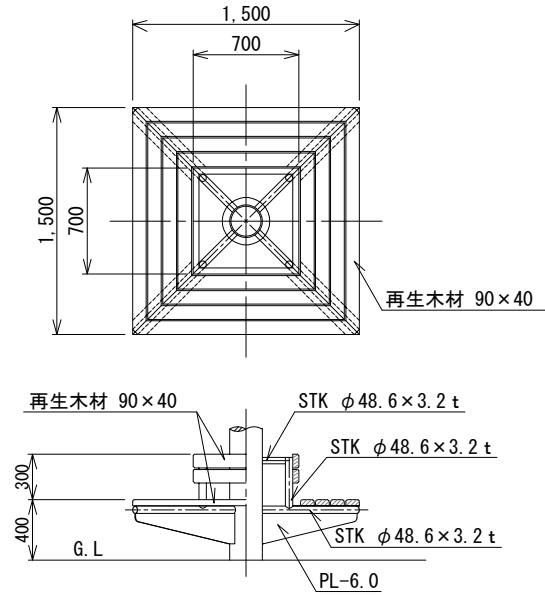
番号

3-12-12

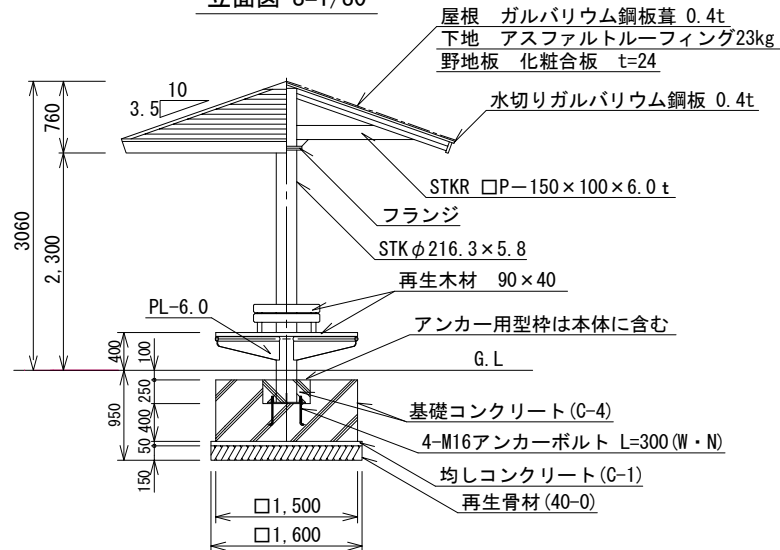
屋根伏／小屋組伏図 S=1/80



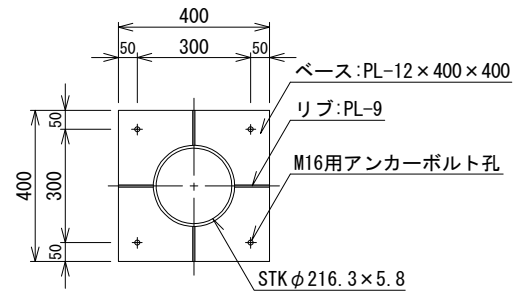
ベンチ詳細図 S=1/50



立面図 S=1/80



ベースプレート詳細図 S=1/20



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図1-2-1による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
5. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提供すること。
6. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

シェルター-B

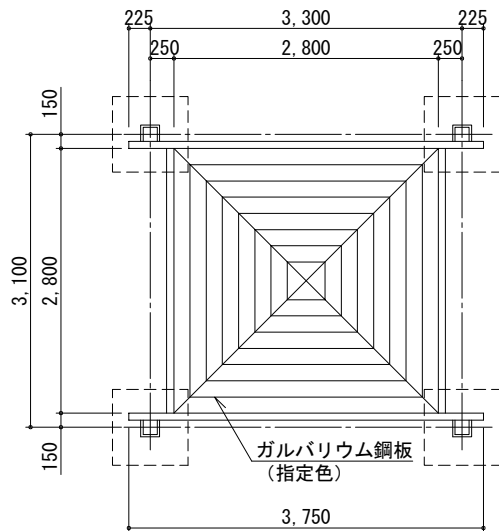
縮尺

図示

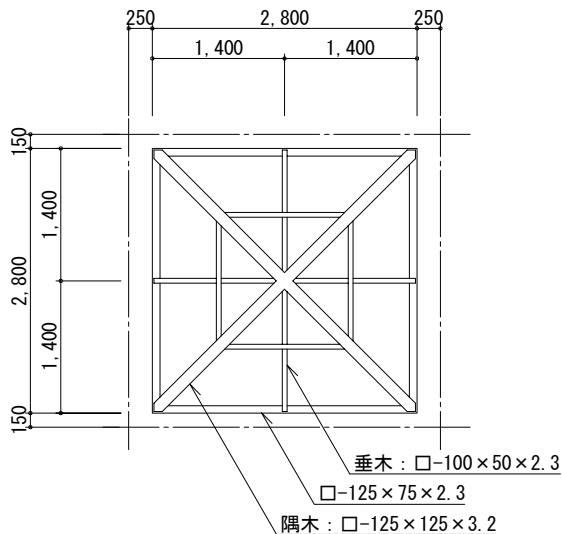
番号

3-12-13

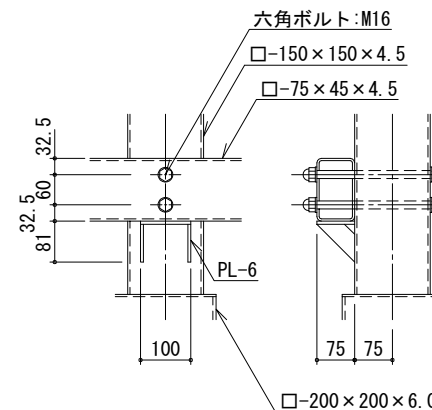
屋根伏／基礎伏図 S=1/80



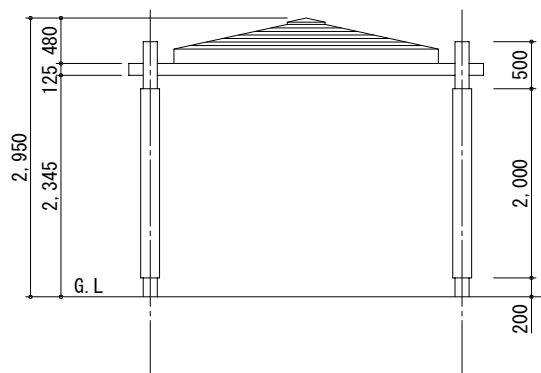
小屋伏図 S=1/80



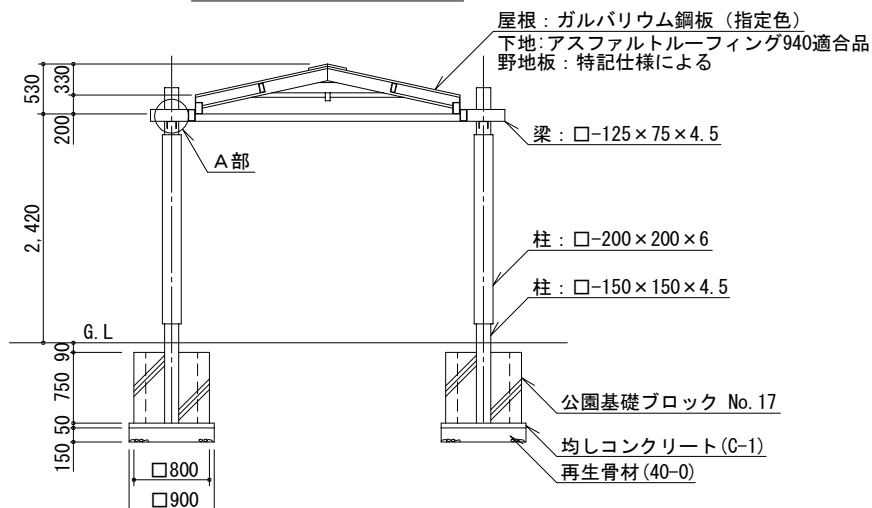
A部詳細図 S=1/15



立面図 S=1/80



断面図 S=1/80



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 鋼材部は、電気亜鉛メッキもしくは溶融亜鉛メッキ処理とし、塗装は札幌市造園工事標準図1-2-1による。
2. 屋根はガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィングまでとする。
3. 野地板は、合板 t=24 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
4. 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
5. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。
6. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面・構造計算書・建築確認申請に必要な書類等を提出すること。
7. 製品の細部・確定寸法・鋼材の塗装色等の仕様は、承認図により発注者の承認を得ること。

図面名称

シェルターC

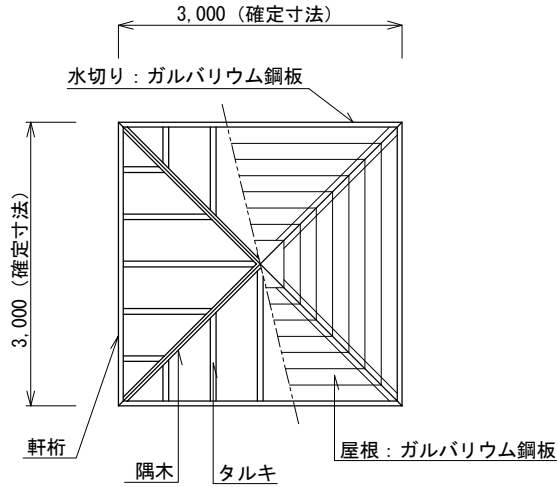
縮尺

図示

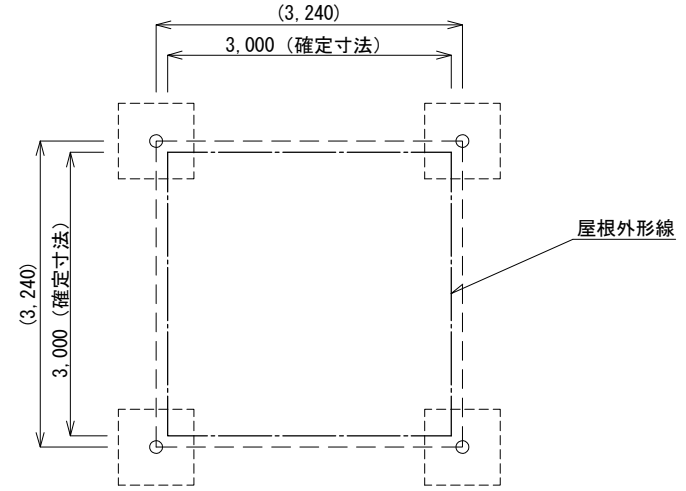
番号

3-12-14

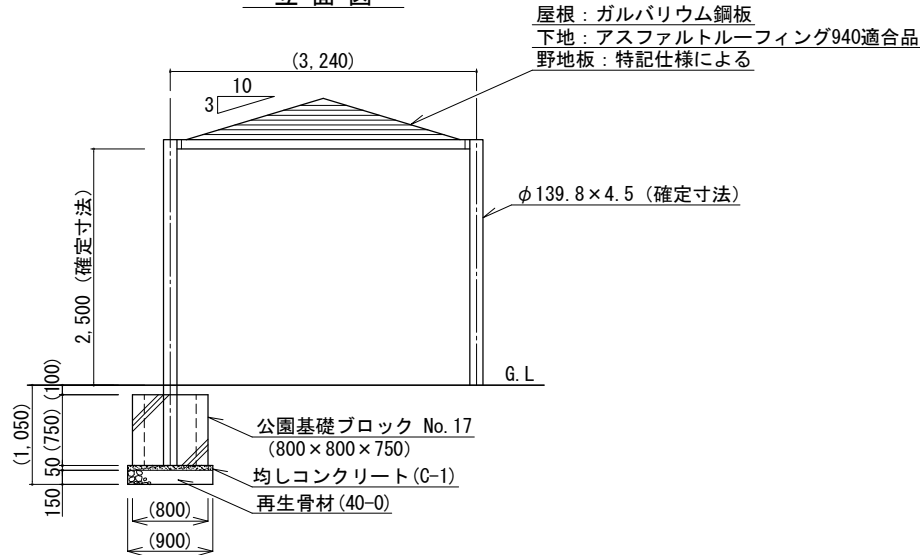
屋根伏 / 小屋組伏図



基礎伏図



立面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 標準図に表示する括弧内の寸法は参考値 (但し、確定寸法は変更不可) のため、納入する製品は参考値と同等程度の製品とする。
- 製品の細部、確定寸法、基礎の形状・規格 (アンカー基礎も可)、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定することとし、承認図とともに構造計算書を提出し監督員の承認を得ること。
- 鋼材部およびボルト・ナットのめっき処理・塗装仕様は、札幌市造園工事標準図 1-2-1 による。
- 野地板は、合板 $t=24$ 以上とし、木材保護着色塗装仕上げとする。
- 公園用基礎ブロックの中詰は、生コンクリート (C-4) とする。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面・製作図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

シェルター-D

縮尺

1/80

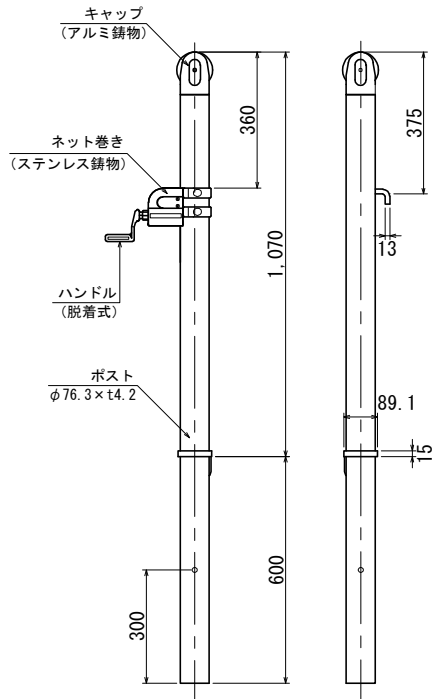
番号

3-12-15

4-5 グラウンド・コート施設整備工

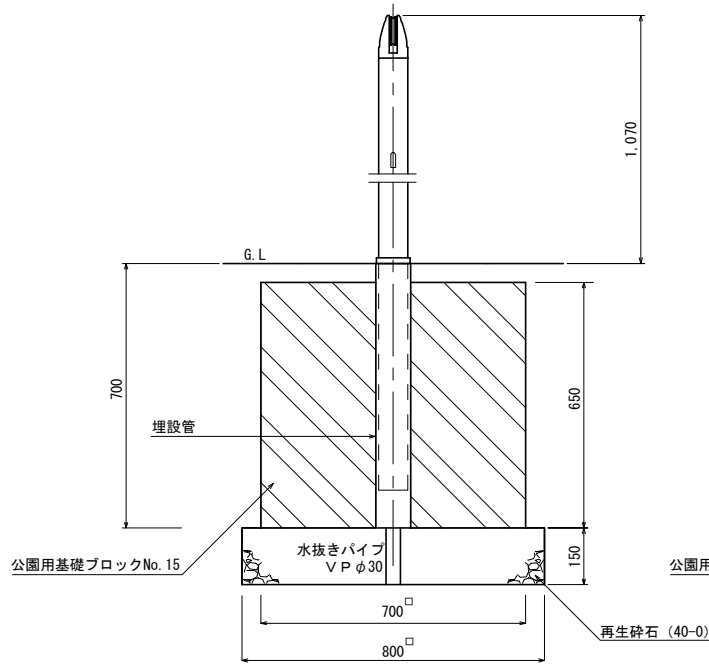
ネットポスト詳細図

S=1/20



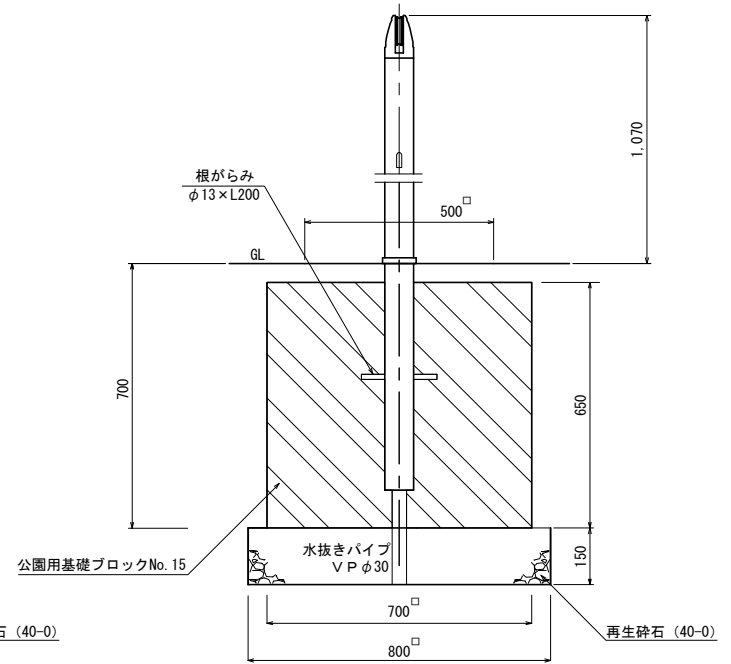
ネットポスト基礎詳細図 (脱着式)

(脱着式) S=1/20



ネットポスト基礎詳細図 (固定式)

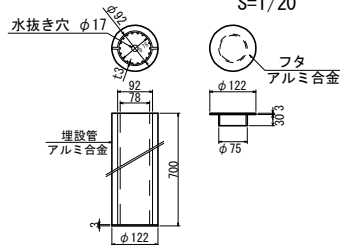
(固定式) S=1/20



ポスト：配管用炭素鋼鋼管（JISG3452SGP）、電気亜鉛メッキ処理後粉体焼付塗装（緑色）
 キャップ：アルミ合金鋳物（JISH5202AC4A）、焼付塗装（緑色）
 ネット巻き、ハンドル：ステンレス鋳物（JISG5121SCS13）、焼付塗装（緑色）

埋設管詳細図

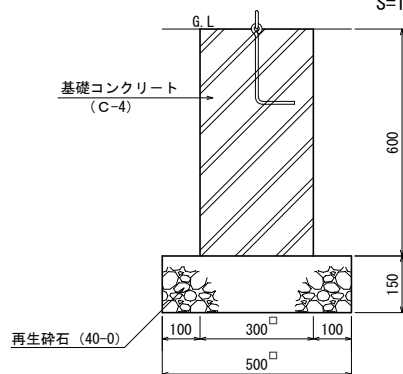
S=1/20



蓋：アルミ合金（JISH4000 A5052）
 埋設管：アルミ合金（JISH4100 A6063S-T5）
 アルマイト処理後クリア塗装

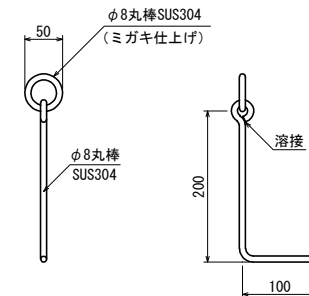
センター金具基礎詳細図

S=1/20



センター金具詳細図

S=1/10



ステンレス（JISG4303 SUS304）酸洗い

特記仕様 1. 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。

図面名称

ネットポスト

縮尺

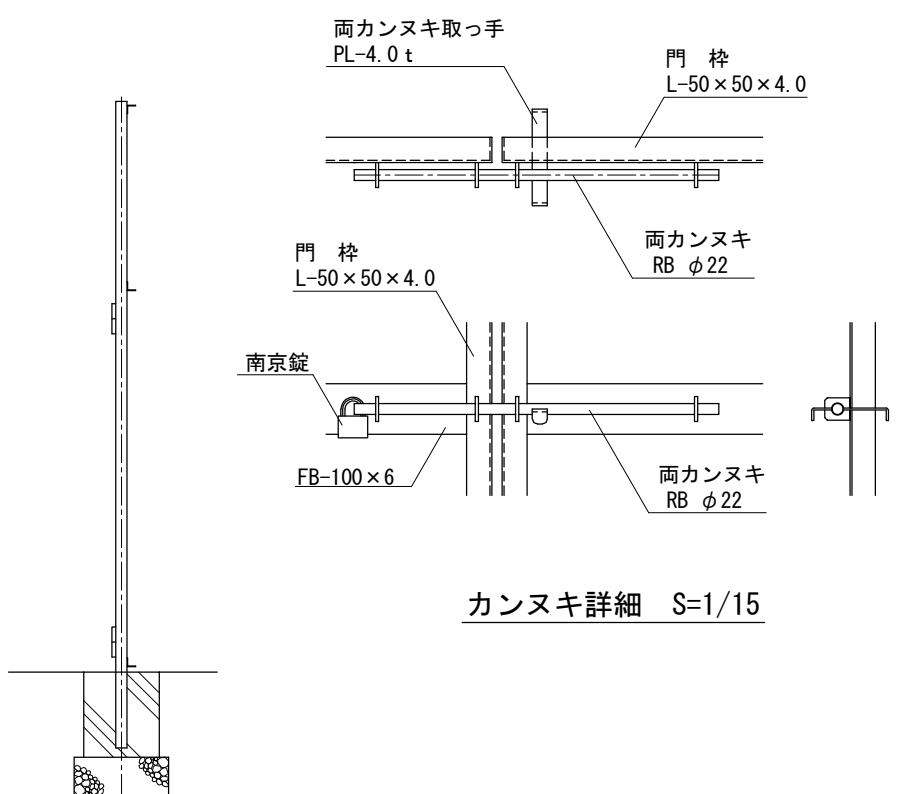
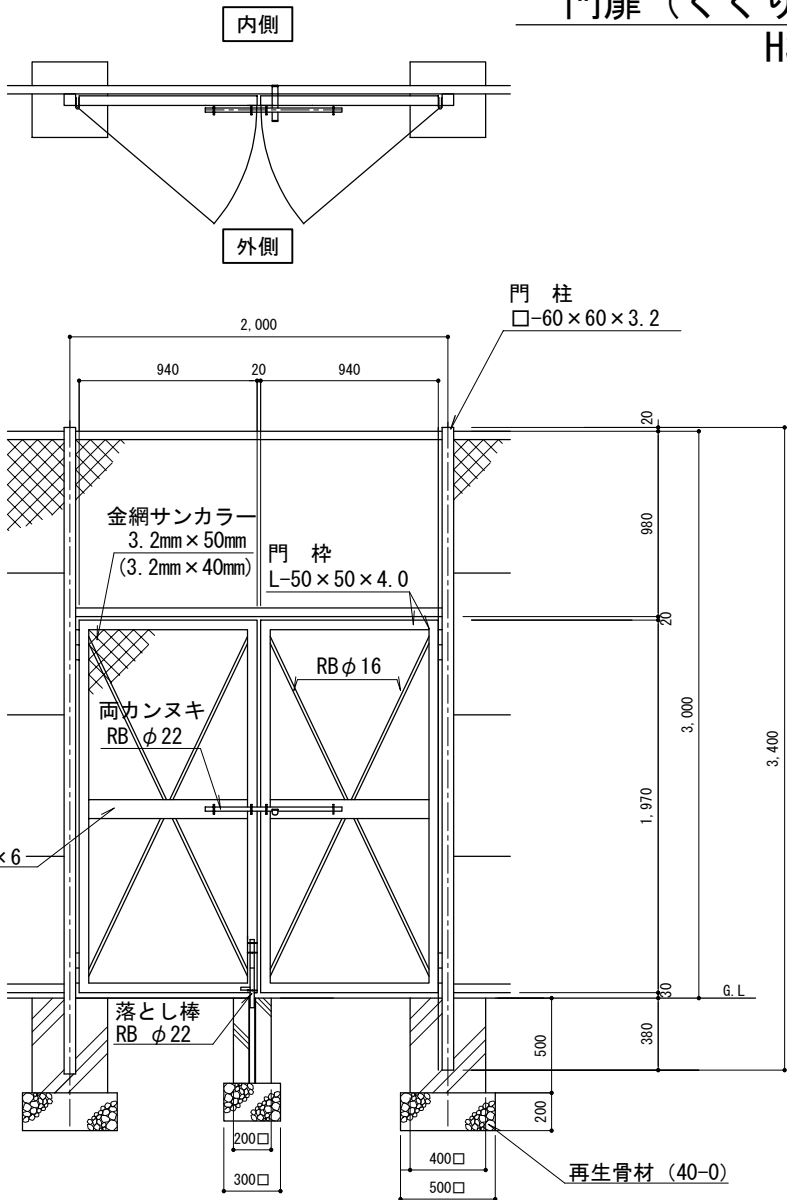
図示

番号

4-5-1

門扉（くぐり戸型、両開き、両カンヌキ）

H3,000×W2,000

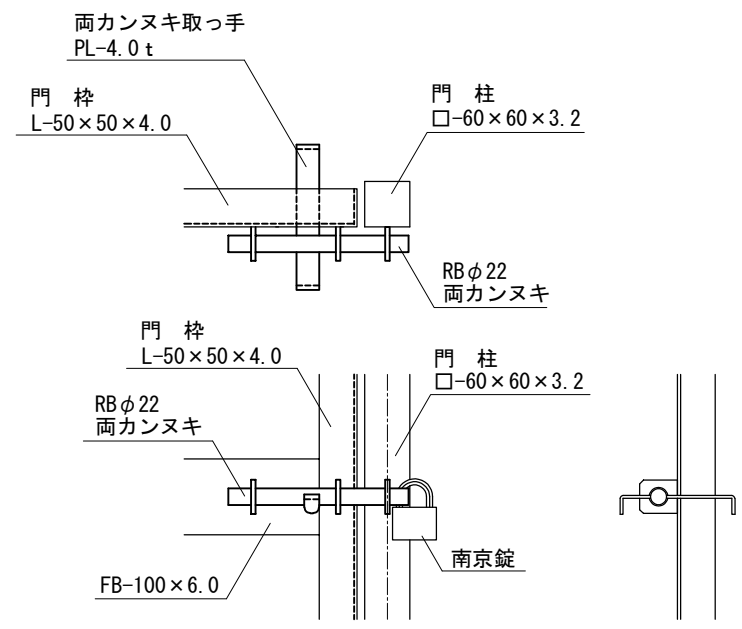
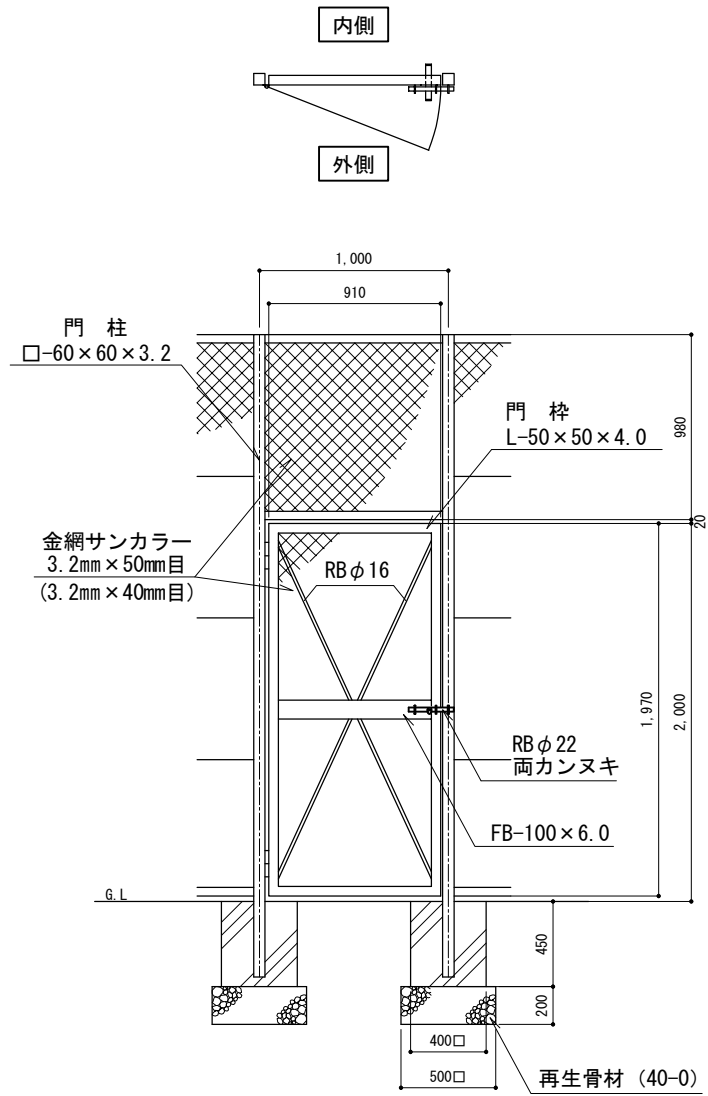


カンヌキ詳細 S=1/15

札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特記仕様	1. 防錆処理は、熔融亜鉛メッキ（350g/m ² 以上）後、焼付塗装（20μ以上）又は粉体塗装（50μ以上）とする。 2. 中詰は、モルタル（1：3）とする。 3. （ ）内の寸法は、テニスコート用の場合の値である。 4. テニスコート用の基礎については、別途検討を行うこと。 5. 扉は外開きが標準である。それにより難しい場合は、設計図書に明記すること。	図面名称 門扉（くぐり戸型、両開き）
		縮尺	1/40

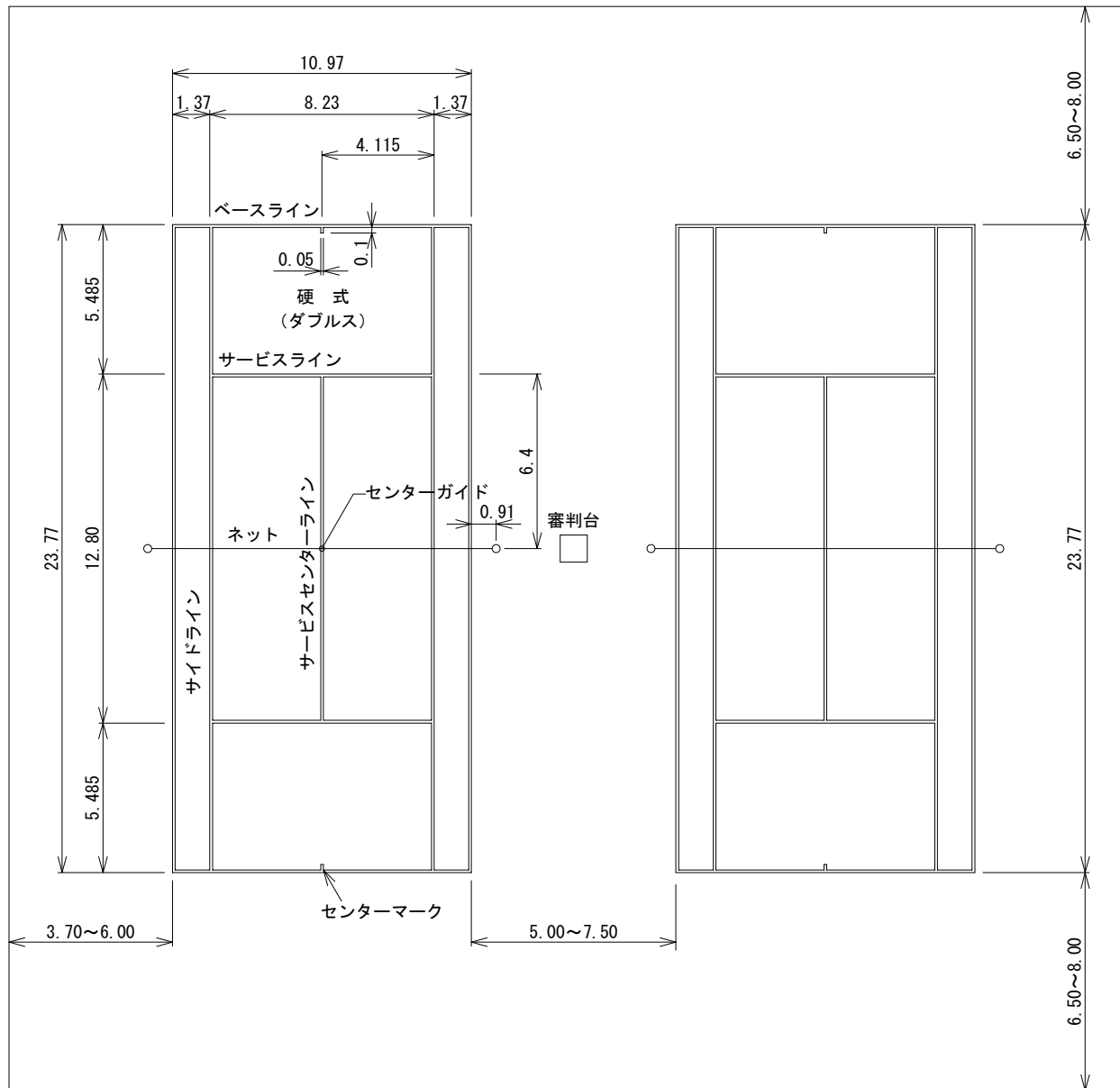
門 扉 (くぐり戸型、片開き、両カンヌキ)

H3,000 × W1,000



カンヌキ詳細 S=1/10

札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特記仕様	1. 防錆処理は、溶融亜鉛メッキ (350 g/m ² 以上) 後、焼付塗装 (20 μ以上) 又は粉体塗装 (50 μ以上) とする。 2. 中詰は、モルタル (1 : 3) とする。 3. () 内の寸法は、テニスコート用の場合の値である。 4. テニスコート用の基礎については、別途検討を行うこと。 5. 扉は外開きが標準である。それにより難しい場合は、設計図書に明記すること。	
		図面名称 門扉 (くぐり戸型、片開き)	縮尺 1/40



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 区画線の幅は5cmとする（白色アクリル系樹脂エマルジョン塗リ）。但し、ベースラインは10cmまで太くしてよい。
2. ネット中央部の高さは、3フィート（91.44cm）とする。
3. センターマークは、ベースラインから内側 10cm。

図面名称

テニスコートライン規格

縮尺

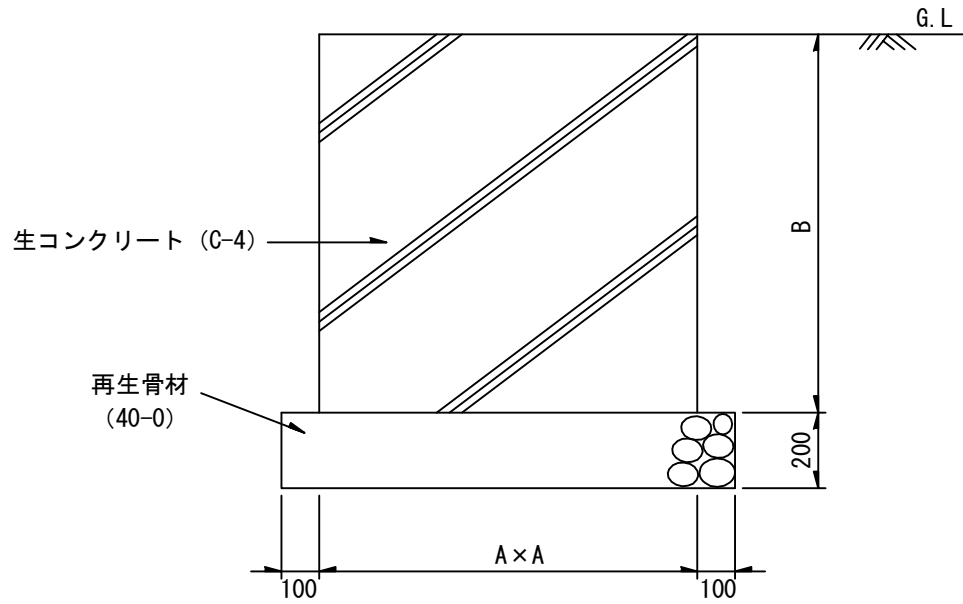
1/250

番号

4-5-4

高尺ネットフェンス基礎詳細図

断面図



支柱間	W=2m			W=3m		
支柱 寸法 高	A	B	(参考) 底面への荷重	A	B	(参考) 底面への荷重
	cm	cm	t/m ²	cm	cm	t/m ²
4	50	55	5.3	50	70	6.8
5	60	75	6.5	60	80	6.6
6	80	70	7.1	80	90	7.8
7	90	80	7.1	90	100	8.0
8	110	90	8.3	110	110	8.2
9	100	100	8.1	100	120	8.3
10	120	110	7.9	120	130	

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 適用にあたっては、現地盤支持力と、上記参考値を考慮すること。
2. 土工については、安全性、経済性を考慮し決定すること。

図面名称
高尺ネットフェンス基礎詳細図

縮尺

1/20

番号

4-5-5

10 その他

(建物)



350 ≦

*2
車椅子使用者
以外の障害者
等のためのス
ペース



一般者用

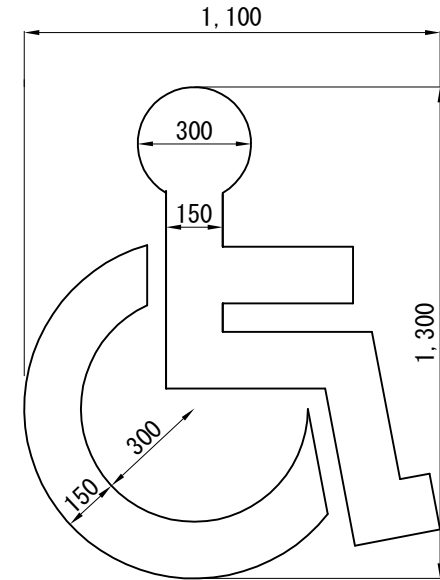
250 ≦

身障者用
600 ≦

一般者用
500 ≦

平面図 S=1/10

身障者専用マーク



詳細図 S=1/20

S = 5,461cm²

L 15 = 3.64m

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 障害者マークについては 1,100×1,300を標準とする。(道路標示施工ハンドブックより)
2. 肢体不自由者、妊産婦、幼児連れの人などの利用が多い公園においては、通常の駐車スペースよりも少し大きめの駐車スペースを設置することが望ましい。

図面名称

身障者用駐車場標準図

縮尺

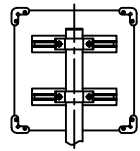
図示

番号

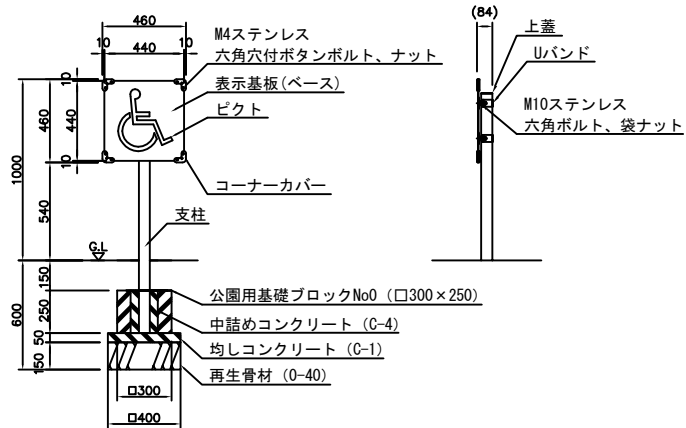
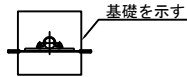
10-1

身障者駐車場表示板（片面）

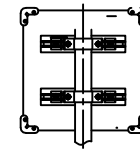
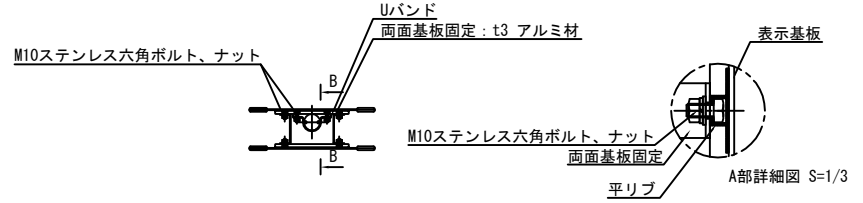
身障者駐車場表示板（両面）



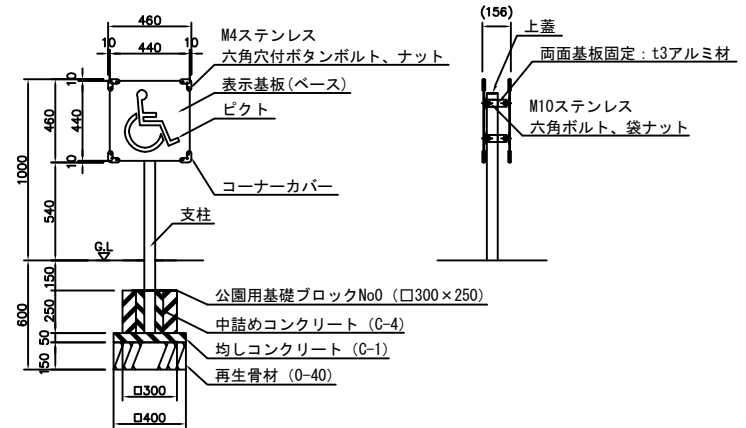
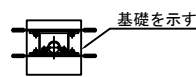
裏面詳細図 S=1/15



外観図 S=1/40



裏面詳細図 S=1/15



外観図 S=1/40

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

支柱 : φ60.5 アルミ押出型材、着色アルマイト（ステンカラー）クリア塗装
 表示基板 : t5.0 アルミ板、合成樹脂塗装（ブルー） コーナーカバー : ABS樹脂（グレー）
 Uバンド : アルミ押出型材
 表示方法 : GAPPシートレーター ピクト/反射シート680-10（ホワイト） ベース/反射シート680-75
 ※指示なきビス仕様は、ステンレスとする ※表示内容は打合せの上、決定とする

上蓋 : t3.0 アルミ板、合成樹脂塗装（ステンカラー）

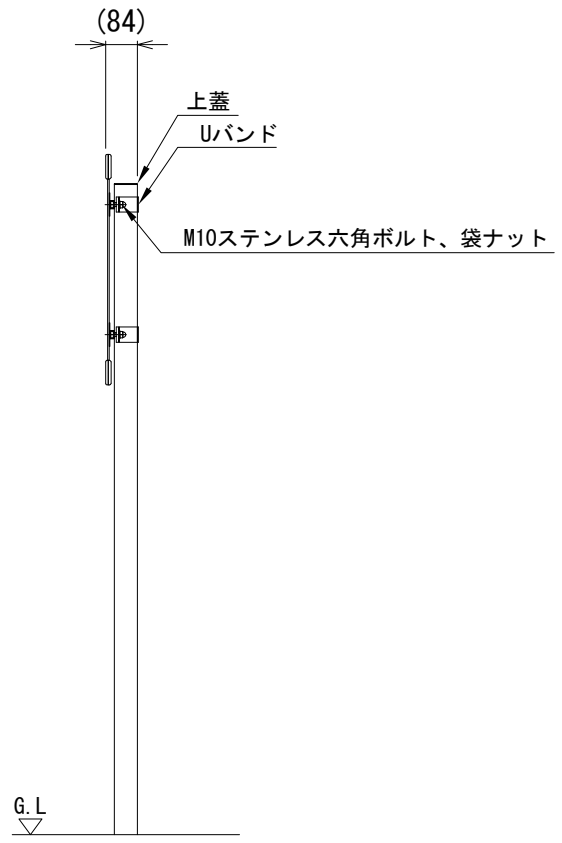
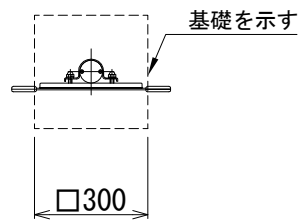
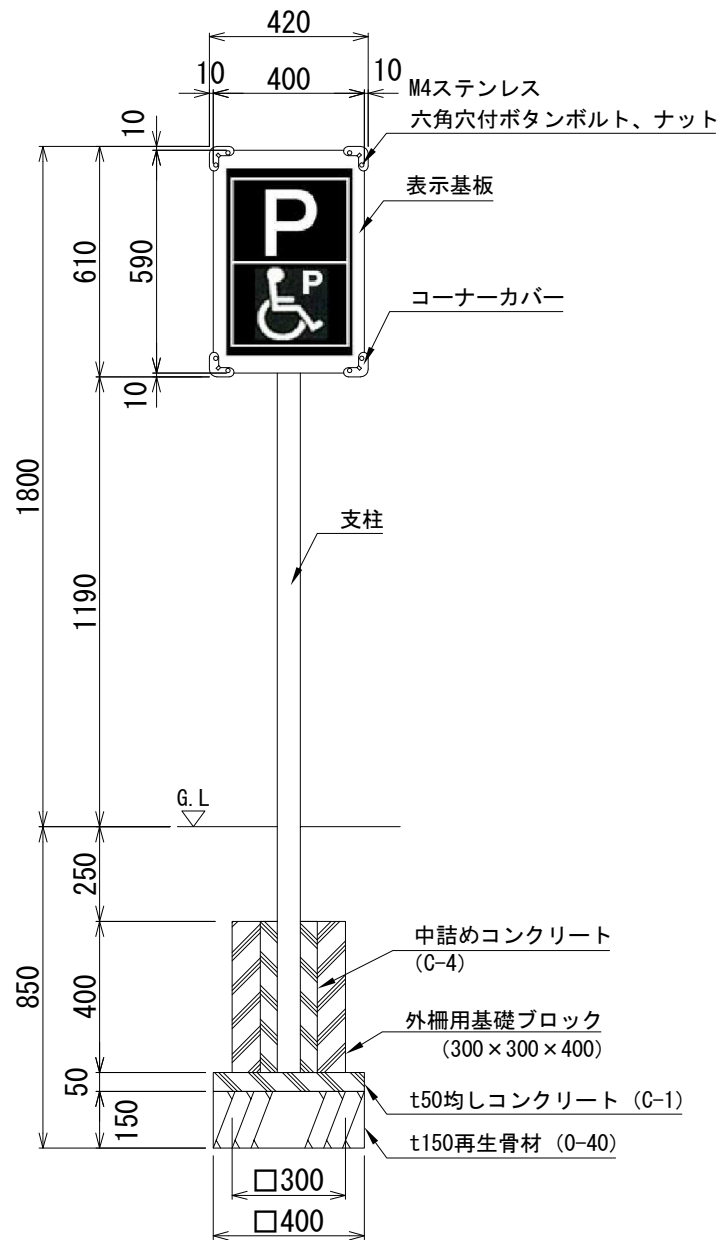
図面名称
身障者用駐車場表示板（片面・両面）

縮尺

図示

番号

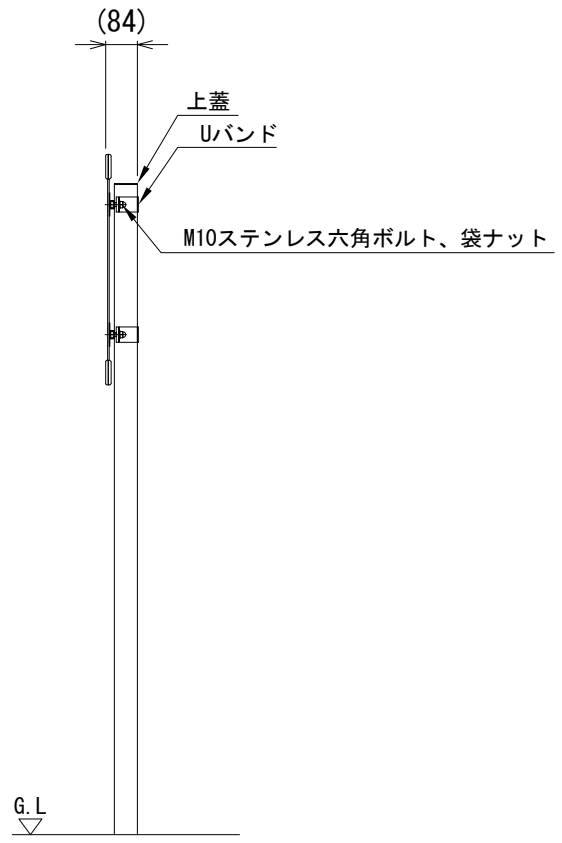
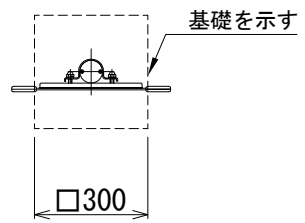
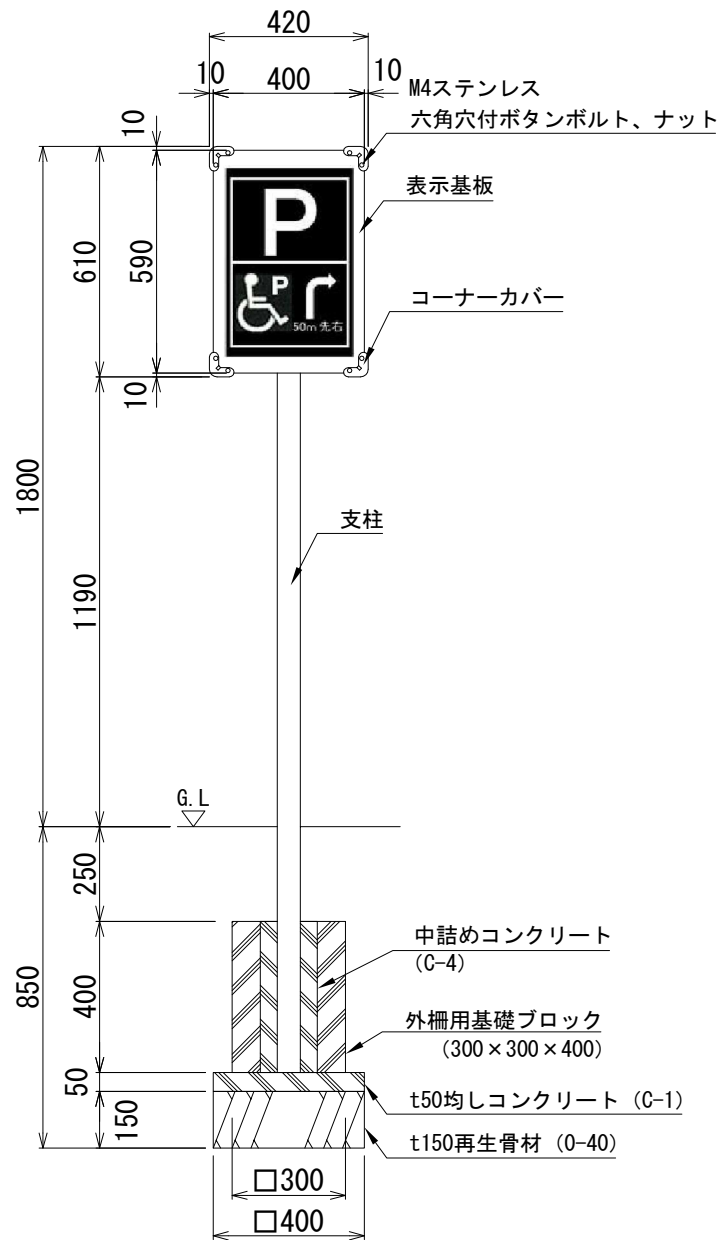
10-2



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様
支柱 : 支柱 : φ60.5 アルミ押出型材、着色アルマイト (ステンカラー) クリア塗装、 上蓋 : t3.0 アルミ板、合成樹脂塗装 (ステンカラー)
Uバンド : アルミ押出型材
コーナーカバー : ABS樹脂 (グレー)
表示基板 : t5.0 アルミ複合板 (ホワイト)
※表示方法、表示内容は打合せの上、決定とする

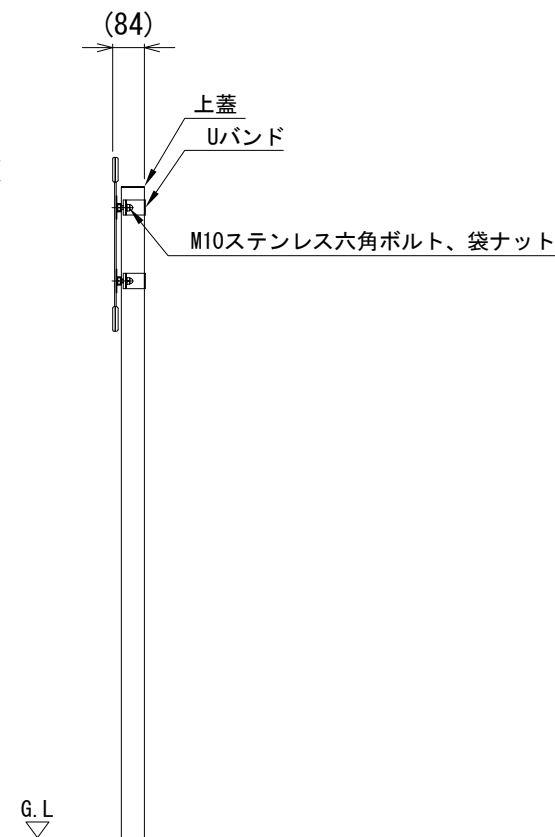
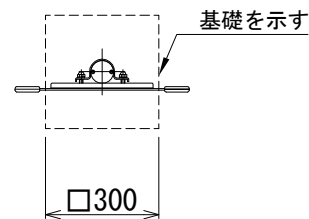
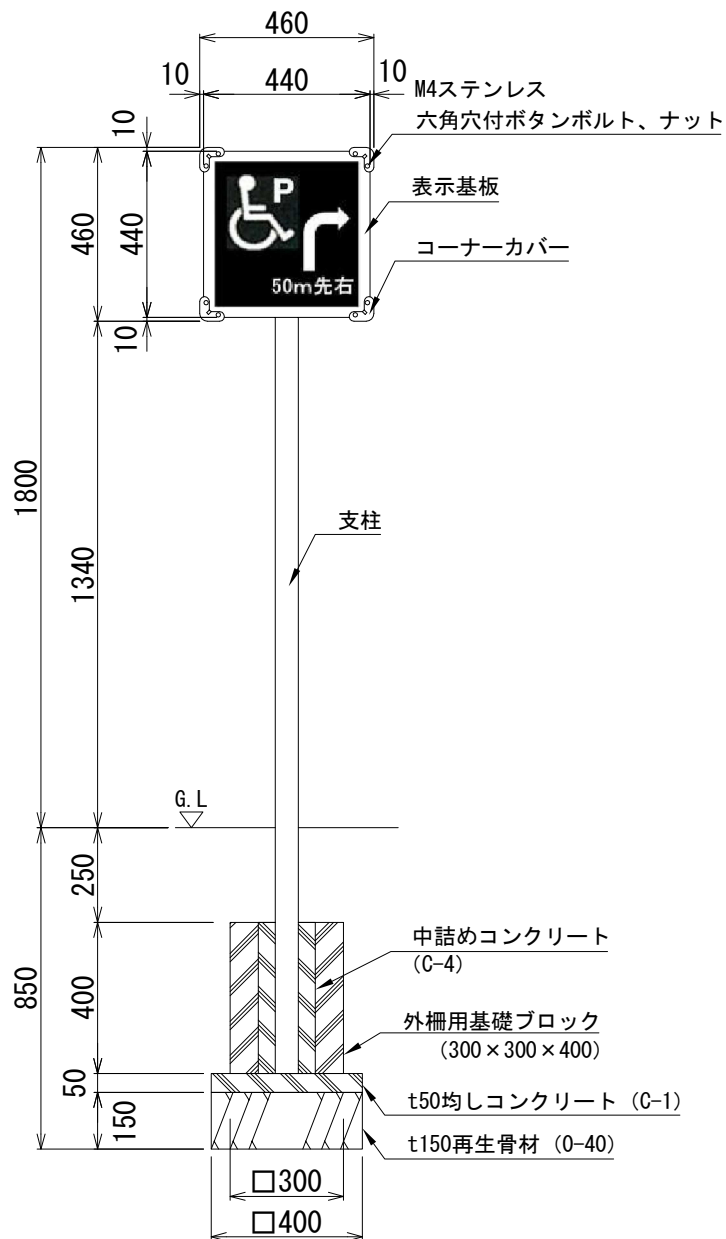
図面名称
駐車場身障者スペースールサインA
縮尺 1/20
番号 10-3



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様
支柱 : 支柱 : φ60.5 アルミ押出形材、着色アルマイト (ステンカラー) クリア塗装、 上蓋 : t3.0 アルミ板、合成樹脂塗装 (ステンカラー)
Uバンド : アルミ押出形材
コーナーカバー : ABS樹脂 (グレー)
表示基板 : t5.0 アルミ複合板 (ホワイト)
※表示方法、表示内容は打合せの上、決定とする

図面名称
駐車場身障者スペースールサインB
縮尺 1/20
番号 10-4



札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

支柱 : 支柱 : φ60.5 アルミ押出型材、着色アルマイト (ステンカラー) クリア塗装、 上蓋 : t3.0 アルミ板、合成樹脂塗装 (ステンカラー)
Uバンド : アルミ押出型材
コーナーカバー : ABS樹脂 (グレー)
表示基板 : t5.0 アルミ複合板 (ホワイト)
※表示方法、表示内容は打合せの上、決定とする

図面名称
駐車場身障者スペースポールサインC

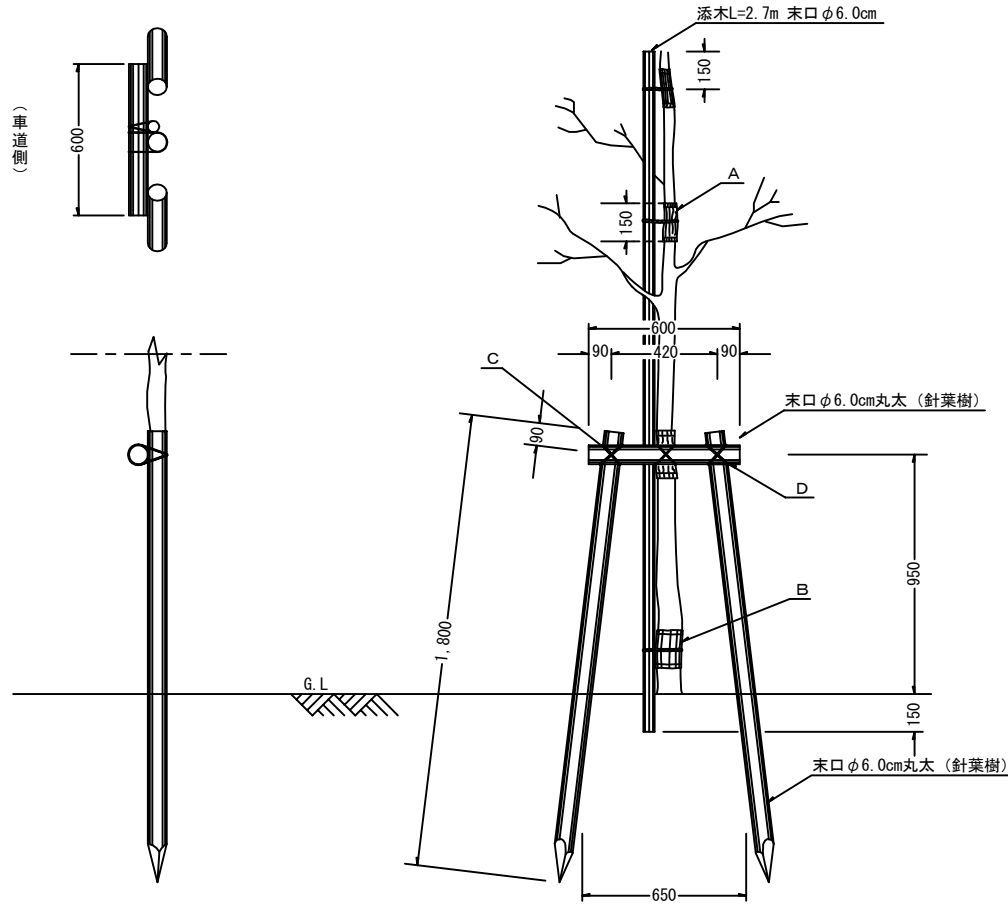
縮尺

1/20

番号

10-5

街路樹用二脚鳥居型支柱（添木付）



支柱取付仕様

名称	寸法	摘要
A 保護材	L 10~30cm 巾 15cm	
B 棕櫚縄		赤縄2本使用 2回巻（割を入れる）
C 亜鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

※ 風等で幹折の可能性のある樹木に摘要。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

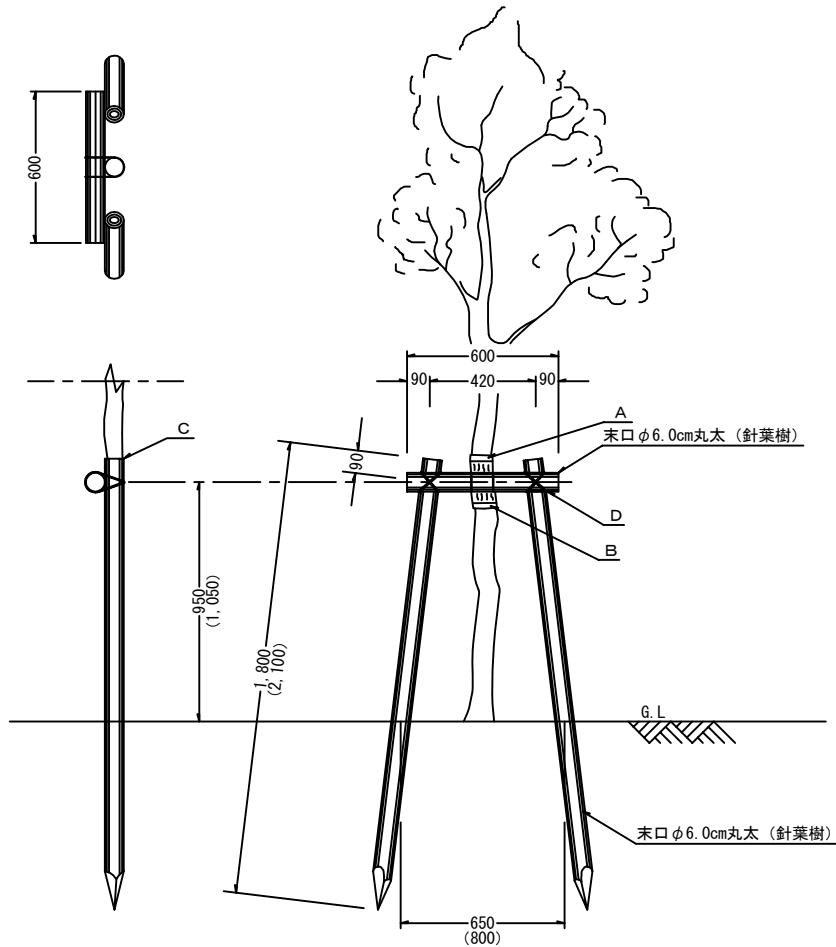
特記仕様

- 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。（添木部分は除く）
- 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、燻煙丸太とする。
- 丸太杭の先端は、3面削りとする。
- 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

図面名称
二脚鳥居型支柱添木付（街路樹用）

縮尺	1/30	番号	10-6
----	------	----	------

街路樹用二脚鳥居型支柱



支柱取付仕様

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 20~40cm	
B 棕櫚縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 垂鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

() 内寸法
B型 (泥炭等の軟弱地盤に使用)

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
- 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、燻煙丸太とする。
- 丸太杭の先端は、3面削りとする。
- 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

図面名称
二脚鳥居型支柱 (街路樹用)

縮尺

1/30

番号

10-7

ご迷惑をおかけします

公園の整備を行っています

令和〇〇年〇〇月〇〇日まで(開放日は検査後)

(上記工事終了後以降に検査を行った後、速やかに
仮囲い等を撤去いたします。
検査日程が決まり次第、開放日を掲示致します。
なお、上記日程から検査終了まで、2週間程度
お時間を頂きますのでご了承ください。)

時間帯 〇〇時～〇〇時

〇〇△△公園再整備工事

発注者 札幌市〇〇局

〇〇部〇〇〇〇課

電話 〇〇〇-〇〇〇〇

施工者 〇〇造園株式会社

電話 〇〇〇-〇〇〇〇

工事の内容、目的等を分かりやすい表現で表示する →

記載事項は参考文であり、工事内容によっては変更されるため、
工事標示板の内容については監督員の了承を得ること →

「〇〇ほか」のような標示はせず、各々の施設名等を標示する →
国庫補助事業、市債務負担行為などは標示しない

※ 色彩は「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、
工事名については青地に白抜き文字とし、
「〇〇〇を造っています」等の工事内容、工事
期間については青色文字、その他の文字及び線
は黒色、地を白色とする。

※ キャラクター・PR標示を行わないこと。

250

800

1,400

350

1,140

注) 幅については周辺状況を勘案の上、監督員の承諾を得て1/2とすることができる。

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

1. 線の余白は2cm、線線の太さは1cmとする。
2. 「ご迷惑をおかけします」の文字に反射装置を施すものとする。
3. 工事期間については、交通上支障を与える実際の期間を記入するものとする。
4. 工事内容、期間に変更あった場合は、直ちに修正するものとする。
(メラミン焼付) (固定式)

図面名称

工事名標示板

縮
尺

1/10

番
号

10-8